

ニ付テハ何等失當ノ措置アルヲ認メス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】 (六九) 鐵道省ノ支出ニ係ル

一、三〇〇、〇〇〇

ハ品川鶴見間貨物線新設ノ爲購入シタル用地内所在建物十五坪七合五勺等ニ對スル移轉補償料トシテ大正十五年六月東京府荏原町藤山某ニ支拂ヒタルモノトシ證明シタルモノナルモ右ハ之カ支拂ニ當リ同人ノ甥ト稱スル者ニ對シ正當債主ノ委任狀ヲ所持セサルニ拘ラス何等ノ調査ヲ爲スコトナク漫然之ヲ交付シタル爲詐取セラルルニ至リタルモノニシテ畢竟注意ノ周到ヲ缺クニ因ルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ當時用地關係ノ事務頗ル多忙ヲ極メ其ノ取扱件數八百數十件ニ上リ且ツ當務主席者出張不在中惹起セル事故ニシテ右ハ甚々遺憾ノ次第ナルヲ以テ將來篤ト注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

用品勘定

歳出

第一款 鐵道用品及工作費 第一項 用品及工作費

【報告】 (七〇) 鐵道省ノ支出ニ係ル

三、五〇、六五〇、九四〇

ハ大正十四年十一月芝浦製作所ヨリ購入シタル二千「キロワット」廻轉變流機及二千百「キロヴォルト、アムペア」變壓器六組ノ代價參拾五萬參千四百五拾貳圓ノ内ニシテ貳千八百壹圓六錢ハ昭和二年度ニ屬スルモノナリ本件購入ニ當リ當初十組ニ付數名ヨリ見積ヲ徵シタルニ日立製作所ノ單價ハ五萬五千四百四拾六圓九拾錢ニシテ最低價ナリシニ拘ラス十組ノ内四組ノ購入ヲ爲シタルニ止リ爾餘ノ六組ハ前掲芝浦製作所ヨリ單價五萬八千九百八圓六拾六錢六厘ヲ以テ購入シタルモノナリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

電氣鐵道用大容量廻轉變流機ハ其ノ性質上電壓高ク且負荷ノ激變アルヲ以テ電氣機械中最製作困難ナルコトハ一般ニ認メラルル所ナリ而シテ芝浦製作所ニ於テハ早ク之カ製作ニ從事シ八年頃鐵道省ニ初テ納入セリ當時ノ電壓ハ六百「ヴォルト」容量ハ五百「キロワット」五十「サイクル」ナリシカ其ノ後輸送力増進ノ必要ヨリ電壓ハ千二百「ヴォルト」ニ變更セラレタルヲ以テ之ニ伴ヒ廻轉變流機亦千二百「ヴォルト」用トシテ製作スルノ必要ヲ生シ製作ニ一段ノ困難ヲ増加スルニ至リタルモ芝浦製作所ニ於テハ引續キ千二百「ヴォルト」用廻轉變流機ヲ製作納入シ其ノ間設計製作及實地經驗上多大ノ困難ニ遭遇シタルモ漸次改良ヲ加ヘ今日ニ於テハ優良品ナリト認ムルニ至レリ而シテ日立製作所ニ於テハ六百「ヴォルト」千「キロワット」廻轉變流機一臺ヲ十二年十一月納入シ幸ニ其ノ成績ハ良好ナルモ其ノ製品ノ數少ク且之カ設計製作ノ經驗乏シキ關係上價格多少廉價ナリシモ特ニ其ノ契約數ヲ減少シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ日立製作所ハ單ニ設計製作ノ經驗稍乏シト謂フニ過キスシテ本件註文品ノ製作ニ應スヘキ技能アルハ當局者亦自認スル所ナルヲ以テ同一物品ニ關シ低價ヲ以テ供給セムトスルモノナルニ特ニ之ヲ排除スルノ事由ナク假ニ技術上註文數量ノ一半ハ芝浦製作所ノ分ヲ採用シ置クコト安全ナリシト爲スモ其ノ價格ニ付テハ日立製作所ノ見積單價ニ應シ相當値引ヲ爲サシムヘキモノト認メラルルニ高價ノ見積ヲ以テ其ノ儘隨意契約ヲ締結シタルカ如キハ措置其ノ宜シキヲ得タルモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本機購入ニ際シテハ芝浦製作所外十名ヲ指定シ見積書ヲ徵シタルニ偶日立製作所ノ分最低價ナリシモ同所ヨリハ大正十二年六百「ボルト」千「キロワット」廻轉變流機一臺ヲ購入シタルニ過キス然ルニ芝浦製作所ヨリハ同八年頃ヨリ此ノ種ノ機械ヲ購入シ其ノ數量モ十三臺ノ多キニ及ヒ爲ニ設計製作共ニ多年ノ經驗ヲ有シ又同所ノ製作技能ハ斯界ノ認識スル所ナルニ依リ幾分價格ニ差異アリタルモノ之ヲ採用スルハ作業上頗ル安全ナルヲ以テ購入數量中一半ヲ二番札ナル前記芝浦ニ分割セルモノニシテ尙之カ單價ニ付テモ優良品ハ一般ニ高價ナルコト當然ニシテ殊ニ本機ノ如キ最モ精巧ニシテ微妙ノ作用ヲ爲スモノニ在リテハ多少ノ値引ヲ爲サシメタル結果製作上ニ於テ幾分遺憾ノ點アリテハ却テ不利ナルヲ以テ寧ろ當初ノ見積價格ニ依リ入念製作セシムルヲ得策ト認メタルモノナリ要スルニ本件ハ物品ノ特質ニ鑑ミ隨意契約ノ特點ヲ利用シタルモノナルヲ以テ敢テ不當ニ非ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(七一) 本項ニ於テ鐵道省ノ支出ニ係ル

收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

四五、七四五^四三一五
四二、〇四六^四二二五

ハ孰モ豫算額ニ超過シ支出セル俸給額ニシテ其ノ流用増額ニ關シ會計規則第三十九條及大正十二年六月勅令第三百五號ニ依ル大藏大臣ノ承認ヲ經サルモノナリ右ニ關シ當局者ノ事由トスル所ハ本件俸給決算額ノ豫算額ニ超過セルモノニ關シテハ他ノ各目中俸給豫算剩餘ヨリ之ヲ流用セルモノニシテ同一名稱ノ費途ニ屬シ會計規則第三十九條ニ所謂他ノ費途ニ非サルヲ以テ大藏大臣ノ承認ヲ經ルノ限ニ在ラスト謂フニ在リ然レトモ本件各目流用ノ蹟ヲ見ルニ用品勘定ニ於ケル用品費俸給豫算超過ハ參萬七千餘圓ナルモ本費ニ對シテハ他目ヨリ流用シタルモノナク工作費俸給豫算超過額八千六百餘圓ハ用品費ヨリ流用シタルモノナルモ同費ノ俸給決算ハ既ニ其ノ俸給豫算ヲ超過セルノ状態ニ在リ又收益勘定ニ於ケル車輛修繕費及旅館費俸給豫算超過額ハ九千六百餘圓ナルモ本費ニ對シテハ他目ヨリ流用シタルモノナク病院及治療所費俸給豫算超過額參萬貳千四百餘圓ハ車輛修繕費ヨリ流用シタルモノナルモ同費ノ俸給決算ハ既ニ其ノ俸給豫算ヲ超過セルノ状態ニシテ本件超過額ハ孰モ他ノ各目中俸給剩餘額ヨリ流用シタルモノニ非ス右ハ大正十四年度検査報告ニ詳悉セシ如ク會計規則第三十九條及十二年勅令第三百五號ノ定アルニ拘ラス任意他ノ費途ヨリ流用シ豫算ヲ超過シテ俸給ノ支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス (大正十四年度(七五)參照)

【辨明】

本件各項ノ金額中用品勘定ニ於テ用品費ノ參萬七千餘圓及工作費ノ八千六百餘圓ノ不足ニ對シテハ電氣費ノ俸給豫算ヨリ壹萬八千餘圓ヲ流用シタルモ結局同勘定ニ於テ貳萬七千六百餘圓ノ豫算超過トナリタルハ甚ダ遺憾ノ次第ナルモ 收益勘定ニ於ケル總係費、病院及治療所費ノ不足ニ對シテハ運輸費ヨリ又車輛修繕費及旅館費ノ不足ニ對シテハ汽車費ヨリ各其ノ俸給ヲ夫々流用シタルモノニシテ現ニ同勘定各目ノ俸給豫算額千七百九拾九萬餘圓ニ對シ之カ決算額ハ千六百八拾參萬餘圓ト爲リ百拾五萬餘圓ノ殘餘ヲ生シタルノ計算ナリ要スルニ右ハ孰モ各目ニ於ケル同一費途タル俸給豫算額ノ流用増減ニ止マルモノニシテ豫算超過ノ支出ヲ爲シタルモノニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○會計規則(大正十一年一月九日勅令第一號)

第三十九條 勅令ヲ以テ指定シタル費途ニ對シテハ大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ之ニ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得

大藏大臣前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ之ヲ會計検査院ニ通知スヘシ

○大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得サル費途ノ件(大正十二年六月十三日勅令第三百五號)

左ノ名稱ノ費途ニハ大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得ス

一 俸給

收益勘定

歳入

第一款 鐵道作業收入 第二項 雜收入

【報告】

(七二) 鐵道省ノ收入ニ係ル

八四、一九九^四六二〇

ハ門司鐵道局管内若松外四驛構内貯炭場四萬六千三百七十一坪ニ對スル使用料金ナリ右料金ハ一箇月平均一坪拾五錢餘ニ當リ著シク低價ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

門司局管内貯炭場ハ大部分九州鐵道株式會社ヨリ引繼ヲ受ケ當業者ニ使用セシメ居ルモノニシテ右會社時代ニ於テハ會社ト當業者間ニハ特殊ノ關係アリテ其ノ料金頗ル低廉ナリシモノト認メラル而シテ國有後ニ於テハ當時附近ノ地代及其ノ他設備等ヲ相當考慮ノ上料金ヲ制定シタルモ其ノ後時勢ノ進運ニ伴ヒ之カ改定ノ必要ヲ認メ再三其ノ調査ヲ爲シタルモ石炭ハ運賃諸掛等ニ比較的多額ノ費用ヲ要シ自然其ノ價格ヲ昂上スルコトト爲リ爲ニ當業者ヨリハ却テ運賃ノ低減ヲ要求セラルルノ狀況ニシテ殊ニ炭界不況ノ時期ニ際シ之カ値上ハ深甚ナル考慮ヲ要スヘキモノト認メ其ノ儘今日ニ至リタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件使用料ハ一箇月一坪當拾五錢餘ナルニ對シ札幌鐵道局管内手宮外三箇所ノ分ハ貳拾八錢餘ニシ

テ格段ノ差異アルノミナラス大正十五年中ノ各地貯炭場各月末平均貯炭高ヲ觀ルニ本件貯炭場ノ中若松及戸畑ニ於テハ三十萬三千餘噸使用許可地一坪當十七噸餘室蘭ニ於テハ十三萬六千餘噸一坪當四噸七分手宮ニ於テハ八萬九千餘噸一坪當七噸四分ノ狀況ニシテ本件貯炭場ノ利用率著シク大ナルニ却テ之カ使用料金ヲ低價ニ決定スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス其ノ他ノ各驛料金モ殆ト之ト同様ノ狀況ニ在リ要スルニ本件ハ料金ノ決定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件貯炭場ノ大部分ハ九州鐵道株式會社ニ於テ頗ル低廉ナル料金ニテ營業者ニ使用セシメ居タルヲ以テ國有當時附近ノ地代其ノ他ノ設備等ヲ斟酌シ適當ナル料金ヲ制定シタルニ其ノ後時勢ノ變遷ニ伴ヒ之カ改定ノ調査ヲ爲シタルモ石炭價格ノ高低ハ產業振興及國民經濟上ニ及ボス影響甚カラサルニ依リ成ルヘク其ノ運賃及諸掛リヲ低廉ナラシムルヲ得策トスルノミナラス營業者ヨリモ運賃低減ヲ要求セラシムルノ實狀ニ徴シ殊ニ戰後引續キ不況ナル炭界ニ對シ之カ値上ヲ爲スハ甚タ至難ナルヲ以テ其ノ儘今日ニ及ヘル次第ナルモ將來適當ノ時期ニ於テ相當改定ヲ爲スヘキ見込ナリ尙貯炭場以外ノ各驛構内用地ニ對スル一般使用料金ニ付テハ其ノ後各地方ノ狀況變化シタルモノアルヲ以テ昭和二年三月之カ料金ヲ改定シ同年七月ヨリ實施シタル爲現今ニ於テハ別ニ低廉ニ失スルモノアルヲ認メス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

歳出

第一款 鐵道作業費 第一項 事業費

【報告】 (七三) 鐵道省ノ支出ニ係ル

七〇、〇八〇、〇〇〇

ハ日本旅行協會ヨリ大正十五年八月以降購入シタル汽車時間表十二萬部ノ代金ナリ從來時間表ハ凸版印刷株式會社ニ單價五拾錢ヲ以テ請負ニ付シ一箇月一萬二千部ヲ納付セシメ其ノ餘ノ増刷ハ同協會ヲシテ同價ヲ以テ民間ニ販賣セシメタルモ十五年八月中全國ニ互リ時刻改正ヲ爲シタルヲ機會トシ其ノ示様形式ヲ變更スルヲ理由トシテ同協會ヲシテ直接之カ印刷製本ヲ請負ハシメ一箇月納本一萬五千部ヲ單價五拾八錢四厘トシ其ノ餘ノ増刷ハ同協會ヲシテ單價參拾錢ヲ以テ民間ニ販賣セシムルコトト爲シタルモノナリ依テ之カ事由ニ關シ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ改正示様ニ依ル冊子ノ形式ハ當時日本旅行協會ニ於テ工夫考案シタルモノナルノミナラス同協會ハ全國各地ノ交通機關ト密接ナル關係ヲ有スル事業ニ從事シ居ルカ爲時間表ノ編纂ニ對シ特別ノ知識ヲ有シ且又本表頒布ノ上ニモ多大ノ便宜アルヲ以テ之カ印刷ヲ請負ハシメタルモノニシテ元來本時間表ハ驛旅客待合室揭示用及旅客關係從事員執務參考用トシテ調製シタルモノナルヲ以テ之カ製版其ノ他印刷ニ要スル一切ノ費用ハ當省ニ於テ負擔セリ然ルニ當省納入品印刷ヲ了ヘタル後該鉛版ヲ空シク潰滅セシムルハ當省ニ不經濟ナルノミナラス之ヲ利用シテ増刷ヲ爲シ一般利用者ニ販賣スルコトトセハ獨リ世上ノ便益ヲ増進スルノミナラス鐵道ノ宣傳トモナルヘキヲ以テ一般販賣品ニ對シテハ廣告收入ヲ以テ損失ヲ補填セシムルコトトシ賣價ヲ引下ケシメタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ省納入品一部五拾八錢四厘ト爲シタル計算ノ基礎ヲ見ルニ毎月製版代五千拾圓一部當參拾參錢四厘及印刷製本代參千七百五拾圓一部當貳拾五錢ト爲シアルモ時間表ハ其ノ性質上當初組版後ハ時間改正ノ都度僅少ノ補正ヲ以テ足ルヘキモノト認メラルルニ拘ラス毎月本文三百五十頁ノ改版ヲ要スルモノトシテ此ノ製版代四千貳百圓及紙型鉛版鍍金代貳百四拾五圓ヲ見積リアルカ如キ又表紙及地圖ニ在リテモ前者ハ毎月製版料及凸版料七拾五圓後者ハ毎月銅版料、製版料四百九拾圓ヲ計上シアルカ如キ孰モ請負價格ヲ不當ニ高價ナラシムルモノニシテ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス加之一般販賣品一部參拾錢ニ就キテハ僅ニ廣告收入ヲ以テ協會ノ損失ヲ補填スルモノナリト謂フモ増刷ニ對シテハ別ニ製版代ノ要ナク單ニ印刷製本代ノミヲ以テ足り之カ見積代價ハ一部貳拾五錢ナルヲ以テ同協會ニ於テ參拾錢ニ販賣スルニ於テハ毫モ損失ヲ來スヘキモノト認メ難ク隨テ多額ノ廣告料收入ハ同協會ノ利益ト爲ルノ計算ニシテ當局者答辯ノ事由ハ之ヲ認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件汽車時間表ハ主トシテ省線各驛旅客待合室揭示用及旅客關係從事員執務用トシテ調製シタルモノナルニ從來發行ノモノハ其ノ形式菊版十二頁掛ケト稱スル橫長冊子(寸法縱約六寸五分橫約七寸五分)ナル爲之ヲ披見スルニ當リテ橫幅廣キニ過キ且ツ携帶上ニ於テモ不便極カラサリシ爲屢之カ改正方要望アリ然ルニ偶日本旅行協會ニ於テ工夫考案シタル小型版ハ其ノ形式適當ナルノミナラス索引其ノ他ニモ幾

大正十五年 帝國鐵道 (七三)

大正十五年 帝國鐵道 (七三)

多改良セラレタル點アリタルヲ以テ之ヲ採用スルコトシ右ニ依リ築地活版製造所外二名ヨリ見積書ヲ徴シタルニ日本旅行協會ノ見積最
低ナリシヲ以テ之ト購入契約ヲ締結シタルモノナリ而シテ其ノ購入價格ノ増額ハ從來ノ分ニ比シ紙數ノ増加ヲ來シタル爲ニシテ之カ製版
代ニ付テハ既往ノ實績ニ徴シ殆ト各月ニ互リ新驛ノ開業時間ノ改正等行ハレ從テ之ニ因ル一部ノ改訂ハ本冊子ノ性質上全般ニ影響スルモ
ノナルヲ以テ一箇年間ヲ通シ之ニ要スル費用ヲ考慮ノ上之カ單價ヲ査定シ又一般販賣品ニ對シテハ荷造運搬費ノ負擔及賣残り返本ノ損失
並小賣人ニ交付スル手數料等尠カラサル失費ヲ要スルニ依リ廣告料金ニテ其ノ一部ヲ充當補填セシムルコトト爲シタルモノナルヲ以テ單
ニ印刷費販賣定價トノ差ニ依リ之カ損益ヲ計算スヘキモノニ非ス要スルニ本件ハ孰モ相當ノ事實ヲ基礎トシ之カ價格ヲ算定シタルモ
ノニシテ何等不當ニ非ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

一般會計及特別會計歳出ニ共通スル事項

一般、特別兩會計ヲ通シ官吏ニ對シ賞與又ハ慰勞手當等トシテ給與シタルモノノ内豫算ノ使用其ノ當ヲ得スト認ムルモノ
尠カラズ即チ左ノ如シ

一般會計

- 外務省所管一件(七四) 三四、七六五〇〇〇
- 内務省所管二件(七五)(七六) 八一七、二〇三五〇〇
- 大藏省所管二件(七七)(七八) 六七六、二一七〇一〇
- 陸軍省所管一件(七九) 三一、四二九八三〇
- 海軍省所管一件(八〇) 三四、一三九六二〇
- 文部省所管一件(八一) 二四、四六八〇〇〇
- 農林省所管二件(八二)(八三) 五八〇、三四四〇〇〇

商工省所管一件(八四)

二八五、七七四〇〇〇

逓信省所管一件(八五)

一八〇、五七〇〇〇〇

合計十二件

二、六六四、九一〇九六〇

特別會計

大藏省所管

造幣局一件(八六)

一一九、八八五五三〇

印刷局一件(八七)

四五八、二九一五〇〇

專賣局一件(八八)

一、五〇六、四九七〇〇〇

大藏省預金部一件(八九)

一四、二六六五四〇

國債整理基金一件(九〇)

六〇、〇二九七〇〇

賠償金一件(九一)

二五、〇一二三七〇

朝鮮總督府一件(九二)

九三、〇一七〇〇〇

樺太廳一件(九三)

三九、〇三〇〇〇〇

農林省所管

米穀需給調節一件(九四)

八九、八六四〇〇〇

商工省所管

製鐵所一件(九五)

一、六〇一、四一一三四〇

逓信省所管

簡易生命保險一件(九六)

一八三、五四一五四〇

大正十五年 一般會計及特別會計歳出ニ共通スル事項

一〇五

帝國鐵道一件(九七)
合計十二件
總計二十四件

一五、九九一、六四一五六〇
三〇、一八二、四八八〇八〇
三二、八四七、三九九〇四〇

一般會計

外務省所管

【報告】(七四) 歲出經常部第三款國際聯盟常設機關諸費第二項國際聯盟常設軍事委員會費ニ於テ外務省ノ支出ニ係ル

歲出臨時部第五款講和條約實施費第一項講和條約實施費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、〇三四〇〇〇

第六款移民保護獎勵費第一項移民保護獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二四、五〇四〇〇〇

第十一款國際會議諸費第二項支那關稅特別會議參列費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 七、八四七〇〇〇

【辨明】 本件ハ何レモ講和條約實施及國際會議事務等ニ關シ異常ノ勤勞アリタルモノニ對シ慰勞ノ意味ニ於テ各當該事務ニ關スル豫算額中ヨリ支出シタル金額ニ有之右ハ已ムヲ得サル處置ニシテ豫算ノ目的ニ反スルモノト認メ難シ

內務省所管

【報告】(七五) 歲出經常部第三款內務本省第四項史蹟名勝天然紀念物調查及保存費ニ於テ內務省ノ支出ニ係ル

第四款社會局第二項事務費ニ於テ社會局ノ支出ニ係ル 一、四九〇〇〇

第十款職業紹介事務局第二項事務費ニ於テ中央職業紹介事務局外一箇所ノ支出ニ係ル 一、一〇〇〇〇

第十一款地方廳第五項小笠原島地方費ニ於テ東京府小笠原支廳ノ支出ニ係ル 一、〇四五〇〇〇

歲出臨時部第十八款社會事業調查及獎勵諸費第一項社會事業調查及獎勵諸費ニ於テ社會局ノ支出ニ係ル 二二八〇〇〇

第二十一款工場災害豫防竝工場及鑛業衛生調查費第一項工場災害豫防竝工場及鑛業衛生調查費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 二、一四〇〇〇

第二十三款健康保險法實施準備費第一項健康保險法實施準備費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 一、三一五〇〇

第二十四款勤儉獎勵費第一項勤儉獎勵費ニ於テ同局外一箇所ノ支出ニ係ル 五、六九〇〇〇

第二十九款帝都復興事業費第一項東京復興費ニ於テ復興局ノ支出ニ係ル 三、四五五〇〇〇

第二項橫濱復興費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 一八三、四二二〇〇〇

【辨明】 歲出臨時部第二十九款帝都復興事業費第一項東京復興費第二項橫濱復興費ニ於テ現業ニ從事セル官吏ニ對シ慰勞金ヲ支給シタルハ帝都復興ノコトタル一日モ忽ニスヘカラス而カモ其ノ事業タル全ク未曾有ノモノニ屬シ頗ル複雑廣汎ナルモノアルヲ以テ關係職員ハ常時格別ノ各項豫算中ニハ此ノ如キ給與ヲ包含セサルヲ以テ豫算ノ目的ニ反スルモノト謂ハサルヲ得ス

努力ヲ爲シツツアリ之等格別ノ勤勞ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ給與スルハ當然ノ措置ナリト認メタルニ因ル而シテ本項豫算ニハ此ノ目的ノ爲ニ相當額ヲ計上シアルヲ以テ本件支出ハ敢テ豫算ノ目的ニ反スルモノニアラス
歳出經常部第三款內務本省外七款ニ對シテハ前年度批難事項一般會計及特別會計ニ共通スル事項一般會計內務省所管歳出經常部第四款社會局外五款(一)ニ於テ辨明セシ通 (大正十四年度七九參看)

【報告】

- (七六) 歳出臨時部第二款治水事業費第一項事務費ニ於テ內務省外七箇所ノ支出ニ係ル 九八、五六六〇〇
- 第三款港灣改良費第七項境港修築費ニ於テ大阪土木出張所ノ支出ニ係ル 二、〇七二〇〇
- 第四款道路改良費第一項道路改修及助成費ニ於テ內務省外一箇所ノ支出ニ係ル 九、七五〇〇〇
- 第五款道路港灣調査費第一項道路港灣調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、二八一〇〇
- 第六款都市計畫調査費第一項都市計畫調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 四、九二二〇〇
- 第七款北海道拓殖費第一項殖民費ニ於テ北海道廳外十四箇所ノ支出ニ係ル 五、七三四〇〇
- 第二項森林費ニ於テ同廳外十四箇所ノ支出ニ係ル 八五、六三九〇〇
- 第三項產業費ニ於テ同廳外九箇所ノ支出ニ係ル 三七、九八三〇〇
- 第四項土地改良費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 二〇、三九〇〇〇
- 第五項道路橋梁費ニ於テ同廳外八箇所ノ支出ニ係ル 七四、〇〇六〇〇
- 第六項河川費ニ於テ同廳外八箇所ノ支出ニ係ル 一四、八四一〇〇
- 第七項治水費ニ於テ同廳外二箇所ノ支出ニ係ル 一八、一七二〇〇
- 第八項港灣費ニ於テ同廳外十箇所ノ支出ニ係ル 三一、二一六〇〇
- 第十項調査費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 三、四八九〇〇
- 第十款臨時神費第四項吉野神宮修築並境內整理費ニ於テ內務省ノ支出ニ係ル 八八七〇〇

- 第五項長田神社殿火災復舊費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、五一七〇〇
- 第十二款神社制度調査費第一項神社制度調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、六二五〇〇
- 第十三款傳染病豫防費第一項傳染病豫防費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、七五八〇〇
- 第十四款衛生事業調査及獎勵諸費第一項醫藥品製造及藥用植物試驗費ニ於テ東京衛生試驗所ノ支出ニ係ル 六、〇五五〇〇
- 第二項保健衛生調査及獎勵諸費ニ於テ內務省ノ支出ニ係ル 三、〇一九〇〇
- 第十六款開墾監督費第一項開墾監督費ニ於テ東京府外四十三箇所ノ支出ニ係ル 二、〇六四〇〇
- 第十七款地方制度及財政調査費第一項地方制度及財政調査費ニ於テ內務省ノ支出ニ係ル 五、三二一〇〇
- 第二十五款警察特別施設費第一項警察特別施設費ニ於テ同省外二十七箇所ノ支出ニ係ル 二六、〇三八五〇
- 第二十六款特殊財産管理費第一項特殊財産管理費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、〇一五〇〇
- 第三十四款震災復舊諸費第一項內務本省其他復舊事務費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 四、〇六〇〇〇
- 第三項横濱港復舊及修築費ニ於テ同省外一箇所ノ支出ニ係ル 七、五八五〇〇
- 第四項官國幣社復舊費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二、九四〇〇〇
- 第三十八款臨時警察費第一項臨時警察費ニ於テ警視廳外三箇所ノ支出ニ係ル 二〇、一六一〇〇
- 第三十九款震災地住宅事務處辦費第一項震災地住宅事務處辦費ニ於テ社會局外一箇所ノ支出ニ係ル 一、四一〇〇〇
- 第四十款震災地市街地建築物法施行費第一項震災地市街地建築物法施行費ニ於テ警視廳外一箇所ノ支出ニ係ル 一六、八八八〇〇
- 第四十一款明治神宮外苑工事施行費第一項明治神宮外苑工事施行費ニ於テ內務省ノ支出ニ係ル 三、〇七三〇〇

計五拾八萬四千四百七拾七圓五拾錢ハ前掲各廳所屬官吏ニ對シ賞與トシテ支給シタルモノナルモ右支出總額中俸給豫算ノ殘餘ヲ以テシタルモノ參拾貳萬五千餘圓ニ止リ貳拾五萬六千餘圓ハ事業費、事務費等ヲ流用シテ支出シタルモノニシテ豫算使用上妥當ノ措置ト認メ難シ

【辨明】 本件ハ前年度批難事項一般會計及特別會計ニ共通スル事項一般會計內務省所管歲出臨時部第二款治水事業費外二十款(ニ)ニ於テ辨明セシ通ニシテ本年度事務費等ヨリ賞與ニ充當シタル金貳拾五萬六千餘圓ハ賞與總額金百七拾壹萬參千餘圓ノ一割四分俸給總額金千貳百四萬九千餘圓ニ對シテハ僅カ二分一厘ニ過キス (大正十四年度八〇參書)

大藏省所管

【報告】

(七七) 歲出經常部第一款大藏本省第二項事務費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

第五項關稅調查委員會費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第二款內閣第二項事務費ニ於テ內閣ノ支出ニ係ル

第四項高等試驗費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

第五項文官懲戒費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

歲出臨時部第一款營繕費第一項議院建築費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル

第二項神戶稅關陸上設備費ニ於テ同局及神戶出張所ノ支出ニ係ル

第三項門司稅關陸上設備費ニ於テ同局門司出張所ノ支出ニ係ル

第四項稅務署廳舍其他新營費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル

第五項長崎稅關廳舍其他新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第六項造幣局工場其他改築費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第七項專賣局工場其他新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

七七〇〇〇〇
一五、一九七〇〇〇
七、七三五〇〇〇
一九一〇〇〇
九六〇〇〇
三、一七七〇〇〇
三、二五六〇〇〇
一、七二六〇〇〇
四六五〇〇〇
八〇二〇〇〇
一、二二〇〇〇〇
六三九〇〇〇

第九項帝國學士院新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第十項農事試驗場建物其他新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第十一項新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第十二項修繕費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第十三項中央諸官衙建築費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第十四項私設電話交換裝置改造費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第十五項司法省構內敷地整理費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第十六項商事調停事務取扱所新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第二款調查費第一項臨時秩祿處分調查費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

第三項臨時法制審議會諸費ニ於テ內閣ノ支出ニ係ル

第四項文政審議會諸費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

第八項寺院境內地讓與審查會諸費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル

第九項行政調查會諸費ニ於テ內閣ノ支出ニ係ル

第十項中央諸官衙建築準備調查諸費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル

第十二項國家總動員機關設置準備委員會諸費ニ於テ內閣ノ支出ニ係ル

第十三項金融制度調查會諸費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

第十四項土地賃貸價格調查費ニ於テ東京外六稅務監督局ノ支出ニ係ル

第七款國有財產整理費第一項國有財產整理費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル

第九款震災復舊諸費第一項橫濱稅關上屋其他復舊費ニ於テ同局及橫濱出張所ノ支出ニ係ル

二二三、一四二〇〇〇
一一、二六四〇〇〇
四、五三五〇〇〇

七、三二〇〇〇〇
三、三八五〇〇〇
五、六一〇〇〇〇
七、四八〇〇〇〇
一、〇四〇〇〇〇
二、二五〇〇〇〇
一、七九〇〇〇〇
一八〇〇〇〇
三五〇〇〇〇
一、九八〇〇〇〇
九七〇〇〇〇
一三、七六四〇〇〇
一、六〇〇〇〇〇
四、〇八九〇〇〇
七三三〇〇〇
七二五〇〇〇

- 第二項稅務署廳舍復舊費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル 一三五〇〇〇
- 第四項印刷局廳舍及工場其他復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 六、二九三〇〇〇
- 第五項專賣局所屬工場其他復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 六、九六二〇〇〇
- 第七項神奈川縣爆炸物貯庫其他復舊費ニ於テ同局橫濱出張所ノ支出ニ係ル 三二二〇〇〇
- 第八項陸軍各部隊建造物復舊費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル 一、四六〇〇〇〇
- 第十項海軍學校其他建造物復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 一、〇三四〇〇〇
- 第十一項裁判所復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 一四二〇〇〇
- 第十二項水産講習所其他復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 八〇〇〇〇
- 第十款震災復舊及新營費第二項通信官署其他新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 七、二八五〇〇〇
- 第三項生絲検査所新營費ニ於テ同局及橫濱出張所ノ支出ニ係ル 四、三五〇〇〇
- 第十二款内閣敍動者名簿整理費第一項内閣敍動者名簿整理費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル 四一五〇〇〇
- 第十三款災害費第六項貴族院及衆議院建造物火災復舊並應急諸費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル 三〇〇〇〇
- 第十九款恩給臨時取扱諸費第一項恩給臨時取扱諸費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル 八八四〇〇〇
- 計參拾五萬五千貳百六拾壹圓ハ内閣、大藏本省、營繕管財局及各稅務監督局ニ於テ其ノ所屬廳又ハ他官廳ノ官吏ニ對シ慰勞金等トシテ給與シタル金額ニシテ内閣ニ於テ支出セルモノ貳萬貳千六百拾五圓大藏省ニ於テ支出セルモノ貳萬參千四百六拾七圓營繕管財局及其ノ出張所ニ於テ支出セルモノ八萬六千參拾七圓各稅務監督局ニ於テ支出セルモノ貳拾貳萬參千四百四拾貳圓ナリ前掲諸經費中第二款内閣第二項事務費外三十項ニ於テハ慰勞金ノ積算ナキニ七萬七千餘圓ヲ支出シ恩給臨時取扱諸費ハ前年度ヨリ繰越ニ係ルヲ以テ暫ク之ヲ除キ第一款大藏本省第二項事務費外十一項ニ於テハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ積算セルモノ貳拾五萬五千餘圓ナルニ官吏ニ對シ貳拾七萬七千餘圓官吏以下通シテ四拾八萬餘圓ヲ支出スルカ如キハ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス右ノ外營繕管財局ニ於テ官制上又ハ豫算上規定ナキ國有財產評價委員會ヲ設置シ其ノ委員幹事及書記ノ手當トシテ六千六百四拾圓ヲ給與シ之カ經費ハ臨時部ニ於ケル中央諸官衙建築費、國有財產整理費、印刷局廳舍及工場其他復舊費及陸軍各部隊建造物復舊費ニ割當テ支辨セルモノアリ

【辨明】

豫算中慰勞金ノ積算ナキニ拘ラス之カ支出ヲナシタリトアルモノニ付テハ各目明細書中ニ掲記ナキノ故ヲ以テ慰勞金ノ積算ナシト爲シタルカ如キモ各目明細書ニ明記ナキノト雖豫算額算定ノ基礎ニ於テハ慰勞金ヲモ包含セルモノナルヲ以テ各目明細書ニ掲記ナキノ故ヲ以テ直ニ慰勞金ノ積算ナシト謂フヲ得ス而シテ慰勞金ノ支出額ハ其ノ豫算額ニ比シ超過ヲ示スト雖實際ノ經理ニ當リ支出額カ豫算額ニ對シ過不足ヲ生スルハ免ルルヲ得サル所ニシテ豫算上目以下ニ屬スルモノニ付キテ其ノ過不足ハ彼此流用處辨シ實際ノ所要ニ適合セシムルハ通例ノ事態ニ屬シ却テ豫算上經費ノ餘裕ヲ見積ル如キ弊ヲ防止スルノ效アルモノトス依テ實際支出額カ豫算額ニ比シ増加スルコトアリト雖之ヲ以テ不當ナリトナスヲ得サルナリ尙其ノ慰勞金ノ支出ヲ必要トシタル事由ニ付テハ大藏本省、内閣及營繕管財局等ニ於テ各其ノ複雜廣汎ナル事務ノ支障ナキ進捗ヲ圖ルニ付當務者ノ勞苦ノ多大ナルモノアルハ勿論事務ノ進行上當務者以外ノ職員ヲシテ其ノ一部ヲ補助セシメタルコト多ク其ノ盡力モ亦看過スルヲ得サルモノアリシヲ以テ之ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ給與スルハ當然ノ措置ナリト認メタルニ依ルモノナリ而シテ支出額カ比較的多額トナリシハ給與ヲ要スル人員ノ多カリシニ依ルモノニシテ給與ノ公平ヲ期スル上ニ於テ已ムヲ得サル事情アリシニ外ナラス次ニ國有財產評價委員會ノ委員其ノ他ニ對シ支給シタル手當ニ關シテハ營繕管財局ニ於テ處理スヘキ國有財產ノ評價並其ノ管理處分ノ條件ニ關スル事項ノ調査審議ハ其ノ嚴正公平ヲ期スヘキハ勿論ナルモ尙之カ實行ヲ確保センカ爲大藏省内ニ國有財產評價委員會ヲ設ケ大藏部内ノ官吏ヲ以テ委員等トシ調査審議ヲ慎重ナラシメタリ而シテ其ノ議ニ付シタル案件モ相當多數ニ上リ其ノ勞多大ナルモノアリシヲ以テ之ニ對シ手當ヲ支給シタルモノニシテ其ノ支出科目ニ付テハ夫々調査審議シタル事項ノ屬スル各費目ニ豫算セル給與中ヨリ支出セルモノナルヲ以テ經理上不當ノ措置ニアラス要スルニ本件支出ハ豫算ノ目的ニ反セス且ツ其ノ給與額ハ關與シタル事務ノ實情ニ稽ヘ相當ト認ムル程度ニ止メ特ニ多額ヲ支給シタルモノニアラサルヲ以テ不當ナリトナスヲ得ス

【報告】

- (七八) 歳出經常部第八款稅關第六項特派官吏費ニ於テ橫濱外五稅關ノ支出ニ係ル 八三、五八七〇一〇
- 歳出臨時部第二款調査費第二項國勢調査費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル 一五、二九五〇〇〇
- 第五項區劃整理土地處分調査費ニ於テ東京稅務監督局ノ支出ニ係ル 六、四三二〇〇〇

第七項失業統計調査費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル

一一四

第十四項土地賃貸價格調査費ニ於テ大藏省及東京外六稅務監督局ノ支出ニ係ル

一三五〇〇〇

第七款國有財産整理費第一項國有財産整理費ニ於テ營繕管財局及東京外六稅務監督局ノ支出ニ係ル

一六九、六八六〇〇〇

第十二款内閣敍勤者名簿整理費第一項内閣敍勤者名簿整理費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル

五五、六八一〇〇〇

計參拾貳萬九百五拾六圓壹錢ハ前掲各廳所屬官吏ニ對シ賞與トシテ支給シタルモノナルモ右支出總額中俸給豫算ノ殘餘ヲ以テシタルモノ拾貳萬九千餘圓ニ止リ拾九萬千餘圓ハ雜給及雜費等ヨリ流用支出シタルモノニシテ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス

一四〇〇〇〇

【辨明】

官吏ニ對スル賞與ハ俸給ノ殘額ヲ以テ支辨スルヲ原則トシ實行シツツアルモ定員充實ノ關係等ニ依リ俸給豫算ノ殘額僅少ナル場合ニ於テハ給與ノ均衡ヲ圖ルノ必要上已ムヲ得ス他ノ費目ニ於ケル剩餘額ヲ以テ流用支辨スルヲ例トセリ右ハ賞與ノ如ク當初ヨリ之ヲ豫算セス他ノ費目ニ剩餘ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ流用支辨スルノ慣行アルモノニ付テハ實際ノ經理上已ムヲ得サル措置ニ屬シ豫算ノ流用ヲ許サレタル範圍ニ於テ實行シタルモノナルヲ以テ之ヲ不當ナリトナスヲ得ス

陸軍省所管

【報告】

(七九) 歳出臨時部第二款國防充備費第三項要塞整理費ニ於テ近衛師團經理部外一箇所ノ支出ニ係ル

七一四、五〇〇

第四項兵器充實費ニ於テ同部外一箇所ノ支出ニ係ル

一五、五九六、六二〇

第五款軍備改編費第一項軍備改編費ニ於テ同部外四箇所ノ支出ニ係ル

一一、三四二、二四〇

第六款震災復舊費第一項各部隊建造物其他復舊費ニ於テ同部外一箇所ノ支出ニ係ル

三、七七六、四七〇

計參萬千四百貳拾九圓八拾參錢ハ前掲各廳所屬官吏ニ對シ賞與トシテ支給シタルモノナルモ右支出額中俸給豫算ノ殘餘ヲ以テシタルモノ壹萬貳千八百餘圓ニ止リ壹萬八千五百餘圓ハ事務費、建築費等ヨリ流用支出シタルモノニシテ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス

【辨明】

本件賞與ハ經常部支辨ノ者トノ均衡上從來ノ慣例ニ倣ヒ同一款項内ノ事務費等ニ於テ節約ノ結果生シタル剩餘ヲ流用シ之ニ充當シタルモノニシテ失當ノ措置ト認メ難シ

海軍省所管

【報告】

(八〇) 歳出經常部第二款軍事費第一項俸給ニ於テ海軍省經理局ノ支出ニ係ル

三四、一三九、六二〇

ハ海軍本省勤務ノ職員ニ支給シタル賞與ナリ右ハ本費ヨリ俸給ヲ受ケサル職員ニ對シ軍事費事務ニ從事セシメタルヲ事由トシ支給シタルモノナルモ右官吏カ此等ノ所管事務ニ關與スルハ職務上當然ナルノミナラス海軍本省俸給豫算ヨリ支出セル賞與ハ四千六百餘圓ニ過キサルニ依リ之ヲ觀レハ本費豫算ノ餘裕ヲ以テ所屬俸給豫算ノ不足ヲ補充シタルモノト認メサルヲ得ス右ノ外航海加俸ニ於テ多額ノ剩餘ヲ生シ賞與ニ流用支出セルモノ九拾貳萬貳千餘圓ニ及ヘルモノアリ

【辨明】 本件ハ昨年度決算ニ於テモ批難ヲ受ケタルモノナルカ軍事費關係事務ニ從事シテ勤勞アリシモノニ軍事費俸給豫算ノ殘額ヲ以テ賞與セルモノニシテ關係科目ヨリ支出セルモノナレハ敢テ違例ニ非スト信ス
尚航海加俸ハ其ノ年度ニ於ケル艦船行動ノ如何ニ依リ支出ニ増減アルハ免レサル所ニシテ之カ殘餘ハ即チ俸給豫算ノ殘額ナルヲ以テ賞與ニ充當スルモノ何等不可ナキモノト信ス

文部省所管

【報告】

(八一) 歳出臨時部第一款營繕費第四項直轄學校防火施設費ニ於テ文部省ノ支出ニ係ル

一、三二〇、〇〇〇

第五項直轄學校備外國人教師官舎新營費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

七六〇、〇〇〇

第六項京都高等工藝學校移轉改築費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

一五五、〇〇〇

第七項明治專門學校擴張費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

一、〇一五、〇〇〇

第八項上田蠶絲專門學校蠶絲化學教室其他新營費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

六八、〇〇〇

第九項直轄學校舎其他改築費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

五八五、〇〇〇

第十項新營費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

三九三、〇〇〇

- 第十一項修繕費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一一六
- 第二款高等諸學校創設及擴張費第一項事務費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、二八二
- 第十款災害費第一項東京高等師範學校火災復舊費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、八〇〇
- 第十一款震災復舊諸費第二項東京帝國大學復舊諸費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、八四〇
- 第三項東京商科大学其他復舊諸費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二、六四五
- 計貳萬四千四百六拾八圓ハ文部本省等勤務ノ官吏ニ對シ支給シタル事務勉勵手當ニシテ前掲諸經費中雜給雜費又ハ事務費豫算ヨリ支出シタルモノナルモ該豫算ハ孰モ直接其ノ事務ニ從事スル所屬雇員、囑託員以下ノ給料、手當、旅費其ノ他雜費等ヲ計上セルモノニシテ此等官吏力其ノ事務ニ從事スルハ當然ノ職務ニ過キサルヲ以テ之ヲ本費ノ支辨ト爲スカキハ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス 八、六〇五

【辨明】 元來前掲諸經費中ニ掲上セル雜給及雜費事務費中ノ手當ハ必スシモ雇員囑託員以下ノ職員ノミニ限リタルモノニアラスシテ此等ノ事務ニ關與シタル者ニ給スヘキ諸手當ノ全部ヲ包含スルモノナルカ故ニ雇員タルト官吏タルトヲ問ハス苟モ此等ノ事務ニ從事シ格別勉勵シタル者ニ對シテハ手當ヲ給スルハ敢テ支障ナキモノト認ム

農林省所管

- 【報告】 (八二) 歳出經常部第二款森林費第三項事業費ニ於テ農林省及青森外五營林局ノ支出ニ係ル 三二四、九七一
- 歳出臨時部第一款産業獎勵費第一項農事改良獎勵費ニ於テ同省及農事試驗場ノ支出ニ係ル 八、九九七
 - 第二款開墾及土地改良費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一一、一九六
 - 第三款蠶絲業改良獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 六、〇四五
 - 第四項畜産増殖獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 四〇〇
 - 第五項緬羊飼育獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一一、六六六

- 第七項遠洋漁業獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、四七〇
- 第九項漁業組合事業改良獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二〇〇
- 第十項水産冷蔵獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 七一〇
- 第十四項漁業用發動機檢査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、九五五
- 第十五項水産増殖獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、五三〇
- 第二款農村振興費第二項事務費ニ於テ同省及農事試驗場ノ支出ニ係ル 三六、八三八
- 第三款調査及研究費第二項事業費ニ於テ同省、農事試驗場、蠶業試驗場及生絲檢査所ノ支出ニ係ル 二〇、七八八
- 第四款營繕費第一項新營費ニ於テ鹿兒島種馬所ノ支出ニ係ル 一四七
- 第二項修繕費ニ於テ日高外一種馬牧場、種馬育成所及十勝外六種馬所ノ支出ニ係ル 一、三四五
- 第五款家畜傳染病及害蟲豫防費第二項害蟲費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル 一、〇〇三
- 第七款公有林野官行造林費第一項公有林野官行造林費ニ於テ同省及青森外三營林局ノ支出ニ係ル 三、六三二
- 第八款臘納獸保護費第一項臘納獸保護費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二六〇
- 第十款臨時漁業登錄事務費第一項臨時漁業登錄事務費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 五二五
- 第十一款臨時整理費第一項沿岸漁場整理費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 四、二六五
- 第十四款青島牛及獸肉檢査費第一項青島牛及獸肉檢査費ニ於テ獸疫調査所ノ支出ニ係ル 一、一〇〇
- 第十八款獵區管理費第一項獵區管理費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル 三五〇
- 計四拾四萬五千參百九拾參圓ハ前掲各廳所屬官吏ニ對シ給與シタル慰勞金ナルモ前掲諸經費中森林費及公有林野官行造林費ヲ除ク外ハ官吏ニ對スル慰勞金ノ積算ナキニ拘ラス各費目ヲ通シテ拾壹萬六千餘圓ヲ支出シ又森林費及公有林野官行造林費ニ於テ直接施設ニ從事セサル農林本省ノ官吏等ニ對シ之カ給與ヲ爲シタルカ如キハ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムル

ヲ得ス

【辨明】臨時部豫算中ニハ夫々職員俸給ヲ計上シアリト雖官廳事務執行ニ付テハ其ノ性質上其ノ僅少職員ノミ獨立シテ臨時部豫算ノ目的ヲ達成スルコト困難ニシテ經常部所屬職員中其ノ位地及擔任事務ノ如何ニ依リテハ當然臨時部所屬ノ事務ニモ從事セシムルノ要アリ從テ臨時部ヨリ其ノ勤務多大ナル者ニ對シ年末手當金ヲ支給スルハ蓋シ已ムヲ得サルノ措置ナリ又經常部森林費及臨時部公有林野官行造林費ニ在リテハ農林省及營林局署員ノ努力ニ依リ施業ノ完成ヲ期スルモノニシテ直接施業ニ從事セサル農林本省ノ官吏ニ支給シタルモノニアラサルヲ以テ妥當ノ措置ト認ム

【報告】

- (八三) 歳出臨時部第一款産業獎勵費第二項開墾及土地改良費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル 三九、七八三 円
- 第四項畜産増殖獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 八二四 〇〇〇
- 第五項緬羊飼育獎勵費ニ於テ同省及月寒外一種羊場ノ支出ニ係ル 一一、八一三 〇〇〇
- 第七項遠洋漁業獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 四、六七五 〇〇〇
- 第八項漁港修築獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二、三五五 〇〇〇
- 第十項水産冷蔵獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、〇一〇 〇〇〇
- 第四款營繕費第一項新營費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 六四五 〇〇〇
- 第六款治水事業費第一項調査及監督費ニ於テ同省、林業試驗場及東京府外二府四十二縣ノ支出ニ係ル 二一、四九七 〇〇〇
- 第七款公有林野官行造林費第一項公有林野官行造林費ニ於テ同省及青森外五營林局ノ支出ニ係ル 三九、九二六 〇〇〇
- 第八款臘豚獸保護費第一項臘豚獸保護費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 四、八一〇 〇〇〇
- 第十二款震災復舊及新營費第一項農林本省其他復舊費ニ於テ東京營林局ノ支出ニ係ル 七八三 〇〇〇
- 第十三款震災地産業其他復舊及復興助成費第二項荒廢林地復舊助成費ニ於テ農林省及東京府外四縣ノ支出ニ係ル

【辨明】

第十四款青島牛及獸肉検査費第一項青島牛及獸肉検査費ニ於テ獸疫調査所ノ支出ニ係ル 二、七九九 〇〇〇

計拾參萬四千九百五拾壹圓ハ前掲各廳所屬官吏ニ對シ賞與トシテ給與シタルモノナルモ右支出額中俵給豫算ノ殘餘ヲ以テシタルモノ四萬貳千餘圓ニ止リ九萬貳千餘圓ハ廳費、内國旅費、雜給及雜費、耕作費並土木費等ヲ流用シ支出シタルモノニシテ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス

款項ノ範圍ニ於テ彼此流用スルハ法規ノ許容スル處ナルカ故ニ廳費、雜給及雜費等ノ經費ヲ節約シ以テ賞與ニ流用支辨シタルハ豫算ノ運用上不妥當ノ措置ニアラスト認ム

商工省所管

【報告】

- (八四) 歳出經常部第一款商工本省第二項事務費ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル 四二、一九五 〇〇〇
- 第四項度量衡費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一八、三二八 〇〇〇
- 第五項地質調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 五、六六八 〇〇〇
- 第二款特許局第二項事務費ニ於テ特許局ノ支出ニ係ル 二四、九二〇 〇〇〇
- 第三款鑛山監督局第二項事務費ニ於テ東京外四鑛山監督局ノ支出ニ係ル 一九、三九八 〇〇〇
- 第四款試驗所及検査所費第二項事業費ニ於テ東京及大阪工業試驗所、陶磁器試驗所、絹業試驗所、花筵検査所ノ支出ニ係ル 四一、一四〇 〇〇〇
- 歳出臨時部第一款産業獎勵費第一項貿易獎勵費ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル 三、七四〇 〇〇〇
- 第三項廣幅織物製造及使用獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 六、四八五 〇〇〇
- 第四項工業獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 六、七〇〇 〇〇〇
- 第六項重要輸出品検査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 五、〇八一 〇〇〇

第七項製鐵業獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第八項鑛業獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第十項國產振興費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第二款貿易振興費第二項事務費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第三款研究所費第二項事業費ニ於テ臨時窒素研究所及燃料研究所ノ支出ニ係ル

第四款調査及試験費第二項事業費ニ於テ商工省、大阪工業試験所、絹業試験所、福岡鑛山監督局及燃料研究所ノ支出ニ係ル

第七款臨時整理費第一項鑛區圖整理費ニ於テ札幌鑛山監督局ノ支出ニ係ル

第二項特許局審査資料整理費ニ於テ特許局ノ支出ニ係ル

第八款震災復舊及新營費第一項商工本省其他復舊費ニ於テ商工省、特許局及東京鑛山監督局ノ支出ニ係ル

第九款震災地産業復興助成費第一項工業復興助成費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第十二款米國獨立百五十年記念萬國博覽會參同費第一項米國獨立百五十年記念萬國博覽會參同費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第十三款改正度量衡法施行費第一項改正度量衡法施行費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

計貳拾八萬五千七百七拾四圓ハ官吏以下ニ對シ年末手當等トシテ給與シタルモノナルモ前掲諸經費中第九款、第十二款及第十三款ノ豫算ニハ慰勞金ノ見積ナク其ノ他ノ諸費ニ於テハ慰勞金ノ豫算額通シテ貳萬參百餘圓ニ過キサルニ前掲多額ノ支出ヲ爲シタルノミナラス右慰勞金ノ豫算ハ官吏ニ對スル分ヲ包含セサルニ之ニ對シ拾萬七千餘圓ノ支出ヲ爲シタルカ如キハ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス

一一〇

五、四〇三〇〇

三、五八五〇〇

一、二五五〇〇

一八、一一一〇〇

二五、三三二〇〇

二二、六六六〇〇

一一、二九五〇〇

一一、四一〇〇〇

一一、一四九〇〇

九〇二〇〇

八、四九二〇〇

五、一〇〇〇〇

【備考】 本件ハ官吏以下ノ勤勞アル者ニ對シ年末又ハ退官、退職等ニ際シ支給シタル慰勞手當ナリ之ニ對スル會計検査院批難ノ要旨ハ前掲諸經費中慰勞金ノ豫算額ニ比シ多額ノ支出ヲ爲シタルノミナラス官吏ニ對スル分ヲ包含セサルニ之ニ對シ手當ヲ支給シタルハ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得スト謂フニ在リ然レトモ豫算ノ執行ニ當リ經費ニ過不足ヲ生シ彼此流用ヲ要スルハ免レサル所ニシテ是レ會計法規カ同一項内各目ノ流用ヲ許容セル所以ナリ又官吏ニ支給シタル手當ハ主トシテ經常部所屬職員ニ對シ臨時部豫算ヨリ支出シタルモノニシテ該豫算中ニハ專任職員ノ設置ナキモノ又ハ之アルモ極メテ僅少ノ人員ニ過キサルカ故ニ經常部所屬職員ヲシテ事務ヲ兼掌又ハ補助セシムルノ必要アリ從テ此等兼職ナル事務ニ從事シ豫算ノ目的ノ達成ニ盡力不遑官吏ニ對シ年末退官等ニ際シ手當ヲ支給シタルハ運用上洵ニ已ムヲ得サルノ措置ニシテ豫算使用上妥當ヲ缺クモノトハ認メス

逓信省所管

【報告】 (八五) 歳出臨時部第五款電話交換擴張費第二項事業費ニ於テ逓信省ノ支出ニ係ル

第六款電信擴張及改良費第二項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第八款造船鐵材調査費第一項造船鐵材調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第十六款震災復舊及新營費第一項電信電話施設費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第二項郵便局舎其他新營費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第四項貯金原簿其他復舊及整理費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

計拾八萬五千七百七拾圓ハ逓信本省勤務ノ官吏ニ對シ臨時事業ノ負擔事務増加ヲ事由トシ支給シタル賞與ニシテ雜給及雜費若ハ事務費ヨリ支出セルモノナルモ右官吏カ其ノ所管ニ屬スル此等各種ノ事務ニ關與スルハ當然ノコトナルノミナラス右雜給及雜費中雜事手當等ノ豫算ニ積算セル慰勞手當ハ此等廣汎ナル本省勤務官吏ニ對スル給與ヲ包含スルモノト認メ難ク畢竟本費ノ餘裕ヲ以テ本省所屬ノ賞與ヲ補充シタルモノニシテ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス右ノ外町村電話施設計畫事務ニ對スル手當トシテ内務、大藏兩省ノ官吏ニ對シ逓信費逓信事業費ヨリ千貳百餘圓ヲ支給セルモノアリ

本件逓信本省勤務官吏並内務、大藏兩省勤務官吏ニ對シ年末賞與又ハ慰勞手當ヲ支給セルハ左ノ理由ニ依ルモノニシテ豫算使用上何等不

【備考】

昭和十五年 逓信省 (八五)

一一一

當ノ廉ナシ

(1)本省勤務ノ官吏ニ對シ前掲豫算ヨリ賞與又ハ慰勞手當ヲ支給セルヲ不當ナリトスル點ニ關シテハ不幸ニシテ検査院ト其ノ見解ノ一致ヲ見ルニ至ラサルハ甚タ遺憾トスル所ナルモ本件ニ就テハ五十二議會ニ於テモ辯明シタル通り政府ニ於テ臨時ノ事業ヲ遂行スルニハ經費ノ節減ヲ圖ル目的ノ下ニ可成從來ノ定員ヲ差繰リ之ニ從事セシメ當該豫算中ニハ最少限度ノ職員俸給ヲ計上スルニ止ムルヲ常トス從テ此等ノ事業ハ事實在來配置ノ本省勤務官吏ノ手ニ依リテ執行セラルルモノ甚タ多ク本省官吏ハ之カ爲メ本務外ニ於テ負擔ヲ加重セラレ甚タ繁劇ヲ加フル狀況ナルヲ以テ此等ノ職員ニ對シ負擔ノ増加ニ伴フ勞ヲ稿フ爲ニ當該豫算ヨリ年末賞與ノ一部ヲ支給スルハ已ムヲ得サルモノトス而シテ當該豫算ニ計上セル他費目所屬官吏ニ支給スル慰勞手當中ニハ本省勤務官吏ニ支給スル慰勞金モ亦之ニ包含セシムル趣旨ナルヤ疑ヲ容レサルトコロナルヲ以テ之ヲ不當ノ支出ナリトスルハ當ラサルモノト認ム

(2)内務大藏兩省勤務官吏ノ一部ニ對シ町村電話施設事務ニ關スル報勞金トシテ慰勞手當ヲ支給セルハ町村電話ノ施設ハ素ト郡役所廢止ニ伴ヒ自治行政運行上ノ阻滯ヲ來スカ如キコトナカラシムル爲府縣廳ト町村役場間ニ電話連絡ヲ圖ルヲ主眼トシ兼テ一般公衆ニモ電話ノ利便ヲ得セシムル目的ヲ以テ計畫サレタルモノニシテ通信事業トシテハ全ク特殊ノ施設ニ屬シ其ノ施設ノ範圍手續並地方負擔力ノ關係及實行方法等精密ナル攻究ヲ要スルモノアリシ爲特ニ内務大藏逓信ノ三省ヨリ委員ヲ選定シ其ノ調査審議ノ結果ニ基キ立案セラレタル次第ニシテ此等委員ニ對スル慰勞手當ハ所謂準備調査事務ノ報勞金ナルヲ以テ素ヨリ一般電話擴張ノ費目ヨリ支辨スヘキニアラス乃チ事ノ性質ニ鑑ミ之ヲ逓信事業費ヨリ支出スルノ至當ナルヲ信シタル所以ナリ

通信事業ハ時勢ノ推移技術ノ進歩ニ伴ヒ常ニ諸般ノ改良ノ調査ヲ要スルコト(本件亦多ク而モ此等ノ事務ハ官制上地方部局ニ委スヘキニアラス本省ニ於テ之ニ當ラサルヘカヲサレコト勿論ノ義ナルモ由來本省ノ常在員ノミヲ以テシテハ斯ル臨時ノ調査ニ當ル餘地少キヲ以テ彼ノ逓信局及通信官署官制ニ於テ地方職員ヲシテ臨時命ヲ承ケ本省ノ事務ヲ助クルコトヲ得セシメアル所以ニシテ本件慰勞手當ノ如キモ之ト同様ノ意味ヲ以テ特殊ナル通信施設計畫ニ基因スル關係ニ積ヘ逓信事業費ヨリ支出シタル次第ナリ

特別會計

大藏省所管

造幣局

【報告】

(八六) 歳出第一款造幣局作業費第二項事業費ニ於テ造幣局ノ支出ニ係ル

一一九、八八五、五三〇

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナルモ本項豫算中職工、小使等ニ對スル皆勤賞、職員、職工ノ慰勞金及勤勉手當等ヲ含ム給與ノ豫算額八萬六千九百拾八圓ニ對シ支出額拾六萬六千八百八拾六圓七拾九錢ニシテ内慰勞金ハ前掲拾壹萬九千八百餘圓ニ上リ給與ノ豫算總額ニ對比スルモ既ニ著シク其ノ額ヲ超過シ豫算使用上妥當ノ措置ト認メ難シ而シテ右慰勞金ノ内官吏ニ對シ支給セルハ參萬千六百餘圓ニシテ俸給殘餘ヲ以テ支給セル賞與貳千四百餘圓ヲ併算スルトキハ參萬四千四百餘圓ト爲リ俸給決算額六萬四千貳百餘圓ニ比シ五割三分餘ニ當ルノ計算ナリ尙右慰勞金中貳千五百餘圓ハ大藏省ノ官吏ニ對シ給與セルモノニ係リ縱ヒ此等官吏カ造幣事務ニ關係アリトスルモノ之ヲ事由トシテ本費ヲ以テ慰勞金ヲ給與スルカ如キハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス

【辨明】

慰勞金ノ支出額カ其ノ豫算額ニ比シ超過ヲ示スハ一般會計ノ慰勞金ニ關スル辯明ニ於テ詳述セシカ如ク實際ノ經理上已ムヲ得サル事態ニシテ從來官吏以下ハ平均給額ノ二ヶ月分職工ハ日給十日分ヲ出テサレ少額ヲ豫算スルニ止マリ實行上經費ニ餘裕ヲ生シタル場合ニ於テ流用支辨スルヲ例トセシヲ以テ其ノ支出額カ豫算額ニ比シ超過スルコトアルハ免ルルヲ得サル所ニシテ豫算ノ流用ヲ許サレタル範圍ニ於テ實行シタルモノナルヲ以テ不當ナリト言フヲ得ス其ノ給與ヲ必要トシタル事由ニ付テハ作業應ニ於テ其ノ從業員ニ對スル給與率ノ如何ハ直ニ作業能率ニ影響ヲ及ホスコト甚大ナルモノアリ造幣局ノ如キ多數ノ職員職工ヲ擁スル作業應ニアリテハ其ノ作業能率増進上及工場經營上相當ノ給與ヲナスハ緊要ニシテ已ムヲ得サルコトニ屬ス又大藏省ノ職員ニ支給セシ慰勞金ニ付テハ造幣局事務取扱者ニ對スル分トシテ既ニ豫算額算出ノ基礎ニ於テ之ヲ見込計上セル所ニシテ煩雜ナル事務ニ從事シ又ハ法規ノ改正ニ關與スル等其ノ勤勞多大ナリト認メタル者ニ對シ相當ノ程度ニ於テ慰勞金ノ支給ヲ爲シタルモノニシテ之ヲ不當ナリトナスヲ得ス

印刷局

【報告】

(八七) 歳出第一款印刷局作業費第二項事業費ニ於テ内閣印刷局ノ支出ニ係ル

四五八、二九一、五〇〇

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナルモ勤勉手當ヲモ包含セル豫算貳拾貳萬八千餘圓ニ對シ前掲ノ如ク其ノ二倍ヲ超ユル慰勞金ノ支出ヲ爲セルカ如キハ豫算ノ使用上妥當ノ措置ニ非ス而シテ右ノ内官吏ニ對スル慰勞金支出額ハ六萬

千貳百餘圓ニシテ依給豫算ノ殘餘ヲ以テ支給セル賞與參千七百餘圓ヲ併セ六萬四千九百餘圓ト爲リ依給決算額拾貳萬四千餘圓ニ對比スルトキハ五割ヲ超ユルノ計算ナリ

【報告】 慰勞金ノ支出額カ其ノ豫算額ニ比シ超過ヲ示スハ一般會計ノ慰勞金ニ關スル辯明ニ於テ詳述セシカ如ク實際ノ經理上已ムヲ得サル事態ニシテ從來慰勞金ハ平均給額ノ一ヶ月半分ノ少額ヲ豫算スルニ止マリ實行上經費ニ餘裕ヲ生シタル場合ニ於テ流用支辨スルヲ例トセシヲ以テ其ノ支出額カ豫算額ニ比シ超過スルコトアルハ免ルルヲ得サル所ニシテ豫算ノ流用ヲ許サレタル範圍ニ於テ實行シタルモノナルヲ以テ不當ナリト言フヲ得ス其ノ給與ヲ必要トシタル事由ニ付テハ當局ニ於テハ勤勉手當ノ制ナキヲ以テ時間外勤務及廢休執務等ヲ斟酌シ相當ノ慰勞金ヲ支給スルノ要アルノミナラス給與ヲ受ケタル者ノ大部分ハ工場ニ勤務スル者ニシテ是等ハ普通官廳ニ比シ服務時間遙ニ多ク作業ニ依リテハ其ノ性質上晝夜連續勤務ヲ要スル場合尠カラズ殊ニ緊急ノ製品並議關係ノ諸印刷物ニ付テハ不眠不休之ニ當ルノ場合モ稀ナラサルヲ以テ是等多大ノ勤務ニ對シ相當ナル程度ニ於テ慰勞金ノ給與ヲ爲スハ當然ナリト認メタルニ依ルモノニシテ之ヲ以テ不當ナリトナスヲ得ス

專賣局

【報告】

(八八) 歲出第一款專賣局作業費第二項事業費ニ於テ專賣局及東京外十六地方專賣局ノ支出ニ係ル

一、五〇六、四九七、〇〇〰

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給シタルモノナルモ本項中慰勞金ノ豫算六拾八萬五千餘圓ニ對シ其ノ二倍ヲ超ユル支出ヲ爲スカ如キハ妥當ノ措置ニ非ス而シテ右ノ内官吏ニ對スル給與ハ九拾參萬千餘圓ニ上リ此ノ金額ノミヲ以テスルモ豫算總額ヲ超過スルノ狀況ニシテ尙右慰勞金中八千貳百餘圓ハ大藏省ノ官吏ニ給與セルモノニ係リ此等ノ官吏カ專賣事務ニ關係アリトスルモノ之ヲ事由トシ本費ヲ以テ慰勞金ヲ給與スルカ如キハ豫算使用上失當ノ措置ト認メサルヲ得ス

【辨明】

慰勞金ノ支出額カ其ノ豫算額ニ比シ超過ヲ示スハ一般會計ノ慰勞金ニ關スル辯明ニ於テ詳述セシカ如ク實際ノ經理上已ムヲ得サル事態ニシテ從來慰勞金ハ平均給額ノ二箇月分ヲ豫算ニ計上スルニ止マルヲ以テ之カ實行ニ當リテハ常ニ不足ヲ生スルヲ免レサルモ豫算増額ノ方法ニ依ラス同一給與内ノ經費又ハ他ノ人件費ニ剩餘ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ流用支辨スルノ方針ニ依リタルモノニシテ失當ノ措置ナリト言フヲ得ス又大藏省ノ職員ニ對シ支給シタル慰勞金ニ付テハ專賣事業ニ關シ特ニ勤勞尠カラサリシ者ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ給與スルハ

當然ノ措置ナリト認メタルニ依ルモノニシテ之ヲ以テ不當ナリトナスヲ得ス

大藏省預金部

【報告】

(八九) 歲出第一款大藏省預金部支出第一項事務費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

一四、二六六、五四〰

ハ官吏以下ニ對シ支給シタル賞與又ハ慰勞金ニシテ内四千六百五拾五圓五拾四錢ハ本項中應費又ハ雜給及雜費ヨリ流用支出シ九千六百拾壹圓ハ雜給及雜費中給與ヨリ支出シタルモノナルモ該給與ノ豫算額ハ僅ニ千八百貳拾餘圓ニ過キスシテ著シク豫算ニ超過シ内官吏ニ對スル慰勞金六千八百六拾餘圓ノ大部分ハ大藏本省内各當局官吏ノ一般ニ互リ給與セルノ狀況ニシテ畢竟本費豫算ノ餘裕ヲ以テ同省一般官吏ニ對スル賞與ノ資源ニ供シタルモノト認メサルヲ得ス

【辨明】

検査報告計上金額中官吏以下ニ對スル慰勞金ハ九千六百拾壹圓ニシテ差引四千六百五拾五圓五拾四錢ハ預金部所屬官吏ニ對スル賞與ナリ而シテ賞與ニ付テハ當初ヨリ之ヲ豫算セス他ノ用途ノ不用額ヲ以テ流用支辨スルノ慣行ニ從ヒ實施セルモノナルヲ以テ之ヲ不當ナリト言フヲ得ス慰勞金ニ付テハ其ノ支出額カ豫算額ニ比シ増加ヲ示スト雖既ニ一般會計ノ慰勞金ニ關スル辯明ニ於テ詳述セシカ如ク實際ノ經理上已ムヲ得サル事態ニ屬シ必ラスシモ失當ノ措置ナリトナスヲ得ス尙之カ支給ヲナシタル事由ハ預金部資金ノ運用上必要ナル諸般ノ調査從來運用資金ノ整理、本特別會計ノ經理等ノ事務ニ關シ預金部所屬以外ノ職員ノ助力ニ俟テタル場合尠カラサリシヲ以テ是等多大ノ勤務ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ給與スルハ當然ノ措置ナリト認メタルニ依ルモノニシテ決シテ検査報告ニ言フカ如ク本省一般官吏ニ對スル賞與ノ資源ニ供シタルモノニアラス

國債整理基金

【報告】

(九〇) 歲出第一款國債整理基金支出第一項國債整理基金支出ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

六〇、〇二九、七〇〰

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給シタルモノナルモ本項中慰勞金等給與ノ豫算貳萬參千圓ニ比シ數倍ノ多額ニ上リ内參萬千九百餘圓ハ大藏本省内一般官吏ニ對シ給與セルモノニシテ畢竟本費豫算ノ餘裕ヲ以テ同省一般官吏ニ對スル賞與ノ資源ニ供シタルモノト認メサルヲ得ス

【辨明】

慰勞金ノ支出額カ豫算額ニ比シ超過ヲ示スト雖右ハ一般會計ノ慰勞金ニ關スル辯明ニ於テ詳述セシカ如ク實際ノ經理上已ムヲ得サル事態

ニ屬シ其ノ多額ニ上リタルハ主トシテ郵便局賣出公債ノ賣出事務取扱ニ關シ盡力シタル逓信官署職員ニ給與シタル慰勞金ヲ包含セルニ依ルモノナリ而シテ國債整理基金ニ於テハ國債ノ發行償還並之カ事務取扱者ニ對シ給與スヘキ慰勞金及諸謝金トシテ使用スル目的ヲ以テ國債雜費ノ目内ニ之カ給與金額ヲ積算シアルヲ以テ國債ノ發行等ニ關シ盡力シタル者ニ對シ給與スル慰勞金ヲ本項ヨリ支出スルハ當然ノ措置ニシテ單ニ支出金額カ豫算額ニ比シ超過スルノ故ヲ以テ之ヲ不當ナリトナスヲ得ス但シ昭和二年度ヨリ郵便局賣出公債ノ賣出事務取扱ニ關シ逓信官署ノ職員ニ對シ給與スヘキ慰勞金ハ別途ニ之ヲ積算シ慰勞金ノ豫算額ヲ增加セリ

賠償金

【報告】

(九一) 歲出第一款賠償金支出第一項事務費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

二五、〇一二三〇

ハ官吏以下ニ對シ支給シタル賞與又ハ慰勞金ニシテ内貳千九百五拾八圓參拾七錢ハ本項中廳費及修繕費ヨリ流用支出シテ萬貳千五拾四圓ハ雜給及雜費中給與ヨリ支出シタルモノナルモ該給與ノ豫算額ハ四千百貳拾圓ニ過キスシテ著シク豫算ニ超過シ内官吏ニ對スル慰勞金壹萬八千餘圓ノ大部分ハ大藏本省各部署ニ互リテ給與セルモノニシテ畢竟本費豫算ノ餘裕ヲ以テ同省一般官吏ニ對スル賞與ノ資源ニ供シタルモノト認メサルヲ得ス

【精明】

検査報告計上金額中官吏以下ニ對スル慰勞金ハ貳萬貳千五拾四圓ニシテ差引貳千九百五拾八圓參拾七錢ハ賠償金特別會計所屬官吏ニ對スル賞與ナリ而シテ賞與ニ付テハ當初ヨリ之ヲ豫算セス他ノ費途ノ不用額ヲ以テ流用支辨スルノ慣行ニ從ヒ實施セルモノナルヲ以テ之ヲ當ナリト言フヲ得ス慰勞金ニ付テハ其ノ支出額カ豫算額ニ比シ増加ヲ示スト雖既ニ一般會計ノ慰勞金ニ關スル辯明ニ於テ詳述セシカ如ク實際ノ經理上已ムヲ得サル事態ニ屬シ必ラスシモ失當ノ措置ナリトナスヲ得ス尙之カ支給ヲナシタル事由ハ大正十三年九月所謂「ドーズ案」成立以後本邦ノ取得スヘキ賠償金額著シク増加シ且ツ取得物件ノ範圍モ増大シ尙「ドーズ」年度ノ進行ニ伴ヒ右賠償金受領額ヲ増加シ現ニ大正十五年度ニ於テハ前年度ニ比シ其ノ取得額十數倍ノ多キニ達スルノ狀況ニシテ從テ賠償關係事務ハ頗ル繁忙複雜ヲ極ムルニ至リ其ノ支障ナキ進捗ヲ圖ルニ付テハ本特別會計所屬以外ノ職員ノ助力ニ俟テタル場合尠カラサリシヲ以テ是等多大ノ勤勞ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ支給スルハ當然ノ措置ナリト認メタルニ依ルモノニシテ決シテ検査報告ニ言フカ如ク本省一般官吏ニ對スル賞與ノ資源ニ供シタルモノニアラス

朝鮮總督府

【報告】

(九二) 歲出經常部第六款地方廳第二項事務費ニ於テ各道ノ支出ニ係ル

一、四五〇〇〇

第七款學校及圖書館第一項俸給ニ於テ京城帝國大學ノ支出ニ係ル

七、五〇〇〇〇

第十五款專賣局第一項俸給ニ於テ朝鮮總督府專賣局ノ支出ニ係ル

一、三〇〇〇〇

第十六款鐵道作業費第二項事業費ニ於テ朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル

一〇五〇〇〇〇

第十七款林務費第一項俸給ニ於テ朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

六、八九〇〇〇

歲出臨時部第三款調査及試驗費第三項燃料選購研究費ニ於テ同府ノ支出ニ係ル

一、〇〇〇〇〇

第五款營繕費第八項新營及設備費ニ於テ同府ノ支出ニ係ル

二、六八〇〇〇

第六款土木費第一項道路修築改良費ニ於テ同府ノ支出ニ係ル

五二〇〇〇〇

第二項海關工事費ニ於テ同府ノ支出ニ係ル

三、四八〇〇〇

第三項治水事業費ニ於テ同府及二道ノ支出ニ係ル

一八、九〇〇〇〇

第七款鐵道建設及改良費第一項建設費ニ於テ朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル

一、〇五五〇〇

第八款砂防事業費第一項砂防事業費ニ於テ朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

九〇〇〇〇

第九款地籍整理及國有地處分費第一項地籍整理及國有地處分費ニ於テ江原道ノ支出ニ係ル

二六、六五〇〇〇

第十二款耕地改良及擴張費第二項監督獎勵費ニ於テ朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

二六、八六五〇〇

第十三款國有林調査處分費第一項國有林調査處分費ニ於テ同府ノ支出ニ係ル

五、三一〇〇〇

第十六款朝鮮史編纂費第一項朝鮮史編纂費ニ於テ同府ノ支出ニ係ル

三八〇〇〇

第十七款臨時取締費第一項臨時取締費ニ於テ慶尙南道ノ支出ニ係ル

八五五〇〇

第十八款租稅制度改正準備費第一項租稅制度改正準備費ニ於テ朝鮮總督府及各道ノ支出ニ係ル

一一、九三八〇〇

第二十款災害費第二項咸興附近浸水地帶防水工事費ニ於テ咸鏡南道ノ支出ニ係ル

二二九〇〇〇

計九萬參千拾七圓ハ孰モ當該費目ヨリ俸給ヲ受ケサル官吏ニ對シ當該費目事務ニ執掌シタルヲ事由トシ支給シタル賞與及慰勞金ナルモ此等官吏カ其ノ事務ニ從事スルハ職務上當然ノコトニ屬スルヲ以テ事業費等ヨリカ支出ヲ爲スカ如キハ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス右ノ外租稅制度改正準備費ニ於テ慰勞手當トシテ積算セル豫算僅ニ參千圓ニ過キサルニ之ニ對シ壹萬六千參百拾圓ヲ支出シタルモノアリ

一一八

【辨明】 本件本府及所屬官署職員ニ對シ本官所屬俸給豫算以外ノ前掲各費目ヨリ賞與又ハ慰勞金ヲ支出セルハ左ノ事由ニ依ルモノナリ臨時ノ事業ヲ施行スルニ際シテハ夫々定員ヲ置キ俸給豫算ヲ計上シアリト雖モカ事業施行ニ付テハ其ノ性質上僅少ノ臨時配置ノ職員ノミノ手ニ依リ之レカ目的ノ達成ヲ期スルコト困難ニシテ是等事業ノ進捗上前掲各費目以外職員ヲシテ其ノ一部ヲ補助セシムルコト多シ依テ事務ニ關與シ多大ノ勤勞アリタルモノニ對シ相當ノ賞與又ハ慰勞金ヲ給與スルハ當然ノ措置ナリト認メタルニ依ルモノナリ又租稅制度改正準備費ヨリ慰勞手當トシテ支出シタル額カ豫算額ニ比シ多額ニ上リタルハ制度改正ニ關スル調査事項頗ル廣汎ニ互リカ事務ノ進行上豫期ノ委員書記以外ノ職員ヲシテ其ノ一部ヲ補助セシメタルモノ多數ニ上リ之ニ對シテ相當ノ慰勞金ヲ給與スルハ給與ノ公平ヲ期スル上ニ於テ已ムヲ得サルニ出ツ

樺太廳

- 【報告】 (九三) 歳出經常部第二款樺太廳第一項俸給ニ於テ樺太廳ノ支出ニ係ル
 - 第二項事務費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 三、四九五〇〇
 - 第五款現業費第一項逕信費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 一、一三三〇〇〇
 - 第四項農事試驗費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 八、二四八〇〇〇
 - 第五項水産試驗費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 二、二〇九〇〇〇
 - 第六項測候費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 二、二四五〇〇〇

一五、七七四〇〇〇

九八五〇〇〇

二、七八八〇〇〇

【辨明】 歳出經常部第二款樺太廳外四款中ニ於テ工事費事務費等ヨリ賞與ニ充當シ又ハ他費目附屬ノ官吏ニ對シ支給セシハ豫算使用上妥當ノ措置ト認メ難シト謂フニアルモ賞與ハ其性質上俸給豫算中ヨリ支辨スルヲ普通トスルモ俸給ニ於テ殘餘ヲ生セサル場合勤勞者ニ對シ相當行賞ノ途ヲ講スルノ外給與ノ均衡ヲ計ルノ必要上同一科目内ノ工事費又ハ事務費ノ如キ經費ヲ節約シ得タル場合ニ同一項内ニ於テ之ヲ賞與ニ流用支辨シタルモノニシテ豫算運用上失當ト認メ難ク又俸給ト賞與トハ必ス豫算科目ヲ同シクヘキモノトハ認メス他費目支辨ノ用務ヲ兼擔シ勤勞渺カラサル者ニ對シ其費目ヨリ賞與ヲ行フハ不當ニアラスト信ス

農林省所管

米穀需給調節

- 【報告】 (九四) 歳出第一款米穀需給調節費第二項事務費ニ於テ農林省農務局ノ支出ニ係ル
 - 第三項事業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 一三、〇二八〇〇〇
 - 第五項營繕費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 三六、八八七〇〇〇
- 計八萬九千八百拾四圓ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給シタルモノナルモ豫算上其ノ手當ヲ見積リタルハ事務費ニ於テ豫算壹萬千六百餘圓ニ過キスシテ事業費及營繕費ニハ何等積算ナキニ拘ラス各費目ニ互リ前掲多額ノ支出ヲ爲シ内貳萬參百餘圓ハ本特別會計所屬以外ノ同省所屬官吏以下ニ對シ支給ヲ爲シタルモノニシテ豫算使用上妥當ノ措置ニ非ス

【辨明】 米穀需給調節特別會計歳出第一款第二項事務費ニ於テ職員以下ニ給スル手當ヲ計上シアルハ本會計歳出第一款第一項俸給支辨ノ官吏及事務費支辨ノ職員以下ニ對スルモノノ外米穀法ノ運用及米穀需給調節特別會計ノ事務ニ關シ關係官吏トシテ其ノ勤勞渺カラサルモノニ對シ

一一九

手當トシテ支給スルノ目的ニシテ又事業費ヨリハ直接事業執行ノ任ニ當リタルヲ考慮シ營業費ヨリハ營業事務ニ關シ勤勞アリタルモノニ何レモ夫々相當ノ手當ヲ給與シタルモノニ係リ妥當ノ措置ト認ム

一三〇

商工省所管

製鐵所

【報告】

(九五)

歳出第一款製鐵所作業費第二項事業費ニ於テ製鐵所ノ支出ニ係ル

一、六〇一、四一三、四〇

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給シタルモノナルモ本項中職員、職工其ノ他ニ對スル給與ノ豫算ハ百拾萬餘圓ナルニ之ニ對シ前掲多額ノ支出ヲ爲スカ如キハ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス而シテ官吏ニ對スル支出額ハ四拾萬百餘圓ニシテ其ノ俸給決算額ニ對比スルトキハ五割餘ニ當ルノ計算ナリ尙右ノ内七千圓ハ製鐵所特別會計法制定ニ關シ盡力尠カラスト爲シ法制局及大藏、商工兩省職員ニ、壹萬七千九百六拾圓ハ製鐵所事務ニ關シ盡力シタリト爲シ商工本省勤務ノ官吏ニ對シ支給シタルモノナルモ右ハ孰モ其ノ職務上當然ノ事務ニ從事シタルニ過キサルヲ以テ之ヲ事由トシ手當ヲ支給スルカ如キハ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス

【辨明】

本所ノ官吏以下ニ對スル支出額ハ其ノ執務時間ノ永キト業務ノ繁劇ナル等トヲ考量シタルノ結果ニ依ルモノニシテ又他廳及商工本省官吏ニ對シテ爲シタル支給ハ本所ニ關スル事務ニ付キ特ニ勤勞アリタルカ爲ナルヲ以テ本件ハ孰レモ失當ノ措置ニアラスト認ム

逓信省所管

簡易生命保險

【報告】

(九六)

歳出第一款簡易生命保險費第二項事業費ニ於テ簡易保險局及東京外六逓信局ノ支出ニ係ル

一八三、五四一、五四〇

ハ官吏以下ニ對シ慰勞手當等トシテ支給シタルモノナルモ本項中雜給ニ於テ慰勞手當等ヲ積算セルハ壹萬八千八百圓ニ過キサルニ之ニ對シ約十倍ニ相當スル前掲金額ヲ支出スルハ妥當ナラサルノミナラス逓信本省勤務ノ官吏及關東廳逓信局員等本務上當然之ニ關與シタルモノニ對シ給與シタルモノアルカ如キハ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス

【辨明】

本件慰勞手當支給ニ關スル批難ノ要點タル雜給支出額カ豫算ニ比シ多額トナレル理由並本省勤務官吏及關東廳逓信局職員ニ慰勞手當ヲ支給セル理由ハ大體一般會計ノ部本省勤務官吏ニ支給セル賞與ニ對スル辨明ノ通ニシテ尙左記ノ事由ニ基キ支出シタルモノナルヲ以テ豫算使用上妥當ノ措置ト云フコトヲ得ス

(1) 雜給支出額ノ大部分タル一五二、八四六圓三四〇ハ一般會計所屬現業員中簡易生命保險事業ニ從事セル者ニ對シ支給セル勤勉手當ナリ右ハ大正九年勅令第五百四十五號勤勉手當給與令ニ依リ支給セルモノニシテ法令ニ根據ヲ有スルモノトス而シテ勤勉手當支給額ノ豫想以上ニ上レルハ事業ノ進展ニ伴フ從事員ノ勞務増加ニ因ルモノニシテ元來雜給ナル科目ハ細節ニ過キス故ニ豫算ノ流用ヲ許サレタル範圍内ニ於テ之カ不足額ヲ他ヨリ流用支辨シ以テ臨機ノ措置ヲ講シタルモノナリ

(2) 簡易生命保險事業ハ社會政策的施設タルノ性質ニ鑑ミ可成經營費ヲ節減シ保險利率ヲ低下スル目的ノ下ニ已ムヲ得サルモノノ外ハ既設逓信機關ヲ利用スル計算ニテ創始セラレタルモノナル爲一般會計所屬職員ニシテ本事業ニ從事セル者ニ對シテハ其ノ本省勤務職員タルト地方勤務職員タルトヲ問ハス之ニ慰勞手當ヲ支給シ其ノ勞ニ報ユルハ定ニ已ムヲ得サル措置ニシテ本費豫算中ニ特ニ一般會計所屬官吏ニ支給スヘキ慰勞金ヲ積算セルハ全ク此ノ目的ニ出ツ故ニ本省勤務官吏ニシテ本事業ニ從事セル者ニ對シ本費ヨリ慰勞手當ヲ支給セルハ不當ニアラス

(3) 關東廳逓信局職員ニ年末慰勞手當ヲ支給セルハ同廳管内ニ於ケル本事業ノ著シキ普及ハ一ニ同廳職員ノ努力ニ因レルモノニシテ其ノ勞多トスヘキモノアルニ依リ相當慰勞手當ヲ支給シ精勞ノ方法ヲ講スル必要アリト認メタル次第ニシテ之亦本費豫算ノ目的ニ照ラシ何等不當ノ廉アルコトナシ

(參照) ○勤勉手當給與令(大正九年十一月二十二日勅令第五百四十五號)

第一條 官吏、官吏ノ待遇ヲ受クル者、囑託員、雇員傭人又ハ職工ニシテ左ニ掲グル現業ニ從事スルモノニハ勤勉手當ヲ給スルコトヲ得

六 貯金局、簡易保險局、逓信局及通信官署ニ於ケル現業

鐵道省所管

帝國鐵道

【報告】

(九七) 資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費ニ於テ鐵道省ノ支出ニ係ル

五六九、八五八^円二二三〇

第二項改良費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

一、〇八二、〇七二^円八一〇

收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

二、〇八八、〇四〇^円〇五〇

計貳千五百九拾九萬千六百四拾壹圓五拾六錢ハ官吏以下一般従業員ニ對シ支給シタル定期賞與並退職特別賜金及同手當等

二二、二五一、六七〇^円四七〇

ナリ右ハ著シク其ノ豫算額ニ超過シ即チ鐵道作業費ニ在リテハ豫算額千五百四萬餘圓ニ對シ前掲貳千貳百貳拾五萬餘圓用品及作業費ニ在リテハ豫算額百拾七萬餘圓ニ對シ前掲貳百八萬餘圓ヲ支出シ建設及改良費ニ在リテハ豫算上雜事手當ノ積算明記ナキモ前記兩費目ト大體同一ナリト認メラル而シテ豫算上ノ手當積算率ハ俸給、給料年額ニ對シ官吏及鐵道手ノ分ニ割員ノ分一割五分五厘傭人ノ分四分乃至一割二分五厘ナルニ拘ラス實際定期賞與ノ各費目平均給與率ハ支給當時ノ給額ニ對シ勅任五割六分奏任二割九分餘判任二割四分餘鐵道手二割四分餘傭人一割四分餘ニシテ賞與總額鐵道作業費所屬ノ分千七百拾九萬餘圓用品及作業費所屬ノ分百四拾壹萬餘圓建設費及改良費所屬ノ分百拾九萬餘圓合計千九百八拾萬餘圓ニ及ヒ著シク豫算額ヲ超過セルノ狀況ナルニ更ニ退職特別賜金及同手當ニ關シ之カ給與内規ヲ設ケ退官、退職又ハ死亡ノ際其ノ俸給、給料ニ對シ勤績年數ニ依ル一定率ヲ乘シ算出シタル額ヲ支給スルコトト爲シ本年度内鐵道作業費五百五萬餘圓用品及作業費六拾七萬餘圓建設及改良費四拾五萬餘圓合計六百拾八萬餘圓ニ及ヘルカ如キハ縱ヒ従業員優遇ノ趣旨ニ出テタルモノナリトスルモ各省ノ間一般官吏ニ對スル權衡ニ於テ甚シク當ヲ失スルモノト謂ハサルヲ得ス

【辨明】

本件ハ前年度検査報告ニ對シ辨明セシカ如ク雜事手當ノ決算額ハ其ノ豫算額ニ比シ多少超過シタルモ元來本科目ハ細節ナルヲ以テ之カ不足額ヲ他ヨリ流用スルモ必スシモ不當ニ非サルノミナラス其ノ年度ノ營業狀態ニ依リ之ヲ斟酌スルハ洵ニ已ムヲ得サル所ナリ又退職賜金

【報告】

並同手當ノ支給制度ハ既ニ鐵道作業局時代ヨリ引續キ實施シ殊ニ大正十一年政府ハ一般的ニ行政整理ヲ爲シタルモ鐵道事業ニ就テハ一時ニ集團の整理ヲ爲スハ事業經營上多大ノ障礙ヲ來スヘキニ依リ寧ロ繼續のニ絶ヘス整理スルヲ得策トシ特ニ例外ヲ設ケ豫算ノ範圍内ニ於テ從來ノ内規ヲ認メラレタルモノニシテ右ハ畢竟事業ノ性質上ヨリ來レル機宜ノ措置ナルヲ以テ何等違法不當ニ非ス

官吏ニ對スル給與ニ關シ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得ス各省ノ間給與ノ均衡ヲ得サルモノアルハ大正十四年度検査報告ニ詳悉セシ所ニシテ政府ハ之ニ對シ給與ニ關シテハ相互ノ間權衡ヲ失ハシメサルコト極メテ肝要ナルヲ以テ之カ支給方法ニ就キ數年來研究中ニシテ現ニ行政調査會ニ付議シ其ノ攻究ニ努メツツアリト辯明スト雖未タ其ノ改善ノ運ニ至ラサルノミナラス却テ其ノ度ヲ加フルモノアルノ狀況ナルハ頗ル遺憾トスル所ナリ即チ官吏ニ對スル賞與及慰勞金等ノ給與ハ特ニ豫算ニ積算セルモノヲ除クノ外其ノ所屬俸給豫算ノ殘額ヲ以テ支給スヘキモノナルコト一般ノ通則ニシテ濫ニ事務費ニ屬スル經費又ハ臨時特殊ノ事業ニ屬スル經費ヨリ之カ支給ヲ爲スヘキニ非ス然ルニ豫算施行ノ蹟ヲ觀ルニ事務費又ハ事業費ヨリ之カ支出ヲ爲シ或ハ僅少ノ豫算ヲ積算シアル等ヲ事由トシ事業費等ヨリ多額ノ流用ヲ爲シ或ハ特別會計ノ費途ヲ以テ職務上當然其ノ事務ニ關シタル一般會計所屬ノ官吏ニ對シ之カ給與ヲ爲シタルモノ尠カラサル實狀ニシテ其ノ基ク所係給費豫算殘額僅少ノ爲臨時費其ノ他ニ資源ヲ需メ之カ不足ヲ補充スルノ方途ニ出テタルモノナリト雖此ノ如キハ別途ノ方法ヲ講スヘキモノニシテ豫算ノ目的ニ違背シ又ハ他費目ヨリ多額ノ流用ヲ爲ス等種種ノ方法ニ依リ其ノ目的ヲ達セムトスルカ如キハ豫算使用上失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス殊ニ臨時費又ハ特別會計等ニ在リテハ其ノ豫算概ネ巨額ナルヲ以テ資源ヲ之ニ依リ特ニ近年ノ如ク漸次其ノ度ヲ加フルモノアルニ於テハ其ノ弊ノ及フ所洵ニ大ナルモノアルヘク又各省ノ間利益給與ノ均衡ヲ失フニ至ルヘシ今本年度ニ於ケル之カ給與ノ資源ニ就キ所屬俸給豫算殘額ニ依ルモノニ對シ他費目ニ依ルモノノ事例ヲ觀ルニ一般、特別兩會計ヲ通シ農林省所管ニ在リテハ約二十割大藏省所管(朝鮮、臺灣、關東、樺太、南洋ヲ除ク)ニ在リテハ約十割ニ上リ又各本省ニ於ケル官吏ニ就キ其ノ受ケタル賞與、慰勞金其ノ他各種ノ委員手當等ノ諸給與ヲ以テ俸給決算額ニ對比スルニ其ノ比率ハ大藏本省ノ勅任八割二分奏任四割八分判任三割八分平均四割九分ヲ最高トシ農林本省ノ

大正十五年 一般會計及特別會計歳出ニ共通スル事項

勅任七割七分奏任三割二分判任三割四分平均三割六分之ニ亞キ海軍本省ノ勅任一割四分奏任一割四分判任一割一分平均一割四分ヲ最低トシ其ノ間甚シク權衡ヲ失シ其ノ他ノ官廳ニ在リテハ各本省ニ對比シ更ニ著シク權衡ヲ失スルモノアルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ官吏ニ對スル給與ニ關シ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

官吏ニ對スル給與ノ支給ニ關シテハ大正十四年度決算検査報告書ニ對スル辯明書ニ於テ記述セル如クニシテ元來官吏其ノ他政府ノ雇傭人ニ對スル俸給其ノ他ノ給與ニ關シテハ時勢ニ適應シテ相當ニ之ヲ定ムル必要アルモ國民負擔ノ増加ヲ生スルヲ慮レ他ノ一般ノ經費ト共ニ已ムヲ得ス緊縮ニ努ムル爲現狀ニ於テ必シモ満足ナリト云フヲ得ス殊ニ近年數次ノ行政財政ノ整理ニ依ル官廳人員ノ淘汰ト時勢ノ進展ニ伴フ事務ノ繁劇トニ依リ官吏ノ職務上ノ負擔ハ益増加シツツアルノ狀況ニアルヲ以テ政府ハ其ノ勤勞ニ酬ユル爲豫算ノ許容スル範圍内ニ於テ年末賞與或ハ慰勞金ヲ支給スルモノニシテ之カ豫算ノ經理ニ關シテハ常ニ穩當ヲ缺カサル様最善ノ注意ヲ拂ヒツツアリ賞與ノ給與率ニ關シテ各官廳間ニ差等アルハ當然ノコトニシテ其ノ勤務ノ性質及繁閑ニ應シ適當ノ差等ヲ附スルコトハ却テ給與ニ關シ權衡ヲ失ハサルノ所以ナリ又其ノ經費カ臨時部又ハ特別會計ニ屬スル事務又ハ事業ニアリテハ可成專任官吏ヲ少クシ本省其ノ他經常部ニ屬スル職員ヲ以テ其ノ事務ヲ處辨セシムル場合多ク從テ之カ賞與ノ支出ヲ見タルモノニシテ之等ノ用務ニ關係セル官吏ニ對シテ特ニ多額ノ賞與ヲ支給スルモノニアラス

然レトモ給與ニ關シテハ其ノ權衡ニ留意スルコト極メテ肝要ナルヲ以テ之カ改善ノ方法ニ關シテハ既ニ前年度ニ於テ辨明セル如ク其ノ改究ニ努メツツアリ

豫會計検査院報告ニ於テ大藏及農林兩本省ニ於ケル給與率ヲ例示シ賞與ノ權衡ヲ失セリト論セルモ右ハ委員會手當ヲ合算セル數字ナリ抑委員會手當ハ官吏ニ對スル賞與ニアラス政府ノ設置スル委員會ノ委員ニ對シテハ其ノ官吏ニシテ委員タルト民間出身ノ委員タルトヲ問ハス委員會ノ委員トシテ之ニ手當ヲ支給スルモノニシテ官吏ニ對スル賞與トハ別種ノ給與ナリ然ルニ之ヲ加算シテ賞與ノ支給率ヲ比較スルハ當ヲ得タルモノト云フヲ得ス依テ委員會手當ヲ除外シテ計算スルトキハ大藏農林兩本省ニ於テ三割餘ニ過キサル計算ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

官 有 物

國有未開地ノ處分其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(九八)

官舎ノ貸渡其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(九九)

土地ノ貸付其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一〇〇)

開墾ノ名ヲ以テ既墾地ヲ無償貸付シタルモノ一件(一〇一)

計四件

【報告】

(九八) 北海道國有未開地ヲ牧畜經營ノ目的ヲ以テ北海道國有未開地處分法ニ依リ賣拂ヒタルモノニシテ當初ノ目的タル起業條件ヲ成就セサルモノニ對シ大正三年道廳告示第四百六十一號ヲ以テ起業條件ヲ解除シ素地ノ儘使用スヘキ放牧地ニ目的變更ノ許可ヲ爲シタルモノ三年度以降本年度迄ニ二千五百七十六件總面積實ニ三十五萬七千二百六十一町步餘又同期間中新ニ素地ノ儘使用スヘキ放牧地トシテ面積ニ制限ナク處分シタルモノ三千七十件總面積二十二萬百七十六町步餘又多數ニ達セルモノアリ右ハ北海道國有未開地處分法第二條及同法施行規則第三條ニ違反スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

三年七月北海道廳告示第四百六十一號ヲ以テ北海道國有未開地處分法第二條ノ解釋ヲ改メ放牧地ヲ目的トスル土地處分ハ面積ニ制限ナキコトト爲シタル結果既處分ニ係ルモノニ對シテハ拓殖上ノ必要ニ依リ放牧地ニ目的變更ヲ許可シタルモノ多數アルモ昭和二年八月未開地處分法施行規則ノ改正ト同時ニ今後放牧ノ目的ニテ八十町步以上處分セサルコトニ方針ヲ改メタリ

ト謂フニ在リ然レトモ北海道國有未開地處分法第二條ハ一定ノ期間内ニ其ノ土地ニ關スル事業ヲ成功スヘキ者及素地ノ儘使用セムトスル者ノ兩者ニ對シ共ニ勅令ノ定ムル所ニ依リ土地ノ賣拂ヲ爲スヘキコトヲ規定シタルモノニシテ素地ノ儘使用スルモノニ對シテハ何等ノ條件ヲ附スルコトナク無制限ニ之カ處分ヲ爲シ得ヘキモノト解スルヲ得ス隨テ明治四十一年

大正十五年 官有物 (九八)

勅令第五十號北海道有未開地處分法施行規則第三條ニ依リ素地ノ儘使用スヘキ土地ニ對シテ八十町步ヲ超ユヘカラサルノ制限ヲ附シタルモノナルニ拘ラス法ノ解釋ヲ變更シ既往賣拂ニ係ル不成功ノ土地ニ對シ處分ノ取消其ノ他適法ノ處分ヲ爲サス新ニ賣拂フヘキ土地ニ對シテモ面積ニ制限ナク任意之方處分ヲ續行シタルカ如キハ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス從來北海道有未開地處分法ニ依リ牧畜ノ目的ヲ以テ處分セラレタル土地ノ狀況ヲ觀ルニ實際牧畜ノ經營ヲ持續スル意思ヲ有スルモノ稀ニシテ其ノ多クハ起業ヲ念トセス單ニ地上立木ヲ賣却シテ一時ノ利益ヲ獲ムトシ或ハ一時形式ノ設備ヲ爲シ投機的ニ土地ヲ取得セムトスルモノ等ニシテ成功證明ヲ受ケタル後豫定ノ事業ヲ經營スル者ニ至リテハ數フルニ足ラサルノ狀況ニシテ畢竟當初之方賣拂ニ當リ堅實ナル起業者ヲ鑑別スル所ナク其ノ處分宜シキヲ得サリシニ基因スルモノト認メサルヲ得ス而シテ牧畜ノ目的ヲ以テ處分セラレタル土地ハ其ノ拂下制限價格比較的低廉ニシテ加フルニ地上可用立木ノ二割ハ無償ニテ付與セラルル特典アルモノナルヲ以テ賣拂後一定期限内ニ起業條件ヲ成就セサルカ如キ不誠實ナル者ニ對シテハ北海道有未開地處分法第十四條ニ依リ賣拂處分ヲ取消スヲ相當ト認ムルニ曩ノ起業條件ヲ解除シ目的變更ノ名義ヲ以テ素地ノ儘使用スヘキ放牧地トシテ之カ許可ヲ爲シ更ニ同一解釋ヲ以テ新ニ大地積ノ處分ヲ爲スカ如キハ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

牧畜ノ目的ヲ以テ處分シタル土地ノ中可耕地ハ出來得ル限り農耕地トシテ利用セシメ已ムヲ得サルモノニ限り放牧地ニ目的變更ヲ爲サシムルハ拓殖上時宜ニ適シタル措置ニシテ且法規上何等支障ナシト解シタルニヨリ大正三年七月以降右方針ニ依リ處分シ來レリ牧畜ノ目的ヲ以テ土地ノ拂下ヲ受ケタル者モ收支相償ハサル爲永遠ニ其ノ經營ヲ持續スルノ意思ナク豫定事業成功後引續キ經營スル者ニ至リテハ寥寥トシテ數フルニ足ラサリシ當時ノ狀況ヨリ察スレハ寔ニ已ムヲ得サル處置ト認ムルノミナラス法規上ノ解釋ニ關シテモ敢テ違法ナリト認メス然レトモ爾來拓殖ノ推移ニ鑑ミ將來ノ進展ヲ察シ昭和二年八月北海道有未開地處分法施行規則ノ改正ト同時ニ放牧地ノ目的ニテ八十町步以上ハ處分セサルコトニ方針ヲ改メタリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○北海道有未開地處分法(明治四十一年四月十五日法律第五十七號)

第二條 土地ノ賣拂ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ期間内ニ其ノ土地ニ關スル事業ヲ成功スヘキ者又ハ素地ノ儘使用セムトスル者ニ對シ之ヲ行フ

第十四條 土地ノ賣拂又ハ第三條第二項ニ依ル貸付ヲ受ケタル者法令ノ規定又ハ豫定ノ事業方法ニ違反シタルトキハ未成功地ノ全部ニ付賣拂又ハ貸付ノ處分ヲ取消スヘシ此ノ場合ニ於テ拓殖上又ハ土地整理上支障アリト認ムルトキハ其ノ成功地ノ一部又ハ全部ニ付亦同シ

前項ノ場合ニ於テ賣拂ヒタル土地ニ付テハ賣拂代金ハ之ヲ還付セス

○北海道有未開地處分法施行規則(明治四十一年六月十一日勅令第五百十號)

第三條 土地ノ賣拂又ハ貸付面積ハ一人ニ付左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ前ニ賣拂ヲ受ケタル土地ノ事業ヲ成功シタル者ニ對シテハ其ノ面積ヲ通算セス

- 一 耕作ニ供スル土地 五百町步
- 二 牧畜ニ供スル土地 八百町步
- 三 植樹ニ供スル土地 八百町步
- 四 特定地 十町步
- 五 其ノ他ノ目的ニ供スル土地 十町步

會社、組合其ノ他共同シテ事業ヲ經營セムトスル者ニ對シテハ其ノ資産及人員ニ應シ前項面積ノ五倍迄累加スルコトヲ得

○北海道有未開地處分法施行規則(昭和二年八月十六日勅令第二百六十三號)

第三條 土地ノ賣拂又ハ貸付面積ハ一人ニ付左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ズ

- 但シ前ニ賣拂ヲ受ケタル土地ノ事業ヲ成功シタル者ニ對シテハ其ノ面積ヲ通算セス
- 一 耕作ニ供スル土地 二百町步(一万九千八百三十四アール百二十一分ノ八十六)
- 二 牧畜ニ供スル土地 五百町步(四万九千五百八十六アール百二十一分ノ九十四)
- 三 植樹ニ供スル土地 五百町步(四万九千五百八十六アール百二十一分ノ九十四)
- 四 特定地 十町步(九百九十一アール百二十一分ノ八十九)
- 五 其ノ他ノ目的ニ供スル土地 十町步(九百九十一アール百二十一分ノ八十九)

會社、組合其ノ他共同シテ事業ヲ經營セントスル者ニ對シテハ其ノ資産及人員ニ應シ前項面積ノ五倍迄累加スルコトヲ得

○北海道廳告示第四百六十一號(大正三年七月三十日)

北海道國有未開地處分法第二條ニ依リ牧場目的ヲ以テ賣拂ヲ受ケタル土地ノ内農耕適地ヲ知ニ其ノ餘ヲ起業ノ條件ナキ放牧地ニ目的變更ノ希望ヲ有スル者ハ其ノ區域ヲ表示セル圖面ヲ添付シ願出ツヘシ但シ放牧地變更スル地域ニ限り土地並義ニ無償付與シタル立木ノ價格ヲ評定シ當初ノ賣拂代價ヨリ超過セル金額ハ之ヲ徵收ス

【報告】

(九九)

神奈川縣ニ於テ從來ノ有料官舎ヲ義務官舎ト爲シ宿代ヲ免除シタルモノ多數アリ抑同縣ノ管理ニ屬スル官舎ハ大正十四年度末總數百五十八戸建坪二千餘坪ニシテ震災應急費ヲ以テ建設シタルモノニ係リ内從來知事官舎外四十二戸ヲ義務官舎トシ來レルニ十四年十二月ニ至リ其ノ全部ヲ義務官舎ト爲シ宿代月額五百餘圓ヲ免除スルニ至リタルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ從來各課主席其ノ他二三ノ者ニ對シテノミ義務官舎トシ其ノ他ハ普通官舎トシテ出願ノ順位ニ依リ貸與シ來レルモ震災以來緊急處理ヲ要スル事務激増シタルニ拘ラス官舎居住ハ任意ト爲シタル結果必要ナル職務ニ在ルモノハ官舎居住ヲ好マス却テ比較的此等緊急事務ニ關係薄キモノ多數居住ノ傾向ヲ示シ爲ニ突發事件等處理ニ關シ往々遺憾ノ點尠カラサルヲ以テ總テ義務官舎ト爲シタル次第ナリト謂フニ在リ然レトモ官舎貸渡内規第五條ノ急施ヲ要スルコトアルヘキ事務ニ從事スル者ハ從來ノ實例ニ徵シ主トシテ各課ノ主任者等二三ノ者ニ止リ縱ヒ答辯ニ謂フカ如ク震災以來緊急處理ヲ要スヘキ事務激増シタルニ至ルモ此等多數ノ官舎居住者カ總テ急施ノ事務ニ從事スルノ要アルモノト認ムルコトヲ得ス殊ニ緊急處理ヲ要スヘキ震災應急事務ノ大體終了シタル十四年末ニ至リ多數ノ官舎ニ居住ヲ命シ宿代ヲ免除スルカ如キハ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ官舎ノ貸與其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本縣ニ於テハ從來各課主席其他二三ノ者ニ對シテノミ義務官舎トナシ其ノ他ハ居住希望者ニ對シ出願ノ順位ニ依リ貸與ノ方法ヲ採リ來リタルモ横濱市内ノ復興スルニ隨ヒ相當ノ住宅ヲ格安ニ借入レラルルニ至リタル爲職務上官舎ニ居住セシムル必要アル者モ之ニ住居スルヲ好マス他ニ居住セントスル者漸ク増加スルノ傾向ヲ示セリ然ルニ本縣ハ震災以來諸般ノ事務激増シ應急施設ノ大體ハ終了セルモ未ダ復興ノ爲緊急處理ヲ要スル事件尠カラス此等緊急事務ヲ處理スルニ當リテハ官舎ニ居住セシムルニアラサレハ支障尠カラス而シテ此等ノ事務ハ主任者二三ノ者ノミヲ以テ能ク處理シ得ヘキモノニアラス幸本縣ハ多數官舎ノ設置アルニ依リ右ニ必要ナル職務ニ在ルモノニ對シ強制居住ヲ命シタルモノナリ尙其ノ人選ニ當リテハ嚴密ナル選定ヲ行ヒ全ク居住ヲ必要トスルモノノミニ就テ命令ヲ發シタルモノナルヲ以テ其ノ貸與ニ關シ毫モ不當ノ廉ナキモノト思料ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○官舎貸渡内規(明治二十一年十二月二十七日)

第五條 各廳ノ便宜ニ由リ其長官ニ於テ別表外ノ官舎ヲ官舎ニ居住セシムル時ハ總テ官舎貸渡規則ニ據ルヘキモノトス (別表略)

【報告】

(一〇〇)

朝鮮咸鏡北道清津府浦項洞八十一番地ノ五所在官有地五百坪ハ大正十三年一月以降製材工場敷地及物置場トシテ貸付料年額參百圓ヲ以テ松本某ニ貸付シ昭和二年一月契約更新ニ當リ貸付面積ヲ二百五十坪ニ減シ貸付料ヲ百五拾圓ト爲シタルモノナリ二年六月之カ實地ヲ檢查スルニ松本某ハ該地ニ製材工場ヲ設ケ二年四月以降年額貸付料千八百圓ヲ以テ之ヲ石田某ニ貸付シ同人ハ契約更新以前ノ貸付面積五百坪ヲ其ノ儘使用シ製材事業ヲ經營シ居ルノミナラス隣接地千六百八坪ヲ合併セ使用セルノ狀況ニシテ工場ノ製材能力、圍繞板塀等四圍ノ狀況ニ徵シ松本某ニ於テ自ラ製材事業ヲ經營セル大正十三年以降ニ於テモ右貸付以外ノ土地ヲ使用セシモノト認メラルルニ二百五十坪ニ對シテノミ貸付ノ手續ヲ爲セルニ過キサルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ契約更新期ニ於テ之ヲ二百五十坪ニ減シ許可セルモ實際五百坪ヲ使用セルヲ以テ之ニ對シテハ有料貸付ノ手續ヲ爲スヘク當初許可區域外ニ互ル隣地千餘坪ニ對シテハ作業上殘材ヲ之ニ一時放置スルコトアリ得ヘキ地形ナルモ松本某カ當初貸付ヲ受ケタル以來漸次製材能力ヲ減少シ十五年ニ至リ工場ヲ閉鎖シタルノ事實ニ徵スルモ之ヲ使用セリト認ムヘキ事實極メテ薄弱ナルヲ以テ十三年ニ週及シ貸付料ノ徵收ヲ爲スヘキモノニ非スト謂フニ在リ然レトモ該地點ハ清津驛ト清津府街トヲ連絡スル交通要路ニ面スルモノナルニ使用ノ實狀ヲ知ラサリシカ如キハ官有地ノ管理上不注意ナルノミナラス又隣接地千餘坪ハ之ヲ使用セリト認ムヘキ事實薄弱ナリト爲スモ該土地ハ朝鮮總督府カ陸軍省ヨリ引繼ヲ受ケサル以前松本某ニ於テ兩地ニ互リ之カ周圍ヲ板塀ヲ以テ圍繞シタルモノニ

【辨明】

リ既墾地ヲ無償貸付シ且賣渡ノ豫約ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

本件ノ土地六百二十九甲ハ芭蕉ヲ植栽セル無斷開墾地ト謂フト雖本地ハ元來傾斜地ニシテ傾斜地ニ於ケル芭蕉ノ栽培ハ勿論永久的ニ非ス即チ土地ノ保安及利用上ヨリ觀レハ完全ナル既墾地ト謂フヲ得ス漸次鳳梨畑ニ更新ヲ要スルモノトス而シテ州カ之ヲ小作ニ付シタルハ更新迄ノ管理上臨機ノ措置タリシニ過キス且ツ被許可人ハ地方公共團體ニシテ何等ノ弊害ナキヲ認メ林野開墾ノ終局ノ目的ヲ達スル爲無償ニテ貸付シタルモノニシテ必スシモ不當ナリトハ認メス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照)

○臺灣官有森林原野及產物特別處分令(明治二十九年九月二十三日勅令第三百十一號)

第一條 臺灣總督ハ左ノ場合ニ限り官有森林原野及其ノ產物ヲ競争ニ付セス隨意ノ契約ヲ以テ貸渡シ又ハ賣渡スコトヲ得

二 開墾若クハ牧畜ノ爲メ森林原野ヲ貸渡シ若クハ賣渡ストキ

但森林原野ヲ賣渡スニハ其ノ買受豫約人ニ於テ豫定ノ事業ヲ成功シタル後ニ限ル

既 往 年 度

既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	一四三
大正九年度及十年度	一四四
一般會計	一四四
歳出	一四四
逓信省所管	一四四
大正十二年度	一四五
一般會計	一四五
歳入	一四五
歳出	一四五
文部省所管	一四五
大正十三年度	一四七
一般會計	一四七
歳入	一四七
特別會計	一四七
大藏省所管	一四九
臺灣總督府	一四九
既往年度 目次	一四九

既往年度 目次

歲入	一四九
樺太廳	一五〇
歲出	一五〇
大正十四年度	一五〇
一般會計	一五〇
歲入	一五一
歲出	一五一
外務省所管	一五四
大藏省所管	一五四
逕信省所管	一五五
特別會計	一五六
大藏省所管	一六一
賠償金	一六一
歲出	一六一
臺灣總督府	一六一
歲入	一六三
歲出	一六三
關東廳	一六四
歲入	一六五
歲出	一六五

樺太廳

歲出

鐵道省所管

帝國鐵道

資本勘定

歲出

一六五
一六五
一六六
一六六
一六六
一六六
一六六

既往年度 目次

既往年度

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳入ノ賦課徴収ニ於テ

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十三件

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ六件

租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

土地ノ賣拂價格低廉ニ失スルモノ一件

合計二十一件

同歳出ノ使用ニ於テ

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ六件

不急ノ工事ヲ施行シタルモノ一件

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

工事ノ施行其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

物件ノ運送ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

借地權ノ買收ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

其ノ他不當ナルモノ一件

合計十二件

ナリ

既往年度

八三、八七二、六八〇

四九、八五四、三〇〇

一五、四四五、九〇七

一六、五三四、二六〇

一六五、七〇七、一四七

六二、二九九、七五〇

一五六、三八八、九五〇

七六、九〇九、四四〇

二七、八八四、六二〇

二四五、七五七、三九〇

九四、八五六、一六〇

三〇、〇〇〇、〇〇〇

六九四、〇九六、三一〇

既往大正九十年 遞信省 (1011)

大正九年度及十年度

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ一件(1011)

一般會計

遞信省所管

歳出臨時部

第五款 電話交換擴張費 第二項 事業費

四六、一〇六〇〇

一四四

【報告】

(1011) 臨時電信電話建設局東京出張所ノ支出ニ係ル

ハ臨時電信電話建設局技手飛田某外十八名カ東京市内外ニ於ケル電話地下管路布設工事ニ從事中人夫供給請負人遠藤某ノ

下請人等ト共謀シ大正八年三月頃ヨリ十一年七月頃ニ至ル間ニ於テ實際使役セサル人夫ヲ使役シタルモノノ如ク装ヒ關係

書類ヲ偽造シ騙取シタルモノニシテ之カ年度區分判明セス右ハ虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ被害金ノ内壹萬七千八百六拾五圓拾壹錢ハ既ニ犯人等ヨリ辨償済ナルモ殘額ニ付テハ本件ニ對スル私訴判決未確定ノモノアル爲未タ

回收ノ運ニ至ラス 尙本件部内側ニ屬スル犯罪關係者ハ總テ休職(休職者ハ刑ノ確定ニ依リ失官又ハ免職等ノ處分ニ付セラレ且ツ犯罪關係者ハ部内外者共全部司法上

ノ制裁ヲ受ケタリ 又監督者ハ懲戒處分ニ付スヘキ所本件ハ孰モ大正十三年一月二十六日前ノ所爲ニ屬スルヲ以テ大正十三年勅令第十一號懲戒又ハ懲罰ノ免

除ニ關スル件ニ依リ之ヲ行ハサルコトナリタルヲ以テ篤ト將來ヲ戒告セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

(參照) ○懲戒又ハ懲罰ノ免除ニ關スル件(大正十三年一月二十六日)抄録

四六、一〇六〇〇

官吏又ハ官吏待遇者ニシテ大正十三年一月二十六日前ノ所爲ニ付懲戒又ハ懲罰ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シテハ將來ニ向テ其ノ懲戒又ハ懲罰ヲ免除ス 未タ處分ヲ受ケサル者ニ對シテハ懲戒又ハ懲罰ヲ行ハス

大正十二年 歳入

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ一件(1011)

二、五九〇九九〇

歳出

其他不當ナルモノ一件(1014)

三〇、〇〇〇〇〇

一般會計

歳入經常部

第一款 租税 第三項 營業稅

【報告】

(1011) 神戸稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

二、五九〇九九〇

アリ右ハ製造業「ダンロップ」護謄極東株式會社ノ課稅標準ヲ決定スルニ當リ資本金額百八拾萬六千九百貳拾四圓ヲ百貳萬

千七百七拾四圓ト計算シタルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ昭和二年度ニ於テ更正済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

文部省所管

歳出臨時部

既往大正十二年 歳入 (1011)

一四五

第二款 高等諸學校創設及擴張費 第二項 新置及設備費

【報告】

(一〇四) 九州帝國大學ノ支出ニ係ル

三〇、〇〇〇円

ハ大正十二年七月文部省在外研究員大森某ニ對シテ、文學部參考圖書ノ購入ヲ委託シ概算拂トシテ交付シタルモノニシテ昭和二年五月精算ノ結果千五百六圓餘ヲ歳入ニ納付セリ抑本費ハ一般會計所屬經費ナルヲ以テ大學特別會計規則ニ於ケル如ク概算拂ヲ爲シ得ヘキ規定ナキノミナラス年度内購入並運搬ヲ爲シタル金額ハ壹萬五千六百餘圓ニ過キス壹萬參千餘圓ハ大正十三年度乃至十四年度ノ間ニ於テ購入送付ヲ爲シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件概算拂ハ大學特別會計規則第十七條ニ準シタルモノナルモ右ハ全ク法規ノ適用ヲ誤リタルモノナリ又購入年度ニ就キテハ十二年秋頃ヨリ歐洲各國ハ財界ノ變動著シク且獨逸國ニ於テハ多額ノ輸出稅ヲ賦課セラルル趣ニテ一時購入年度差控ヘタルト又研究ノ都合上巡歴遲延ノ爲メ圖書ノ購入意ノ如クナラサリシニ因ルモノニシテ其ノ間至急購入方注意ヲ促シタルモ前記大森某ハ右概算受領金ヲ更ニ十數名ノ在外國人ニ分割シ各別ニ蒐集方委囑セル等ノ爲遂ニ斯ル結果ヲ來シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件概算拂ハ法規ノ認メサル所ニシテ不當ナルノミナラス縱ヒ答辯ニ謂フカ如キ事情アリシトスルモ年度内購入殘額ハ當然之ヲ返納セシメ豫算ヲ翌年度ニ繰越ス等相當ノ處置ヲ講スヘキモノナルニ年度經過後二箇年度ニ互リ其ノ儘現金ヲ保持セシメ物品ノ購入ヲ爲シタルカ如キハ經費ノ所屬年度ヲ紊ルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本件經費ノ概算拂ヲナシタルハ大學當路者カ大學特別會計規則ノ適用ニ馴レ同會計規則ニ於テハ斯クノ如キ概算拂ヲ許容スルコトヨリ生シタル錯誤ニシテ將來充分注意スヘシ尙又年度經過後二箇年ニ互リテ圖書ノ購入遲延シタルハ大正十二年秋以來歐洲各國財界ノ變動著シク獨逸國ニ於テハ物價非常ニ暴騰シ且ツ多額ノ輸出稅ヲ賦課サルル趣ニテ一時購入ヲ差控ヘタルト又受託者タル研究員研究ノ都合上巡歴遲延ノ爲メ其ノ購入意ノ如クナラサリシノミナラス圖書ノ蒐集ハ在外教官候補者ヲシテ各自研究學科ニ關係アルモノヲ購入セシムルヲ便宜ナリトシ右概算受領金ノ大部分ヲ更ニ十數名ノ在外研究員タル教官候補者ニ分割委託シタルヲ以テ受託者各地ニ散在シ然モ事外國巡歴者トノ交渉ニ係リ諸事意ノ如クナラス遂ニ本件批難ノ如キ結果ヲ生スルノ已ムナキニ至リシモノニシテ誠ニ遺憾トスル所ナリ將來充分注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○大學特別會計規則(大正十年四月十二日勅令第八十一號)

第十七條 大學ニ於テ在外國人、學術家又ハ學術研究旅行者ニ物品ノ購買、採集又ハ實驗ヲ委託スル場合ニ於テハ其ノ委託ヲ受ケタル者ヲ受取人トシ概算拂ヲ爲スコトヲ得

大正十三年度

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ四件(一〇五)(一〇六)(一〇七)(一〇九)

一五、五一〇円四八〇

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ一件(一〇七)

一一、〇九三六七〇

租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一〇八)

一五、四四五九〇七

合計六件

四二、〇五〇〇五七

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ一件(一一〇)

一、一六七八四〇

一般會計

歳入經常部

第一款 租税 第二項 所得税

【報告】

(一〇五) 静岡稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

四、一八〇四八〇

アリ右ハ株式會社巴川製紙所自大正十二年十二月及自十三年六月事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ賣上ヲ減殺シ秘密積立ト爲シタルモノ前者貳萬六千餘圓後者壹萬千餘圓アルニ之ヲ益金ニ加算セサリシ爲前者ノ超過所得四萬五千五百六圓留

既往大正十三年度 歳入 (一〇五)

既往大正十三年度 歳入 (一〇六)(一〇七)

一四八

保所得五萬參千七拾圓ヲ超過所得壹萬九千八百四拾七圓留保所得貳萬七千五百拾壹圓ト計算シ後者ノ超過所得壹萬九千貳百參圓留保所得貳萬九千五百九拾圓ヲ超過所得九千貳百五拾貳圓留保所得壹萬七千九百八拾貳圓ト計算シタル等ニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ昭和二年度ニ於テ更正済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三項 營業稅

【報告】

(一〇六) 京橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

六、八六九^円七二〇

アリ右ハ西武鐵道株式會社ノ鐵道業課稅標準ヲ決定スルニ當リ收入金額四拾七萬五千八百七拾參圓從業者七十三人職工勞役者百二十三人ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

(一〇七) 神戸稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三、四四六^円三八〇

アリ右ハ製造業「ダンロップ」護謄極東株式會社ノ課稅標準ヲ決定スルニ當リ資本金額貳百拾六萬八千參百八圓ヲ百拾貳萬參千九百五拾壹圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

一一、〇九三^円六七〇

西稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ大同生命保險株式會社ノ保險業課稅標準ヲ決定スルニ當リ資本金額九拾八萬六千五百五圓ヲ四百拾五萬貳百貳拾四圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ大正十五年及元年度ニ於テ更正済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三款 官業及官有財産收入 第二項 森林收入

【報告】

(一〇八) 本項決算額ノ外北海道廳ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

一五、四四五^円九〇七

アリ右ハ北海道廳森林主事小田某カ同廳網走營林區署遠輕營林區分署渚滑保護區員駐在所勤務中大正十一年一月ヨリ十四年二月ニ至ル間ニ於テ中山某外一名ノ請託ヲ容レ擅ニ極印ヲ打記シテ盜伐セシメ又ハ盜伐ヲ默認シタル生立榎松外十數種二千四百五十二本材積二萬二千三百七十一石餘價格壹萬九千貳圓四拾參錢壹厘ノ内ニシテ之カ年度區分判明セス千五百五拾六圓四拾壹錢五厘ハ枯損木賣拂代トシテ收入シ貳千圓拾錢九厘ハ現存林木賣拂代トシテ收入済ニ屬スルモノナリ右ノ外本件ト同時期ニ於テ大原某外數十名ニ盜伐セラレタル生立榎松外十數種四千九百本三萬千餘石價格貳萬四千餘圓アリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ犯人判明ノモノニ對シテハ總テ徵收手續中ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

特別會計

大藏省所管

臺灣總督府

歳入經常部

第一款 臺灣歳入 第一項 租稅

【報告】

(一〇九) 臺南州ニ於テ所得稅ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一、〇一三^円九〇〇

アリ右ハ明治製糖株式會社 自大正十三年四月 專業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ支拂義務ナキ重役給料引當金壹萬千九百

既往大正十三年度 歳入 (一〇八) 臺灣總督府 (一〇九)

一四九

既往大正十三年度 樺太廳 (一一〇)

六拾圓ヲ損金ニ加算シタル等ニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ昭和二年一月三十一日追徴済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

樺太廳

歳出經常部

第五款 現業費 第三項 醫院費

【報告】 (一一〇) 樺太廳ノ支出ニ係ル

一、二六七^円八四〇

ハ藥品代トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實同廳大泊醫院書記横田某外一名カ納人井上某ト共謀シ又ハ横田某カ單獨ニテ大正十三年六月ヨリ十四年九月ニ至ル間ニ於テ實際購入セサル物品ヲ購入シタルモノノ如ク装ヒ關係書類ヲ偽造シ騙取シタル總額貳千貳拾貳圓拾四錢ノ内ニシテ八百五拾四圓參拾錢ハ十四年度ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ犯人ハ相當處分ヲ了シ被害金ハ徴收手續中ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

大正十四年度

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ八件(一一一)(一一二)(一一三)(一一四)(一一五)
租税ノ徴收過ニ屬スルモノ五件(一一六)(一一七)(一一八)(一一九)

六五、七七^円一一〇
三八、七六〇^円六三〇

土地ノ賣拂價格低廉ニ失スルモノ一件(一二一)
合計十四件

一六、五三四^円二六〇
一一一、〇六六^円一〇〇

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ四件(一二四)(一二五)(一二六)(一二七)
不急ノ工事ヲ施行シタルモノ一件(一二八)
豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一二九)
工事ノ施行其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一三〇)
物件ノ運送ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一三一)
借地權ノ買収ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一三二)
合計九件

一五、〇二^円一三一〇
一五六、三八八^円九五〇
七六、九〇九^円四四〇
二七、八八四^円六二〇
二四五、七五七^円三九〇
九四、八五六^円一六〇
六一六、八一七^円八七〇

一般會計

歳入經常部

第一款 租税 第二項 所得税

【報告】

(一一一) 高山稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

三三、二〇五^円九七〇

アリ右ハ飛驒電燈株式會社(以下甲ト稱ス) 自大正十二年十二月 事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ飛驒水電株式會社(以下乙ト稱ス) 合併ニ依ル益金拾六萬五千圓ニ對シ超過所得及配當所得ヲ計算セス被合併會社ニ清算所得アリトシテ課税シタルニ因ルモノナリ甲ハ株式拂込濟額參拾九萬圓ノ乙ヲ合併スルニ際シ合併ニ因ル増資株一萬三千株參拾九萬圓中七千五百株貳拾貳萬五千圓ハ乙ニ交付スルモ殘五千五百株拾六萬五千圓ハ甲ニ於テ隨意處分スヘキ旨ヲ契約シタルモノナルヲ以テ右拾六萬五千圓ハ之ヲ合併利益トシテ所得ニ計算スルヲ相當ト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ甲ノ隨意處分スヘキ株式五千五百株ハ乙ノ財産ヲ引當トシテ發行セラレ甲ノ株主ニ於テ拂込ヲ爲シタルモノニ非サルヲ以テ

既往大正十四年度 歳入 (一一一)

一五一

發行ト同時ニ法律上當然乙ノ株主ニ歸屬シタルモノニシテ後ニ至リ甲ノ株主ニ無償讓與シタルモノト認ムト謂フニ在ルモ合併ノ對價トシテ交付スヘキ株式數カ七千五百株ニ限定セラレタルコトハ契約上明瞭ナルヲ以テ甲乙株主間ニ於テ無償讓與アリタルモノト認メ難ク隨テ甲ハ前記取得株式ニ相當スル合併利益ヲ生シ乙ハ何等清算所得ヲ存セサルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ徵收不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件合併ニ於テ飛騨電燈株式會社(以下甲ト稱ス)ノ増資株式壹萬參千株ハ飛騨水電株式會社(以下乙ト稱ス)ノ合併財産ヲ引當トシテ發行セラレ其ノ株式ノ全部ハ乙ノ株主カ取得シタルモノナリ從テ甲ノ隨意處分スト定メタル株式五千五百株ハ合併契約書及其ノ所有權移轉ノ手續等ニ徴シ一旦乙ノ株主カ取得シタル後之ヲ甲ノ株主ニ讓與シタルモノト認ムヘク既ニ乙ノ株主カ合併ニ因リ取得シタル株式壹萬參千株ナル以上甲ハ本件合併ノ爲ニ増資株式壹萬參千株此ノ拂込濟金額參拾九萬圓金銭參萬四百五拾圓合計四拾貳萬四百五拾圓ヲ交付シ之ニ對シ同額ノ資産ヲ受入レタルモノナルヲ以テ其ノ間合併ニ因ル利益ナク從テ又配當所得ナシト認ムルヲ相當トス故ニ本件稅務官廳ノ取扱ハ違法又ハ不當ノ點ナシト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】

(一一二) 本項ニ於テ伏見稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

六、〇〇三、〇四〇

第三項營業稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

六三〇、八六〇

アリ右ハ京都府伏見町大倉某ノ所得額及物品販賣業課稅標準ヲ決定スルニ當リ清酒卸賣所得貳萬八千六百七拾五圓及賣上金額卸賣乙五拾七萬參千五百拾貳圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

二、五六一、五七〇

神戸及幸橋兩稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ神戸稅務署ニ於テ神戸市阿部某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ幸橋稅務署ヨリ通報ヲ漏シタル爲東京海上火災保險株式會社外八會社ヨリ受ケタル配當所得壹萬七千四百五圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

三、九五五、七五〇

四谷稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ畑合資會社自大正十四年四月至同 年九月事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ會社カ所有ニ係ル日本電氣株式會社株式ノ評價

損參萬九千四百圓ヲ計上シタルニ對シ内壹萬九千四百七拾九圓ヲ是認スヘキモノナルニ全額ヲ否認シタルニ因ルモノナリ
住道稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

二、五二七、九〇〇

アリ右ハ大阪電氣軌道株式會社自大正十三年十月至同 十四年三月事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ被合併法人元東大阪土地建物株式會社ノ積立金減少額八千貳百八圓ニ對シ填補免稅ヲ爲サス又當期總益金中ニ繰入レタル前記被合併法人ノ最終事業年度ノ留

保金四萬千貳百八拾九圓餘ヲ留保所得計算上控除セサリシ等ニ因ルモノナリ
福井稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

二、二〇七、九〇〇

アリ右ハ福井市飛島某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ貸金利子貳千貳百九拾五圓ヲ壹萬貳千八百拾四圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計檢査院檢査報告ノ通

但シ會社解散シ清算終了ノ爲徵收ノ途ナキモノノ外大正十五年昭和元年年度又ハ昭和二年度ニ於テ更正濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三項 營業稅

【報告】

(一一三) 京橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

二、九七五、一七〇

アリ右ハ東京市京橋區出版業大谷某ノ課稅標準ヲ決定スルニ當リ資本金額九拾六萬七千餘圓ヲ六萬五千餘圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

二、九二一、六一〇

水戸稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ銀行業常盤銀行ノ課稅標準ヲ決定スルニ當リ被合併法人結城及下館兩銀行分ノ資本金ヲ脱漏セル爲資本金五百拾貳萬六千四百四拾壹圓ヲ四百貳拾九萬千六百九拾七圓ト計算シタル等ニ因ルモノナリ

既往大正十四年度 外務省 (一一四)

京橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一五四

アリ右ハ物品販賣業株式會社明治屋東京支店ノ課稅標準ヲ決定スルニ當リ賣上金額中卸賣乙六百七拾參萬六千餘圓ヲ四百

二、八七三、六七〇

七拾壹萬千餘圓ト小賣乙五拾壹萬餘圓ヲ貳拾九萬五千餘圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

西稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一、二、六七五、五九〇

アリ右ハ大同生命保險株式會社ノ保險業課稅標準ヲ決定スルニ當リ資本金額百貳拾參萬四千七百五拾貳圓ヲ四百八拾五萬

六千參百四拾九圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

【辨明】會計檢査院檢査報告ノ通

但シ大正十五年及ハ昭和二年度ニ於テ更正濟

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】不當

外務省所管

歳出經常部

第二款 在外公館 第六項 在外國居留民取締費

【報告】(一一四) 本項ニ於テ外務省ノ支出ニ係ル

歳出臨時部第四款在外國居留民臨時保護取締費第二項事務費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

四、五三七、三六〇

ハ外務省巡查十九名ノ旅費トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實外務屬大庭某カ大正十二年五月ヨリ十五年八月ニ至ル間ニ

三、二五七、八五〇

於テ騙取シタル總額貳萬五千七百九圓壹錢ノ内ニシテ壹萬四千九拾七圓五拾錢ハ十三年度以前ニ參千八百拾六圓參拾錢ハ

大正十五年昭元年度ニ屬スルモノナリ右ハ外務省所管歳出經常部第二款在外公館第六項在外國居留民取締費ニ於テ詳悉セシ如シ

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス (一七頁(一〇)參看)

【辨明】會計檢査院檢査報告ノ通

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】不當

大藏省所管

歳出臨時部

第十款 震災復舊諸費 第四項 印刷局廳舎及工場其他復舊費

【報告】(一一五) 營繕管財局及内閣印刷局ノ支出ニ係ル

一五六、三八八、九五〇

ハ震災復舊ノ爲營繕管財局ニ於テ施行シタル内閣印刷局抄紙部汽罐室葺斷場各一棟煙突一基ノ工事費及内閣印刷局ニ於テ

購入シタル紙料調製機四臺ノ代金並汽罐四箇ノ据附工事費ニシテ大正十三年十一月ヨリ十四年十二月ニ至ル間ニ於テ施設

セルモノナリ十五年七月ノカ實地ヲ檢査スルニ此等工事施行後復舊工事中止シ葺斷場、汽罐室ハ之ヲ使用セス又紙料調

製機ハ据附未了ニ屬セルヲ以テ之カ事由ヲ印刷局長ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ抄紙部ハ當初震災前ノ規模ニ復舊スル

ノ計畫ナリシモ同地ハ近時發展著シク煤煙塵埃多ク用水亦其ノ水量ヲ減スルト共ニ汚濁シ到底現狀ノ儘ニテ推移スルヲ許

ササルニ至リタルト一面民間ニ於ケル製紙事業著シク發達セルヲ以テ特種製品ヲ除ク用紙類ハ民業ニ移スヲ時勢ニ適應セ

ル處置ナリト認メ十四年十月復舊計畫ヲ改メ郊外適當ノ地ニ移轉スルコトニ決定セリ而シテ抄紙部復舊計畫ハ之ヲ變更ス

ト雖其ノ作業ハ一日モ忽ニスルヲ許サス原動裝置タル汽罐室ハ計畫ノ如何ニ拘ラス之カ設置ヲ要シ隨テ汽罐ノ据附ヲ了セ

ルモ「パイプ」類ノ取附未了ノ爲運轉ノ運ニ至ラサリシカ近近之カ取附ヲ爲シ使用スル見込ナリ葺斷場ハ葺斷機購入ノ

運ニ至ラサリシ爲使用ニ至ラス紙料調製機ハ震災ノ爲破損シタル該機械ニ應急修理ヲ加ヘタル分近キ將來ニ於テ使用ニ堪

ヘサルニ至ルヘキ見込ナリシヲ以テ取敢ヘス購入シタルモ修理ヲ加ヘタル該機械使用ニ堪フルヲ以テ購入ニ係ル新機械ハ

据附未了ノ儘保管シ新設工場ニ据附ケ使用ノ見込ナリト謂フニ在リ然レトモ昭和二年七月再ヒ實地ヲ檢査スルニ汽罐室ハ

配管ノ設備ヲ爲サス葺斷場ハ葺斷機購入ナキヲ以テ共ニ物置ニ供シ又紙料調製機ハ購入當時ノ儘存置シアルノ狀況

既往大正十四年度 大藏省 (一一五)

一五五

ナリ元來復舊計畫ノ變更決定ハ大正十四年十月ナリト雖本件建築工事著手以前既ニ移轉ノ計畫懸案中ナリシモノナルヲ以テ本件施設ノ如キハ計畫確定ヲ俟テ處理スルモ支障ナキモノニ屬シ就中汽罐室ノ設置ニ關シテハ震災後作業開始ト共ニ在來汽罐ニ修理ヲ加ヘ使用ヲ繼續シ爾後ノ作業力ニ對シ何等支障ナキニ徴シ敢テ新汽罐ヲ増設スルノ必要アリシモノト認ムルヲ得ヌ要スルニ本件ハ注意ノ周到ヲ缺キ不要ノ工事ヲ施行シ又ハ不急ノ機械ヲ購入シ國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

印刷局ノ作業ハ秘密ヲ要スル政府ノ重要文書ノ印刷偽造變造ノ防止ヲ目的トスル紙幣其ノ他有價證券用紙ノ抄造及印刷等ヲ目的トスルモノニシテ其ノ作業ハ震災後急速ニ復舊スルヲ要シタルヲ不取敢震災前ノ規模ニ復舊スルノ計畫ヲ立テ實施ニ著手セリ而シテ復舊計畫ハ其ノ後考究ノ結果變更セラルル所アリタリト雖其ノ作業ハ一日モ忽ニスルヲ許サルルノミナラス就中原動裝置タル汽罐室其ノ他ハ計畫變更ノ如何ニ拘ハラズ設備ヲ要シタルヲ以テ之ヲ施行シタルモノナリ其ノ十五年七月實地検査ノ際藥斷場及汽罐室ヲ使用セザリシハ藥斷場ハ樞機斷機未タ購入ノ運ヒニ至ラス汽罐室ハパイプ類ノ取付未了ノタメ運轉スルヲ得ザリシカ爲ニシテ紙料調製機ノ据付未了ナリシハ震災ノ爲破損シタル舊機械ニ應急修理ヲ加ヘタルモノ使用ニ耐ヘタル爲ニ力使用ヲ繼續シツツアリタルニ依ルモノナリ又昭和二年七月實地検査ノ際汽罐室及藥斷場ヲ物置ニ供シアリタルハ之ヲ不用ナルモノトセルカ故ニアラスシテ偶隣地東京セルロイド加工所ヨリ失火シ當局所屬倉庫五棟類焼ノ厄ニ遭ヒタル爲一時之ヲ倉庫ニ代用スルノ機宜ノ措置ニ出テタルニ依ルモノナリ而シテ汽罐室ノ設置ニ關シテハ震災後不取敢舊汽罐室ニ應急修理ヲ加ヘ使用セシモ其後漸次使用ニ耐ヘサルニ至リシヲ以テ新設汽罐室ヲ使用スヘク目下配管手續中ニシテ藥斷場ハ現在使用中ナリ尙紙料調製機ニ付テハ應急修理ヲ加ヘタル破損舊機械カ修理當時ノ見込ニ比シ案外使用ニ耐ユルモノト認メラレタルヲ以テ新規購入機ノ使用ヲ一時見合セツツアルニ過キヌ要スルニ本件ハ敢テ不要ノ工事ヲ施行シ若ハ不急ノ機械ヲ購入シタルモノニアラサルヲ以テ不當ナリトナスヲ得ヌ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

逓信省所管

歳出臨時部

第五款 電話交換擴張費 第二項 事業費

【報告】 (一一六) 熊本逓信局ノ支出ニ係ル

七六、九〇九^円四四〇

ハ佐賀長崎間、飯肥福島間、八代人吉間、福岡西戸崎間、福岡唐津間、江迎平戸間及福岡後藤寺間各電話一回線増設並柿坂、三郷、下郷三局各電話通話事務開始工事費拾萬千五百拾貳圓參拾八錢ノ内ニシテ貳萬四千貳百四拾貳圓九拾四錢ハ大正十三年度ニ屬シ外ニ本省交付物品五萬貳千五百拾四圓ヲ使用スルモノナリ右ハ孰モ電話擴張工事ヲ施行スルノ外佐賀長崎間三里四町餘八代人吉間四里十一町餘其ノ他ノ區間ニ於テモ二里内外ニ互リ線路ノ改良並變更ヲ爲シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ前記各區間ハ使用電柱比較的短小ナルノミナラス建設後相當年月ヲ經過シ且附近家屋ノ密集等ニ依リ現状ノ儘ニテハ本回線ヲ増架スルコト困難ナルニ依リ之カ改修ヲ施シタルモノニシテ佐賀長崎間ハ十三年度ニ於テ其ノ一部ヲ施行シ開通ニ支障ナキ程度ニ至リタルモ更ニ之カ完全ヲ圖リ本年度ニ於テ殘餘ノ改修ヲ施シタルモノニ係リ孰モ本回線増架ニ依リ直接改修ノ必要ヲ生シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ前掲各區間ハ建設後二十餘年ヲ經過シ改修ノ時期既ニ到來セルモノニシテ殊ニ佐賀長崎間ニ在リテハ數年來本省ニ對シ之カ改修ヲ申請セシモノニ屬シ十三年度ニ於テ一回線増設工事ニ當リ其ノ一部ノ改修ヲ爲シ本件工事施行ニ當リ更ニ他ノ一部ヲ改修シ尙十五年度ニ於テモ門司長崎間一回線増設工事ノ施行ニ當リ其ノ他ノ一部ヲ改修スル等順次改修區間ヲ延長シタルノ事實ヨリ觀ルトキハ此等各工事ハ孰モ電話ノ増設ヲ機トシ電信電話營業費等ニ屬スル改良工事ヲ併セ實施シタルモノト認メサルヲ得ヌ隨テ此等改良工事ニ要シタル經費ノ全部ヲ本費ノ支辨ト爲スカ如キハ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ヌ要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件佐賀長崎間以下電話線増設及通話事務開始工事ニ伴フ在來線路ノ改修工事費ヲ電話交換擴張費ヲ以テ支辨セルハ大正十五年度一般會計歳出ノ部(二項)ニ於テ辨明セル理由ト同様此等ノ各線路ハ建設後相當年月ヲ經過セル等ノ事由アリト雖其ノ儘存置スルニ於テハ尙數年間使用シ得ヘキ狀況ニ在リタリ唯其ノ區間ニ建設セル電柱カ短尺細小ニシテ此ノ上新線ヲ添架スルトキハ最早負荷ニ耐エサルノミナラス假

ニ右區間ニ一時的ノ設備ヲ施シ新線ヲ添架スルトセハ全線張力上ノ均齊ヲ失ヒ保守上不安ヲ來タスハ勿論將來新線ノ増架ヲ爲ス場合ニ於テハ必然一大改築工事ヲ施行セサルヘカラサルヲ以テ線條増架ノ爲改修ノ必要アル箇所ニ對シテハ適當ナル補修工事ヲ行ヒタル上之ニ添架スル方一時間ニ合セテノ施設ニ依リ増設同線ノ添架工事ヲ行フニ比シ經濟上極メテ得策ナリト認メタル結果ニ外ナラス検査院見解ノ如ク在來線路ニ對シ新線増架上建替變更等ノ改修工事ヲ必要トスル場合ニ於テハ其ノ工事費ヲ電話交換擴張費及電信電話營業費等ニ區分シ建替變更等所謂在來線路ノ改良ト認ムヘキ部分ニ要スル工事費ハ電信電話營業費等ニ於テ負擔スヘシトスルハ理論トシテハ一應尤モナルカ如キモ斯ル場合ノ改築ハ其ノ原因錯綜シ如何ナル程度迄ヲ以テ在來線路ノ改良トスルカ之ヲ區別スルコト至難ニシテ實際問題トシテハ多クノ場合行ハレ難シ況ヤ本件工事ノ如ク線條ヲ増架セサルニ於テハ在來線路ハ尙相當期間維持シ得ヘキニ拘ラス偶増架ヲナスカ爲ニ其ノ改修ヲ必要トセル場合其ノ所要經費ヲ電信電話營業費等ヨリ支辨スルカ如キハ反ツテ豫算使用上妥當ヲ缺クモノト言ハサルヲ得ス要スルニ本件在來線路ノ改修ハ電話擴張工事ノ施行力其ノ之ヲ必要トスル直接ノ原因ヲ成セルモノナルカ故ニ之カ工費ヲ其ノ原因ノ屬スル電話交換擴張費ノ負擔トセル次第ニシテ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト信セス (五一頁(三四)參看)

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

第十四款 震災復舊及新費費 第一項 電信電話施設費

【報告】 (一一七) 遞信省ノ支出ニ係ル

二七、八八四、六二〇

ハ大正十四年六月東京市麴町區戸田某ニ請負ハシメタル横濱中央電話局舊局舎修繕工事費貳拾壹萬五千六百圓ノ内ニシテ同年十一月之カ契約ヲ解除シ其ノ出來高及諸假設物損料並持込材料等ニ對シ支拂ヒタル代價ナリ右局舎ノ敷地ハ同年四月區劃整理地區ニ編入セラレタルモノニシテ將來建物ノ後退取毀等ノ餘儀ナキニ至ルヘキハ之ヲ豫想シ得ラレタルモノト認メラルルニ本件工事ヲ施行シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

十二年十一月横濱市内道路計畫ニ關シ復興局ニ照會シタルニ十三年三月横濱中央電話局舊局舎敷地ハ路線計畫ニ關係ナキ趣ノ回答アリタルヲ以テ修繕工事ヲ施行スヘク其ノ手續進行中十四年四月内務省告示ヲ以テ區劃整理施行地區ニ追加編入セラレテ復興局ヨリ右區域ノ遞信省用地ヲ整理地區ニ編入シタキ旨ノ照會ニ接シタルヲ以テ一應之ヲ考慮セシモ

異ニ十三年三月復興局回答ノ次第モアリ且本敷地上ニハ修繕使用ニ堪フル鐵筋混凝土造四階建建物ノ現存スルヲ以テ縱

ヒ整理地區内ニ編入セラレタリトスルモ之カ爲スル建物及敷地ノ一部切取等ノ問題ヲ生スルコトナカルヘク假ニ之アリトスルモ遞信省トシテハ之カ協議ニ應スル意思ナキノミナラス本建物修繕費豫算ハ十五年迄ノ繼續費ニ包含セラルルモノニシテ起工ノ遷延ヲ許ササルニ依リ右照會ニ關係ナク十四年六月之ヲ請負ニ付シ起工セシメタリ然ルニ同年六月横濱市長ヨリ今回ノ整理地區追加ヲ事由トシ向側横濱中央電話局市内交換課及之ニ接續スル横濱郵便局新築豫定地ノ道路沿ノ部分ヲ與行三間切取方ノ申請アリタルモ右市内交換課新築工事ハ當時既ニ竣功ニ近ツキ之ヲ切取ルコト不可能ナルヲ以テ横濱市並復興局ト熟議ヲ重ね結局本件敷地ノ方ニ於テ道路ヲ擴張スルコトトシ現存建物ヲ取毀テ後退シテ新築スル爲ニ生スル豫算ノ不足ヲ復興局ニ於テ負擔スルニ付該敷地ノ道路沿ノ部分切取方ノ承諾ヲ得度旨改メテ要請アリ是亦遞信省トシテハ豫期ニ反スルモノナルモ區劃整理事業ノ完成ヲ期スル爲ニハ已ムヲ得サルモノト認メ遂ニ之ニ同意シ其ノ結果十四年十一月ニ至リ本件局舎修繕工事ノ請負ヲ解除シタル次第ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ區劃整理施行地區ニ追加編入セラレ復興局ヨリ之ニ關スル照會アリタルニ拘ラス建物及敷地一部切取等ノ問題ヲ生スルコトナカルヘク假ニ之アリトスルモ之ニ應スル意思ナシトシ且本費繼續費ハ尙二箇年ノ日子ヲ有スルニ拘ラス遷延ヲ許ササルモノトシテ修繕工事ニ著手シ爾後約二箇月ヲ經過スル迄工事ノ中止ヲ爲ササリシカ如キハ其ノ措置妥當ヲ缺クモノト謂ハサルヲ得ス之カ爲本件支拂額ノ内官ノ取得セル材料代價六千四百餘圓ヲ除キ貳萬四千四百餘圓ノ大部分ハ損失ニ歸シタルノ計算ナリ要スルニ本件ハ工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 横濱中央電話局舊局舎修繕工事ノ起工並之カ中止及契約解除ニ關スル件ハ其ノ顛末左ニ詳記スル如ク當省トシテハ最善ノ方策ヲ講シタルモノニシテ検査院ニ於テ本件工事ニ對シ措置其ノ宜シキヲ得ストシテ批難セラルルハ其ノ當ヲ得サルモノト思考ス

一 横濱中央電話局舊局舎ハ大震災災ニ因リ損害ヲ被リタルモ其ノ構造四階建延坪數七九二坪ノ鐵筋「コンクリート」造ニシテ相當ノ修繕(補強)ヲ加フルニ於テハ十分使用ニ堪ヘ得ルモノナルニ依リ之ヲ修繕使用スル見込ヲ以テ一般ノ震災復舊及新費費豫算要求ノ際本建物既往大正十四年度 遞信省 (一一七)

ニ對シテハ單ニ其ノ修繕費ヲ要求スルニ止メタリ右豫算要求ノ際本建物所在地ヲ區劃整理施行地區ニ編入セラルルヤ否ヤハ全ク不明ナリシモ若シ之ヲ編入セラレ而シテ其ノ前面道路ヲ擴張セラルルコトアリトセハ本建物ハ木造ニアラサル爲在案ノ儘之ヲ後方ニ移轉スルコト絕對ニ不可能ナルヲ以テ強テ其ノ道路沿敷地ヲ切取り道路敷ニ充當セムトセハ一旦建物ヲ取毀テ更ニ後退シテ新築スルノ外ナキ處斯クノ如キハ甚ダ不經濟ナルヲ以テ之ヲ避ケ其ノ向側ナル當省用地(横濱中央電話局ノ一部及横濱郵便局新築地)ノ方ニ於テ同地ノ道路沿部分切取ノ協議ニ應スル見込ナリキ故ニ検査報告中ニ「右局舎ノ敷地ハ同年(大正十四年)四月區劃整理地區ニ編入セラレタルモノニシテ將來建物ノ後退取毀等ノ餘儀ナキニ至ルヘキハ之ヲ豫想シ得ラレタルモノト認メラルルニ」ト謂ヒテ其ノ反面ニハ當省カ豫想シ得ラルヘキコトヲ豫想セサリシカノ如キ文意ニ掲記シアルモ實際ハ否ラスシテ豫想メ之ヲ相當考慮セシハ前記ノ通ナリトス

二 當省ノ方針前記ノ如キヲ以テ本建物ニ對シテハ修繕工事ヲ施行スヘク其ノ手續進行中大正十四年四月二十一日内務省告示第七八號ヲ以テ區劃整理施行地區追加ノ件公示セラレ次テ同年五月二十二日復興局長官ヨリ該追加地區内ニ逓信省用地アラハ之ヲ整理地區ニ編入方承諾ヲ得度旨照會ニ接シタリ依テ一應考慮セシモ次ニ掲クル大正十三年三月三十一日復興局長官回答ノ次第モアリ且本敷地上ニハ修繕使用ニ堪ユル鐵筋「コンクリート」造四階建物ノ現存スルヲ以テ此ノ際本敷地ヲ他ノ當省用地ト共ニ整理地區内ニ編入シタレハトテ之カ爲斯クノ如キ不經濟極マル建物及敷地ノ一部切取等ノ問題ヲ生スルコトナカルヘク假リニ之レアリトスルモ當省ノ意見ハ前項ニ述ヘタル通ナルノミナラス本建物修繕費算ハ大正十五年度迄ノ繼續費(昭和二年年度豫算ニ於テ續費)中ニ包含セラルルモノニシテ最早起工ノ遲延ヲ許ササルニ依リ右照會ニ關係ナク大正十四年六月十九日之ヲ請負ニ付シ同月二十六日起工セシメタリ但其ノ竣功期限ハ同十五年三月三十日ナリトス然ルニ検査報告中ニハ「且本費繼續費ハ尙二箇年ノ日子ヲ有スルニ拘ラス遲延ヲ許ササルモノトシテ修繕工事ニ著手シ」ト謂ヒテ尙起工ヲ遲延スルモ支障ナキモノノ如ク掲記シアルモノ來電話ノ復舊ハ出來得ル限リ急ヲ要スルノミナラス本件ノ場合ニ在リテハ局舎修繕工事ノ竣功ヲ待テ更ニ内部ノ機械裝置工事ヲ施行セサルヘカラス然ルニ其ノ機械裝置工事モ亦相當ノ日子ヲ要スルノ外之カ工事費ハ局舎修繕工事費ト同シク大正十五年度迄ノ繼續費中ニ包含セラルルヲ以テ最早此上局舎修繕工事ノ遲延ヲ許ササルモノナリトス

此場合ニ當リ本建物敷地ノ向側ナル當省用地(横濱中央電話局ノ一部及横濱郵便局新築地)ニ付一言スルノ要アリ本用地ハ若シ其ノ前面道路擴張ノ爲必要アルトキハ之カ一部切取ノ協議ニ應スル見込ナルコトハ前項中ニ述ヘタル通ナルモサレハトテ局舎本建築工事ノ促進上在再復興局ヨリ來議ヲ待ツコト能ハサルニ依リ大正十二年十一月九日及十二月十二日ノ二回ニ涉リ復興局ニ照會シ同十三年三月三十一日之カ回答ヲ得タリ該回答ニ依レハ本用地ハ横濱中央電話局舊局舎敷地ト共ニ路線計畫ニ關係ナク局舎新築ニ支障ナキ趣ナルヲ以テ同十三年十月横濱中央電話局市内交換室及其ノ關係部室ノ新築工事ヲ起シ前記復興局長官ヨリ照會ニ接シタル際即チ大正十四年五月下旬ニハ殆ソト竣功ニ近ツキ本用地モ亦最早切取ヲ不可能トスル狀況ニ進ミ居タリ

斯カル狀況ナリシモ今追加ノ地區ハ其ノ面積相當ニ廣ク前記以外ノ當省用地ヲモ包含スルニ依リ復興局長官ノ照會ニ對シテハ大正十四年八月一日付ヲ以テ當省用地ニ對シ整理變更ヲ要スル場合ハ豫メ當省ニ協議セラルルコトヲ條件トシテ之ヲ整理地區ニ編入スル旨回答ヲ發シタリ

三 前二項ニ述ヘタルカ如キ經過事情ナルニモ拘ラス大正十四年六月二十五日横濱市長ヨリ今回ノ整理地區追加ヲ事由トシ横濱中央電話局市内交換室及其ノ關係部室新築敷地及之ニ接續スル横濱郵便局新築敷地ノ道路沿ノ部分ヲ與行三間切取方ノ申請アリ然レトモ右郵便局新築敷地ハ姑ク措キ市内交換室及其ノ關係部室新築敷地ハ前項中ニ述ヘタル如ク新築工事既ニ竣功ニ近ツキ申請當時ハ之ヲ切取ルコト絕對ニ不可能ナルヲ以テ横濱市並復興局ト熟議ヲ重ネタル處結局切取申請地ノ向側ナル横濱中央電話局舊局舎ノ方ニ於テ道路ヲ擴張スルコトトシ現存建物ヲ取毀テ更ニ後退シテ新築スル爲生スル費用ノ増加額ヲ復興局ニ於テ負擔スルニ付該敷地ノ道路沿ノ部分切取方ノ承諾ヲ得度旨改メテ要請アリ此要請モ亦當省トシテハ豫期ニ反スルモノナルモ區劃整理事業ノ完整ヲ期スル爲ニハ已ムヲ得サルモノト認メ遂ニ之ニ同意シ其ノ結果大正十四年十一月ニ至リ本件横濱中央電話局舊局舎修繕工事ノ請負契約ヲ解除(十四年八月間工)シタル次第ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 警告

(參照) ○大正十三年告示第四百七十五號(横濱都市計畫土地區劃整理施行區域)中改正(大正十四年四月二十一日)
 大正十三年七月二十三日内務省告示第四百七十五號(横濱都市計畫土地區劃整理施行區域)内内務大臣ニ於テ執行スル地區ニ左ノ一地區ヲ加フ
 第十三地區濱町一丁目(以下省略)

特別會計
 大藏省所管
 賠償金
 既往大正十四年度 逓信省 (一一七)

歳出

第一款 賠償金支出 第一項 事務費

【報告】 (一一八) 大藏省ノ支出ニ係ル

二四五、七五七、三九〇

ハ大正十三年十月以降獨逸ヨリ引渡ヲ受ケタル賠償染料及中間物百六十三萬餘疋此ノ船積數量三千七百餘立方米ノ運賃等トシテ日本郵船株式會社ニ支拂ヒタル參拾貳萬參千五百七拾四圓九拾五錢ノ内ニシテ七萬七千八百拾七圓五拾六錢ハ三十三年度ニ屬スルモノナリ右賠償染料ノ運送ニ關シテハ九年四月帝國賠償委員英國駐在財務官ト日本郵船株式會社倫敦支店長ト締結シタル契約ヲ踏襲シ獨逸國內製造所ヨリ「ハンブルグ」港ニ至ル運賃倉敷料、滯船料、其ノ他諸掛一切及神戸ニ至ル保險料ハ實費ニ依リ「ハンブルグ」神戸間ノ海上運賃ハ歐航同盟正味率ニ割増五分ヲ附加シ更ニ口錢トシテ此等諸費ノ五分ヲ支拂ヒタルモノナルモ當時ニ於ケル同盟運賃率ハ中間物八拾五志染料六拾貳志六片又ハ四拾七志六片ニシテ本件賠償染料ノ内中間物ハ僅ニ六萬二千三百疋ニ過キサレニ一律ニ八拾五志ト算定シアルヲ以テ之方事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ當時染料並藥品ノ分配ハ其ノ都度聯合各國間ニ於テ現在品ニ就キ交渉妥協ノ結果決定セラレ本邦註文通ノ品種並數量ヲ取得スルコト事實上不可能ニシテ種種變更ヲ受ケタルノミナラス受領物品ノ明細ヲ記載セル書類ノ入手ハ該書類カ賠償委員會等ヲ經由スル關係上物品ノ受領ヨリ一箇月以上モ遅延スルヲ例トシ爲ニ船積ニ際シ常ニ送狀未到着ニシテ隨テ船積品内容ノ詳細ヲ知悉スルヲ得サリシヲ以テ概括的ニ染料及化學藥品トシテ之ニ必要ナル取扱ヲ爲サシメタリ而シテ一般商慣習ニ依レハ染料ト化學藥品トヲ混合シテ運送スル場合ニハ其ノ割合ノ如何ニ拘ラス一律ニ化學藥品ノ同盟運賃率ヲ適用スルコトト爲リ居レルヲ以テ本件ノ場合ニ於テモ右慣習ニ從ヒ化學藥品ノ同盟運賃率ニ依リ計算シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本品積載ノ蹟ヲ觀ルニ十三年十月ヨリ十四年八月ニ至ル積出船十四隻中間物ヲ混合積載セルハ僅ニ二隻ニ過キス而シテ賠償委員會染料部主任ハ聯合各國ノ要求ニ對シ割當額ヲ定メ獨逸各染料會社ニ註文書ヲ發送スルノ手續ナルヲ以テ當初要求ノ變更ハ之ヲ免レストスルモ割當決定後ニ於ケル註文品ハ更ニ變更セラルルモノト認メ難ク隨テ繼

ヒ船積ノ際送狀未到着トスルモ中間物ノ混合スルヤ否ハ右註文書ニ依リ當然判明スヘキ所ナルヲ以テ相當ノ考慮ヲ加フルニ於テハ前記ノ如ク長期間ニ亙ル多數ノ積載船ノ總テニ對シ混合運送ノ取扱ヲ爲シ高率ノ運賃ヲ支拂フノ要ナカリシモノニシテ其ノ措置妥當ヲ缺キタルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ運送ニ關シ注意ノ周到ヲ缺キ國庫ニ多額ノ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件賠償染料及中間物ハ之カ取得後出來得ル限リ急遽ニ本邦ニ回送シ以テ價格ノ變動ヨリ生スル危險ヲ防止シ且ツ船積地ニ於ケル倉敷料及保險料等ヲ節約スルノ必要アリタルヲ以テ該品カ獨逸各地ノ工場ヨリ船積地(ハンブルグ)ニ到着次第其ノ内容詳細ヲ確知ヲ待ツコトナク概括的ニ染料及中間物トシテ直ニ之ヲ最近ノ便船ニ積込逐次回送セシムルコトトセリ其ノ内容詳細ヲ確知ヲ待ツコトヲ得サリシハ當時註文品ニ付キ賠償委員會染料部主任(米人)ハ本邦其ノ他聯合各國ノ要求ニ依リ其ノ割當額ヲ定メ獨逸各地ノ工場ヘ註文書ヲ發送シ居リタルモ註文ヲ受ケタル獨逸各工場ニ於テハ手持品ノ都合等ノ爲必スシモ註文書(毎月數回發送)ノ順序ニ依リ其ノ發送ヲ行ヘルモノニアラサルカ故ニ前同ノ註文書ニ依ル中間物ノ一部カ夫同ノ註文書ニ依ル染料ノ一部ト混交シテ船積地ニ到着スル等ノコトモ有リ得タル次第ナルヲ以テ船積地ニ於テ貨物ノ船積前ニ註文書ヲ入手シ得タル場合アリトスルモノニ依リ直ニ其ノ内容ヲ確知スルコトヲ得サルノミナラス當時獨逸各地ノ工場及船積地タル「ハンブルグ」ニ本邦ヨリ技師其ノ他ノ専門家ヲ派遣シ置キ發送及積込ノ現場ヲ監督セシメタリトセハ或ハ各船毎ニ積荷ノ内容ヲ明ニシ得タルヘキモ前述ノ如ク之カ回送ハ短期早急ノ間ニ之ヲ行フ必要アリシ爲此ノ手續ヲ執ルコトハ甚シキ困難アリシト尙之カ派遣ニ要スル經費並發送及積込ノ運延ニ依ル倉敷料及保險料ノ増加等ヲ考量スルトキハ結局反テ失費ノ増大ヲ來スヘキヲ以テナリ要スルニ本件ハ當時ノ事情已ムヲ得サルニ出テタルモノナルヲ以テ不當ナリト謂フヲ得ス

【實決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

臺灣總督府

歳入經常部

第一款 租稅 第七項 所得稅

【報告】

(一一九) 臺南州ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

ア亦右ハ明治製糖株式會社自大正十三年十月及自十四年四月兩事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ前者ノ益金ニ屬スル財產至同 十四年三月 至同 年九月

自大正十三年十月 自十四年四月 兩事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ前者ノ益金ニ屬スル財產

駐在大正十四年度 臺灣總督府 (一一〇)

一六四

讓渡益金拾五萬六千八百八拾四圓餘ヲ後者ノ益金ニ算入シ又前者ニ於テ臺灣總督府交付補助金四萬四千七百五拾貳圓及所得稅過納戻金壹萬貳千四百七拾六圓餘ヲ益金ニ加算セス且兩期ニ於テ支拂義務ナキ重役給料引當金各壹萬千九百六拾圓ヲ損金ニ加算シタル等ニ因ルモノナリ

臺中州ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、九六七^円二三〇

アリ右ハ臺中州鹿港街辜某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ食鹽卸賣ニ對スル所得額貳萬五千八百八拾六圓ヲ九千百拾四圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

臺中州ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一七、三九三^円四九〇

アリ右ハ帝國製糖株式會社 自大正十三年十一月及 自十四年五月 兩事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ前者ニ於テ神戸工場賣却代金割引額拾六萬九百貳拾圓ヲ損金ニ計算セス後者ニ於テ超過所得計算ノ基礎タル資本金計算上前記損金ニ相當スル金額ヲ積立金トシテ計算シタル等ニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ臺南州ニ於テ徵收不足ニ屬スル分ハ昭和二年一月三十一日追徵濟

臺中州ニ於テ徵收不足ニ屬スル分ハ昭和二年三月二十二日追徵濟

臺中州ニ於テ徵收過ニ屬スル分目下拂戻手續中

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

歳出經常部

第十三款 專賣局 第三項 事業費

【報告】 (一一〇) 臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ル

五、三〇六^円〇〇〇

ハ酒包装用空堀ノ代金トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實專賣局花蓮港支局備三浦某カ空堀出納事務取扱中大正十三年九月ヨリ十四年十月ニ至ル間ニ於テ納入下請人林某ト共謀シ事實納入セサルモノヲ納入シタルモノノ如ク裝ヒ關係書類ヲ偽造シ騙取シタル總額壹萬貳千八百九拾四圓九拾九錢ノ内ニシテ七千五百八拾八圓九拾九錢ハ十三年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ騙取セラレタル總金額壹萬參千圓(判決確定金額)ハ契約相手人カ返還ヲ受諾シタルニヨリ目下徵收手續中

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

關 東 廳

歳入臨時部

第一款 官有物拂下代 第一項 官有物拂下代

【報告】 (一一一) 大連民政署ノ徵收ニ係ル

一六、五三四^円二六〇

ハ滿蒙土地建物株式會社ニ對シ五箇年賦ヲ以テ賣拂ヒタル大連市蕙蒲町二十番外十九筆宅地一萬五千四百四十七坪七合二勺此ノ代金七萬五千六百六拾貳圓六拾錢ノ内本年度分土地代金及利息ナリ右ハ本年度検査報告ニ詳悉セシ如ク土地ノ賣拂價格低廉ニ失シ國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス (七一頁(四八番))

【審明】 本件ニ對スル審明ハ大正十五年年度歳入歳出決算検査報告ニ對スル(一)ノ審明ト全ク同一ニシテ不當ニ非スト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

關 東 廳

歳出經常部

第五款 現業費 第二項 鐵道費

【報告】 駐在大正十四年度 關東廳 (一一一) (一一二)

一六五

【報告】(一一三) 樺太廳鐵道事務所ノ支出ニ係ル

一、〇六五、八〇〇

ハ空債購入代金及込夫費等シテ證明シタルモノナルモ其ノ實樺太廳鐵道事務所雇山崎某外數名カ大正十三年十二月ヨリ十五年五月ニ至ル間ニ於テ實際購入セサル空債ヲ購入シタルモノノ如ク又使役セサル人夫ヲ使役シタルモノノ如ク裝ヒ關係書類ヲ偽造シ騙取シタル總額千六百七拾八圓四拾錢ノ内ニシテ四百六拾貳圓六拾錢ハ前年度ニ百五拾圓ハ翌年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【審明】會計検査院検査報告ノ通

但シ犯人ハ相當處分ヲ了シ被害金ハ概ニ百四拾貳圓貳拾錢徵收済ニシテ殘餘ニ付テハ徵收手續中ナリ

【貴決】 警察ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】(一一三) 樺太廳ノ支出ニ係ル

八五四、三〇〇

ハ藥品其ノ他ノ代金トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實同廳大泊醫院書記横田某外一名カ大正十三年六月ヨリ十四年九月ニ至ル間ニ於テ騙取シタル總額貳千貳拾貳圓四拾錢ノ内ニシテ千六百六拾七圓八拾四錢ハ十三年度ニ屬スルモノナリ右ハ本年度検査報告十三年度ノ部ニ掲載セシ如ク虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【審明】會計検査院検査報告ノ通

但シ犯人ハ相當處分ヲ了シ被害金ハ徵收手續中ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

鐵道省所管

帝國鐵道

資本勘定

支出

第一款 鐵道建設及改良費 第二項 改良費

【報告】(一一二) 鐵道省ノ支出ニ係ル

九四、八五六、一六〇

ハ兩國橋驛擴張用地トシテ復興局ニ委託シ東京市小石川區高木某ヨリ買收セル東京市本所區横網町一丁目十七番地ノ二外一筆土地四千三百三十四坪四合三勺ノ内ニ存スル借地權七百八坪七合九勺ノ代金拾萬九千五百五拾參圓六拾六錢ノ内ニシテ壹萬四千貳百九拾七圓五拾錢ハ未拂ニ屬スルモノナリ右ハ著シク高價ト認メラルルノミナラス今尙契約不履行ノ狀態ニ在ル

夕以テ之ヲ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

本件土地ハ所有權、借地權及地上物件移轉等各其ノ權利者ヲ異ニスルニ依リ此等ヲ同時ニ解決スルコトハ頗ル困難ニシテ且當時土地所有權者ハ買收方ノ希望ヲ有シ居タルノミナラス其ノ價格モ亦低廉ナルヲ以テ土地所有權ノミヲ買收シテ借地權ヲ買收セリ而シテ地上物件移轉ニ關シテハ相當考慮ノ上借地權者ヲシテ更地ト爲サシムルコトヲ條件トシ借地權ヲ買收シタルモノナルニ地上物件ノ今尙移轉未済ニ屬スルハ借地權賣却者ノ不履行ニ因ルモノナルヲ以テ有下開込ニ對シ撤去方極力交渉中ナリ又借地權ノ買收價格ニ就キテハ先以テ本件土地價格ノ評價ヲ三段ニ分チ坪當上位參百五拾圓中位貳百參拾圓下位貳百圓トシ借地權ハ右土地價格ノ三割乃至三割五分即チ坪當上位百貳拾貳圓五拾錢中位七拾五圓九拾錢下位六拾圓ヲ相當ト認メ中、下ノ平均ヲ採リ其ノ價格ヲ約六拾八圓ト見積リ又地上物件取拂ニ關スル費用ハ東京市內及隣接地ノ補償實例ニ徵スルニ大體土地價格ノ約六割乃至十割ヲ要スルヲ以テ中、下土地平均價格ノ五割即チ百五圓ト見積リ此ノ兩者ヲ合算シタル百七拾參圓ヲ以テ更地借地權價格ト評定セルモ相手方希望價格ハ百五拾四圓ナリシヲ以テ之ニ依リ買收シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件地上物件ノ取拂ニ關スル費用ヲ具體的事實ニ基カテ前記ノ如キ土地評價ヲ基礎トシテ其ノ五割ト爲スカ如キハ當ヲ得サルノミナラス地上物件ハ建物十三棟延二百二十四坪及之ニ附屬スル設備ニ止レルニ拘ラス借地權ノ總坪數ニ對シ前記見積標準ヲ乘シテ之ヲ算出スルカ如キハ失當ヲ甚シキモノト謂ハサルヲ得ス現ニ本件借地權ハ大正十

三年度土地所有權買收當時ニ於テハ堀川某外六名ノ有ナリシヲ爾後前記高木某カ鐵道省ニ賣込ノ爲之ヲ買收シタルモノニシテ本件總坪ノ内百八坪八勺ハ同人ノ買收價格明ナラスト雖其ノ他ノ六百坪七勺一勺ハ十四年三月乃至八月ノ間ニ於テ堀川某外五名ノ借地權者ヨリ代價六萬九千九百餘圓ヲ以テ地上物件ト共ニ其ノ借地權ヲ買收シタルモノナルニ鐵道省ニ於テハ同年八、十兩月中右ノ内地土物件ノ取拂ヲ條件トシ代價九萬貳千五百餘圓ニテ買收シタルモノニシテ不當ニ高價ナルモノト認メサルヲ得ス尙地上物件移轉料ノ前金拂ハ法規ノ認ムル所ナリト雖高木某ニ對スル支拂ハ單ニ地上物件ノ移轉料ノミニ非ス借地權代價ヲ包含セルモノニシテ契約ニ依レハ高木某ハ更地トシテ之ヲ提供スヘキモノニ係リ未タ其ノ契約ヲ履行セサルニ先チ其ノ借地權ノ代價ヲ併セ之カ支拂ヲ爲シタルハ妥當ノ措置ニ非ス要スルニ本件ハ借地權ノ買收ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件土地ハ復興局ノ事業ト關聯セル地域ナルヲ以テ之カ買收事務ヲ同局ニ委託スルヲ相互ノ利便ト認メタルモノニシテ從來同局ニ於テハ借地權ヲ買收スルニ當リ借地權者ト地上物件所有者ト同一人ナル場合ハ土地ノ價格ヲ基礎トシテ之カ代價ヲ算定シ居リ從テ本件モ亦右ノ方法ニ依リ之ヲ決定シタルモノナリ而シテ高木某ハ借地坪數中百八坪ヲ除キ其ノ他六百坪餘ヲ堀川某外五名ノ借地權者ヨリ六萬九千九百餘圓ヲ以テ地上物件ト共ニ買收シタルハ事實ナルモ當省ニ於テ之ヲ必要トセハ相當ノ價格ヲ以テ之ヲ買收セサルヘカラサルハ當然ナルニ依リ單ニ高木某ノ買收代價ト當省ニ於テ同人ヨリ買收セル代價トヲ比較シ彼此高低アルヲ論スルハ失當ナリト謂ハサルヘカラス現ニ同一地帯内ニ於テ昭和二年十一月迄ニ高木以外ノ者ヨリ箇々ニ買收シタルモノハ借地權及地上物件移轉料等ヲ通算シ一坪貳百五拾四圓餘ニ當リ又地價ハ所轄稅務署ノ調査ニ依ルモ平均坪當貳百七、八拾圓ヲ下ラサルノミナラス 近時同所附近ハ商業發展ヲ極メ爲ニ之カ借地權ハ自然高價ニ賣買セラレ居ル事實ニ徴スルモ本件借地權ヲ地上物件ノ移轉料ヲ併セ坪當百五拾四圓ニテ買收セルハ毫モ過當ニ非ス尙借地權ノ賣買ハ之カ權利ノ移轉ト同時ニ代金ノ支拂ヲ爲スハ當然ニシテ又移轉料ニ付テハ之ヲ前金拂ト爲シ得ルモノナルニ依リ本件代價ハ之カ全額ノ支拂ヲ爲スモ法規上別ニ支障ナキモノナルモ特ニ地上物件ノ移轉ヲ確保スル爲其ノ代金ノ一部ヲ保留シタルニ過キサルモノナルヲ以テ何等失當ノ措置ニ非ス

【貴決】 借地權者ヲ關テ

【衆決】 注意

【參照】 衆議院希望條項 (三二九頁)

昭和二年度歳入歳出決算検査報告

昭和二年歳入歳出決算検査報告

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	一七一
一般會計	一七四
歳入	一七四
歳出	一八七
内務省所管	一八七
陸軍省所管	一九五
海軍省所管	一九七
司法省所管	二〇一
逓信省所管	二〇四
特別會計	二〇四
内務省所管	二〇四
健康保険	二〇四
歳出	二〇四
大藏省所管	二〇四
專賣局	二〇四
歳出	二〇四
昭和二年歳入歳出	二〇四

國債整理基金	一一三
歲出	一一三
歲入	一一三
國有財産整理資金	一一三
歲入	一一四
朝鮮總督府	一一四
歲入	一一七
歲出	一一八
朝鮮鐵道用品資金	一一七
歲出	一一〇
臺灣總督府	一一〇
歲入	一一二
歲出	一一二
關東廳	一一五
歲入	一一七
歲出	一一七
樺太廳	一一八
歲出	一一八
陸軍省所管	一一八
陸軍造兵廠	一一〇
歲入	一一〇
歲出	一一一

文部省所管	一一二
帝國大學	一一三
歲出	一一三
農林省所管	一一三
米穀需給調節	一一六
歲出	一一六
逓信省所管	一一六
簡易生命保險	一一七
歲出	一一七
鐵道省所管	一一七
帝國鐵道	一一七
資本勘定	一一八
歲出	一一八
用品勘定	一一八
歲出	一一三
收益勘定	一一三
歲入	一一六
歲出	一一六
歲出	一一八

一般會計及特別會計歳出入共通スル事項

一般會計.....二七〇

外務省所管.....二七二

内務省所管.....二七二

大藏省所管.....二七二

農林省所管.....二七六

商工省所管.....二八〇

逓信省所管.....二八三

特別會計.....二八五

大藏省所管.....二八六

造幣局.....二八六

印刷局.....二八六

專賣局.....二八七

大藏省預金部.....二八七

賠償金.....二八七

朝鮮總督府.....二八七

樺太廳.....二八七

農林省所管.....二八七

米穀需給調節.....二八七

商工省所管.....二九二

製鐵所.....二九二

逓信省所管.....二九三

簡易生命保險.....二九三

鐵道省所管.....二九三

帝國鐵道.....二九四

官金.....二九七

官有物.....二九八

既往年度.....三〇九

大正十三年度.....三〇九

大正十四年度.....三一〇

大正十五年度.....三一〇

昭和元年度.....三一三

衆議院希望條項.....三二九

昭和二年度歳入歳出決算検査報告

豫算及法律勅令違背ノ事項

昭和二年度歳入歳出總決算及各特別會計歳入歳出決算ノ内歳入ノ賦課徴收歳出ノ使用及官金ノ利用並官有物ノ管理處分ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ一般會計ニ於テ六十三件千百萬六千八百參拾四圓六拾七錢九厘特別會計ニ於テ四十五件四千五百九拾八萬千五百拾六圓參拾六錢官金ニ於テ一件官有物ニ於テ五件合計百十四件ニシテ即チ左ノ如シ

一般會計

歳入ニ於テ

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十九件

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ七件

租税ノ徴收ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

寄附金ヲ歳入ニ編入セサルモノ一件

租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ二件

合計三十件

歳出ニ於テ

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ十五件

工事ノ設計、施行並維持其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

工事ノ補助ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

昭和二年度

九九、五四五、九七〇

四二、〇三一、五二〇

五五九、五〇七、七〇〇

二〇五、〇九七、七四〇

一一、二三五、六五〇

九一七、四一八、五八〇

四、六八五、四五七、四二八

一〇四、一七七、二六〇

七二四、八〇四、〇〇〇

一七一

昭和二年度

契約方法其ノ宜シキヲ得ス且工事請負代金高價ニ失スルモノ一件

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ四件

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ一件

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件

請負契約ニ當リ工費ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ二件

工事ノ請負契約ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

土地ノ買収ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

其他不當ナルモノ三件

合計三十三件

特別會計

歳入ニ於テ

國有財産ノ管理處分其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ三件

物件ノ拂下ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ五件

土地ノ賣拂價格低廉ニ失シタルモノ一件

物件使用料ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

合計十一件

歳出ニ於テ

一七二

八八、〇四五〇〇〇

九五、七六九〇七〇

五六六四〇〇

三、〇七六、六八六四三〇

二八、九九九五〇〇

五三二、一四五〇二一

一九八、四五〇四六〇

一八〇、〇〇〇〇〇

三七四、三一五五三〇

一〇、〇八九、四一六〇九九

二五六、二七〇四八〇

二〇、六五二九二〇

一、三二六、五九五七〇六

三一、八七九五六〇

三三、八九五八六〇

一、六六九、二九四五二六

四、三一〇七六〇

三三、一四七、八〇二七五〇

七、八七六、五二〇八一五

三二二、六二九一〇〇

一、六三五、八八〇四七〇

七一、八八八四四〇

四五六、〇五三四一〇

六八四、五八七〇〇〇

六〇、三四八〇〇〇

六二、二〇一〇八九

四四、三二二、二二一八三四

官金

國庫金ノ運用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

官有物

國有林ノ讓渡ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件

鑛業權ノ無償讓渡ヲ爲シタルモノ一件

國有林ノ豫約賣渡ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

物件ノ貸付ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

合計五件

昭和二年度

一般會計

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十九件(一)
 租税ノ徴收過ニ屬スルモノ七件(二)
 租税ノ徴收ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三)
 寄附金ヲ歳入ニ編入セサルモノ一件(三)
 租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(四)(五)
 計三十件

歳入經常部

第一款 租 税 第一項 所得税

【報告】 (一) 久留米稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ
 アリ右ハ久留米市石橋徳次郎及同居家族二名ノ 大正十五年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル日本足袋株式會社ヨリ受ケタル配當所得六萬九千圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシニ因ルモノナリ
 永代橋稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ
 アリ右ハ東京市日本橋區峰島某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ峰島合資會社ヨリ受ケタル配當所得貳萬九千九百七拾圓及賞與五千圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

久留米稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ
 アリ右ハ久留米市石橋正二郎及同居家族二名ノ 大正十五年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル日本足袋株式會社ヨリ受ケタル配當所得六萬千五百圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシニ因ルモノナリ
 本項ニ於テ南稅務署ノ徴收不足ニ屬スルモノ
 第三項營業收益稅ニ於テ同署ノ徴收不足ニ屬スルモノ
 アリ右ハ阪和電氣鐵道株式會社ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ會社カ其ノ事業年度ノ所得ヲ以テ商法第百九十六條ノ利息配當ニ充當シタルモノ 自大正十五年十月至昭和二年三月 事業年度ニ於テ七萬貳千八百圓及 自昭和二年四月至昭和二年九月 事業年度ニ於テ七萬七千貳百七拾圓ヲ非課稅ト爲シタルニ因ルモノナリ

幸橋稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ
 北稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ
 アリ右ハ大正十四年十二月來朝昭和二年五月歸國シタル「イー、シー、リチャードソン」カ大正十四年十二月十五年六月同年十二月昭和二年六月及同年十二月中日本電氣株式會社ヨリ受ケタル賞與八萬八千九百圓並配當貳千五百圓及大正十五年七月昭和二年七月三年一月中株式會社住友電線製造所ヨリ受ケタル賞與九千圓並配當六百九拾六圓九拾九錢ニ對シ第二種所得稅ヲ課スヘキモノナルニ之ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ
 本項ニ於テ永代橋稅務署ノ徴收不足ニ屬スルモノ
 第四項資本利子稅ニ於テ同署ノ徴收不足ニ屬スルモノ
 アリ右ハ東京市日本橋區小西某及同居家族ノ 大正十五年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル小西合名會社ヨリ受ケタル配當所得各六千四百參拾圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシト本年

分所得額ヲ決定スルニ當リ前者ノ大日本人造肥料株式會社ヨリ受ケタル配當所得五千參百四拾壹圓ヲ千七百四拾壹圓ト計
算シ後者ノ株式會社小西安兵衛商店ヨリ受ケタル配當所得七千五百圓ヲ脱漏シ且前者ノ鳳城炭礦株式會社ヨリ受ケタル貸
金利息九千貳百參拾圓ニ對スル所得並資本利子額ノ決定ヲ脱漏シタルトニ因ルモノナリ

五、四九二、一七〇

一三六、八〇〇

第四項資本利子税ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ東京市本所區大川某ノ 昭和大正十五年分所得額及資本利子額ヲ決定スルニ當リ大川合名會社等ヨリ受ケタル給料、賞
與、配當及貸金利息ノ所得四萬七千四百八拾五圓及資本利子六千八百四拾圓ヲ脱漏シタルモノナルヲ以テ所得税法第二十
六條第二項及資本利子税法第八條第二項ニ依リ本年度ニ於テ決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシニ因ルモノナリ

五、一七四、五二〇

一、〇八〇、〇〇〇

第三項營業收益税ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ殖産無盡株式會社 自昭和二年七月 事業年度ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ額面超過金參萬圓ヲ益金ニ
加算セス且超過所得算出ノ基礎タル資本金ニ計算シタル等ニ因ルモノナリ

四、七六七、四四〇

岸和田稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ岸和田市寺田某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ寺田合名會社ヨリ受ケタル賞與ノ性質ヲ有スル給與貳萬四千貳百圓ヲ
脱漏シタルニ因ルモノナリ

四、一〇九、四二〇

淀橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ東京府代々幡町徳川某ノ 昭和大正十五年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル土地所得壹萬八千六百參拾四圓ハ所得
税法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシニ因ルモノナリ

三、五二一、六七〇

アリ右ハ相模紡績株式會社 自昭和二年五月二十六日 事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ超過所得額八萬八千四拾參圓ニ對
スル課稅ヲ脱漏シタル等ニ因ルモノナリ

三、五一七、九二〇

淀橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ東京府中野町小西某及同居家族ノ所得額ヲ決定スルニ當リ株式會社小西安兵衛商店ヨリ受ケタル配當所得各六千
圓ヲ脱漏シタルト 昭和大正十五年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル小西合名會社ヨリ受ケタル配當所得各四千九百四拾
八圓ハ所得税法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ

三、二二六、六五〇

一、三八七、五〇〇

本項ニ於テ葛城稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
同項ニ於テ奈良稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
第三項營業收益税ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

六六二、二九〇

アリ右ハ葛城稅務署ニ於テ信貴生駒電鐵株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ會社カ其ノ事業年度ノ所得ヲ以テ商法第百
九十六條ノ利息配當ニ充當シタルモノ 自大正十四年十一月 事業年度ニ於テ貳萬六千九百八拾參圓 自十五年五月 事業年度ニ於
テ貳萬七千七百五拾圓ヲ損金ト爲シ且 自十四年十一月 事業年度ニ於テ誤テ所得ヲ壹萬圓過少ニ計算シタルト又奈良稅務署
ニ於テ同會社 自大正十五年十一月 事業年度ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ其ノ所得ヲ以テ商法第百九十六條ノ利息
配當ニ充當シタル貳萬七千七百五拾圓ヲ損金ト爲シタルニ因ルモノナリ

二、六三二、〇五〇

三、五〇、九四〇

第四項資本利子税ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ京都市下京區河合某ノ所得額及資本利子額ヲ決定スルニ當リ河合合名會社ヨリ受ケタル貸金利息壹萬七千五百四
拾七圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

二、四六二、五六〇

アリ右ハ名古屋市東區豊田某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ豊田紡織株式會社ヨリ受ケタル賞與壹萬參千圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

幸橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

二、二三四〇五〇

アリ右ハ大正十五年五月歸國シタル「エー、ジー、ゼラード」カ同年六月及同年十二月中日本電氣株式會社ヨリ受ケタル賞與貳萬七千七百五拾圓並配當貳千參拾七圓五拾錢ニ對シ第二種所得稅ヲ課スヘキモノナルニ之ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

伊丹稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

二、〇四九四二〇

アリ右ハ兵庫縣川邊郡小田村改田某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ麒麟麥酒株式會社ヨリ受ケタル報酬六千圓ヲ壹萬八千圓ト賞與參萬貳千圓ヲ六千圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

二、〇四七〇〇〇

アリ右ハ東京府澁谷町小林某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ三井物産株式會社ヨリ受ケタル報酬八千四百圓ヲ七百圓ト計算シ及北海木材防腐株式會社ヨリ受ケタル配當所得千貳百圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

二、〇〇七九二〇

アリ右ハ東京府大井町古屋某及同居家族ノ所得額ヲ決定スルニ當リ株式會社松屋吳服店ヨリ受ケタル配當所得壹萬千七百參拾七圓ヲ脱漏シタル等ニ因ルモノナリ

九、四八一三五〇

本項ニ於テ下京稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ

三、〇一七九〇

第三項營業收益稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ關西聯合電球株式會社 自大正十五年十二月七日 至昭和二年五月三十一日 事業年度ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ被合併會社ヨリ受入レタル積立金ヲ以テ充當セル解散手當、雜費及税金合計九萬六千九百九拾七圓ヲ損金ニ加算セサリシ等ニ因ルモノナリ

本項ニ於テ德島稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ

六、九七四九二〇

第三項營業收益稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

四、五六二九三〇

アリ右ハ株式會社阿波商業銀行 自昭和二年一月 至同 年六月 事業年度ノ所得額並營業純益額ヲ決定スルニ當リ會社カ總益金ニ繰入レタル新築積立金拾七萬五千圓ヲ控除セサリシ等ニ因ルモノナリ

四、七四三八一〇

本項ニ於テ富山稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ

一、五七四三二〇

第三項營業收益稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ富山電氣株式會社 自大正十五年十二月 至昭和二年五月 事業年度ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ當期ノ損金トスヘキ税金五萬貳千七百九圓ヲ損金ニ計算セサリシニ因ルモノナリ

三、三九四三三〇

品川稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ東京府品川町永橋某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ元帝國電燈株式會社ノ株主トシテ受ケタル交付金參萬五千圓ヲ配當ト誤認シタル等ニ因ルモノナリ

二、六〇一四六〇

上京稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ京都市上京區武市某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ 大正十五年 昭和 元年分ニ屬スル明治生命保險株式會社ヨリ受ケタル賞與參萬六千七百圓ヲ加算シタルト同年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル明治生命保險株式會社ヨリ受ケタル賞與貳萬貳千圓ハ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ

二、四一一九四〇

本項ニ於テ神戸稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ

第三項營業收益稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ神榮生絲株式會社ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ 自大正十五年十一月 至昭和二年四月 事業年度ニ屬スル收入割引料千八百

九八六一一〇

八拾參圓ヲ次期ノ利益ニ計算シ又自昭和二年五月至同年十月事業年度ニ於テ同上千貳百貳拾九圓ヲ利益ニ計上セサルト税金貳萬七千九百八拾七圓ヲ損金ニ計算セサリシニ因ルモノナリ

板橋稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ
アリ右ハ東京府日暮里町樺島某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ東京電燈株式會社ヨリ受ケタル配當所得壹萬八千貳百七拾壹圓ヲ參萬四千貳百參圓ト計算シタルニ因ルモノナリ
右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス
會計檢査院檢査報告ノ通

但シ第二種所得稅ノ徵收不足額ニ對シテハ昭和三年度ニ於テ所得稅法第六十八條ニ依リ徵收ヲ了シ其ノ他ノ分ニ對シテハ總テ同年度ニ於テ更正濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

(參照) ○所得稅法(大正九年七月三十一日法律第十一號)

第二十六條第二項 所得調查委員會閉會後第三種ノ所得ノ決定ニ付脫漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ決定ヲ爲スヘカリシ年ノ翌年ニ於ケル所得調查委員會ノ調査ニ依リ政府ニ於テ其ノ所得金額ヲ決定スルコトヲ得

第六十七條第二項 第二種ノ所得ニ付テハ其ノ金額支拂ノ際支拂者其ノ所得稅ヲ徵收シ翌月十日迄ニ之ヲ政府ニ納ムヘシ
第六十八條 前條第二項ノ規定ニ依リ徵收スヘキ所得稅ヲ徵收セサルトキ又ハ其ノ徵收シタル税金ヲ納付セサルトキハ國稅徵收ノ例ニ依リ之ヲ支拂者ヨリ徵收ス

○商法(明治三十二年三月九日法律第四十八號)

第四百一十一條第一項 會社ハ發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケタルトキハ第二百二十四條ニ定メタル調査終了ノ日ヨリ又發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケサリシトキハ創立總會終結ノ日ヨリ二週間内ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第九十六條 會社ノ目的タル事業ノ性質ニ依リ第四百一十一條第一項ノ規定ニ從ヒ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲シタル後二年

以上開業ヲ爲スコト能ハサルモノト認ムルトキハ會社ハ定款ヲ以テ開業ヲ爲スニ至ルマテ一定ノ利息ヲ株主ニ配當スヘキコトヲ定ムルコトヲ得但シ其利率ハ法定利率ニ超ユルコトヲ得ス
前項ニ掲ケタル定款ノ規定ハ裁判所ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス

○資本利子稅法(大正十五年三月二十七日法律第十二號)

第八條第二項 所得調查委員會閉會後乙種ノ資本利子ノ決定ニ付脫漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ決定ヲ爲スヘカリシ年ノ翌年ニ於ケル所得調查委員會ノ調査ニ依リ政府ニ於テ其ノ資本利子金額ヲ決定スルコトヲ得

第八項 酒稅

(二) 本項ニ於テ川越稅務署ノ收入未濟ニ屬スルモノ 五五九、五〇七、七七〇

アリ右ハ關東釀造株式會社ノ滯納ト爲リタル本年度第二期分並昭和三年一月繰上徵收ニ係ル酒造稅七拾壹萬七千四百貳拾貳圓參拾壹錢ノ内收入ニ至ラサリシモノナリ抑本會社ハ資産信用確實ヲ缺キ大正十三年度以降酒造稅、地租、營業稅及所得稅等ノ各稅ニ互リ滯納ノ事實アリ殊ニ十四年度酒造稅拾壹萬餘圓ニ對シテハ滯納處分ヲ受ケ納稅保證物ノ公賣代並封緘ヲ受ケタル燒酎ノ販賣ヲ許容シ之カ賣却代金等ニ依リ十五年八月迄ニ漸ク完納ヲ見爾後ノ製造ニ在リテモ其ノ保證物ニ不足ヲ來シ製品ニ封緘ヲ受ケタルモノ昭和二年六月以降九月迄ノ間七十餘回ニ及ヘルノミナラス會社ハ此等製品製造後短期間ニ之ヲ搬出シ納稅ニ引當テ得ヘキ在庫品殆トナキヲ以テ酒造稅法第十三條ニ依リ之ヲ確保スルニ付適當ナル措置ヲ講スルヲ相當トセシニ大正十五年十月乃至昭和二年九月ノ間ニ於ケル査定燒酎一萬三百餘石此ノ税金六拾貳萬六千餘圓ニ就キ之ヲ觀ルニ石當稅額平均約六拾圓ナルニ對シ其ノ保證物ハ土地建物五萬八千貳百餘圓公債額面拾貳萬七百餘圓ニシテ石當平均拾七圓餘ニ過キヌ又二年十月乃至三年一月ノ間ニ於ケル査定高三千餘石此ノ税金拾八萬參千餘圓ニ對シテハ前酒造年度ノ保證物ヲ其ノ儘利用シ保證物增加ヲ命セサリシ爲保證物ハ石當約拾參圓ニ低下セリ此ノ如キハ納稅ヲ確保スルニ付措置置其ノ當ヲ得サリシモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ
會社提供ノ保證物ヲ以テ多量ノ製造ヲ爲サシムルコトヲ必スシモ適當ナリト認メタルニ非ス極力保證物ノ増加ヲ會社ニ

要求シタルモ會社ハ當時直ニ其ノ要求ニ應スル能力全ク存在セザリシヲ以テ暫ク此ノ程度ノ保證物ニ満足シテ製造ヲ繼續セシムルカ又ハ製品ニ封緘ヲ施スカノ二途孰カニ出ツル外ナク而シテ從來會社ハ新ナル製品ヲ販賣シテ其ノ代金ヲ以テ舊製品ノ税金ニ充當スル慣行ナリシヲ以テ新製品ニ封緘ヲ施スハ税金調達ノ途ヲ全ク杜絶スルコトト爲リ隨テ俄ニ之ヲ決行スルコト能ハザリシ次第ナリ而シテ若會社ニ對シ滯納處分ヲ實行セムトセハ其ノ結果一事業會社ヲ死滅セシムルコトト爲リ經濟界ニ及ホスヘキ影響ニ鑑ミ固ヨリ稅務官廳トシテ輕率ニ斷行スヘキ事柄ニ非ス殊ニ會社重役ヨリ滯納處分ノ猶豫ニ關シ滯納税金納付ノ期日ヲ指定シテ懇望哀願スル所アリ且其ノ營業繼續ノ方法ヲ講シ會社更生ノ計畫ニ努力スルノ狀況ナリシヲ以テ二年十月ヨリ三年一月ニ至ル期間斷乎タル處置實行ヲ猶豫シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本會社ノ如ク既往年度ニ於テ滯納ノ處分ヲ受ケ爾後ノ營業狀況亦良好ナラス納稅上ノ懸念甚シキモノアリ殊ニ答辯ニ謂フカ如ク會社ニ對スル滯納處分ノ實行ハ容易ニ行フヘカラサルノ事情存スルコト當初ヨリ明ナルニ其ノ製造高從來三千餘石此ノ税金拾數萬圓ナリシモノ一躍一萬三千餘石此ノ税金八拾壹萬餘圓ニ上ル多量ノ製造ニ當リ依然前記ノ如キ少額ノ保證ヲ以テ之ヲ許容セシカ如キハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス殊ニ二年十月分九萬參千餘圓ニ對スル滯納ノ事實發生シ爲ニ爾餘ノ稅額ニ付繰上徵收ヲ要スルノ虞アリシニ拘ラス二年十月以降三年一月ニ至ル間ノ査定高ニ對シ前酒造年度ノ保證物ヲ其ノ儘移用シ新ニ保證物ヲ増加セシムル等ノ手段ヲ講セス三千餘石此ノ税金拾八萬參千餘圓ノ査定ヲ繼續シ之カ製品ヲ任意會社ノ處分ニ委シタルカ如キハ滯納額ヲ一層増加セシメタルモノニシテ妥當ノ措置ト謂フヲ得ス右ニ關シ當局者ハ當時會社ハ資力乏シク爲ニ此ノ程度ノ保證物ニ満足シテ製造ヲ繼續セシメ新製品ノ賣却ニ依リ舊製品ノ税金ヲ調達セシムルノ外ナカリシモノノ如ク辯明スト雖其ノ製造高前記ノ如ク從來ニ比シ著シキ増加ヲ示シ又二年十月以降ノ査定高ニ對シテモ其ノ稅額ハ拾八萬參千餘圓ナルニ爾後ノ現金納稅額六萬四千參百餘圓ニ過キサルノ事實ニ徴スレハ會社ハ單ニ舊製品ノ税金ヲ調達スルカ爲新製品ノ製造ヲ爲シタルモノト認メ難シ而シテ三年八月實地検査當時ノ狀況ニ依レハ會社ノ滯納ニ係ル酒造稅七拾壹萬七千四百餘圓ニ對シ擔保公債賣却等ヲ以テ充當セルモノ九萬六千餘圓現

金納付額六萬四千參百餘圓公賣處分未済ニ係ル土地建物ノ擔保價格並差押物件見積價格等五萬九千八百餘圓ニ過キサルヲ以テ差引約五拾萬圓ノ缺損ヲ生スルノ見込ナリ要スルニ本件ハ酒稅徵收上措置其ノ宜シキヲ得ス多額ノ收入未済ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件收入未済額トナリタル酒造稅滯納ノ事實及之ニ對スル稅務署ノ處置ヲ其ノ結果ヨリ觀察スルトキハ其ノ處置相當ナラサルヤノ感ナキニアラスト雖所轄稅務署ハ納稅上懸念アルモノト認メ當該酒造會社ニ對シ出來得ル限リ納稅保證物ノ増補ヲ爲サシメ或ハ造石數ヲ制限スル等相當事前ニ於テ注意ヲ加フル所アリタルモノニ屬シ本件滯納ノ直前納期タル昭和二年第一期分ノ酒造稅ハ之ヲ完納シタル事實ヨリ推シ之ニ對シ酒造稅全額ノ納稅保證ヲ命スルハ會社ヲシテ再興ノ機會ヲ失ハシメ却テ國庫ニ不利ナル影響アルヘキヲ顧慮シタルモノニ外ナラス其ノ徵稅確保上最善ノ努力ヲ拂ヒタルモ遂ニ斯ノ如キ多額ノ收入未済額ヲ生スルニ至リタルハ遺憾トスル所ナリ徵稅確保ニ關シテハ將來尙一層ノ注意ヲ加ヘ斯ル滯納事件ノ再發セサルコトヲ期スヘシ

【貴決】 措置適當ヲ關ク 【衆決】 不當

(參照) ○酒造稅法(明治二十九年三月二十八日法律第二十八號)

第十三條 酒類ヲ製造スル者ハ納稅保證トシテ一酒造年度見込造石數一石ニ付七圓ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ニ相當スル保證物ヲ豫メ提供スヘシ但シ政府ノ許可ヲ受ケ造石數査定ノ都度本條ノ割合ヲ以テ保證物ヲ提供スルコトヲ得

毎酒造年度ノ見込造石數又ハ査定石數前項ノ見込造石數ヨリ十石以上増加シタルトキハ其ノ石數ニ應シ前項ノ割合ニ依リ保證物ヲ増補スヘシ

毎酒造年度ノ見込造石數又ハ査定石數第一項ノ見込造石數ヨリ十石以上減少シタルトキハ其ノ石數ニ應シ第一項ノ割合ニ依リ保證物ノ減少ヲ請フコトヲ得

酒類ヲ製造スル者此ノ法律ヲ犯シテ處罰セラレタルトキ又ハ造石稅ニ關シテ滯納處分ヲ受ケタルトキハ爾後三年間政府ハ造石稅全額マテノ保證物提供ヲ命スルコトヲ得

前三項ノ場合及保證物ノ價格ニ異動ヲ生シタル場合ヲ除クノ外保證物ノ増減ヲ爲サス

保證物ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三款 官業及官有財産收入 第一項 郵便電信及電話收入

【報告】

(三) 本項決算額ノ外逓信省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

一一〇五、〇九七、七四〇、

アリ右ハ電信事務開始及電信電話通話事務開始工事用トシテ寄附ヲ受ケタルモノニシテ内九萬五千六百五拾六圓七拾四錢ハ前年度以前ノ工事ニ對スルモノナリ右ハ大正十五年檢査報告ニ詳悉セシ如ク物品勞力トシテ寄附ヲ受ケタルモノナルモ其ノ實現金ヲ受領シ物品ノ購入勞力ノ使用等ハ官ニ於テ直接之ヲ實行スルモノナルヲ以テ右現金ハ之ヲ歳入ニ編入スヘキモノトス之ニ對シ當局者ハ寄附物件ノ購入ハ申請者ノ委託ニ依リ政府ニ於テ執行スト雖現金ハ右物件ノ委託購買ヲ爲ス關係上代金ノ支拂義務ヲ確保スル意味ニ於テ申請者ヲシテ確實ナル銀行ニ該物件代ニ相當スル金額ヲ預入セシメ政府ハ單ニ其ノ受拂ヲ監視スルニ止リ現金其ノモノノ出納及代金ノ支拂ハ一切各申請者ノ口座名ノ下ニ保管銀行ヲシテ直接之ヲ取扱ハシメ居レリ而シテ寄附物件ノ購入ニ關シ政府カ委託ヲ受ケタル所以ハ電信工事ニ要スル物件ハ一定ノ規格ニ照シ嚴密ナル檢査ヲ行ヒ其ノ合格品ニ限り採用スルノ要アルヲ以テ寄附者ノ任意提供品ニ依ルコトヲ避ケタルモノニシテ已ムヲ得サルノ措置ナリト辯明スルモ昭和三年六月會計實地檢査ヲ施行セル東京逓信局ニ於テハ申請者ノ寄附金ハ保管銀行ヲシテ東京逓信局長ノ口座ヲ設ケ全部之ニ拂込マシメ局長ヨリ委託ヲ受ケタル官吏ノ證明ニ依リ物品勞力等ノ代金ヲ支拂ハシムルモノナルヲ以テ單ニ代金ノ支拂義務ヲ確保スル爲銀行ニ預入セシメタルモノト謂フヲ得ス假ニ他ノ各局ニ於テ預金名義者ヲ異ニスルモノアリトスルモ右ハ單ニ形式ニ過キスシテ實質ニ於テハ東京逓信局ト何等異ル所ナキモノト認メサルヲ得ス而シテ同局ニ於ケル寄附金受拂ノ狀況ヲ觀ルニ前年度越高壹萬參千參百九拾參圓餘本年度受入高貳萬五千圓ニ對シ八千百壹圓餘ヲ支拂ヒ殘額參萬貳百九拾貳圓餘ヲ保有シ實地檢査當時五年以上ヲ經過セル大正九年度分四千八百餘圓十年分參千九百餘圓ノ殘額アルノ計算ニシテ此等預金ヨリ生スル利子ハ相當多額ニ上ルヘキモノト思料セラルルモ他ノ委託金ト合同經理スルカ爲其ノ金額等不明ニ屬スルモノナリ要スルニ本件ハ現金ノ寄附ヲ受ケタルモノナルニ名ヲ物件ノ寄附ニ藉リ歳入ニ編入セサルモノニシテ不當ナリトス

(大正十五年(五)二二頁參書)
(昭和元年度(五)二二頁參書)

【辨明】

本件ニ對スル批難ノ要旨ハ電信施設物件ノ寄附ハ其ノ實現金ノ寄附ナルニ之ヲ歳入ニ編入セサルハ不當ナリト謂フニ在ルモ本件ハ既ニ大正十五年會計檢査院檢査報告ニ對スル辯明ニ於テ詳述セシ如ク全ク物件ノ寄附ニ外ナラサルモノニシテ只一定ノ規格ニ適合セシムルコトヲ要スル必要上政府ハ申請者ノ委託ニ依リ寄附物件ノ購入ニ付テハ之ヲ執行スト雖現金ハ右委託購買ヲ爲ス關係上代金ノ支拂義務ヲ確保スル意味ニ於テ申請者ヲシテ確實ナル銀行ニ該物件代ニ相當スル金額ヲ預入セシメ政府ハ單ニ其ノ受拂ヲ監視スルニ止リ現金其ノモノノ出納及代金ノ支拂ハ一切各申請者ノ口座名ノ下ニ保管銀行ヲシテ直接之ヲ取扱ハシメ居レルモノナリ

會計檢査院檢査報告書中東京逓信局ハ局長ノ口座ニ現金ヲ拂込マシムトアルモ同局ノ寄附物件代金取扱ノ實況ニ就テ見ルニ委託物件購入代支拂上ノ便否等ヲ考慮シ申請許可ニ際シ信用アル一銀行ノミヲ指定シ一定ノ委託書式ヲ示シ之ニ拂込マシメ又代金計理上必要ナル受拂簿ノ如キモ總テ申請者各人毎ニ區分登記シ居レリ而シテ保管銀行ハ銀行自己ノ取扱ノ便宜上之ヲ一口座トシテ假ニ東京逓信局長ノ冠記シ居レルモ何等東京逓信局長ノ指揮ニ基クモノニ非サルノミナラス右委託書ニ徵スルモ固ヨリ各人別口座ニ區分シ其ノ出納ヲ明瞭ナラシムルノ義務アルハ勿論ノ義ナリ然ルニ之ヲ目シテ直ニ現金ノ寄附ヲ受ケタルモノナリト推斷セルハ失當ナリト言ハサルヲ得ス

次ニ會計檢査院ハ同局本寄附金受拂狀況ヲ觀ルニ當該年度内ノ受入金ニ對シ其ノ支拂金額僅少ニシテ翌年度以降ニ保有スル現金多シト謂フモ元來當省ニ於テ本件申請ニ對スル諸否ノ決定ハ概シテ其ノ年度ノ後半以降ニ屬スルヲ以テ年度末ニ接近シ保管銀行ニ寄附金ノ委託ヲナスモノ相當多キヲ例トス

而シテ工事ノ支拂金ハ工事ノ進捗ニ伴ヒ順次支拂ヲナスヲ以テ若シ會計年度ニ依リ打切り計算ヲナス場合ニ於テハ受入ニ對シ其支拂金額少トナルハ當然ナリ又五年以上經過セル大正九年度及同十年分ノ殘額アリタルハ同局工務課及保管銀行共大正十二年九月ノ大震災ノ爲メ關係書類焼失シ代金支拂濟否判明セサルモノ等アリ之カ調査整理ニ多大ノ日子ヲ要シタルノミナラス一面債權消滅時効等ノ點ヲモ考慮シ相當期間存置シタルモノナルモ最早處理濟ナリ

尙檢査報告中ニハ「大正九年度分四千八百餘圓同十年度分參千九百餘圓ノ殘額アリ」トアルモ本金額ハ曩ニ同院ニ於テ東京逓信局實地檢査ノ際實査シタル金額ニシテ其後同局ニ於テ帳簿上ニ誤記アルコトヲ發見シ之カ更正ヲナシタル結果九年度分參百拾八圓十年度分四百拾九圓餘トナレリ

要スルニ本件寄附金ハ委託購入物件代金ノ支拂義務確保上信用アル銀行ニ豫メ申請者ヲシテ預入シ置カシムルニ過キスシテ全ク物件ノ寄附ニ外ナラス其ノ實際ヨリ見テ不當ナル取扱ト謂フコトヲ得ス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

(参照) ○會計法(大正十年四月八日法律第四十二號)

第二條 租稅其ノ他一切ノ收納ヲ歳入トシ一切ノ經費ヲ歳出トシ歳入歳出ハ之ヲ總豫算ニ編入スヘシ
第四條 各官廳ニ於テハ法律勅令ヲ以テ規定シタルモノヲ除ク外特別ノ資金ヲ有スルコトヲ得ス

第四款 雜收入 第二項 懲罰及沒收金

【報告】

(四) 本項決算額ノ外安濃津地方裁判所ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

九、三〇八^円二七五

【辨明】

アリ右ハ昭和^{大正十五}元年度検査報告ニ詳悉セシ如ク同検事局裁判所書記山越某カ現金又ハ郵便爲替ヲ以テ受領セル罰金、過料並沒收ノ裁判確定セル刑事證據金等壹萬貳千六百貳拾六圓九錢五厘ヲ横領費消セルニ因ルモノニシテ内參千參百拾八圓七拾壹錢ハ昭和^{大正十五}元年度以前ニ屬セリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス(昭和元年度(九)會計検査院検査報告ノ通)

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(五) 本項決算額ノ外京都地方、區兩裁判所ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

一、九二七^円三七五

アリ右ハ沒收ノ裁判確定等ノ爲國庫ニ歸屬シタル刑事證據金ニシテ昭和二年四、五月中之カ實地ヲ検査スルニ孰モ歳入納付ノ手續ヲ爲サス前掲金額ノ内九百五拾餘圓ハ領置物品取扱主任ニ於テ現金ノ儘保管シ九百七拾圓餘ハ現金存在セサリシヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ事務多忙ノ爲歳入納付手續ノ遅延セルモノアリ又事件主任官ヨリ歳入納付ノ通知ナキモノアルニ因ルモノニシテ現金ノ存在セサル事由ニ關シテハ其ノ原因不明ニ屬スルモ犯罪ニ基因スルモノト認メ二年五月檢事ニ於テ内偵其ノ他ノ搜查ニ著手シ爾來引續キ事案ノ真相發見ニ努力中ナルモ期間七年間ノ久シキニ互リ關係書記、雇員二十餘名而モ死亡者、所在不明者等アリテ搜查終了ヲ見ルニ至ラス結局亡失セシモノト見ルノ外ナシト謂フニ在リ然レトモ本件刑事證據金ハ大正十年六月ヨリ十五年十月ニ至ル間ニ於テ國庫ニ歸屬セルモノナルヲ以テ事件ノ完結ニ從ヒ歳入ニ納付ノ手續ヲ爲スヘキモノナルニ拘ラス數年間之カ手續ヲ爲サス殊ニ現金ノ亡失ヲ招來シタルモノ

【辨明】

アルカ如キハ監督其ノ宜シキヲ得サルニ基因セルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出

内務省所管

- 工事ノ設計、施行並維持其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六) 一〇四、一七七^円二六〇
- 工事ノ補助ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(七) 七二四、八〇四〇〇〇
- 契約方法其ノ宜シキヲ得ス且工事請負代金高價ニ失スルモノ一件(九) 八八、〇四五〇〇〇
- 其ノ他不當ナルモノ二件(八)(一〇) 三七一、七九〇^円五三〇
- 計五件 一、二八八、八一六^円七九〇

歳出臨時部

第二款 治水事業費 第二項 河川費

【報告】

(六) 内務省新潟土木出張所ノ支出ニ係ル

一〇四、一七七^円二六〇

ハ信濃川大河水津地内所在自在堰ノ破壊ニ件ヒ應急費トシテ支出シタル金額ナリ抑信濃川改修工事ハ大河水津寺泊間ニ長十軒餘ノ新水路ヲ開鑿シ計畫洪水量五千五百七十立方米ヲ放流シ舊信濃沿川、越後平野ノ水害ヲ除却シ併セテ大河水津ニ洗堰、自在堰、固定堰及閘門等ヲ設ケ灌漑及航運ニ必要ナル低水量ヲ舊川ニ注キ其ノ他舊河口ノ水深維持ノ浚渫工事等ヲ施行シタルモノニシテ明治四十年年度起工後二十一年箇年ノ歲月ト貳千參百五拾四萬餘圓ノ工費ヲ支出シ昭和二年度ニ於テ竣功シ同年度以降毎年本費中ニ拾八萬七千餘圓ノ維持費ヲ掲上シ舊河口及自在堰等ノ管理維持ヲ爲シツツアリシモノナリ然ルニ工費百拾餘萬圓ヲ投シ大河水津地内ニ築造セル自在堰ハ大正十一年八月竣功シ同月二十五日新分水路ニ通水ヲ開始シ爾來堰ノ操

作ニ支障ナカリシモ昭和二年六月二十四日自在堰ノ一部ハ突然陥没破壊シ之カ爲舊本川下流水田ノ灌溉ハ全ク杜絶スルニ至レルヲ以テ應急費トシテ前掲費額ノ外國庫剩餘金ヨリ八拾七萬七千餘圓ヲ支出シ更ニ補修工事費トシテ國庫剩餘金八拾八萬九千餘圓及三年度追加豫算ニ於テ同年度以降三箇年度ニ參百八拾參萬九千圓ヲ要求支出スルノ已ムナキニ至レリ右破壊ノ原因及之ヲ豫防シ得サリシ事由ニ關シ當該官吏ノ説明スル所ニ依レハ

自在堰破壊ノ原因ハ其ノ基礎ニ河水滲透シテ漸次基礎地盤ヲ粗鬆ナラシメ爲ニ其ノ地盤ノ支持力極度ニ減少シ自在堰ノ沈下又ハ傾斜ヲ來スニ至リタルモノナリ其ノ素因ハ設計ノ不備ニ因ルモノ工事施行方法ノ不適當ナリシニ因ルモノ及維持上周到ノ注意ヲ缺キタルニ因ルモノニシテ(一)自在堰ハ洪水時堰ノ開放ト共ニ瞬時ニシテ巨量ノ放水ヲ爲シ得ル特色ノ施設ナリト雖之カ爲急激ニ水位ノ變化ヲ起シ本堰ノ場合ニ於テハ甚シク横流ヲ生シ堰ノ上流河底ハ著シク洗掘セラレ隨テ堰ノ基礎ニ河水ノ滲透ヲ容易ナラシメタリシカ當初ヨリ之ニ對スル設備十分ナラサリシモノアリ又自在堰下流部ニ床固工ヲ設ケサリシ爲放水毎ニ河床洗掘セラレ其ノ低下著シク隨テ自在堰上下流ニ於ケル水位ノ差ヲ増大ナラシメ漸次自在堰基礎ニ河水ノ滲透ヲ誘致スルニ至レリ(二)自在堰ノ基礎杭及締切矢板打込ニ際シ水射法ヲ使用セルニ拘ラス適當ナル對策ヲ講セサリシ爲攪亂セラレタル地盤ヲ通シテ河水ノ滲透ヲ容易ナラシメタリ(三)自在堰上流ノ横流ニ基ク河底ノ洗掘ニ對スル手當不十分ナリシ爲此ノ洗掘作用ハ次第ニ構造物ノ基礎ヲ侵シ水壓ニ對スル抵抗力ヲ減損セシムルニ至レリ而シテ右破壊ヲ豫防シ得サリシハ信濃川水位調節ノ爲出水時ニ自在堰ヲ開放スルトキハ横流ニ因ル堰上流ノ洗掘著シキモノアリト雖減水ニ當リ自在堰ヲ閉鎖スルトキハ粗鬆ナル流砂ヲ沈澱セシメ其ノ洗掘程度ヲ覺知スルニ由ナカリシヲ以テ堰基礎ノ危険ヲ豫知スルコト能ハサリシモノトス

ト謂フニ在リ右ハ當局者ノ説明スルカ如ク本堰ハ其ノ構造上中位ノ出水ニ際シ中央部數徑間ノ扉ヲ開放スル爲堰上流ニ激シキ横流ヲ生シ之カ爲上流河底ハ著シク洗掘セラレヘキモノナルニ拘ラス之ニ對スル設備ハ僅ニ長三米餘ノ上流水叩及其ノ締切トシテ長四米餘ノ竹筋混凝土矢板ヲ打込ミタルニ過キサルノミナラス又自在堰下流河底洗掘低下ニ對シテハ巾杭

五十九號附近ニ床固一箇所ヲ施工セシ止リ本件ノ如キ特殊ノ構造ニ對シ其ノ設計施工著シク不十分ナリシハ頗ル遺憾トスル所ナリ而シテ之カ維持ニ關シテハ堰下流ノ河床ハ年年低下シ上下流ノ落差ノ如キ計畫當初ニ於テ三米餘ナリシニ二年六月二十四日破壊直前ノ落差ハ六米餘ノ記録ヲ殘セルノ狀況ナルヲ以テ之ニ對シ堰ノ上下流水叩ヲ補強又ハ擴築スル等適當ノ對策ヲ講スヘキモノナルニ拘ラス僅ニ下流水叩ノ直下ニ少許ノ捨石及沈床ヲ爲スニ止メタルカ如キハ注意ノ周到ヲ缺キタルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ當初ノ設計施工竣竣後ノ維持其ノ宜シキヲ得ス爲ニ多額ノ應急及補修工事費ヲ要スルノ已ムナキニ至ラシメ國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本自在堰ハ大正十一年八月竣成シ同月二十五日新分水路ニ通水ヲ開始シ爾來堰ノ操作ニ何等ノ故障ヲ生シタルコトナク約五箇年ヲ經過シタルニ昭和二年六月二十四日ニ至リ突如其ノ一部ニ陥没破壊ヲ來シ之カ應急並ニ補修工事ノ爲相當多額ノ支出ヲ必要トスルニ至レルモノニシテ之カ破壊ノ原因並ニ之ヲ豫防シ得サリシ事由等ハ大體會計検査院検査報告書記述ノ通ニシテ遺憾ニ堪ヘス

【報告】 (七) 北海道廳ノ支出ニ係ル

七二四、八〇四、〇〇〇

第七款 北海道拓殖費 第四項 土地改良費

ハ北海道土功組合中事業成績最不良ナル由仁村用水外十一組合ニ對シ特別助成金トシテ交付スルコトト爲シタル總額百五萬四千六百七拾參圓ノ内ニシテ參拾貳萬九千八百六拾九圓ハ昭和三年度以降ニ屬スルモノナリ抑前記組合ハ水田灌溉用水溝ヲ設置シ之ヲ維持スル目的ヲ以テ設立認可ヲ爲スト共ニ灌溉溝工事費ニ對シ補助金七拾壹萬貳千餘圓ヲ交付シ工事費總額參百萬五千餘圓ヲ以テ一組合ヲ除クノ外他ノ十一組合ハ孰モ大正十四年八月迄ニ豫定工事ヲ完了シタルモノナルモ水量ノ減少及地味不良等ノ爲造田事業ノ成績不良ニシテ組合ノ財政困難ニ陥リ遂ニ特別救済ヲ要スルニ至リタルモノナリ今組合ノ事業成績ヲ觀ルニ前記組合ハ水量ノ減少及地味不良ニシテ多數ノ造田不可能地ヲ生シ豫定面積八百八十二町步餘ノ内三千九百五十九町步餘ハ組合區域ヨリ除外スルニ至リ殊ニ芽室組合ノ如キハ灌溉段別別千町步トシ灌溉溝工事費貳拾七

昭和二年度 内務省 (七)

萬千餘圓補助金八萬千餘圓又御影組合ハ灌溉段別ヲ千三町步餘トシ灌溉溝工事費參拾參萬八千餘圓補助金九萬七千餘圓ヲ以テ各工事ヲ完了シタルモノナルニ前者ニ於テハ豫定面積ノ内九百三十四町步ヲ除外シ拾九萬九千餘圓ノ特別助成金ヲ後者ニ於テハ豫定面積ノ内七百七十五町步餘ヲ除外シ拾九萬五千餘圓ノ特別助成金ヲ孰モ交付セルノ狀況ナリ右ニ對シ當該官吏ノ辯明スル所ニ依レハ造田成績不良ノ土功組合中土質不良ニ基因スルモノハ灌溉區域ノ大部分火山灰地ニシテ土壤ハ小粒子ナルヲ以テ肉眼的ニハ普通ノ壤土、埴土ト何等變リナキニ依リ起工ノ許可ヲ與ヘタルモ灌溉後粒子浮遊シ滲透水多ク耕盤ヲ形成セサルモノニシテ是全ク灌溉後ニ非サレハ發見スルコトヲ得サルモノナリ又水量ノ不足ニ關シテハ從前許可ニ係ルモノニ在リテハ大正三年度中調査シタル水量ニ依リ處分シ何等支障ヲ來ササリシニ拓殖ノ進展ニ伴ヒ原野ノ開發、林木ノ伐採ニ因リ殊ニ十年前後ハ造田熱頓ニ勃興シ無願開田ヲ爲シタルモノ多數アリテ源流量ノ認定ヲ困難ナラシメタルニ因ルモノニシテ將來ハ此ノ點注意スヘシト謂フニ在リ然レトモ此ノ種事業ノ性質ニ鑑ミ本件工事ノ補助ヲ爲スニ當リテハ其ノ目的ヲ達成スル爲之カ事業ノ遂行ニ付慎重ナル調査監督ヲ必要トスヘキハ言ヲ竣タサル所ナルニ造田計畫上最重要ナル水量及地質ノ調査ニ關シ三年度調査ニ係ル流量ヲ其ノ儘基本トシ爾後ニ於ケル事情ノ變化ヲ顧慮セス土質ニ就キテモ亦十分ノ調査ヲ爲シタルモノト認メ難ク爲ニ事業實施後幾クモナクシテ組合區域ノ一部ヲ除外シ其ノ事業經營困難ニ陥レルカ如キハ畢竟調査ノ不十分ニ基因スルモノト認メサルヲ得ス元來土功組合ニ對スル本費豫算ハ灌溉及排水溝ノ工事ニ對シ工費ノ一部ヲ補助スルノ目的ヲ以テ積算セラレタルモノナルニ之カ所期ノ目的ヲ達セサリシノミナラス財政困難ニ陥リタル組合ニ對シ更ニ本費ヲ以テ特別救済資金ヲ支出スルノ已ムナキニ至リタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

由仁村用水外十一土功組合ニ對シ特別救済ヲナスニ至リタル原因ハ水量不足又ハ地味不良ノ爲豫期ノ收益ヲ學タル能ハサリシモノ又ハ工事完成後災害ニ依リ導水路缺壞流失シ水車揚水機破砕セラレ之カ復舊ニ多大ノ工費ヲ要シ收支償ハス財政困難ニ陥リタルモノ等ナリ抑本道ニ於ケル各河川ノ水量ハ氣候並ニ風土ノ關係上數年間ニ互リ繼續調査ヲ爲スニアラサレハ的確ニ之ヲ認定スルコトヲ得サルモノトス然

ルニ歐洲大戰後造田熱頓ニ勃興シ出願者續出スルノ狀態ヲ現出シタルカ若シ之ニ對シ一々新ニ精密ナル調査ヲ施シ而シテ後ニ許可ヲ與フルコトトセシカ爲ニ多大ノ日子ヲ必要トシ事業ノ發達ヲ抑止シ道内ノ開拓ニ影響スル所甚大ナルモノアルヘキヲ慮リ取敢ヘス大正三、四年ノ調査資料ニ基キ處理シタルモノナリ而シテ多クノ組合ニ在リテハ此ノ便法ヲ採リタルコトヨリ別段ノ支障ヲ生ジタリト認メサリシモ由仁外二、三ノ組合ニ限り水量ノ不足ヲ來スニ至レルハ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ尙其ノ原因ハ無願開田又ハ林木伐採等ノ爲認定源流量ニ相違ヲ來タシタルニ因ルモノト思料セラル地味不良ニ基因スル芽室外數組合ニ於ケル灌溉區域ノ大部分ハ火山灰地ニシテ土壤ハ小粒子ヨリ成リ肉眼的ニハ到底普通ノ壤土、埴土ト鑑別シ難ク又當時ノ狀況ハ曩ニ記述セル如ク現地ニ就キ一々精密ナル調査ヲ爲スノ暇ナカリシ爲取敢ヘス起工ノ許可ヲ與ヘタルモノニシテ當時ニ於テハ眞ニ止ムヲ得サルコトニ屬ス尙本道ニ於テ補助金ヲ交付セル土功組合總數ハ二百十三組合ノ多キニ達シ其ノ灌溉段別總計十五萬二千町步ニ及ヒ此等ノ組合ハ前掲組合ノ外悉ク相當ノ成績ヲ擧ケツツアルノ實況ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

第二十八款 帝都復興事業費 第一項 東京復興費

【報告】 (八) 復興局ノ支出ニ係ル

一四九、四七一〇八〇

ハ東京市土地區劃整理ノ爲要スル換地トシテ大正十三年六月、十四年六月及同年八月ノ三回ニ互リ東京市深川區川上某ヨリ代金六拾七萬九千六百拾九圓八錢ヲ以テ買收シタル下谷區新坂本町五番地宅地合計四千六百六十坪餘ノ地上ニ存在スル借地權坪數千四百六拾餘地上物件千四百九十九坪餘ノ解除及移轉ニ要シタル補償金拾五萬參千參百拾七圓四拾八錢ノ内ニシテ參千八百四拾六圓四拾錢ハ昭和三年度ニ屬スルモノナリ抑本件土地ハ賣渡人ニ於テ借地權ヲ解除シ地上物件ヲ移轉シ更地トシテ引渡スヘキ契約ナリシニ第一回買收後約三箇年ヲ經過スルモ之ヲ履行セサリシ爲ニ二年六月復興局ニ於テ直接借地權ノ解除及地上物件ノ移轉ニ著手シ本件支出ヲ要スルニ至リタルモノナリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ土地買收後賣渡人ニ於テ關係者ニ對シ借地權解除及建物取拂方ニ付交渉ヲ重ネタルモ容易ニ解決スルニ至ラス當局ニ於テモ之カ解決ニ關シ極力斡旋シタルモ賣渡人ニ於テ關係者ニ對シ其ノ協定條件ヲ履行セサル等ノ爲事件紛糾シ到底賣渡人ニ於テ解決ノ見込ナキ狀態ニ陥リタリ然ルニ本件未解決ノ爲本地附近ノ換地豫定計畫ハ殆ト停頓ヲ來シ區劃整理ノ

昭和二年度 内務省 (八)

進行ヲ阻害セラルルニ至レルヲ以テ當局ニ於テ直接解決スルノ外途ナキニ至リタリト謂フニ在リ然レトモ本件買収契約ニ於テ借地權ノ解除及地上物件移轉ノ義務ヲ賣渡人ニ負擔セシメタルニ拘ラス第一回買収ノ際ハ買収代金全額ヲ拂渡シ第二回及第三回買収ニ於テ壹萬圓及五萬圓ヲ留保シタルニ止リ其ノ債務ニ對スル擔保甚タ少額ニ失シ復興局ニ於テ自ラ解決ノ已ムナキニ至ルヤ前掲金額ノ支出ヲ要シタル爲結局留保金ニ對シ九萬參千餘圓ノ超過ヲ來スニ至レルモノニシテ賣渡人ヨリ之方回收亦困難ノ狀況ナルカ如キハ當初債務履行ノ確保ニ關シ周到ノ注意ヲ缺キタルニ因ルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【備考】

本件ハ東京都市計畫土地區劃整理第三十七地區ノ潰地緩和ノ爲購入セル土地ニ關スルモノニシテ第一回買収ハ潰地充當用地買収ニ於ケル最モ初期ノ取扱ニ係リ當時買収地上ニ存スル借地權及建物ハ賣買契約ノ内容ニ基キ賣渡人ニ依ツテ當然悉ク解除撤退サルヘキモノト認メ買収土地代金ノ全額ヲ拂渡シタルモノナリ第二回及第三回ノ買収ニ當リテハ其ノ地上ニ存スル借地權及物件ノ解除又ハ移轉ノ難易其ノ他ノ事情ヲ達觀シ土地賣渡人ノ債務不履行ノ場合之ニ代テ實行スルニ相當ナリト認メタル金額六萬圓(第二回買収ニ於テ壹萬圓第三回ニ於テ五萬圓)ヲ買収代金ノ内ヨリ支拂ノ留保ヲ爲シタリ然ルニ賣渡人ト借地權者及居住者トノ間ニ意思ノ疏通ヲ缺ケル點アリシ爲借地權ノ解除、建物ノ取拂ハ豫想以上ニ遲延スルノ狀況ナリシヲ以テ當局ニ於テモ事業進捗ノ爲賣渡人ニ對シ督責ヲ加フルト共ニ關係者ニ對シ調停ヲ試ムル等極力斡旋盡力ヲ爲ス所アリシモ容易ニ解決スルニ至ラス一面本地區ノ區劃整理事業ハ著々進行シ本件未解決ノ爲本地附近ノ換地豫定計畫ハ殆ント停頓ヲ來シ延テ本地區全般ノ事業ニ影響スル所渺ナカラス此ノ上遲延ヲ許ササル狀況トナリシヲ以テ當局ニ於テ直接借地權者並ニ居住者ト協定解決スルノ外途ナカリシモノナリ之カ爲メ前記留保金六萬圓ヲ超過スル金額九萬參千餘圓ノ支出ヲ要スルニ至リタルハ事業遂行上誠ニ事情已ムヲ得サル所ニシテ土地賣渡人ノ契約不履行ニ基因スル損害賠償ニ關シテハ直チニ納人ニ對シ完納方嚴重督促ヲ爲シタルモ未タ納入ニ至ラサルヲ以テ民事訴訟ヲ提起シ辨濟セシムヘク目下手續中ナリ

【貴決】 異議ナシ

【未決】 不當

【報告】

(九) 復興局ノ支出ニ係ル

八八、〇四五、〇〇〇

ハ土橋改築工事請負代金拾七萬參百參拾四圓貳拾五錢ノ内ニシテ八萬貳千貳百八拾九圓貳拾五錢ハ既往年度ニ屬スルモノナリ右ハ前年度検査報告ニ詳悉セシ如ク工事ヲ施行スルニ當リ橋臺工事ノ内其ノ一局部ヲ指名入札ニ付シ橋本組工業合資

會社ト契約ヲ締結シ殘餘大部分ノ工事ヲ隨意契約ニ依リ同會社ニ請負ハシメ之カ請負代金高價ニ失セシモノナリ右ニ對シ當局者ハ本件工事費面坪當單價ハ堀留橋ニ比スレハ高價ナルモ本橋梁ト其ノ構造ヲ等シクスル他ノ鐵筋混凝土拱橋尾張橋ノ千百六拾圓南門橋ノ千貳百拾八圓ニ比スルトキハ特ニ高價ナリト認メ難ク又第二回工事以降ヲ隨意契約ニ依リタルハ指名競争ニ依ルニ比シ工期ヲ著シク短縮セシムルノ效果アルヲ以テ事業促進ノ爲已ムヲ得サルニ出テタルモノナリト辯明スト雖本橋ニ在リテハ切石積施工ノ部分一部ナルニ對シ南門橋ニ在リテハ切石積工ヲ全部ニ施シ且特種ノ意匠ヲ加ヘ又尾張橋ニ在リテハ本橋ノ鐵筋ニ代ヘ鐵桁ヲ使用シ尙其ノ請負額中ニ運河掘鑿費ヲ包含セシメアル等此等ノ橋梁ハ孰モ設計其ノ他ノ事情ヲ異ニスルモノアルヲ以テ之カ經費ハ全然本橋ト比較シ難ク又本件ハ當局者辯明ノ如ク縱ヒ工事促進ノ要アリタリトスルモ此ノ種工事ニ於テ單ニ橋臺工事ノ一局部ヲ指名競争ニ付シ殘餘大部分ノ工事ヲ隨意契約ニ依ルカ如キハ妥當ヲ缺クノ措置ト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ工事ノ施行ニ當リ契約方法其ノ宜シキヲ得ス且請負代金高價ニ失シ國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【備考】

土橋改築工事費一面坪當約壹千百圓ハ本橋梁ト其ノ構造ヲ等シクセル他ノ鐵筋混凝土拱橋即チ南門橋ノ一面坪當工費壹千貳百拾八圓及尾張橋ノ壹千百六拾圓ニ比スレハ特ニ高價ナリトハ認メ難キ旨大正十五年年度決算検査報告ニ對スル辯明書ニ於テ述ヘタルコトニ關シ會計検査院ハ右南門橋尾張橋兩橋梁ハ本橋梁ト設計其ノ他ノ事情ヲ異ニスルモノアルヲ以テ之カ經費ハ全然本橋ト比較シ難シト謂フト雖本橋ハ右兩橋梁ト同種ノ構造ヲ有スル橋梁ニシテ且ツ南門橋ト等シク側面並ニ高欄全部ニ涉リ切石積ヲ施工シ只其ノ意匠ヲ異ニセルニ過キス依テ今假ニ本橋ノ切石細工程度ヲ南門橋ト同様ニ爲シ本橋切石平均單價六圓五拾七錢ノ代リニ南門橋切石平均單價拾圓拾錢ヲ採ルトスルモ(切石積工費ニ於テ壹萬四千七百七拾壹圓ヲ增加スル結果トナリ)本橋工事費一面坪當ハ壹千貳百拾六圓ニ過キスシテ南門橋ノ一面坪當工費壹千貳百拾八圓ヨリハ少ク又本橋ノ尾張橋ト設計ヲ異ニセル部分即チ鐵筋及切石積工ニ代フルニ尾張橋ト同様ナル鐵骨及擬石仕上ケヲ以テスルト假定セハ現設計ニ比シ鐵骨混凝土工費ニ於テ壹萬五千貳百四拾參圓ヲ增加シ擬石工費ニ於テ貳萬壹千八百四拾圓ヲ減少シ結局一面坪當工費ハ壹千貳百拾六圓トナリ之ヲ運河掘鑿費ヲ除キタル尾張橋ノ一面坪當工費壹千九拾壹圓ニ比スルニ六拾五圓低廉ニシテ本件土橋架設工費一面坪當壹千五百拾五圓ハ敢テ高價ト謂フヲ得サルモノトス

物其ノ他支障物件補修シ之カ整理ヲ俟ツテ起工スルトキハ著シク竣功期ヲ遅延セシムルノミナラス一般事業ノ促進上支障ナカラサルヲ以テ工事施行可能部分ノ設計完了ニ從ヒ順次工事ノ實施ヲ爲スコトトセルモノナリ第二回以降ノ工事ヲ隨意契約ニ依リタルハ同一人ニ施行セシムルトキハ前工事中ニ後工事ニ著手スルヲ得工期ヲ短縮シ得ルノミナラス一面前工事後工事ハ密接ノ關係ヲ有シ而モ現場同一ニシテ狹隘ナル施行箇所ナルヲ以テ異種ノ請負人ヲシテ同時ニ施行セシムルトキハ現場混亂シ事業進捗上支障ヲ生スルノ虞アル等全ク實際ノ必要ニ應シタルモノニシテ當時ノ事情已ムヲ得サリシナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【案決】 不當

第三十二款 復興局 第二項 事務費

【報告】

(一〇) 復興局東京第一出張所外四出張所ノ支出ニ係ル

一三三、三一九四五〇

ハ各出張所ニ於ケル課長以下内勤職員ニ對シ毎月各其ノ身分ニ應シ定額ヲ定メ支給シタル旅費額ナルモ右ハ實際ノ出張日數ニ基カス支給シタルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ内國旅費規則及内務省所管旅費規則ニ基キ現實公務ヲ以テ出張セル者ニ對シ普通旅費トシテ支給シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ各出張所ニ於ケル木件旅費支給狀況ヲ觀ルニ支給内規ヲ設ケ各職員ノ身分ニ應シ定額ヲ毎月定例支給セルノミナラス東京第四出張所ノ如キハ庶務、整地、工事、移轉ノ各課毎ニ毎月一定ノ期間ニ於テ殆ト全課員同時ニ出張シタルノ結果ヲ來セルモノアルノ事實ニ徴シ現實公務ヲ以テ出張シタル日數ニ對シ普通旅費ヲ支給シタルモノト認メ難ク右ハ畢竟常時出張シ現場作業ニ從事スル職員ト同視シ出張日數ノ多少ニ拘ラス毎月一定額ノ旅費ヲ支給シタルモノニシテ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

當局出張所職員ハ常時在勤處所在地又ハ隣接町村ニ出張シ現場ヲ巡廻シ又ハ現場作業ニ從事スル者ナルヲ以テ之ニ對シ現實出張日數通旅費ノ支給ヲ爲ストキハ豫算ニ不足ヲ來スヘキヲ以テ一定日數ヲ限度トシ此ノ日數以上ノ出張ヲ爲スモ之ニ對シ旅費ノ支給ヲ爲ササルコトトセリ而シテ現實出張セル日數カ右一定日數未滿ナルトキハ現實出張日數ニ應シ支給セシハ勿論ニシテ第四出張所ニ於テ一定ノ期間引續キ出張ト爲シタルモノアリシハ旅行日ノ誤記ニシテ會計検査院カ批難セル如キ内勤職員ニ對シ實際ノ出張日數ノ多少ニ不拘毎月一定額ノ

旅費ヲ支給シタル事實ナク現實公務ヲ以テ出張シタル者ニ對シ普通旅費ヲ支給シタルモノナルヲ以テ失當ノ措置ト謂フヲ得ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【案決】 警告

(參照) ○内國旅費規則(明治四十三年六月十八日勅令第二百七十四號)

第十七條 所管大臣ハ測量土木工事等ノ爲現場ヲ巡廻スル官吏又ハ常時旅行ヲ要スル官吏ニ關シ特ニ其ノ旅費額ヲ定メ月額又ハ日額ヲ以テ之ヲ支給スルコトヲ得

所管大臣ハ旅費ノ定額ヲ減シ又ハ旅費ノ全部若ハ一部ヲ支給セサルコトヲ得

○復興局職員ニ月額旅費支給方ノ件(大正十四年一月九日復興局長官連第一號)

當局職員ニシテ土地區劃整理、土木建築工事、測量其ノ他ノ調査工事材料品ノ製作監督検査配集等ノ爲常時在勤處所在地又ハ其ノ隣接町村ニ出張スル者ニハ別表ニ依リ月額旅費ヲ支給ス

前項ノ月額旅費ハ月ノ中途ニ於テ當該係員ヲ命免セラレタルトキ、他ノ旅行ヲ爲シ相當旅費ノ支給ヲ受クルトキ又ハ一箇月内ニ七日以上當該職務ニ服セサルトキハ其ノ月現日數ニ依リ日割計算ヲ以テ之ヲ支給スルモノトス

(別表略)

陸軍省所管

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一一)

一一、二四六七四〇

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ一件(一二)

五六六四〇〇

計二件

一一、八一三一四〇

歳出經常部

第二款 軍事費 第四項 衣糧費

【報告】

(一一) 第十六師團經理部ノ支出ニ係ル

一一、二四六七四〇

ハ同部ニ於テ購入シタル薬二十一萬九千三十九貫餘ノ代價ナリ右ハ京都衛戍地屯在部隊所用ノ馬糧トシテ昭和二年四月一日京都府紀伊郡農會ト隨意契約ニ依リ四月乃至十二月ヲ納期トシ百貫當九圓七拾錢ヲ以テ購入シタルモノナルモ同日第四

昭和二年度 陸軍省 (一一)

師團經理部ニ於テ隨意契約ヲ以テ四月乃至六月ヲ納期トシ同會ヨリ購入シタル同品八萬貫ハ百貫當七圓八拾參錢ニシテ遠隔ノ地タル大阪納入ニ比シ却テ高價ニ屬スルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ十一月、十二月ハ新葉生産後ニ於テモ古葉ヲ納入セシムルコトト爲シ前年度契約價格ヲ斟酌シ四、五、六月分八圓七拾錢八、九月分九圓八拾錢十、十一月分拾圓六拾錢ト豫定シ之ヲ平均シテ九圓七拾錢ト決定シタルモノニシテ其ノ算出ノ基礎ハ生産地ニ於ケル原價七圓九拾五錢運搬納入費壹圓六拾五錢雜費拾錢ナリ而シテ第四師團經理部ノ價格算定ノ基礎ハ知ルヲ得サルモ契約期間四、五、六月分ニシテ供給比較の容易ナルヲ以テ價格相當低廉ナルヘシト雖當師團ハ十一月、十二月分迄モ含ミ供給困難ニシテ價格高價ナルヘキモノヲ平均シタルト運搬費ニ於テ第四師團經理部ハ水運ヲ利用スル爲當師團ノ半額以內ナルヲ以テ高價ナルヲ免レスト謂フニ在リ然レトモ三年五月會計實地検査ノ際調査セシ所ニ依レハ契約當時本件供給者ヨリ徵シタル價格見積書ノ外他ニ何等價格決定ノ資料ニ供シタリト認ムヘキモノナク而シテ價格算出ノ内譯ニ就キ之ヲ觀ルニ運搬費ヲ控除シタル大阪納ノ分五圓八拾參錢ナルニ對シ本件ノ之ト同時期納ノ分八圓五錢ニシテ著シク高價ナルノミナラス又運搬費ニ關シ當該官吏ハ大阪納ノ分ハ水運ヲ利用スルヲ以テ本件ニ比シ半額以內ナリト辯明スルモ其ノ納入場所ハ供給農會所在郡ニ屬シ比較的距離ナルニ大阪納ノ分ハ水運ニ依ルモ其ノ距離約二十哩ニ及ヒ現ニ本件ニ在リテハ壹圓六拾五錢ヲ見積リアルニ對シ大阪納ノ分ハ貳圓ヲ見積リアルノ狀況ナルニ照シ答辯ノ事實ハ之ヲ認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ購買ニ當リ調査十分ナラス高價ニ失シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件藥ノ購買ニ當リ京都市附近ニ於ケル唯一ノ農會タル京都府紀伊郡農會ヨリ見積書ヲ徵シ之ニ就キ既往年度ニ於ケル購買價格並當時ニ於ケル藥ノ需給狀況ヲ考覈シ其ノ契約價格ヲ決定シタルモノニシテ敢テ調査不充分ト認メ難シ

又昭和二年四月乃至六月ニ於ケル百貫ニ對スル價格第四師團經理部ハ七圓八拾參錢第十六師團經理部ハ八圓七拾錢ニシテ兩者ニ八拾七錢ノ差ヲ生シタルハ其ノ原價ノ見積ニ差アルニ非スシテ主トシテ運搬費ノ見込ニ開アリシニ因ルモノナリ

即チ前者ニ在リテハ運搬距離大ナリト雖生産地ヨリ水運ニ依リ而モ契約期間內ニ於テ適時一括シテ河岸ノ經理部秣倉庫ニ納付シ得ルノミナラス所謂返り船等ノ利用ニ依リ著シク其ノ費用ヲ減少シ得ルニ反シ後者ニ在リテハ陸路荷馬車等ニ依リ而モ各部隊毎ニ其ノ需用ニ隨ヒ

分割シテ直接納付セサルヘカラサルヲ以テ比較的勞費大ナルヲ免レス從テ當時同農會ハ運賃トシテ大阪納ヲ七拾八錢京都納ヲ壹圓六拾五錢ト見積リ夫々契約ヲ締結セルモノニシテ本件藥ハ當時ノ價格トシテハ一般取引價格並前年度購買價格ニ比スルモ高價ニ失スルモノト認メス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 承認

第六項 演習費

【報告】 (一一) 第八師團經理部ノ支出ニ係ル 五六六四〇〇

ハ歩兵第五聯隊用練習用具銃劍術面二十箇外三點代トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實同隊附陸軍一等計手太田某カ昭和三年四月同隊出納官吏陸軍一等主計永澤某ヨリ支拂方ヲ命セラレタルヲ奇貨トシ之カ代金ヲ正當債主ニ交付シタルモノノ如ク裝ヒ横領シタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通 但シ責任者ハ相當處分ヲ了シ被害金ハ出納官吏ニ對シ辨償ヲ命シタルモ昭和三年十一月勅令第二七六號ニ依リ免除セラレタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

(參照) ○出納官吏等ノ辨償責任ノ免除ニ關スル件(昭和三年十一月十日勅令第二七六號)

出納官吏又ハ出納員ノ辨償責任ニ基ク債務ニシテ昭和三年十一月十日以前ニ於ケル事由ニ因ルモノハ將來ニ向テ之ヲ免除ス但シ犯罪行為ニ因ル本人ノ債務ハ此ノ限ニ在ラズ

海軍省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(一一三) 三、〇六一、四〇八 四三〇
 豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一一四) 一五〇、四二〇 三一六
 請負契約ニ當リ工費ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一一五) 二八、九九九 五〇〇
 計三件 三、二四〇、八二八 二四六

第一款 艦艇製造費 第一項 補助艦艇製造費

【報告】 (一五) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

ハ昭和二年五月隨意契約ヲ以テ三菱造船株式會社ニ請負ハシメタル巡洋艦青葉用二十聯塔部分品三塔分ノ取附工事費ナリ
右ハ官給部分品ノ取附工事ニシテ之カ工費ノ計算ハ總工數ヲ約四千八百工ト見積リ内官ヨリ派遣スル職工延工數千八百餘
工ヲ差引キ約三千工ヲ要スルモノトシ一工當工費九圓六拾六錢ト爲シタルモノナルモ本件ト同時ニ川崎造船所ニ請負ハシ
メタル巡洋艦衣笠用同工事ニ於ケル一工當工費五圓拾錢ニ比シ著シク高價ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其
ノ答辯ノ要旨ハ當時三菱造船株式會社ニ於ケル工場設備並作業ノ狀況ニ依リ本工事ハ其ノ性質上優良ナル職工ヲ之ニ從事
セシメサルヘカラサル關係モアリ爲ニ一工當四圓九拾六錢八厘ト計算シ其ノ附屬費ハ當時同會社ニ於テ一工當四圓參拾七
錢ヲ要シ合計九圓參拾參錢八厘ト爲リ之ニ材料費九百八拾五圓五拾錢ヲ要スル等ヲ考慮シ一工當工費約九圓六拾六錢ヲ至
當ト認メタル次第ナリト謂フニ在リ然レトモ本件工事ハ衣笠用同工事ト何等異ル所ナキニ獨リ青葉用ニ限り特ニ全工數ヲ
通シ平均賃金高率ナル職工ヲ要スルノ事由ヲ認ムル能ハス又附屬費等ノ計算ニ於テ兩會社ノ經營狀況ニ因リ若干ノ差異ア
リトスルモ此ノ如ク著シク高價ニ決定シタルハ措置當ヲ得タルモノト謂フヲ得ス要スルニ本件ハ工事ノ請負契約ニ當リ工
費ノ決定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

二八、九九九^円五〇〇

【辨明】

本件青葉工事ハ衣笠工事トハ工事名稱同一ノモノニアラス其内容ニ於テ衣笠工事ニハ包含セサル動力装置及蓄油壓機取付工事及砲側裝填
盤取付工事ノ如キ重要且精密ヲ要スル大工事ヲ含有スルヲ以テ其所要工數ニ於テ約八百工數ノ差異アルノミナラス其工事ノ性質上最モ優
良ナル職工ヲ從業セシメサル可カラサルノ關係ニアリタリ從テ其工費ハ特ニ相當多額ニ上ルヘク且又注文當時三菱造船會社ニ於ケル工場
設備並ニ作業輻輳ノ狀況ヨリ殘業及徹夜ヲ爲ササレハ豫定ノ竣工期ニ完成不可能ノ狀態ニアリシヲ以テ一工當平均四圓九拾六錢八厘
トナレリ而シテ當時會社ニ於ケル附屬費ハ一工當四圓參拾七錢ヲ要シタルヲ以テ合計一工當九圓參拾參錢八厘トナルモ本工事ニ
ハ更ニ工費以外ニ材料費九百八拾五圓五拾錢ヲ要スル計算ナリシカ故ニ此等ヲ考慮シ一工當約九圓六拾六錢ヲ至當ト認メタル次第ナリ
而シテ川崎造船所ニ請負ハシメタル衣笠工事ハ青葉工事ノ如キ重要且精密ナル大工事ヲ含マサル爲優良職工ノ必要ナキニヨリ海軍ノ豫

定セシヨリモ案外安價ニシテ其工費ハ一工當平均五圓拾錢トナリ結局青葉工事ト比較上相當ノ開キヲ生スルニ至レリ
之ヲ海軍ヨリ見レハ本件請負契約ニ依リ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノトハ認メス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

司法省所管

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ三件(一六)(一七)(一八)
其ノ他不當ナルモノ一件(一九)
計四件

三七、一九五^円八二二
二、五二五〇〇〇
三九、七二〇^円八三二

歳出臨時部

第二款 警備費

第十一項 陪審法廷及陪審員宿舍其他新營費

【報告】

(一六) 宮城控訴院、廣島外六地方裁判所ノ支出ニ係ル

ハ陪審法廷及陪審員宿舍新營ニ伴ヒ既設ノ裁判所廳舎、刑務所留置場、辯護士控所其ノ他附屬建物及工作物等ニ就キ新設、
改築、修繕、模様替等ニ要シタル工費總額貳萬參千五百參拾七圓六錢八厘ノ内ニシテ七千參百六拾參圓六拾七錢六厘ハ昭和
三年度ニ屬スルモノナリ而シテ之カ施工ノ必要ハ本費支辨ニ屬スル陪審法廷及陪審員宿舍ノ新營工事ニ直接附隨シテ生シ
タルモノト認メラレサルヲ以テ之ヲ本費支辨ト爲シタル事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ陪審法廷及陪審員
宿舍新築ノ結果既設建物ニ差障リヲ生シ又ハ之カ用途ニ變更ヲ生シ或ハ構内交通上ノ不便ヲ隨伴シタル等ノ爲各種ノ新
營、修繕、模様替等ヲ爲シ且新舊建物ノ對照上既設建物ノ「ペンキ」塗替等ヲ爲シタルノ外陪審法施行ノ爲既設建物及附屬建
物等擴張ノ要アリ新増築等ヲ爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ昭和三年之カ實地ヲ檢査スルニ廣島地方裁判所ニ於
テ施工セル同所構内刑務所留置場改築工事ハ陪審法廷新設ニ伴ヒ支障アル廳舎、看守詰所等ノ改築ヲ機トシ之ニ關係ナキ
舊舎房ノ改築ヲ併セ施工シタルモノニシテ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス旭川地方裁判所ニ於テ施工シタル檢事調室

一六、一七三^円三九二

及豫審調査ノ新營ハ同所ノ取扱事件増加ノ故ヲ以テ檢事現在員五名ニ對シ既設調査二室ニシテ不便尠カラス二室増設ヲ要シ尙豫審調査モ亦一室増設ヲ要スルモノトシテ二年三月中之カ豫算要求ノ稟請ヲ爲シタルモノニ係リ又本館其ノ他「ペンキ」塗替工事モ等シク大正十一年以來數回之カ必要ヲ稟請シタルモノニシテ孰モ詮議ニ至ラザリシモノナルヲ以テ陪審法施行ノ有無ニ拘ラス之カ施工ヲ要シタルモノト謂ハサルヲ得ス其ノ他各廳施工ノ分ニ就キテモ夫豫算稟請書類、建物配置圖面等ニ依リ之ヲ觀ルニ孰モ陪審法廷及陪審員宿舍新營ニ直接附隨シテ之カ施工ヲ必要トシタルモノト認ムルコトヲ得サルモノトス要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】陪審法廷及陪審員宿舍其他新營ハ全國各地方裁判所ニ互ル一大事業ニシテ之カ施行ニ就テハ種々ノ關係上各種各様ノ設計ヲ要シ一ノ設計ヲ以テ一般ニ應用スルコト能ハス悉ク既設建物ノ整理模様替等附隨スルモノニシテ本項工事ノ如キハ孰レモ陪審法廷及陪審員宿舍ノ新築ニ件ヒ避クヘカラサル必要工事ナルヲ以テ當然本費ノ支出ニ屬スルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

第十六項 新營費

【報告】 (一七) 司法省ノ支出ニ係ル

一〇、四三二、四三〇

ハ司法本省及大審院、東京控訴院、同地方裁判所構内道路鋪裝新營工事費ナリ右ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ司法省及三裁判所構内廳舎前面ノ通路ハ東京都市計畫路線ニ該當シ内務省へ管理換ヲ爲シタルカ爲狹隘ヲ告ケ日日自動車ノ出入頻繁ニシテ時時砂利敷ニ多額ノ費用ヲ要シ且通路粗惡ノ爲車體ヲ損スルコト尠カラサルノミナラス通行困難ニシテ一日モ猶豫シ難キヲ以テ戸籍及登記書類藏置庫新營費ヨリ流用ノ上本件工事ヲ施行シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ戸籍及登記書類藏置庫新營費ハ大津地方裁判所及御嵩外三區裁判所ニ於ケル倉庫及附屬渡廊下ノ工事費トシテ豫算額壹萬八千九百圓ヲ計上セルモノナルニ之カ實施ニ當リ僅ニ貳千六百圓ヲ以テ御嵩區裁判所土藏及渡廊下ヲ新營シタルニ過キス豫定工事ノ大部分ハ之ヲ廢止シ本件豫定外ノ工事ヲ施行シタルモノニ

【辨明】

本項道路鋪裝工事費ハ各所新營ノ目ニ豫算セシ處之カ實施ニ際シ當初ノ計畫ヲ變更シ擴張施工スルノ必要ヲ生シタルヲ以テ科目設置ノ上施行シタルモノナリ而シテ之カ工費ヲ戸籍及登記書類藏置庫新營費ヨリ流用支辨シタルハ戸籍及登記書類藏置庫ノ新營ハ差向キ急ヲ要スル御嵩區裁判所ノミニ止メ他ハ記録及書類ノ整理等ヲ爲シ餘裕ヲ生シタルヲ以テ豫定ノ支出ヲ要セサルニ至リタルニ因リ又各所新營費ニ流用シタルハ東京區裁判所林町出張所類燒ニ罹リ假廳舎ノ新築及司法本省給水裝置等孰レモ緊急ノ必要ヲ生シタルニ依リ流用支辨シタル次第ナリ

シテ縱ヒ本件工事急遽施行ノ要アリトスルモ豫算上特定工事ノ施行ヲ廢シ豫定外ノ工事ヲ施行スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス尙該豫算額ノ内五千貳百九拾餘圓ハ之ヲ各所新營費ニ流用シ豫定外ノ工事ニ充當シタルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第六款 議員總選舉檢察費 第二項 衆議院議員總選舉檢察費

【報告】 (一八) 司法省及神戸地方裁判所ノ支出ニ係ル

一〇、五九〇、〇〇〇

ハ衆議院議員總選舉檢察事務用トシテ購入セル郵便切手ノ代價ナリ右ハ年度内少量ノ拂出ヲ爲シタルニ過キサルノミナラス經常費ニ組替ヲ爲シタルモノアルノ狀況ニシテ其ノ購入數量過大ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ昭和三年二月施行セラレタル衆議院議員總選舉ハ從來ト異リ普通選舉最初ノ實施ニシテ選舉有權者モ著シク増加シタルヲ以テ檢察事務及通信事務ハ引續キ翌年度ニ於テ多數ニ上ルモノト思考シタルノミナラス殊ニ檢察費ハ翌年度ニ於テ増額ヲ受クル見込ナキ爲之ヲ購入シ置カサレハ經常費豫算ヲ以テハ到底處理シ能ハサルモノト認メ年度内所要量ヲ超過シ購入シタル次第ナリト謂フニ在リ然レトモ右郵便切手ノ内七千貳百餘圓ヲ翌年度ニ繰越シ貳千貳百餘圓ヲ經常費ニ組替ヲ爲シタルカ如キハ著シク所要ノ程度ヲ超過シテ購入シタルモノニシテ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

昭和二年度 司法省 (一八)

【審明】

昭和三年二月ノ衆議院議員總選舉ハ普通選舉法施行最初ノ實施ナルヲ以テ檢察上特ニ注意ヲ要シ通信事務モ亦從來ニ比シ多數ニ上ルヘク從テ該事務ノ完全ヲ期スル爲ニハ相當準備ヲ爲ス必要ヲ認メ之ニ要スル郵便切手ヲ購入シタル處其ノ使用額ハ豫期ノ如ク要セザリシヲ以テ翌年度ニ繰越スニ至リタルモノナリ而シテ神戸地方裁判所ニ於テ翌年度ニ於ケル所要ヲ見込購入シタルハ甚ダ遺憾トスル所ナルヲ以テ將來注意ヲ加フヘシ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 不當

第七款 恩赦執行費 第一項 恩赦執行費

【報告】

(一九) 廣島、山口、松江各地方裁判所ノ支出ニ係ル

二、五二五〇〇〇

ハ裁判所書記又ハ雇員ニ對スル寫字料トシテ證明シタルモノナルモ右ハ總テ裁判所書記ニ支給シタルモノナルノミナラス裁判所書記ニ對シテハ特ニ寫字料支給ノ要ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ恩赦事務ハ極メテ重要事務ニシテ秘密ノ調査ヲ要シ且複雑ナルヲ以テ該事務ニ經驗深キ書記ヲシテ事務ヲ擔當セシメ夜勤、廢休執務ハセシメタルモ恩赦事務ニ關シテハ何等ノ手當又ハ特別ノ賞與等ノ名義ニ依ル給與ナキヲ以テ之ニ慰勞ノ意味ヲ含メ寫字料ヲ支給シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ恩赦ニ關スル事務ノ如キハ裁判所書記當然ノ職務ニ屬スルモノナルヲ以テ縱ヒ夜勤、廢休執務シタリトスルモ之ニ對シテ寫字料ヲ支給シ得ヘキモノニ非サルノミナラス雇員ノ名義ヲ藉リ其ノ實裁判所書記ニ分配支給シタルモノアルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【審明】

本項廣島、山口、松江ノ各地方裁判所ニ於テ寫字料ヲ裁判所書記ニ支給シタルハ事情上已ムヲ得サルニ出テタルモノナルモ妥當ヲ缺クモノアルヲ以テ將來注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

逓信省所管

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ三件(二〇)(二一)(二七)
監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ二件(二二)(二八)

七四、五二二、三三〇
五三三、一四五〇、一一一

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二八)
工事ノ請負契約ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二四)
土地ノ買収ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二五)
豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(二六)
計九件

五三、九七二、七二〇
一九八、四五〇、四六〇
一八〇、〇〇〇、〇〇〇
一五、二七八、〇〇〇
一、〇五四、三六八、五三一

歳出經常部

第二款 逓信費 第二項 逓信事業費

【報告】

(二〇) 本項ニ於テ大阪逓信局ノ支出ニ係ル

三四、三五八、六七〇

歳出臨時部第五款電話交換擴張費第二項事業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

九、六四一、七三〇

第六款電信擴張及改良費第二項事業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

三、八六七、七五〇

第二十三款災害費第四項丹後地方電信電話震災復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

三、九五四、一八〇

計五萬千八百貳拾貳圓參拾參錢ハ株式会社共益社大阪出張所外四名ヨリ隨意契約ヲ以テ購入シタル腕木ノ代價ナリ之カ單價ハ二線用小四拾五錢八線用分厚六圓乃至七圓九拾錢ニシテ之ヲ名古屋逓信局ニ於テ購入ニ係ル二線用小貳拾錢八線用分厚參圓九拾四錢乃至四圓貳拾四錢ニ比シ著シク高價ニシテ其ノ他ノ種類ニ在リテモ同一ノ狀況ナルヲ以テ該購入單價ヲ相當ト認メタル事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ前回購入單價ヲ基礎トシ素材時價、工賃及運賃等ヲ調査考慮シ價格相當ト認メ決定シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件購入數量中多數ヲ占ムル四線用及八線用腕木ニ就キテ觀ルニ四線用ニ在リテハ素材價格壹圓七拾七錢四厘工費參拾五錢運賃八錢計貳圓貳拾錢四厘八線用ニ在リテハ素材價格五圓六拾貳錢四厘工費六拾錢運賃貳拾錢計六圓四拾貳錢四厘ト見積リ該價格ノ範圍内ニ於テ購入價格ヲ決定セルモノナルモ之ヲ名古屋逓信局ニ於ケル購入單價ニ比較スルニ該購入單價ハ素材價格、工費、運賃ヲ含ミ四線用九拾五錢乃至九拾七錢八線用參圓五拾錢乃至參圓七拾七錢ニシテ之ニ對シ本件豫定見積ハ四線用ニ在リテハ素材價格ノミニテモ約十八割工費、運賃

ヲ併算セル價格ニ於テハ約二十二割ト爲リ八線用ニ在リテハ素材價格ノミニテモ約十五割工費、運賃ヲ併算セル價格ニ於テハ約十七割ノ多キニ上リ著シク高價ニ當ルノ計算ナルノミナラス大阪、名古屋兩逓信局ニ於ケル腕木ノ仕様書ヲ調査スルニ其ノ材質、寸度等規格ニ於テ略同一ナルニ拘ラス高價ヲ以テ購入セルハ畢竟前同購入單價ヲ基礎トシテ豫定價格ヲ作製シ他逓信局ノ購入單價ヲ比較考慮セザリシニ因ルモノニシテ妥當ノ措置ト認メ難シ今假ニ名古屋逓信局ニ於ケル最高單價ニ依リ購入シタルモノト爲ストキハ貳萬千四百餘圓損失ト爲ルノ計算ナリ要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ多額ノ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件腕木ノ價格高價ナリトスル批難ノ要旨ハ名古屋逓信局購入價格ニ比較シ本件購入價格ノ高價ナル部分ハ總テ時價以上ニ高價ナリトシ其ノ購買上ノ措置宜シキヲ得ス國庫ニ多額ノ損失ヲ及ホシタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ單ニ兩局ノ購入價格ノ比較ノミヲ以テ之カ價格ノ當否ヲ決スルハ當ラス元來本品價格ノ構成部分ハ素材、工賃、運賃ノ三種ニ區分シ得ヘク而シテ素材ノ價格ハ總價格ノ約八割ニ該當シ殘餘ノ二割カ工賃運賃ニ該當スルモノニシテ此等ノ關係ニ徴スルトキハ本品價格ノ當否ハ大體其ノ素材價格カ時價ニ適合スルヤ否ヤニ依リ是非ヲ決定シ得ヘキモノト認ム而シテ木材ハ一般的ニ品質ノ如何ニ依リ價格ニ甚シキ等差ヲ生スルハ言フ俟タサルトコロナリ膠材ハ桐材等ト同様所謂高價材ニ屬シ而モ其ノ價格ハ木質ニ依リ著シク相違アリ各現材ニ付之ヲ定ムルノ外適切ナル價格ヲ附スルコト困難トスルモノナリ是等ノ理由ニ依リ一般相場表ハ極メテ大體ノ相場トシテ三等級ニ分チ價格ニ等差ヲ附スルニ過キス故ニ之ニ依リ直チニ當該局ノ購入セル素材價格ノ當否ヲ決スルハ稍適切ナラサルノ嫌ナキニアラサルモ今假ニ本件素材ヲ當時ノ相場表ニ依リ調査區分スルトキハ挽立材尺ノ價格「無節モノ」「上小節モノ」「小節モノ」ノ三等級ノ間ニ於テ其ノ差小節モノニ對シ無節モノハ「六割高」上小節物ハ「二割四分高」トナリ木質ノ差等ニ依リ著シキ相違ヲ來セリ又之ヲ腕木ノ種類ニ應ジ計算シタル價格ニ對シ大阪局ノ豫定價格ヲ比較スルトキハ大體無節モノト上小節モノノ平均額ニ相當シ而シテ其ノ購入價格ハ小二線用ハ「小節モノ」八線用ハ「上小節モノ」ト「無節モノ」ノ中間價格ニ相當シ何等不當ノ價格ニアラス抑、本件仕様書ハ其ノ仕様ノ大綱ヲ示シタルモノニ過キス到底細目ニ互リ之ヲ盡スコトヲ得サルハ木材ノ本質上已ムヲ得サル所ナリ假令ハ木目ノ直線ナルト多少然ラサルモノトハ等シク規格ニ適合スト雖其ノ價格ニ多大ノ相違アリ且ツ耐久力ニ至リテハ前者ニ龜裂ヲ生スル虞ナキニ反シ後者ハ之レナキヲ保スル能ハサルカ如シ而カモ此ノ二者ハ同シク合格品タルヲ失ハサルナリ而シテ會計検査院ハ兩局ニ於ケル本件仕様書ヲ目シテ略同一ナリト稱スルモ大阪局ハ小節ヲ認メ居ラサルニ反シ名古屋局ニ於テハ直徑二分以内ノ小節ヲ許容シ居レルヲ

以テ此ノ點ニ於テ假ニ大阪局素材ハ無節モノニ依リ名古屋局ハ之ヲ小節モノニ依ルモノト見ルトキハ約六割ノ差異ヲ生スルノ計算トナル又大阪局ハ由來久シキニ涉ル方針トシテ重キヲ耐久力ノ點ニ置キ易メテ良材ヲ購入セルヲ以テ納入ニ當リ勢ヒ多數ノ不合格品ヲ生スルヲ常トシ其ノ契約價格ニ對シ約五割ニ達スルノ狀況ナリ此等仕様書面ニ表ハレサル各局傳統の方針ハ本件ノ如ク材質ニ依リ價格ニ著シキ差異ヲ生スルモノニ付テハ採算上重大ナル利害關係ヲ生スル所ニシテ入札ニ當リ商人側ノ閉却スル能ハサル所ナリ而シテ一度不合格トナリタル場合他ニ利用ノ途少ナキヲ考フル時ハ見積書ノ提出ニ當リ之等ノ損失ヲ考慮ニ加フルコトハ又已ムヲ得サルコトニ屬ス次ニ名古屋局ノ購入價格ノ低廉ナルハ

(一)仕様書面ニ於テ小節ヲ許容スル點(二)大阪ニ比シ膠材ノ原產地ニ接近シ地利的ニ有利ナル點(三)由來同局ハ價格ノ點ニ於テ有利ニ購入シ材質ノ度ヲ大阪ニ比シ幾分低下シテ耐久力ノ劣レル點ハ之ヲ價格ニ於テ相償ハシムルノ方針ヲ採レル點等ニ基因ス而シテ前述ノ如ク兩局購入方針ノ異ナレル結果ハ一ハ耐久力アルモ高價トナリ他ハ廉價ナルモ耐久力ニ遺憾ノ點アルヲ免レサルコトトナル二者孰レヲ利益トスルカニ關シテハ將來相當考慮ヲ要スル點ナリトス

要之兩局ノ購入品ハ其ノ實質ニ於テ相違シ居リ大阪局購入價格ハ時價ニ徴スルモ格段高價ナラサルヲ以テ何等購買上失當ノ措置ト認メ難ク從テ検査院ノ主張スルカ如ク國庫ニ多大ノ損失ヲ及ホシタルモノト認メス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【兼決】 承認

【報告】

(一一) 名古屋逓信局ノ支出ニ係ル

一四、〇〇〇、〇〇〇

ハ昭和三年一月及三月株式會社岡本自轉車自動車製作所ヨリ單價七拾圓ヲ以テ購入シタル自轉車「ノ一リツ」號三百五十四輛ノ内二百輛ノ代價ニシテ其ノ他ハ簡易生命保險特別會計ニ屬スルモノナリ右ハ高價ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ岡本製「ノ一リツ」號ハ當時調査セシ所ニ依レハ製造元ヨリ直接大量取引ノ場合ハ一般小賣ノ市價ニ比シ約二割乃至二割五分減ヲ相當トスルヲ以テ當時ノ市價九拾圓乃至九拾五圓ニ對シ七拾圓ヲ適當ト認メタルモノナリ而シテ東京逓信局ノ購入ニ係ルモノノ廉價ナルハ製作所ニ就キ取調ヘタル所ニ依レハ仕様書ニ依リ部分品中間本製以外ノモノヲ使用シタル結果價格ニ差異ヲ生シタル趣ナリト謂フニ在リ然レトモ本品ノ購入ニ當リ岡本製「ノ一リツ」號タルヘキヲ指定シ競争入札ニ付シタルモノナルヲ以テ隨意契約ト何等異ル所ナク現ニ右製作所以外一名ノ参加者ナク豫

昭和二年度 逓信省 (一一)

定價格ヲ以テ落札シ同製作所ト契約シタルモノニシテ此ノ種物品ニ就キテハ他ニモ相當ナル製品アリト認メラルルニ本件ノ如ク之ヲ一製作所ノ製品ニ限定シ加之其ノ購入價格ノ如キモ他局ノ購入實績等ヲ十分調査スルコトナク之カ契約ヲ爲シタルハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス而シテ東京逓信局ニ於テ大正十五年十二月本件購入品ト略同一仕様ニ依リ同所ヨリ購入シタルモノハ單價六拾圓ナルト更ニ同局カ昭和三年二月同所ヨリ購入シタルモノハ單價五拾四圓ニシテ本件價格ハ著シク高價ニ屬シ答辯ニ依レハ右ハ仕様書ノ相違ニ因ルト謂フモ其ノ仕様ハ殆ト相違ナク之カ爲此ノ如ク差額ヲ生スルモノト認メ難シ要スルニ本件ハ物件ノ購買ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件批難ノ要旨ハ購入價格高價ニシテ此種物品ハ他ニモ相當製品アルニ之ヲ一製作所ノ製品ニ限定シ加之其購入價格ノ如キモ他局ノ購入實績ヲ十分調査セザリシハ措置失當ナリト謂フニアリ然レトモ本件購入價格ハ曩ニ當該官吏ヨリ答辯ノ通ニシテ其購入ニ當リ他ノ製品ヲ交ヘス本件「ノリツ」號ニ限定シタルハ同局ニ於テハ數年來本品ヲ区内各郵便局ニ配備シテ實績ヲ調査シタル結果堅牢、輕快其ノ他ノ點ニ於テ他車ニ比シ優秀ナリト認メタルニ依ル尙價格ノ調査ニ當リ他局ノ實績ヲ徵セザリシハ元來本品ハ名古屋市内ニ廣大ナル工場ヲ有シ所謂「ノリツ」號ノ本場トモ稱セラレ市價等ノ調査モ容易ニシテ適當ナル價格ノ算定上必スシモ他局ノ購入價格ヲ參照スルニ及ハサルモノト認メタルニ外ナラス又之ヲ競争ニ附シタル理由ハ同製作所ハ各方面ニ涉リ販賣店ヲ有スル關係上自然其販賣價格ニ幾分ノ高低アリ販賣者間ニ競争ノ餘地ナキニアラサルモノト認メタルニ因ル

東京逓信局購入價格カ名古屋逓信局購入價格ニ比シ著シク相違アルハ其原因種々アルヘキモ主トシテ實價ノ相違及競争ノ結果ニ外ナラス同局カ大正十五年十二月(單價六拾圓)ト昭和三年二月(單價五拾四圓)ト前後二回ニ購入セルモノノ内後者ノ購入品ハ岡本製「エンパイヤ」號ニ屬シ車體並部分品共全ク「ノリツ」號ニアラサルヲ以テ此ノ分ニ對シテハ茲ニ辨明ノ要ナキモ前者即大正十五年十二月購入ノ廉價ナリシハ競争ノ結果ニ依リタルモノナリ由來本件岡本製品ハ名古屋地方ヲ中心トシ以テハ優越ナル地盤ヲ有セルモ東京地方ニ於テハ他ノ製品ト激シキ競争ヲ要シ東京逓信局ニ於ケル場合ハ所謂供給割込ヲ試ミタル結果殆ト採算ヲ無視シタルモノト認メラルルカ故ニ價格ニ大差アルハ已ムヲ得サル所ナリ要之一般市價ノ狀況ニ徴シ不當ナル價格ヲ以テ購入シタルモノニアラス從テ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノト認メス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【采決】 注意

第三項 諸拂戻立替及補填金

【報告】

(一三) 貯金局ノ支出ニ係ル

四四九、四六七、九〇一

ハ大正十年度乃至十四年度事故金ノ内官吏以下ノ犯罪ニ基因シ缺損ヲ生シタル現金ニ對シ十五年十一月末迄ニ回收不能ノ爲本年度ニ於テ補填ヲ爲シタル金額ナリ右ハ大阪中央郵便局ニ於テ出納員通信書記前川某カ十三年五月頃ヨリ十四年十一月ニ至ル間ニ於テ銀行受授指定出納員ナルヲ奇貨トシ資金請求書及受領證書ヲ擅ニ行使シ日本銀行大阪支店ヨリ受領シタル資金五萬圓及爲替過誤拂徵收金七百餘圓合計五萬七千餘圓ヲ橫領費消シタルモ回收ニ至ラサルヲ以テ大正十五年度ニ於テ五百餘圓本年度ニ於テ五萬餘圓ニ對シ缺損補填ヲ爲シ樺太惠須取郵便局ニ於テ出納官吏特定郵便局長有坂某カ大正十三年七月頃ヨリ十四年十月頃ニ至ル間ニ於テ交通不便ノ土地ナル爲資金ヲ多額ニ留置クハ已ムヲ得サルカ如ク裝ヒ總額貳拾萬七千八百餘圓ヲ橫領費消シタルヲ以テ内回收シタル壹萬九千餘圓ヲ控除シ拾八萬八千六百餘圓ニ對シ缺損補填ヲ爲シ又千葉縣行徳郵便局ニ於テ出納官吏三等郵便局長松丸某カ十年五月頃ヨリ十四年三月頃ニ至ル間ニ於テ故意ニ貯金ノ預入報告ヲ漏シ六萬五千六百餘圓ヲ橫領費消シタルヲ以テ回收シタル貳千五百餘圓ヲ控除シ殘額六萬參千餘圓中六萬四百餘圓ニ對シ缺損補填ヲ爲シタル等ヲ其ノ主ナルモノトシ五百五十餘件ノ多キニ上レリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件ハ會計検査院検査報告ノ通ニシテ洵ニ遺憾トスルコトナリ然レトモ此種犯罪行爲ノ防遏方ニ關シテハ平素決シテ監督ヲ等閑ニ附スルモノニ非ス即チ現金出納事務ニ携ハル者ハ採用又ハ事務指定ニ先チ身元又ハ性格等ニ關シ充分ナル調査ヲ行フハ勿論資金過超金ニ關シテハ特ニ責任アル官吏ヲシテ之ニ當ラシメ且氏名印鑑ヲ相手先ニ報告シ置キ指定者以外ニハ絶體ニ關與セシメサル様取締ヲナス等其他日常事務取扱ニ際シテハ相當責任者ヲシテ嚴重ナル監査ヲ勵行シ一方監督官廳タル逓信局ニ於テハ日々現業局ヨリ提出スル現金出納日報其他關係證書類ニ依リ受拂計算ノ正否ヲ調査スルノミナラス一箇年數回ハ實地ニ就キ監査ヲ爲シ貯金原簿所管廳ニ在リテハ臨機通帳ノ提出ヲ求メ貯金原簿ト對照シ調査ヲ必要トスル向ニ對シテハ直ニ所轄逓信局ヲシテ實査セシメ又豫算ノ許ス限リ監督從事者ノ増員ヲナス等不斷ノ注意ト努力ヲ拂ヒ極力不正行爲ノ防遏ニ腐心シツツアリ尙右缺損補填金四拾四萬九千餘圓ノ中樺太廳管内ノ事故ニ屬スル拾八萬八

千餘圓ハ其ノ後壹萬八千餘圓ヲ回收シ殘額ニ對シテハ同應ニ於テ極力回收ニ努メ居リ又其他ノ貳拾六萬餘圓ハ補填金拂込後犯人其他ノ責任者ヨリ回收セルモノアルノミナラス一時ニ回收困難ノ者ニ對シテハ分割拂ノ方法ニ依リ徵收シ又ハ据置貨ニ編入スル等現ニ引續キ極力徵收ニ努力シ居レリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第六款 諸支出金 第一項 諸支出金

【報告】

(二二三) 逓信省ノ支出ニ係ル

八二、六七七、一一二〇

ハ逓信屬古賀某カ逓信省經理局ニ於テ政府保管有價證券取扱主任官田中某及其ノ後任者藤本某ノ補助トシテ政府保管有價證券ノ取扱ニ關スル事務ニ從事中大正十一年十月ヨリ十二年六月ニ至ル間ニ於テ振込通知書竝官印ヲ竊取盜用シ拂渡證明書竝領收證書ヲ偽造行使シ當時日本銀行ニ寄託中ナリシ日本土木株式會社外一名ヨリ契約保證金トシテ提出ニ係ル公債證書額面八萬七千參百圓ヲ騙取シタルモノノ内回收セル公債壹萬七千圓及現金貳千貳百六拾圓四拾八錢ヲ控除セル殘額ニ對シ之カ損害賠償トシテ保證金提出者ニ支拂ヒタル金額ニシテ拂渡ニ付日本銀行ニモ過失アリトシ同行ヲシテ別途政府ニ對シ其ノ半額ヲ賠償セシメタルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス會計検査院検査報告ノ通

【辨明】

但シ被害金ノ内日本銀行ヲシテ賠償セシメタル殘額四萬壹千參百拾八圓五拾六錢ハ犯人ニ對シ辨償ヲ命シ目下徵收手續中ナルモ殆ト無資力ノ狀態ニシテ一時ニ徵收困難ニ付分納等ノ方法ニ依リ回收スヘク努力中ナリ
尙本件犯罪者ハ其ノ發覺ニ先チ病氣ノ故ヲ以テ依願免官トナリタル爲メ懲戒處分ヲ行ハサリシモ司法上ノ制裁ヲ受ケタリ (大正十四年五月二日 年二號)

又政府保管有價證券取扱主任官田中某外一名及監督者二名ノ内一名ハ處分前ニ於テ退官シ他ノ監督者一名ハ懲戒處分ニ付スヘキ所本件ハ大正十三年一月二十六日前ノ所爲ニ屬スルヲ以テ大正十三年勅令第十一號懲戒又ハ懲罰ノ免除ニ關スル件ニ依リ之ヲ行ハサルコトトナリタルヲ以テ篤ト將來ヲ戒告セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○懲戒又ハ懲罰ノ免除ニ關スル件 (大正十三年一月二十六日 勅令第十一號) 抄錄

官吏又ハ官吏待遇者ニシテ大正十三年一月二十六日前ノ所爲ニ付懲戒又ハ懲罰ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シテハ將來ニ向テ其ノ懲戒又ハ懲罰ヲ免除ス

未タ處分ヲ受ケサル者ニ對シテハ懲戒又ハ懲罰ヲ行ハス

歳出臨時部

第五款 電話交換擴張費 第二項 事業費

【報告】

(二二四) 本項ニ於テ東京逓信局ノ支出ニ係ル

一九七、一六一、三六〇

第六款電信擴張及改良費第二項事業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

一、二八九、一〇〇

計拾九萬八千四百五拾圓四拾六錢ハ東京靜岡間並靜岡見付間長距離電話「ケーブル」布設工事ノ内請負ニ付シタル靜岡縣駿東郡金岡村及沼津市内電信電話地下線路新設工事外五工事ノ請負代金ニシテ外ニ官給材料價格九萬六千四百拾壹圓拾九錢ヲ使用セリ右請負工事費ノ大部分ヲ占ムル人孔築造費並鐵管一條布設費ヲ調査スルニ並形人孔築造費ノ平均單價ハ五百五拾餘圓ニシテ之ヲ大阪逓信局ニ於テ請負ニ付シ施行シタル大阪姫路間並姫路岡山間長距離電話「ケーブル」布設工事ニ於ケル分ニ比シ其ノ設計仕様並四圍ノ狀況略同一ト認メラルルニ大阪分ノ平均單價貳百七拾餘圓ナルニ對シ約二倍ニ相當シ更ニ之カ請負單價ニ基キ官給材料ノ異ル點等ヲ斟酌計算シタル比較單價ヲ見ルニ東京ノ分參百五拾餘圓ニシテ大阪ノ分百拾餘圓ニ對シ約其ノ三倍ニ相當シ又鐵管布設費ニ在リテモ一呎當布設費ノ比較單價ハ東京ノ分五拾餘圓ニシテ大阪ノ分參拾餘圓ニ對シ約十四割ニ相當シ孰モ著シク高價ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

人孔築造費ノ高價ナルハ施行地ノ大部分カ人家稀比シ有效幅員狹キ街路ナルノミナラス河川ノ流域ニ臨メル箇所アリ掘鑿、保安設備及水換等ニ多額ノ經費ヲ要シ且大阪ノ分ハ鐵筋混凝土造ナルニ東京ノ分ハ普通混凝土造ナルノ結果混凝土打、掘鑿並殘土處理等ノ容積大ナル等ニ因ルモノニシテ此等ニ大阪ノ分ニ於テ省略シタル鐵蓋附帶ノ排水排氣裝置費ヲ

昭和二年度 逓信省 (二二四)

斟酌スルトキハ比較單價貳百拾餘圓ト爲リ尙大阪ノ分ニ比シ九拾餘圓高價ナルモ大阪ノ分ハ新設國道ノ築造ト同時ニ施行シ工事費ニ於テ利益スル所多カリシモノト思料ス又鐵管布設費ノ高價ナルハ人孔築造ト同様水換費並諸雜費ニ多額ノ經費ヲ要シタル爲ニシテ畢竟環境ノ差異ニ因ルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ大阪姫路間並姫路岡山間ノ地下線工事ハ舞子附近ヨリ姫路附近ニ至ルモノニシテ明石姫路等ヲ通過シ其ノ市街地通過ノ割合及街路幅員ハ大體本件工事區間ト同一ナルノミナラス並形人孔七十八箇ノ内二十箇ハ全然水換ノ必要ナカリシモノニシテ大阪分ノ工事區間ニ在リテモ多數ノ湧水地ヲ包含シ且新設國道ノ築造ト同時ニ施行シタルハ主ナル七工事ノ内唯舞子附近ノ一工事ニ過キス加之設計上ノ相違ニ付テモ大阪ノ分ニ於テ排水排氣裝置ヲ省略シタルハ鐵蓋總數百五十餘箇ノ内僅ニ數箇ニ過キスシテ之ニ人孔ノ容積増加ニ因ル價格ヲ加算スルトキハ結局東京ノ分ニ於テ大阪ノ分ニ比シ増加スヘキハ水換費並設計上ノ相違ニ因ル差額等ニ止リ此等ヲ控除スルトキハ東京ノ分ノ比較單價ハ貳百七拾餘圓ト爲リ大阪ノ分同百拾餘圓ニ比シ尙約百六拾圓高價ト爲ルノ計算ナリ固ヨリ此ノ種工事ノ如キ其ノ現場ノ狀況ニ依リ工費ニ差異ヲ生スルハ當然ノコトニ屬スルモ此ノ如ク格段ノ懸隔ヲ來セルハ價格決定上調査十分ナラサルニ基因スルモノト認メサルヲ得ス今豫定價格ノ基準ト爲シタル設計豫算價格ノ内容ヲ觀ルニ並形人孔一箇當型梓費東京ノ分五拾圓乃至八拾圓ニ對シ大阪ノ分拾八圓餘乃至貳拾壹圓餘同土留材料費東京ノ分四拾圓乃至五拾圓大阪ノ分四圓八拾五錢乃至五圓貳拾錢餘等ニシテ其ノ他掘鑿費、埋戻費、殘土處理費ニ於テモ其ノ見積概シテ過大ニ失シ又鐵管布設費ニ於テモ人孔築造ノ場合ト略同様ナルノ狀況ニシテ畢竟工費ノ見積過大ナリシ爲請負代金ヲ高價ナラシメタルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ工事ヲ請負ニ付スルニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【附明】

本件ニ對スル會計検査院批難ノ第一點ハ並形人孔築造費力其比較單價ニ於テモ大阪逓信局百拾餘圓ナルニ東京逓信局ハ參百五拾餘圓ニシテ高價ニ過トスル點コレナリ

抑、工費ヲ決定スルニ當リテ考慮スヘキ諸點ヲ試ニ列舉セハ工事材料ノ價格、勞銀、工事期間及工事ノ難易等ヲ數ヘサルヘカラス而シテ勞

銀カ工費ニ影響アルハ言ヲ俟タサル所ナルカ工事材料ノ價格ニ付テハ獨リ其ノ工事ニ取付使用サルヘキ材料ノ價格ノミナラス之カ取付使用ヲ媒介スル諸材料(例ヘハ型梓ノ如キ)ノ價格モ亦工費計上ニ影響ヲ及ホスヘキ事ハ勿論ナルト共ニ工事期間ノ長短ハ所要人員ノ増減ヲ來シ工費高低ノ差ヲ生セシム更ニ工事ノ難易ノ度ハ前三者ト相俟ツテ工費査定ノ要素タリ、工事ノ難易ハ本件ノ如キ工事ニアリテハ地質ノ硬軟、湧水ノ有無、材料運搬ノ難易、殘土處理及埋戻ノ難易等ニ依ルモノナルモ工事場所ニ於ケル交通ノ繁閑及工事ノ際ニ於ケル交通遮斷ノ能否亦工事進捗ニ重要ナル地步ヲ占ムルモノト謂ハサルヘカラス故ニ一工事ノ工費決定ニ當リテハ前述ノ如キ諸般ノ點ヲ綜合考察ノ上之ヲ爲スヘキモノナリ、茲テ今批難セラレタル本件工事ニ就キ以上ノ諸點ヲ參照シテ東京、大阪兩逓信局ノ工事ヲ比較スルニ諸般ノ狀況概テ相反スルヲ見ル試ニ工事難易ノ度ヲ按スルニ假ニ會計検査院報告ノ如ク市街地通過ノ割合(東京、大阪、明石、姫路各二箇所)及街路幅員ハ大體ニ於テ同一ナリトスルモ地ノ利ニ於テ多大ノ相違アリ即チ先ツ(1)東京逓信局ノ工事箇所カ大河川ノ間ニ在リシテ概テ其流域ニ屬シ地質亦水成岩層上ノ沖積層ニシテ湧水多キニ反シ大阪カ概テ河川ノ介在ナク地質大體火成岩層上ノ沖積層ニシテ湧水量ノ少ナカリシコトハ前者カ殆ント全部ノ築造人孔ノ湧水及ミ出シニ五馬力乃至十馬力ノ「ガソリンポンプ」使用ヲ餘儀ナクセラレタルニ後者カ時ニ手押ポンプ一臺ヲ使用スルヲ以テ足りシ點(之カ爲東京ノ大阪ニ比シ多額ニ要セシ經費ハ土留ヲ特ニ參半ニ(要セシ經費五拾圓餘ニ過セリ)) (2)交通上ヨリ見ルモ東京ノ工事區間カ靜岡、沼津二市ヲ除クモ概テ藤枝、金谷町等家屋櫛比シ人車ノ交通概シテ繁キニ反シ大阪カ姫路、明石二市ヲ除ケハ殆ント人家少ナキ部落内ニアルヲ見ル加之後者ハ交通遮斷ヲ許サレテ人車ヲシテ他ノ迂迴路ニ依ラシメ得タルニ反シ前者カ唯一ノ道路ニシテ他ニ適當ナル迂迴路ナク掘鑿路上ニ棧橋ヲ架シテ人車交通ノ便ヲ計リツツ從事スル等工事困難ニ加ヘテ交通關係上ノ工事ノ進捗ヲ餘儀ナクセラレタル點(之カ爲東京ノ大阪ニ比シ多額ニ要セシ經費ハ土留ヲ特ニ參半ニ要セリ) (3)人車ノ交通比較ノ類繁ニシテ迂迴道路ナシト認メラル舞子附近ノ工事ノ如キハ新設國道ノ築造ト同時ニ遂行スルヲ得諸般ノ煩ヲ免レ得タル如キ點等ニ想倒セハ斯ノ如キ地況カ兩者ノ工事費ニ及ホス影響ノ大ナルコトヲ推察スルニ難カラサルナリ而シテ以上ノ地質ノ相違交通上ノ關係等ハ東京逓信局ヲシテ工事竣功ヲ急カシメ(之カ爲東京ノ人孔ハ大阪ト設計ヲ異ニシ其ノ爲大)大阪ニ比シ工事ノ範圍廣大ナルニ不拘概シテ大阪ノ約二分ノ一以下ニ工事竣功期間ノ短縮ヲ企圖セシムルニ至リ從テ或ハ型梓、土留板等使用材料ノ利用回數ヲ充分ナラシムルヲ得サル結果ヲ招來シ前記原因等ト相俟ツテ更ニ工事費増大ノ因ヲ成シタルハ蓋シ已ムヲ得サル所ナリ

會計検査院報告ニ係ル型梓費、土留材料費等カ大阪ノ夫レニ比シテ高價ナルハ主トシテ以上ノ如キ土地ノ狀況ニ基キタルニ外ナラス故ニ之ヲ以テ直チニ過大ナリト言フコトヲ得ス

會計検査院批難ノ第二點タル鐵管敷設費ニ付東京逓信局ハ高價ニ失ストセル點モ其原因上述ノ如キ理由ニ基クモノナルヲ以テ之ヲ高價ナリト謂フ能ハス

要之各箇々ノ材料費等ノ對照辨明ハ繁ヲ加フルカ故ニ省略スト雖本件工事費カ大阪ニ比シ高價ナルハ全ク土地ノ環境ニ依リタルモノニシテ工費ノ見積過大ニ基因シタルモノニ非ス故ニ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノト謂フコトヲ得ス

【貴決】

將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(二五) 本項ニ於テ東京逓信局ノ支出ニ係ル

第二十二款震災復舊及新營費第二項郵便局舎其他新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

九七、九二〇〇〇
八二、〇八〇〇〇

計拾八萬圓ハ昭和三年二月東京市麻布區穴水某ヨリ甲府郵便局敷地用トシテ買収ニ係ル同市錦町所在山梨縣廳跡地千坪ノ代價貳拾萬圓ノ内ニシテ殘額貳萬圓ハ後年度ニ屬スルモノナリ抑本件土地ハ二年四月穴水某カ山梨縣ヨリ坪當九拾圓ヲ以テ拂下ヲ受ケタル縣廳跡地ノ一部ニ屬シ其ノ後數箇月ヲ出テサルニ之ヲ坪當貳百圓ヲ以テ買収シタルモノニシテ該拂下單價ニ比シ著シク高價ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

穴水某カ縣廳ヨリ拂下ヲ受ケタル土地ハ約六千坪ニシテ坪當單價ハ九拾圓ナルモ之ヲ全部處分スル迄ニハ相當經費ト日時トヲ要スヘク且之ヲ分割處分スル場合ニ於テハ其ノ位置ニ依リ其ノ價值ニ差異ヲ生スヘク本件買収地ノ如ク優良ナル角地ハ拂下價格ノ倍額程度ニ賣却スルニ非サレハ收支償ハサルヘキハ推測スルニ難カラス而シテ買収單價ヲ坪當貳百圓ト爲シタルハ附近ニ於ケル土地ノ賣買又ハ評價格及本件土地ニ對スル縣廳外數箇所ノ評價ヲ平均スルトキハ坪當百九拾九圓ト爲リ就中縣廳ノ評價ハ貳百參拾圓ニシテ該評價ハ本地ヲ分割シ處分セムトシタル當時ニ於ケル價格ニシテ諸評價中最重要視シ得ヘク以上ヲ綜合シ坪當百八拾圓乃至貳百參拾圓ノ範圍ニテ交渉ヲ重ネ買収價格ヲ決定シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ縣ノ穴水某ニ對スル土地拂下契約書ニ依ルトキハ拂下土地ハ四年六月末日迄ニ引渡スコトトシ拂受人ニ於テ該引渡期日前ニ土地ノ分割引渡ヲ希望スルトキハ縣ハ拂受人ノ納付シタル代金ノ割合ニ應ジ相當ト認ムル區域ヲ引渡スモノトストアリ現ニ引渡シタルハ本件敷地千坪ニ過キスシテ當局者ハ拂下地ヲ全部處分スル迄ニハ相當經費ト日時ヲ要スルヲ以テ本件土地ノ如キ優良ナル角地ニ對シテハ拂下單價ノ倍額程度ニ賣却スルニ非サレハ收支償ハスト爲スモ本

【辨明】

件ヲ控除セル殘地ハ坪當約六拾八圓ト爲ルノ計算ニシテ之ニ對スル比較上本地ニ於テ此ノ如ク懸隔アルモノト認ムルヲ得ス又本件價格ハ附近地ノ價格及本敷地ニ對スル各所ノ評價格ヲ平均決定シタリト謂フモ其ノ附近地ト稱スルハ常盤町一〇、櫻町、常盤町角地及常盤町、錦町角地ニシテ股賑ナル本市ノ中心地ニ近接シ本件土地トハ四圍ノ狀況ヲ異ニスルノミナラス本敷地ニ對スル各所ノ坪當評價ヲ見ルニ獨リ縣廳ノ評價ノミ貳百參拾圓ノ高價ヲ示スニ過キスシテ甲府稅務署百五拾圓甲府市百八拾圓勸業銀行百貳拾圓商業會議所百參拾圓ナルノ事實ニ徴シ本件價格ハ著シク高價ニ失スルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ土地買収ニ際シ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

本件ハ甲府郵便局舎用地トシテ甲府市錦町所在土地一千坪ヲ坪當貳百圓ヲ以テ買収シタルハ高價ニ失ストノ批難ナルカ右買収價格カ時價ニ比シ高價ニアラサルコトハ會計検査院検査報告中當該官吏ノ答辯トシテ記載シアル所ノ如シ

會計検査院ハ批難ノ第一點トシテ穴水某カ縣廳ヨリ拂下ヲ受ケタル土地約六千坪ノ坪當單價カ九拾圓ナルコトヲ根據トシ本件土地ヲ控除セル殘地ハ坪當約六拾八圓ト爲ルノ計算ニシテ之ニ對スル比較上本地ニ於テ此ノ如ク懸隔アルモノト認ムルヲ得スト謂ヘルモ本件ハ縣廳跡地中最モ優良ナル角地ノ分讓ヲ受ケタルモノナルヲ以テ其單價カ之ヨリモ遙ニ劣等ナル土地ヲ包含スル廣大ナル一圍地ノ單價ヨリモ著シク高價トナルハ已ムヲ得サルモノナルコトハ當該官吏ノ答辯中ニ述ヘタル通りナリ又同院ハ批難ノ第二點トシテ本件買収單價ノ評定上附近地ノ單價ヲ參酌セシ點ニ對シ「是等ノ土地ハ股賑ナル本市ノ中心地ニ近接シ本件土地トハ四圍ノ狀況ヲ異ニスルノミナラスト謂ヘルモ右附近地中常盤町、錦町角地ハ本地正面道路ノ斜向ニシテ貳百參拾四圓、常盤町十番地ハ本地ヨリ約一丁ヲ隔テ參百拾五圓、櫻町常盤町角地ト雖同約二丁ノ距離ニシテ貳百參拾四圓ナルヲ以テ本件敷地ニ對スル縣廳其ノ他ノ評價ト共ニ以上附近地ノ單價ヲ參酌シテ本件買収單價ヲ貳百圓ト評定セシハ決シテ其ノ當ヲ得サルモノニアラスト信ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(二六) 逓信省ノ支出ニ係ル

一五、二七八〇〇

ハ大崎所在電氣試驗所山腹土留壁様様替其ノ他工事外一廉ノ工事費ナリ右ハ豪雨ノ爲崩壞セル境界土留竝下水土管ノ修理ノ外鐵格子板塀ノ新設等建物及工作物ノ補修ヲ施行シタルモノニシテ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ電話擴張用品試驗ノ爲必要ナル建物及工作物ノ維持修繕費ハ電話局舎ノ維持修繕

費ヲ經常部經費ノ支辨ト爲セル例ニ倣ヒ之ヲ經常部經費ノ支辨ト爲スヲ相當ナリトスル説ナキニ非サルモ電話局舎ハ永久無限ナル電話事業ヲ取扱フ爲ノ設備ナルヲ以テ其ノ用途ニ鑑ミ之カ維持修繕費ヲ經常部經費ニテ要求シ同費ノ支辨ト爲シ來レルモ本所ノ建物及工作物ハ電話ノ擴張終了スレハ之ト共ニ終了スヘキ臨時有限ナル試験ヲ行フ設備ニシテ前者ト其ノ趣ヲ異ニスルニ依リ之カ維持修繕費ヲ擴張費豫算中ニ包含セシメ同費ノ支辨ト爲シ來レルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本所ハ一般電氣ノ試験ヲ司ル常置ノ設備ニ係リ之カ建物並工作物ノ維持補修ノ如キハ性質上經常部修繕ノ費目ヲ以テ支辨スヘキモノニシテ元來電話交換擴張費中局舎營繕ノ目ハ擴張事業ニ伴フ局舎、倉庫等ノ新築築模樣替並之ニ附帶セル雜工事ニ要スル經費ヲ積算セルモノナルヲ以テ豫算ニ明示ナキ限リ本件ノ如キ修繕ニ關スル經費ヲ包含スルモノト認ムルヲ得ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【審明】 本件ハ要スルニ大崎所在電氣試験所ニ於テ電話擴張用品試験ノ爲必要ナル建物及工作物ノ維持修繕費(檢査費)ヲ電話交換擴張費ヲ以テ支辨セル件ニ對スル費目當否ノ問題ニシテ之ニ對スル當否ノ見解ハ檢査報告中ニ當該官吏答辯ノ要旨トシテ記載シアル所ノ如シ會計檢査院ハ「本所ハ一般電氣ノ試験ヲ司ル常置ノ設備ニ係リ之カ建物並工作物ノ維持補修ノ如キハ性質上經常部修繕ノ費目ヲ以テ支辨スヘキモノニシテ」ト謂ヒ荷モ電氣試験所ノ建物又ハ工作物ナル以上ハ其ノ用途ノ如何ニ拘ラス之カ維持補修費ハ總テ經常部修繕費ヲ以テ支辨スヘキモノナリト斷セリ然レトモ本所ノ事務ハ會計檢査院說明ノ如ク電氣ノ試験ヲ司ル常置ノ機關タル部分アルト同時ニ全ク電話擴張ニ伴フ工事材料機械類ノ試験ヲ司ル臨時ノ機關タル部分アルヲ以テ其ノ日常ニ於ケル各種ノ事務取扱費ハ當該事務ノ性質ニ伴ヒ經常部經費アリ臨時部經費アリ從テ其ノ建物及工作物ハ所要ノ目的ニ依リ之カ建設費ノ支辨費目ヲ異ニスルト共ニ其ノ維持補修費ニ付テモ各其ノ場合ニヨリ或ハ經常部經費ヨリ支辨シ或ハ臨時部經費ヨリ支辨スルハ決シテ不當ニ非ス又同院ハ電話交換擴張費中局舎營繕ノ目ハ當該豫算ニ明示ナキ限リ本件ノ如キ修繕ニ關スル經費ヲ包含スルモノト認ムルヲ得スト謂フモ電話交換擴張費中局舎營繕ノ目ハ電話擴張ニ關スル敷地購買、局舎倉庫等ノ新築、模樣替雜工事等一切ノ營繕工事ヲ支辨スルノ意味ニ於テ經費ヲ計上シ居レルモノナルヲ以テ本件ノ維持修繕費ノ如キモ從來ヨリ之ヲ「雜工事」ニ包含セシメ居レリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

(參照) ○會計法第十四條第二項(一九八頁參看)

第二十二款 震災復舊及新營費 第一項 電信電話施設費

【報告】 (二七) 東京逓信局ノ支出ニ係ル

八、七〇〇、〇〇〇

ハ昭和三年三月東京市本所區鈴木某ヨリ單價九拾四圓ヲ以テ購入シタル工事材料保管棚五十箇及東京府駒澤町岡某ヨリ單價八拾圓ヲ以テ購入シタル同五十箇ノ代價ナリ右ノ内鈴木某ヨリ購入ノ分ハ同年一月同人ヨリ購入シタル單價八拾圓餘ニ比シ高價ナルノミナラス納入品ハ圖面並仕樣書ニ相違シ岡某ヨリ購入ノ分ハ別ニ補強ヲ施シ使用シ居レルノ狀況ニシテ孰モ構造甚タ薄弱ナルカ爲工事材料保管棚トシテ不適當ノモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ一月及三月鈴木某ヨリ購入ノモノハ各力材ノ構成ヲ異ニシ前者ハ側面ニ斜幹ノ指定ヲ爲サス後者ハ左右兩面ニ各一本ノ斜幹ヲ添架セシムルコトト爲シタルヲ以テ價格ノ増加ヲ相當ト認メタリ又納入品カ仕樣書圖面ニ相違セルハ全ク誤テ檢收シタルモノニ付目下不良部分引換補修方取運中ナリ而シテ該保管棚ハ解體組立等簡單自由ナルヲ以テ倉庫移轉又ハ地方へ送付ノ場合頗ル便利ナルモノト認メ購入シタルモノニシテ岡某ヨリ購入セル分ニ對シ補強ヲ爲セルハ當時倉庫ヲ應舎ニ模樣替ノ爲急速在庫品ノ移轉ヲ要シ該物品ヲ適宜排列スルノ追ナク強ヒテ加重ノ負荷ヲ加ヘムトシタルニ因ルト謂フニ在リ然レトモ一月鈴木某ヨリ單價八拾圓五拾九錢ヲ以テ購入ノ分ハ兩側ニ斜幹ヲ添架シアリ本件ハ該品ヲ見本ト爲シ製作セシメタルモノナルヲ以テ特ニ價格ヲ増加スルノ事由ナク又圖面並見本ニ比シ奥行寸法並斜幹孰モ短尺ナルニ拘ラス其ノ儘之ヲ檢テ補強ヲ施シ辛ウシテ使用シ居ルノ實狀ニシテ其ノ用途ニ適合セサルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【審明】 本件批難ノ要旨ハ昭和三年三月鈴木某ヨリ購入ノ分ハ同年一月同人ヨリ購入シタルモノナルニ之ニ比スルニ其ノ價格高價ナルノミナラス其ノ納入品ハ仕樣ニ相違セルニモ拘ラス其ノ儘檢收セシハ失當ナリ又岡某ヨリ購入ノ分ハ別ニ補強ヲ施シ使用セル

昭和二年度 逓信省 (二二七)

モノニテ薄編其ノ用途ニ適合セスト謂フニ在リ然レトモ鈴木某ヨリ一月ニ購入ノ分ニハ最初斜幹ノ取付ナキモノナリシカ本品ハ當時試験的ニ購入(三箇)シタルモノナルヲ以テ納入者ニ於テモ本品カ特許品ナルト將來賣込ノ點等ヲ考慮シ曩ニ當該官吏答辯ノ通り納品後ニ於テ納入者カ斜幹ヲ任意無償ニテ取付ケタルモノニテ當初ヨリ之レアリタルモノニアラス其ノ後三月ニ於テ購入セシモノハ左右ノ側面ニ斜幹ヲ附シタルモノヲ見本トセシカ故ニ之カ價格ニ相違ヲ來シタルモノニシテ會計検査院報告ノ如ク該一月購入ノ見本品ニハ斜幹ヲ添架シアリシモノナルニヨリ之カ爲メ特ニ價格ヲ増加スヘキ理由ナシト謂フハ當ラサルモノトス、尙本件購入ハ廳舎ノ模様替ニ伴フ倉庫移轉ノ必要上急速購入ヲ要シタルカ爲メ納入期限ノ如キモ短縮セラレタル等ノ關係モアリテ之カ爲メ稍々高價ヲ來シタルハ已ムヲ得サルコトト認ム

又其ノ納入品カ仕様書ト多少相違セル點アリタルニ不拘誤テ檢收シタルハ遺憾トスル所ニシテ此ノ部分ニ對シテハ其ノ後納入者ヲシテ無償手直シヲ爲サシメタリ

次ニ岡某ヨリ購入ニ係ル分保管棚ニ當時別ニ角材ニテ補強ヲ施シタルハ急速倉庫移轉ノ關係上多數ノ保管材料ヲ適當ニ配列スルノ違ナク多量ノモノヲ強テ堆積收容セサルヘカラサリシ爲萬一ノ危險ヲ慮リ一時的ノ措置トシテ之ヲ施シタルニ過キス元來保管棚ノ如キハ必スシモ積載重量ノ多寡ノミヲ主トスルモノニアラス多種多様ノ物品ヲ區分配列シテ出納保管ニ便ナラシムルモノナルカ故ニ必スシモ非常ニ頑強ナルモノタルヲ要セス本品ノ如キモ之等ノ用途ニ供スルノ目的ニ出テタルモノナルカ偶ニ必要以上ノ物品ヲ積載シタル爲ニ保護裝置ヲナシタルニ不過單ニ此ノ故ヲ以テ其ノ用途ニ適合セストハ認メス要之鈴木某ヨリ前後二回購入シタルモノノ間ニ價格ノ相違アルハ仕様ノ相違並納期等ノ關係ニ因リ又岡某ヨリ購入シタルモノヲ補強セシハ一時過重ノ物品ヲ堆積スルノ危險ヲ慮リタルニ因ルモノナルヲ以テ購入ノ措置其ノ宜シキヲ失スト云フコトヲ得ヌ唯檢收ニ就テハ將來注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

第二十三款 災害費 第六項 札幌及仙臺逓信局區内電信電話線路風雪害復舊費

【報告】 (二八) 札幌逓信局ノ支出ニ係ル

五三、九七二、七二〇

ハ函館地方電信電話線路風雪害復舊工事ニ要シタル經費ニシテ外ニ本省交付物品壹萬九千貳百四拾五圓ヲ使用セリ本工事ノ内津輕海峽ニ連絡スル函館市内電信線路ニ於テ東四號人孔ヨリ函館局ニ至ル間既設地下管路布設工事ハ何等災害ヲ被ラサル電信五十心含浸鉛被紙「ケーブル」ヲ撤去シ十四對特種電信鉛被紙「ケーブル」ニ布設替ヲ爲シ且本工事ニ必要ナキ天幕

二十六張車覆五十枚ヲ購入シタルモノアリ右ハ孰モ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

既設五十心含浸「ケーブル」ト今回大森濱海底線陸揚室ヨリ東四號人孔ニ至ル迄布設セシ十四對特種電信鉛被紙「ケーブル」トハ其ノ構造ヲ異ニセル爲接續上同種ノモノト引替ノ要アリ而シテ之カ引替ノ必要ヲ生シタルハ災害費工事ニ基クモノナレハ災害費ノ負擔ヲ穩當ト解シタリ次ニ本工事費豫算ハ多大ノ削減ヲ受ケタル爲工器用具類ハ在庫品又ハ擔當區既交付品ヲ使用セシメ經費ノ節約ヲ圖リタル所工事ノ進捗ニ因リ昭和三年初頭ニ於テ稍豫算ヲ差繰リ得ルニ至リタルニ付補充ノ目的ニテ購入セリ

ト謂フニ在リ然レトモ在來布設ノ含浸「ケーブル」ハ舊式ノ構造ニ屬シ縱ヒ災害復舊工事ナカリシトスルモ早晚適當ナル「ケーブル」ニ引替ヲ要シタルモノナルノミナラス本件第二豫備金支出要求書内譯ニ徵スルモ「ケーブル」ハ延長九百碼ニ過キス本件引替區間ヲ包含セサルコト明ニシテ畢竟災害復舊工事ヲ機トシ災害ニ關係ナキ改良工事ヲ施行シタルモノト認メサルヲ得ヌ又器具類ニ關シテハ擔當區既交付品中天幕三張車覆十二枚ヲ使用セルニ過キサルニ工事竣功ニ際シ多數ノ購入ヲ爲シタルハ其ノ措置安當ナラス要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院批難ノ第一點ハ本件ハ災害復舊費ヲ以テ災害ヲ蒙ラサル部分ニ對シ之カ改良工事ヲ施工シタルモノニシテ不當ナリト謂フニアリ今回災害ヲ蒙ラサリシ既設ノ五十心含浸鉛被紙「ケーブル」復舊區間ト同種ノ線條ニ引替ヘタル事由ハ當初ニ於テハ被害區間ニ二十五對電信鉛被紙「ケーブル」ヲ布設シ既設「ケーブル」線ト接續スル見込ヲ以テ進行中ノ處其後十四對特殊電信鉛被紙「ケーブル」初メテ作製セラレ之ヲ使用スルトキハ高周波通信ニモ利用スルコトヲ得ル利便アルコト判明シ且十四對特殊鉛被紙「ケーブル」ヲ以テスルモ其ノ回線收容能率ニ大差ナキノミナラス其ノ價格ニ於テモ經濟的ナリシヲ以テ中途ニ設計ヲ變更シ二十五對「ケーブル」ニ代フルニ二十四對特殊「ケーブル」ヲ使用スルコトトセリ然ルニ東四號人孔函館局間ニ敷設セル五十心含浸鉛被紙「ケーブル」ト斯カル特殊「ケーブル」ト相互接續スルコトハ兩者ノ構造上夫々特性ヲ異ニスルカ故ニ困難ナルノミナラス被害區間ニ特殊「ケーブル」ヲ布設スルノミニテハ其ノ特殊タルノ效果ヲ失フコトナルカ故ニ既設「ケーブル」ヲ撤廢引替フルノ餘儀ナキニ至リタルモノニシテ復舊工事ナカリセハ引替ノ必要ナカリシモノト云フヘタ從テ其ノ原因

カ風雪害復舊ニ在ルヲ以テ本復舊費ヨリ之ヲ支辨シタル次第ナリ而シテ既設五十心含浸ケーブルハ舊式ナリト雖モ實用上支障ナク永ク使用ニ適スルモノニシテ本工事ナカリセハ之カ引替ヲ要スルカ如キ事情ニ在リタルモノニ非ス現ニ撤去後ニ於テハ他ノ箇所ニ於ケル修繕及引替用トシテ使用セントスル見込ノモノナリ

會計検査院批難ノ第二點ハ本工事費ヲ以テ實際工事ニ使用セシ數量以上ノ天幕及車覆ヲ購入シタルヲ不當ナリトスルニアリ然レトモ其ノ之ヲ購入シタル事由ハ曩ニ同院ノ推問ニ對シテモ答辯セシ如ク工用器具類ハ在庫品等ヲ使用スルコトトシ施工上當然必要ナル工用器具類ノ購入ヲ爲サス工事ヲ進捗セシメタルニ幸ヒニシテ經費ニ多少ノ餘裕ヲ見得ルニ至リタルヲ以テ曩ニ差繰リ使用シタル天幕及車覆其ノ他ノ器具類ノ減耗價格(約五千六百圓)ノ補填ヲ考慮スルト共ニ當時一般器具類在庫狀況ニ照シ其ノ必要比較的緊切ナリト認メタル本件天幕及車覆(此ノ價格參千餘圓)ノ購入ヲ爲シタルモノナリ但シ斯ノ如キ措置ハ多少妥當ヲ缺ク嫌ヒアリト認メラルルヲ以テ將來ハ可及的之ヲ避クル所存ナリ

要スルニ本件ハ上述ノ如ク各其ノ理由存シ已ムヲ得サルモノナリトス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

特別會計

内務省所管

健康保險

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ二件(二九)(三〇)

四、三二〇 七六〇

第一款 健康保險事業費

第二項 事務費

【報告】

(二九) 福岡健康保險署ノ支出ニ係ル

一一四 〇〇〇

ハ郵便切手等ノ代金トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實同署書記補興膳某カ會計事務取扱中昭和二年三月一日ヨリ同年四月三十日ニ至ル間ニ於テ實際購入セサル物品ヲ購入シタルモノノ如ク裝ヒ關係書類ヲ偽造シテ騙取シ又ハ其ノ保管ニ係ル

大正十五年 昭和三十二年 屬

【報告】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三項 保險給付費

【報告】

(三〇) 廣島健康保險署ノ支出ニ係ル

四、〇九六 七六〇

【報告】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

專賣局

歳出

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三二)

三六、五九九 五〇〇

第一款 專賣局作業費

第三項 材料藥品費

【報告】

(三二) 德島、岡山、廣島三地方專賣局ノ支出ニ係ル

三六、五九九 五〇〇

ハ製造煙草用木箱單價刻第五號六拾錢乃至六拾貳錢及第七號六拾七錢乃至六拾九錢ヲ以テ昭和二年十一月契約ヲ締結シ玉置某外一名ヨリ購入シタル代金ナリ右單價決定ニ當リ年度初ノ契約單價ニ比シ一割前後ノ値上ヲ爲シタルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ從來同木箱ハ建築用製材ニ因リテ生スル端切材ヲ使用シタルモ建築界不況ノ結

昭和二年 健康保險 (三〇) 專賣局 (三二)

果該材料生産減少ノ爲高價ナルモノヲ使用スルニ至レリトノ供給人ノ情願ニ對シ調査ノ結果他ノ供給者ニ比シ尙低廉ナルヲ以テ査定ヲ加ヘ決定シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ他ノ供給人ニ對シテハ木材及材料品ノ市價低落セルト供給人中値下ノ申出ヲ爲シタルモノアル等ノ事實ニ鑑ミ右ノ事情ヲ事由トスル値上ヲ承認セス據置若ハ値下ノ決定ヲ爲セルノ狀況ナルニ單ニ他ノ地方ニ於ケル供給人ニ比シ低價ナルヲ事由トシ獨リ本件供給人ニ對シ値上ヲ爲シタルハ妥當ノ措置ニ非ス現ニ本件契約當時德島地方專賣局長ヨリ木箱價格ニ關スル報告ニ依レハ一般財界不況ニ伴ヒ需要減少ノ結果木材價格ハ約一割方下落シタルモ木箱用材價格ニ異動ナク釘代亦低落シタルモ其ノ他單價ニ變更ヲ來スト認ムヘキモノナシト在ルニ依リテ之ヲ觀ルモ本件値上ハ其ノ理由ナキモノトス要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ單價ノ協定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【備考】

本件年度當初ノ契約單價ハ供給人カ當時特ニ廉價ナル手持品ヲ所持シ且ツ販路擴張ノ爲メ著シク低廉ナリシモノニシテ之ヲ前年度契約單價ニ比スルニ他地方局ニ於ケル供給人ハ平均僅ニ七分強ノ値下ヲナシタルニ拘ハラズ本件供給人ハ約二割三分ノ値下ヲナシタルニ見ルモ明瞭ナリトス從ツテ下半年ニ至リ廉價ナル手持品モ已ニ使用シ盡シ普通價格ノ用材ヲ使用スルニ至レルカ爲メ價格ノ引上ヲ要求シタルハ當然ノ事ニ屬シ當局カ其ノ單價ヲ協定スルニ當リ他地方局ノ供給人ハ前年度同期ニ比シ約七分ノ値下ナルニ本件供給人ヲシテ約一割六分ノ値下ニ相當スル價格ニテ供給スルコトヲ承諾セシメタルハ寧ろ國庫ニ有利ナル協定ニシテ何等不當ト認ムルコトヲ得ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

國債整理基金

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(三三二)

四、八一六、六七〇

第一款 國債整理基金支出

第一項 國債整理基金支出

【報告】

(三三二) 大藏省ノ支出ニ係ル

四、八一六、六七〇

ハ阿部某外四名ニ對シ支給シタル囑託手當及「タイプライター」購入其ノ他ニ要シタル經費ナリ右ハ大正十五年昭和三十五年檢査報告

【備考】

ニ詳悉セシ如ク本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス之ニ對シ當局者ハ國債ノ發行償還ニ關スル事務取扱者ニ給與スヘキ慰勞手當及諸謝金トシテ使用スル目的ヲ以テ國債雜費ノ目中之カ給與金額ヲ計上シアルヲ以テ臨時必要ノ場合ニ於テ本件囑託手當ヲ本費ヨリ支出スルモ不當ニ非ス又物品ノ購入ニ付テハ直接之ニ關スル豫算ノ計上ナキモ國債ノ發行償還ニ關スル費途ナルヲ以テ臨時必要ノ場合ニ於テ本費ヨリ支出スルモ不當ナラズト辯明スト雖本件囑託ハ大正十五年五月以降引繼キ之ヲ置キ内二名ノ如キハ國債ニ關係ナキ事務ニ從事セルノ狀態ナルニ國債雜費ノ目中慰勞金諸謝金ノ如キ一時の經費ヲ計上セルヲ事由トシ其ノ支辨ト爲スカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス又物品ノ購入ニ付テハ事務的經費ヲ包含セサル本會計ノ負擔ト爲スヘキニ非サルコトハ言ヲ疎タサル所ナルニ單ニ國債ノ發行償還ニ關スル經費ナルヲ事由トシ本會計ノ負擔ト爲スニ於テハ一般會計トノ間限界ナキニ至リ豫算ノ制ヲ紊ルモノト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

大正十五年(四一六一頁參照) 昭和元年(四一六一頁參照)

從來我カ國ニ於テハ債券ノ利息ヲ算出スルニ單利計算ノ方法ニ依リタルモ此ノ方法ハ幾多ノ缺點ヲ含ミ不完全ナルヲ免レスシテ歐米主要國ニ於テハ夙ニ複利計算ノ方法ヲ採用セリ從テ我國ニ於テモ債券ノ國際的取引ノ益増加セントスル今日獨リ歐米諸國ト異リタル利息計算ノ方法ヲ採用スルハ取引上ノ不利不便尠カラサルノミナラス取引ノ圓滑ヲ害スルコト大ナルモノアルヲ以テ我國ニ於テモ漸次複利計算ヲ使用スルノ機運ヲ醸成スルノ必要アリ而シテ此ノ方法ヲ採用スルニ當リテハ債券現價表及利息表ヲ必要トスルモ現在歐米ニ於テ使用シツツアルモノハ二期拂利子ノ債券ニ付テ作製セルモノナルヲ以テ之ヲ四期拂利子ナル我國債ノ利息計算ニ適用スルヲ得ス然モ債券ノ利息計算ハ國債ノ發行ニ關スル最重要ナル事項ニ屬シ尙國債以外ニハ四期拂利子ノ債券ナキヲ以テ先ツ政府自ラ之カ現價表ヲ作製スルノ必要アリト認メ大正十五年四月之二著手セリ本件囑託手當及物品費ハ之カ作製ヲ要シタル經費ニシテ元來國債整理基金ニ於テハ國債ノ發行償還ニ關スル事務取扱者ニ對シ給與スヘキ慰勞手當及諸謝金トシテ使用スル目的ヲ以テ國債雜費ノ目中之カ給與金額ヲ計上シアルヲ以テ臨時必要ノ場合ニ於テ本件囑託手當ヲ本費ヨリ支出スルモ不當ナリト認メス又物品ノ購入ニ付テハ直接之ニ關スル豫算ノ計上ナキモ國債ノ發行償還ニ關スル費途ナルヲ以テ臨時必要ノ場合ニ於テ本費ヨリ支出スルモ不當ニアラスト認ム要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的内ノ支出ニ係ルモノニシテ會計法第十四條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

(參照) ○會計法第十四條第二項(一九八頁參看)

國有財産整理資金

歳入

國有財産ノ管理處分其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三三三)

二五六、二七〇^円四八〇

第一款 國有財産整理資金收入 第一項 國有財産賣拂代

【報告】 (三三三) 東京稅務監督局ノ徵收ニ係ル

二五六、二七〇^円四八〇

ハ東京市深川區越中島町所在雜種財産土地一萬百餘坪ヲ昭和二年十二月坪當貳拾五圓參拾七錢ヲ以テ津野某ニ會計規則第百十四條第一項第二十一號ニ依リ緣故特賣ヲ爲セル代價ナリ抑本地ハ大正十二年勅令第四百六號及同年大藏省令第二十四號ニ依リ十二年十二月震災地ニ於ケル供給ノ圓滑ヲ圖ル目的ヲ以テ土木又ハ建築用ニ供スル製材工場並製材及原料ノ貯藏場敷地トシテ臨時企業ニ供用スルヲ條件トシ期限ヲ二箇年ト定メ隨意契約ニ依リ之カ料金ヲ時價ノ半額坪當月六錢ト算出シテ貸付ケ十四年十二月貸付期間滿了後昭和二年五月ニ至リ貸付料ヲ九錢ニ値上シ繼續貸付ヲ爲シタルモノニ係リ大正十五年七月及昭和二年九月之カ實地ヲ検査スルニ借受人ハ當初ヨリ毫モ契約ノ目的ニ使用セス周圍三方面ニ土留ヲ築成シ埋立ヲ爲シタルニ止ルノ現況ナルヲ以テ期間滿了ト共ニ契約ヲ解除シ返地セシムルヲ適當ノ措置ト認メラルルニ拘ラス之カ特賣ヲ爲スニ至リタル事由並價格決定其ノ宜シキヲ得サルモノト認メ之ヲ當該官吏ニ推問セシニ價格ノ點ニ就キテハ未ダ答辯ニ接セスト雖特賣ノ事由トスル所ハ貸付後各種事情ノ變化ニ伴ヒ十分ニ貸付當初ノ目的ヲ達スルコト能ハサルノ狀況ト爲リタル關係モアリ期間滿了ヲ機トシ之カ善後處理ヲ爲スノ必要アリト認メ種種攻究シタル所契約ヲ解除シテ返地ヲ爲サシムルコトモ一方法ナリトハ思料セラレタルモ帝都復興事業助成ニ寄與セルモノモアリ又從來本地ニ對シ借受人ニ於テ多大ノ投資ヲ爲シタルコトナレハ此等ノ點ニ鑑ミ契約ヲ解除スルヨリモ寧ろ之ヲ借受人ニ賣拂フヲ適當ナリト認メタリト謂フニ在リ然レトモ津野某ニ於テ大正十三年二月七千七百餘坪ノ原狀變更ヲ出願セルニ對シ之カ埋立ヲ許可シ殘餘ノ地積

ハ同人ニ於テ無斷埋立ヲ遂行シ十五年三月ニ至リ竣功シタルモノニシテ毫モ貸付ノ目的ニ使用セルノ蹟ナキヲ以テ須ラク當初貸付ヲ爲セル特別ノ趣旨ニ鑑ミ期間滿了ト共ニ解約スルヲ相當ト認メラルルニ拘ラス之ヲ繼續貸付シ更ニ之ヲ以テ緣故特賣ノ理由ニ供スルカ如キハ官有財産ノ管理並處分上失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ヌ又本地ノ評價ハ十五年七月東京帝國大學農學部敷地トノ交換ニ於ケル航空研究所ノ敷地坪當九拾五圓八拾貳錢ヲ比準地トシ同地ヨリ水陸ノ交通便利ナルノ故ヲ以テ道路以南ヲ五分優位トシテ百圓六拾壹錢道路以北ハ約一割劣等ナリトシテ八拾六圓四拾五錢ヲ相當トシ坪當九拾八圓五拾四錢總價格百壹萬六千六百參拾壹圓ト評定シ該評價ヨリ見積埋立費參拾六萬九千九百貳拾圓土留費壹萬八千六百四拾九圓護岸費拾壹萬貳千九百七拾圓事務費金利息等五萬九千貳百貳拾四圓企業利益五萬五千貳百七拾六圓土地未熟ニ因ル減價拾四萬貳千參百九拾圓計七拾五萬四百貳拾九圓ヲ控除シ算出シタル坪當貳拾五圓參拾七錢ヲ以テ賣却シタルモノナルモ航空研究所敷地一萬二千九百餘坪ノ評價ハ附近土地ノ時價約百貳拾圓ニ比シ地積大ナルヲ理由トシ道路濱地一割五分ヲ控除シタルモノニ係リ隨テ本地ノ評價モ亦一割五分ヲ控除シタルコトト爲ルモ道路以北ニ屬スル分ハ千五百坪ニシテ其ノ中央ニ道路敷地百五十五坪餘ヲ保留シ賣却坪數ヨリ控除シアルヲ以テ道路敷地トシテ一割五分ヲ控除スルノ要ナキモノナルノミナラス控除額タル埋立費ヲ決定スルニ當リ埋立及成熟地ニ達スル盛土見積總土量ヲ一萬七千四百立坪ト積算シ之カ經費ハ復興局ニ於テ十三年十二月ヨリ十四年十月ニ至ル間施行シタル本地ノ北部ヲ貫通スル通路新設工事請負金額一立坪當貳拾圓八拾錢ヲ採用シタルモノナルモ營繕管財局ニ於テ十四年八月ヨリ十五年八月ニ至ル間同一方法ヲ以テ施行セル近隣ノ同一狀態ニ在ル水産講習所敷地盛土工事費一立坪當請負金額八圓九拾錢ノ實績ニ比シ著シク高價ニ失シ又企業利益及土地未熟ニ因ル減額等適切ナラスト認メラルモノアリ要スルニ本件ハ當初貸付ノ條件ヲ履行セサルモノニ對シ繼續貸付ヲ爲シ更ニ之ヲ事由トシテ緣故特賣ヲ爲シタルモノニシテ國有財産ノ管理處分其ノ宜シキヲ得サルモノナルノミナラス價格決定亦當ヲ失シタルモノニシテ不當ナリトス

【附明】

本件繼續貸付ヲ爲シタル理由ハ貸付後各種事情ノ變化ニ伴ヒ充分貸付當初ノ目的ヲ達スルコト能ハサルノ情況トナリタル關係モアリ期間

昭和二年度 國有財産整理資金 (三三三)

満了ヲ機トシカ前處理ヲナスノ必要アリト認メ種々攻究シタル處契約ヲ解除シテ返地ヲ爲サシムルコトモ一方法ナリトハ思料セラレタルモ帝都復興事業ハ尙繼續進捗中ニアリ又從來本地ニ對シ借受人ニ於テ多大ノ投資ヲ爲シタルコトナレハ之等ノ點ニ鑑ミ貸付期間滿了ト共ニ直ニ契約ヲ解除スルヨリモ寧ロ之ヲ借受人ニ賣拂フヲ適當ナリト認メラレ又借受人ニ於テモ買受ヲ希望シ居ルヲ以テ本地ノ賣拂處理上一時期限ヲ延長シ貸付スルノ已ムヲ得サリシモノナリ賣却ニ關シ緣故特賣ヲ認メタル理由ハ震災直後官民協力シテ復興事業ヲ促進セムトシ政府ニ於テモ特別ノ法規ヲ設ケテ右目的ノ爲ニハ隨意契約ニ依リ國有地ヲ貸付スルコトヲ得ル途ヲ開キタル次第ナルカ本件借受人ニ於テモ當初ヨリ右目的ニ供用スル意思ヲ以テ本地ヲ借受ケ之ニ對スル準備ヲ爲シツツアリシカ經濟上其ノ他各種事情ノ變化ニ依リ充分當初ノ目的ヲ達スルコト能ハサリシモ多額ノ經費ヲ投シテ埋立其ノ他ノ施設ヲナシタルモノナレハ貸付契約ヲ解除シテ本地ヲ返却セシムルトキハ民法ノ規定ニ依リ本地ニ費シタル有益費ヲ償還セサル可カラサル關係アリ將來政府ニ於テ國有ニ供スル必要ナク可成速ニ民間ニ拂下クルコトヲ要スル本地ノ如キ土地ノ處理方法トシテハ一旦借受人ヨリ返地セシメ之ニ對シテ有益費ヲ償還シタル後公賣等ノ方法ニ依リテ賣拂フヨリモ寧ロ借受人ノ有スル從來ノ緣故ニ依リ隨意契約ヲ以テ賣拂フ方處理上適當ナリト認メ大正十二年大藏省令第二四號ニ依リ隨意契約ニテ貸付シタル分ニ限リ特ニ借受人カ特別緣故ヲ有スルモノト認メタリ價格ノ評定ヲ爲スニ當リ水産講習所敷地盛土工事費一立坪當請負金額八圓九拾錢ヲ採用セス本地ノ北部ヲ貫通スル道路新設工事請負金額一立坪當貳拾圓八拾錢ヲ採用シタル理由ハ水産講習所敷地ノ盛土ニ付テハ附近海底ノ土砂ヲサンドポンプヲ以テ容易ニ採取スルコトヲ得タルカ故ニ一立坪當八圓九拾錢ノ割ヲ以テ埋立ヲ爲スコトヲ得タルモ本件土地ニ付テハ評價當時ニ於テハ附近海底ヨリ土砂ヲ採取スルコトハ東京市ノ海面埋立工事施行ノ關係上同市ハ之ヲ許可セサル實狀ナレハ本件土地ニ最モ近キ海底ハ之ヨリ約四百間ヲ距テタル水産講習所沖合トナリ普通サンドポンプ利用ノ範圍外ニ屬スルヲ以テサンドポンプニ依ルコトヲ豫定セサル復興局施行ノ道路新設ノ場合ノ實例ニ依リ算定シタルモノナリ又道路北方ニ屬スル分千五百坪ニ對シ評價ヲ爲セル理由ハ道路以北ニ屬スル部分千五百坪ニ付テハ航空研究所敷地及道路以南ノ部分鶴澤ヘノ貸付地久原ヘノ貸付地等ニ對比シ面積ノ大小、道路水路等交通ノ良否ヲ精細ニ比較シテ等級ヲ定メタルモノニシテ右ノ等級ヲ定ムル上ニハ道路潰地ノ要否等ヲモ考慮シタル結果評定ヲ爲シタルモノナレハ航空研究所敷地ト同様ニ道路潰地一割五分ヲ見込ミタルモノニアラス尙企業利益及土地未熟ニ因ル減額ヲ認メタル理由ハ本件土地ノ評價ニ際シテハ賣拂當時ニ於ケル素地價格ハ幾何ヲ相當トスルヤヲ調査スルヲ目的トナシタルヲ以テ埋立完成後ノ價格モ完成ニ要スヘキ費用モ共ニ求メムトスル素地價格ト同一時期ニ取揃ヘ凡テ賣拂當時ノ現在ニ於ケルモノヲ調査シタリ故ニ埋立費ニ付テハ賣拂當時ニ於ケル通常ノ埋立費ヲ計算スル爲通常見積ラレヘキ企業利益ヲ計算シ尙埋立及護岸ヲ爲スモ航空研究所敷地同様ニ成熟スルニハ相當ノ年月ヲ經過シ多少ノ加工ヲ要スルヲ以テ未熟ニ依リ減價トシテ之カ相當額ヲ控除スルヲ至當ト認メ之ヲ計算シタルモノナリ依テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計規則(大正十一年一月九日)

第百十四條第一項 會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依ルノ外左ニ掲グル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

二十一 土地、建物、林野又ハ其ノ產物ヲ之ニ特別ノ緣故アル者ニ賣拂又ハ貸付ヲ爲ストキ

○會計規則其ノ他ノ收入支出ニ關スル命令ノ規定ニ對シ特別ヲ設ケタル件(大正十二年九月七日)

震災ニ基ク特別ノ事情ニ因リ必要アル場合ニ於テハ大藏大臣ハ會計規則其ノ他ノ收入支出ニ關スル命令ノ規定ニ對シ特別ヲ設ケルコトヲ得

○大正十二年勅令第四百六號ニ依ル會計規則ニ對スル特例(大正十二年十月二十日)

第一條 左ノ場合ニ於テハ當分ノ指名競争ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

五 震災地ニ於ケル供給ノ圓滑ヲ計ル目的ヲ以テ土木又ハ建築ノ用ニ供スル材料ノ加工又ハ貯藏ヲ爲ス者ニ對シ震災地ニ於テ三年内ノ期間ヲ以テ國有地ノ貸付ヲ爲ストキ

朝鮮總督府

歳入

租税ノ徵收不足ニ屬スルモノ二件(三四)

物件ノ拂下ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ三件(三五)(三六)(三七)

計五件

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三九)

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(三八)(四〇)

計三件

昭和二十年度 國有財産整理資金 (三三三)

一五二、〇〇〇、〇〇〇
 一〇〇、二〇五、六〇〇
 三五二、二〇五、六〇〇
 一一一七

歳入經常部

第一款 租 稅 第二項 所得稅

【報告】 (三四) 京城府ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ紐育「スタンダード」石油會社朝鮮支店ノ 自大正十二年一月及至同 年十二月及至同 年十二月 事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ

超過所得計算ノ基礎タル資本金ノ計算ヲ誤リ超過所得前者百拾壹萬千七百八圓ヲ百八萬參千貳百八拾四圓後者六拾九萬九

千貳百八拾五圓ヲ六拾七萬千四百七拾參圓ト計算シタル等ニ因ルモノナリ

仁川府ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、五〇六^四八六〇

アリ右ハ力武物產株式會社 自昭和二年九月五日 事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ利益處分ヲ以テ爲シタル減價償却

認容額參千九拾九圓ヲ九千五百九拾七圓ト計算シ且超過所得ノ課稅ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

【辨明】

京城府ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一五、一六六^四三一〇

紐育「スタンダード」石油會社朝鮮支店 自大正十二年一月及至同 年十二月 事業年度所得金額ハ同支店提出ノ決算書ニテハ之カ計算ノ内容分

明ナラサルモノアリ加之決算書ノ内容等ニ關シ照會スルトキハ總テ紐育本店ニ於テ其ノ回答ヲ爲スヘキヲ以テ自然所得金額ノ調査ニ多大

ノ日子ヲ要スルノミナラス紐育本店ノ回答ヲ得ルモ容易ニ之カ真相ヲ捕捉スルヲ得サルノ實情ニ在リタリ從テ之カ調査ニ多大ノ日子ヲ費

サムカ時効完成スルノ虞ナシトセサルヲ以テ便宜ノ處置トシテ一應會社ノ申告ニ基キ決定ヲ行フト共ニ決定後詳細ナル調査ヲ遂ケ其ノ結

果當初決定正當ナラサルトキハ直ニ訂正ヲ行フヘキ趣旨ノ下ニ決定シタルモノナリ然ルニ所得額決定後本社ノ回答並資料蒐集ニ努メ再調

ヲ行ヒタル結果前掲金額ノ訂正ヲ爲スノ必要アルヲ認メタルヲ以テ昭和三年十二月七日追徵ヲ行ヒタルモノニシテ要スルニ本件ハ外國

會社タルノミナラス會社カ誠意ヲ以テ調査ニ應セス屢々照覆ヲ重ネタルカ爲長時日ヲ費シタルニ職由シ眞ニ已ムヲ得サルニ依ルモノナ

一、五〇六^四八六〇

仁川府ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

第三款 官業及官有財産收入

第三項 森林收入

【報告】

(三五) 朝鮮總督府ノ徵收ニ係ル

一六八、三九四^四五七〇

ハ王子製紙株式會社カ大正十四年七月乃至十五年十一月ノ間平安北道厚昌郡厚昌面東新面所在霧中峯國有林及同郡東興面

南社水國有林内ニ於テ買受木以外ニ多數ノ立木ヲ伐採セルニ對シ杉松四萬二千七百九十二本材積二十四萬九千五百二十七

尺縮及紅松七千四百六十六本材積六萬六千七百四十四尺縮計五萬二千八百八本材積三十一萬六千二百七十一尺縮ノ損害賠償トシ

テ徵收シタル金額ナリ抑本件ハ同會社ニ對シ十四年以降十箇年ニ互リ紅松、杉松類二百十萬尺縮ノ年期賣却ヲ爲シタルモ

ノニ係リ十四、十五兩年度引渡ヲ爲シタル杉松、紅松合計十四萬三千二百二十五本材積二十四萬九千八百六十四尺縮ニ對シ

會社ノ伐採搬出セル立木ハ有極印及無極印木ヲ通シ十八萬四千八百八十五本材積七十三萬八千四百七尺縮ニ及ヒ尙引渡濟有

極印未伐採立木一萬二百五十三本材積二萬二千七百五十七尺縮ヲ存セルノ狀況ナルニ前記ノ如ク三十一萬六千餘尺縮ニ對

シ賠償金ヲ徵收セルニ過キサルノミナラス之カ賠償價格ノ算定著シク低廉ナリト認メラルモノアリ右ニ對シ當局者ノ事

由トスル所ハ

拂下跡地調査ノ結果箇所別ニ觀ルトキハ拂下本數ニ對シ有極印木本數ハ少數ノ過増ヲ除クノ外大體ニ於テ多少ノ不足ヲ

見ル是伐採ニ當リ根株ニ打込ミアル極印影ノ抹殺サレ或ハ毎木調査當時ヨリ二、三年ヲ經過セル關係上印影ノ極メテ

不鮮明ナル爲及偶伐採點ノ低キニ失セルカ爲等諸種ノ原因ニ因リ印影ヲ認メサルモノハ伐根調査ニ當リ無極印木トシ調

査シタルヲ以テ無極印數量中ニハ此等不明瞭ナル引渡木即チ拂下數量ニ對スル有極印木ノ不足數量ヲ包含スルモノト看

做スコトヲ得ヘシ然レトモ如何ナル徑級ノモノヲ幾ク包含スヘキヤハ不明ナルヲ以テ無極印伐採木一本當ノ徑級材積ヲ

求メ不足本數ニ之ヲ乘シタルモノヲ無極印木總數ヨリ控除シ其ノ殘量ヲ以テ過伐數トシ算出セリ而シテ引渡本數以上ノ

昭和二年度 朝鮮總督府 (三五)

過増木ニ對シテハ賣却ノ意思表示タル極印打込ミアルヲ以テ當然買受者ノ所有物件ト見ルヘキモノトシテ過伐數中ニ含メサリシモノナリ尙又賠償金ノ算定ニ關シテハ本件誤伐木ハ年期契約ニ依ル引渡材ノ毎木調査ニ際シ心腐空洞等ヲ有スル不良木トシテ除外シタルモノニシテ普通木ニ比シ伐木造材運搬等功程著シク減少セル爲之カ生産費ノ嵩ミタルト造材歩止不良ニシテ査定ノ結果誤伐木單價ハ賣却立木單價ノ略半額ニ等シキ結果ヲ來シタルモノニシテ特ニ其ノ價格ヲ半減シタルモノニ非ス

ト謂フニ在リ然レトモ拂下跡地調査ニ依レハ有極印木伐採及同未伐採高ハ十一萬四千八百餘本材積三十一萬四千餘尺縮ト爲リ之ノミヲ以テスルモ其ノ材積ハ正當契約高ニ超過スルモノニシテ拂下物件引渡ノ杜撰ナルハ明ナル所ナリ然ルニ當局者ハ此ノ事實ヲ度外視シ本數ニ依リ尙拂下數量ニ不足アルヲ理由トシ其ノ不足本數二萬九千餘本ニ對シ之カ材積ヲ見積リ以テ無極印木伐採數量ヨリ控除シ其ノ賠償額ヲ決定スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス而シテ賠償價格算定ノ内容ヲ觀ルニ紅松ニ在リテハ正當賣渡ノ分生産費百尺縮當四百四拾參圓餘乃至四百九拾貳圓餘造材歩止五分乃至五分五厘トセラルニ過誤伐木ノ分ハ四百七拾七圓餘乃至五百九圓餘ト見積リ造材歩止ニ付テハ著シク之ヲ低減シ總テ三分六厘トシ其ノ結果山元尺縮價格正當賣渡ノ分七拾五錢五厘乃至九拾壹錢六厘ナルニ對シ過誤伐木ノ分ハ參拾六錢壹厘乃至四拾七錢七厘トシ賣價ノ約半額ニ當リ又杉松ニ在リテハ其ノ山元尺縮賣渡價格ハ契約當初ヨリ多大ノ斟酌ヲ加ヘ參拾錢ト爲セルモノナルニ拘ラス本件過誤伐木ニ對シテハ之ヲ拾貳錢壹厘乃至貳拾六錢ト査定セルノ狀況ナリ之ニ對シ當局者ハ心腐空洞等材質ノ不良ナルニ基因スト辯明セルモ二十四萬餘尺縮ノ引渡材ニ對シ七十餘萬尺縮ヲ伐採セルニ其ノ過伐材カ悉ク不良材トシテ除外シタルモノトハ之ヲ認ムル能ハサルノミナラス此等過誤伐木ニ對スル伐木造材運搬等ノ諸經費カ同一場所ニ於テ正當ニ賣渡シタル立木ノ生産費ニ比シ特ニ割高ト爲リ又其ノ造材歩止カ特ニ低下スルモノト認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ過誤伐材積並之カ賠償金ノ算定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 朝鮮總督府ノ徵收ニ係ル

王子製紙株式會社誤伐賠償金徵收ニ關シ會計檢査院ハ誤伐賠償金測定方法トシテ調査總材積七十六萬餘尺縮ヨリ拂下材積二十五萬尺縮ヲ控除シタル五十一萬餘尺縮ニ付賠償セシムヘキモノナリト言フモ右七十六萬尺縮ハ誤伐材積ノ過少ニ算定セラレムコトヲ恐レ可成安全ニ見積ルノ方針ヲ以テ伐採後推測ニヨリ算定セル數字ナレハ幾分多キニ過クルモノニシテ之ヲ近傍ノ立木賣却實蹟(一本當二、四尺)ニヨリ計算スル時ハ伐採總本數十九萬四千餘本ナレハ稍正確ナル總材積ハ四十六萬六千餘尺縮トナリ之ヨリ契約材積約二十五萬尺縮ヲ控除スル時ハ誤伐材積ハ二十二萬尺縮弱ノ計算トナルヲ以テ賠償金徵收ノ根據タル三十一萬餘尺縮ハ決シテ過少ニ非ス而テ現實ニ幾本ノ誤伐木アリタルヤハ有極印無極印木ノ本數ヲ伐採跡地ニツキ調査シテ初メテ分明スルヲ以テ極印ノ有無ヲ各伐採箇所別ニ調査シタル結果當初ヨリノ無極印木(誤伐木)ハ之ヲ五萬貳百八本ト査定シ之カ材積ハ前述ノ方針ヲ以テ算定セル結果一本當平均約六尺縮合計三十一萬餘尺縮ト計算シタルモノナリ次ニ造材歩止ヲ過少ニ見積リタリト言フモ造材歩止ハ其ノ現地ニ放棄殘存セル部分ヨリ明ニ計算シ得ルモノナルヲ以テ適當數量ノ標準木ヲ選定シ實地調査セルモノニシテ拂下木ニ比シ歩止小ナルハ老齡過熟ノ爲自然枯死或ハ虫害枯損等類出シツツアル林地中ヨリ良木ノミヲ選擇拂下ケタル殘存不良木ナルヲ以テ當然ノコトニシテ決シテ造材歩止ノ過少ナルカ如キコトナク且ツ造材歩止ノ少ナルニ從ヒ尺縮當ノ伐木造材、集材費等ノ多額ヲ要スルハ當然ノコトナルヲ以テ會計檢査院ノ言フカ如ク算定單價低廉ナルカ如キコトナシト思料ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

【報告】

(三六) 朝鮮總督府ノ徵收ニ係ル

ハ朝鮮水電株式會社ニ對シ水力電氣事業工專材トシテ 大正十五年度及昭和二年度内二十回ニ拂下契約ヲ爲シタル咸鏡南道新興郡所在國有林立木五十五萬八千七百七尺縮此ノ代價貳拾七萬貳千五百九拾貳圓四錢ノ内ニシテ拾五萬四千八百七圓拾壹錢ハ 大正十五年度及昭和二年度ニ屬スルモノナリ右ハ朝鮮國有森林未墾地及森林產物特別處分令第四條第一號ノ「公用又ハ公益事業ノ爲必要ナルトキ」ノ條項ヲ適用シ隨意契約ニ依リタルモノナルモ實際ノ所要數量ヲ超過シ會社ハ之ヲ他ニ販賣セルノ事實アルノミナラス賣渡價格ハ平均尺縮當 大正十五年度及昭和二年度分落葉松五拾五錢九厘紅松七拾八錢四厘杉松四拾八錢七厘昭和二年度分落葉松四拾九錢六厘紅松六拾六錢八厘杉松參拾七錢貳厘ニシテ低廉ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

昭和二年度 朝鮮總督府 (三六)

本件發電工用材ノ拂下ニ關シテハ會社提出ニ係ル發電工用材使用豫定木材調ヲ調査シ其ノ所要材積ヲ相當ト認メ大體之ヲ標準ト爲シタルモノナルモ工事實施ノ結果水路用隧道掘鑿工事ニ於テ當初ノ豫想ニ反シ地質硬岩ニシテ支保工ヲ要スル箇所少カリシト堰堤築造工事ニ於テ一部鐵材使用ノ有利ナルヲ認メ設計ヲ變更シタル等ノ爲剩餘材ヲ生スルニ至リシモノナリ又昭和十五年分賣渡價格ノ算定ニ關シテハ賣拂物件ハ總テ願人ノ出願用途如何ニ拘ラス其ノ最經濟的用途ニ依リ其ノ市場價格ヲ定メ其ノ中ヨリ伐採、造材、運材等ノ諸經費ノ外企業利益トシテ市價ノ一割以內ヲ控除シ其ノ殘額ニ造材歩止ヲ乘シ山元代金ヲ算出スルノ取扱ナルヲ以テ本件モ其ノ例ニ依リ又運材方法ニ就キテ西新興驛松興里間ヲ鐵道便ニ依ラス牛車運搬ニ依ルモノトシテ計算シタルハ該區間約十三哩ノ鐵道ハ同會社ノ專用線ニシテ會社ノ工用材等ノ運搬ニ使用セラルルモノナルヲ以テ林產物處分ノ場合營業線ニ非サル該線ニ依リ運搬スルモノトシテ代金ヲ查定スルハ妥當ナラスト認メタルニ因ルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ答辯ニ所謂會社提出ノ發電工用材使用豫定木材調ハ單ニ會社カ拂下豫定希望材積ヲ七十四萬五千餘尺締ト概算セルニ過キス之ニ對シ當局者ハ拂下ノ際出願用途ニ對スル設計ヲ調査シ所要材積ノ當否ヲ判定スヘキハ當然ノコトナルニ拘ラス之ニ關シ何等ノ取調ヲ爲サス會社ノ申出數量ヲ其ノ都度漫然許可セルモノニシテ措置妥當ナラス當局者ハ剩餘材ハ工事實施ノ結果地質ノ關係又ハ設計ノ變更ニ伴ヒ生シタルモノナリト辯明スト雖昭和三年一月三十日水路工專事用軌道並倉庫建設用材ノ名義ヲ以テ拂下ケタル六萬九千五百餘尺締ノ內四萬尺締及同年二月二十日水路工專「インクライン」及倉庫建設材ノ名義ヲ以テ拂下ケタル五萬三千二百餘尺締ノ內三萬尺締ヲ契約後幾クモナク販賣用ニ變更方出願セルノ事例ニ徵シ畢竟拂下ノ當初其ノ數量ノ當否ニ關シ何等ノ調査ヲ爲サス過當ノ拂下ヲ爲シタルモノト認メサルヲ得ス而シテ其ノ賣渡價格ノ算定ニ關シテハ西新興驛松興里間約十三哩餘ノ鐵道ハ同會社カ工用材ノ運搬ヲ目的トシ敷設セルモノナルニ拘ラス本件ノ如ク所要以上ノ數量ヲ拂下ケ他ニ販賣セシムルモノニ對シ右輸送機關ノ關係ヲ考慮セス牛車及牛糞運搬ニ依ルモノトシテ算定セルモノ二十二萬餘尺締ニ及ヒ他ノ一般販賣業者ト著シク權衡ヲ失スルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ立木ノ拂下ニ當リ隨意契約ヲ以テ過當ノ拂下ヲ爲シ且價格ノ決定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

朝鮮總督府ノ徵收ニ係ル
 朝鮮水電株式會社水力電氣事業工用材拂下ニ關シ會計檢査院ハ木材ノ拂下數量ノ適否ヲ充分調査セスシテ拂下ケシタリト云フモ會社當初ノ設計通堰堤ヲ築クトセハ何程ノ木材ヲ要スルカハ堰堤ノ構造大サ等ヨリ算出シ得ルモノニシテ其ノ當否ハ之ヲ審査シ會社申出ノ數量ヲ適當ト認メ又堅道ニ使用スヘキ木材モ其廣狹延長等ヨリ推シ普通ノ場合會社申出ノ木材數量ヲ要スルモノト審査ノ上認メタルモノナリ然ルニ會社ニ於テハ木材ノ價格當初ノ豫期ニ反シ甚シク高價ナル爲寧ろ鐵材、セメント等ヲ使用シ堰堤ヲ築造スルヲ有利トストノ理由ヲ以テ其ノ設計ヲ變更シ木材ノ使用量ヲ減スルニ至リ又堅道ハ開鑿ノ結果豫期ニ反シ地盤堅ク木材ノ所要量ヲ減スルニ至リタルモノニシテ若シ會社カ當初ノ設計通堰堤ヲ作り又堅道ノ地盤カ普通ノ狀態ナリセハ當然會社當初ノ計畫ノ如ク七十餘萬尺締ノ木材ヲ要セシモノナリト信ス然ルニ右ノ如キ事情ニ依リ自然ニ木材ノ所要量ヲ減シタル爲昭和三年二月以降ハ拂下ヲ中止シ其ノ結果拂下總材積五十餘萬尺締ニ止メタルモ猶多少ノ剩餘材ヲ生シタルカ如キ實情ニシテ拂下ニ當リ調査相漏ナリシモノト認メス

一一七、七八四、九三〇

次ニ價格ヲ低廉ニ見積リタリト云フモ立木價格算定ノ基礎タル市價ハ水電工用材手以前ハ其ノ需要地即チ山地ニ市價ナキニ依リ已ムナク最寄成興ノ市價ヲ採リ之カ運搬費ハ一般賣拂ノ場合ニ依ルヘキカ會社ノ專用鐵道(一部分)ニ依ルヘキカノ問題ヲ生スルモ會社ハ其ノ木材ヲ成興ニ搬出スルニ非サルヲ以テ偶々工用材運搬用トシテ鐵道アリトスルモノニ依リ算定スルハ妥當ナラス前者ニ依ルヲ妥當ト認メ算定セルモノニシテ會計檢査院ノ云フカ如ク低廉ニ見積リタルモノニ非ス尙此ノ算定ニ依リ會社ニ拂下ケタルモノハ總テ工用ニ使用シ居ルヲ以テ毫モ會社ニ不當ノ利益ヲ與ヘタルコトナシ而シテ工事實施ノ結果拂下數量ニ過剩ヲ生シ用途變更ヲ出願セシモノハ其ノ後會社事業進捗ト共ニ工事地附近ニ人戶激増シ山上ニ於テ自然木材ノ市價生スルニ至レルニ依リ山上ノ市場價ヲ基トシ計算セルモノナルヲ以テ會計檢査院ノ云フカ如ク鐵道ヲ利用スルモノトシテ運搬費ヲ計算セサリシ云々等ノ問題毫モナク從テ會社ニ對スル拂下單價低廉ナルカ如キコトナキモノトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【案決】 承認

(參照) ○朝鮮國有森林未墾地及森林產物特別處分令(大正元年八月十五日)

第四條 國有森林ノ產物ノ賣拂ハ左ニ掲グル場合ニ限り隨意契約ニ依ルコトヲ得

一 公用又ハ公益事業ノ爲必要ナルトキ

【報告】

(三七) 咸鏡南道新興郡ノ徵收ニ係ル

二三四

九〇、四七九、三四〇

ハ朝鮮水電株式會社ニ對シ火田民整理ノ用ニ供スル目的ヲ以テ賣渡シタル咸鏡南道新興郡東上面所在國有林野一萬六千六百五十八町步餘及同地上立木十二萬九千餘本材積二十二萬七千七百四十三尺縮並同所國有林野貸付面積千四百五十八町步餘ノ別處分令第一條及第四條ニ依リ隨意契約ヲ以テ賣却シタルモノニ係リ之ニ對シ當局者ノ事由トスル所ハ

咸鏡南道新興郡東上面地方ハ道内有數ノ火田地帯ニシテ曩ニ本府員ヲ派シ實地調査ヲ爲サシメタル結果ニ依レハ同面ニ於ケル國有林野六萬七千八百餘町步ノ内火田冒耕ヲ爲スモノ各地ニ散在シ其ノ面積八千六百七十町步ノ多キニ達シ今後尙被害増大ノ情勢ニ在リ之カ整理ハ國土保安並水源涵養上寔ニ焦眉ノ急務ニ屬ス然ルニ今回朝鮮水電株式會社ニ於テ國有林野ノ荒廢ハ水源ノ枯渴ヲ來シ延イテ同社ノ電氣事業ニモ影響スル所アルヲ以テ此ノ際貯水池ノ爲浸水スヘキ地域内ニ居住スルモノト共ニ同地方ニ於ケル火田民ヲ適當ナル地域ニ移轉セシメ且此等住民ノ副業ノ資ニ供セムカ爲牧羊事業ノ計畫ヲ立テ國有林野ノ賣却方ヲ出願セリ惟フニ同社ハ浸水地區住民ノ外右東上面ニ於ケル火田民ヲモ收容シ農事ノ改良ヲ勸奨シ且牧畜其ノ他ノ有利ナル副業ヲ授ケ一定ノ地域ニ居住耕作セシメ生活ノ安定ヲ企圖セムトスルニ在リテ同社事業遂行上必要ナル施設タルハ勿論同地方ニ於ケル國有林野ノ保護並水源涵養上適當ナル計畫ト認メラレ且國ニ於テ之カ整理ヲ行フヨリモ同地方ニ於テ利害關係ヲ有スル同社ヲシテ十全ナル施設ヲ爲サシムル方機宜ニ適シ且事業遂行上ノ見込確實ト認ムルヲ以テ貯水池ノ爲浸水地區ノ換地及火田民ノ整理ニ要スル地域ハ朝鮮國有森林未墾地及森林產物特別處分令第一條第一號ノ「公用又ハ公益事業ノ爲必要ナルトキ」ノ條項ヲ適用シ隨意契約ヲ以テ賣却シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ火田民ノ整理ハ國土保安上緊要ノコトナリト雖頗ル至難ノ業ニ屬シ總督府ニ於テハ多年積極的ニ之カ指導監督ヲ怠ラス火田耕作者ニ對シテハ移轉耕作地ヲ選擇シ國有未墾地利用法ニ依リ無料貸付ヲ行ヒ事業成功後ハ之ヲ付與スルコトトシ永住ノ途ヲ講セルモ元來火田民ハ定住性ニ乏シク寧ロ奧地國有林ニ於テ無制限ニ墾墾ヲ爲スヲ安易トシ

【附明】

漸次再ヒ火田耕作ヲ行ヒ遂ニ豫期ノ整理ヲ見ル能ハサル實狀ニ在リ然ルニ本件ハ會社ニ於テ其ノ事業地帯及國有林ノ火田民並現住民三千戸ヲ三箇年間ヲ期シ整理收容スルモノトシ之カ用地トシテ多大ノ林野竝立木ノ特賣ヲ出願セルニ對シ直ニ其ノ事業遂行ノ見込確實ナリトシ之ヲ許容セルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス而シテ其ノ拂下數量計算ノ基礎ヲ觀ルニ林野ニ在リテハ貯水池豫定區域居住民五百六十戸ノ移轉收容ニ要スル土地一戸當二町步計千三百町步純火田民千四百二十八戸ノ收容ニ要スル土地一戸當六町步計八千五百六十八町步準火田民千八百九十九戸ノ收容ニ要スル土地一戸當二町步計二千七百七十八町步合計三千七十七戸ニ對シ一萬二千四百六十六町步ノ土地ヲ要シ之ニ對シ國有林野賣却面積一萬六千六百六十餘町步ノ内農耕適地ハ一萬八千八百二十一町步ニシテ二百二十餘町步ノ不足ヲ生スルモ收容ニ際シ他ニ轉業ヲ希望スル者等ヲ生スルヲ以テ結局之ヲ以テ全部收容シ得ル見込ナリトアルモ東上面ニ於ケル火田民二千五百餘戸ノ内國有林内居住ノモノ千百餘戸ハ既ニ火田冒耕八千六百餘町步ニ及ヘルニ此等ノ關係ヲ度外視シ前記計算ノ如ク總テ國有林野ノ新規拂下ヲ要スト計算シ尙火田民整理ノ爲牧羊事業ニ要スト爲シ別途ニ國有林野千四百餘町步ヲ貸付シ又立木ニ在リテハ右收容火田民ノ家屋建築並燃料用材トシテ漫然二十三萬餘尺縮ノ多數ヲ特賣セル等其ノ數量孰モ甚シク過當ニ失セリ今之ヲ會社ニ對シ別途賣却セル發電貯水池用國有林野四千九百九十三町步並水電工用其ノ他立木六十萬七百餘尺縮ト併算スルトキハ朝鮮水電株式會社ニ對シ特賣シタル總數ハ國有林野二萬三千五百餘町步立木八十三萬五千餘尺縮ノ多キニ及ヘリ而シテ其ノ賣渡價格ハ「カラ」松尺縮當總平均價格貳拾四錢餘ニ過キス又土地ノ賣渡價格ハ一町步當最低四拾錢最高參圓貳拾錢ニシテ平均貳圓九錢ニ過キサルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ隨意契約ヲ以テ過當ノ國有林野ヲ拂下ケタルモノニシテ不當ナリトス

九〇、四七九、三四〇

從來火田整理ノ爲火田民ニ對シ移轉耕作地ヲ選定收容セルモノノ成績豫期ニ反シ良好ナラサルモノアルハ主トシテ收容後ニ於ケル指導監督ノ適切周到ヲ期スル能ハサリシニ因ルモノナルカ今東上面ニ於ケル火田ニ就キ之カ整理ノ完璧ヲ期セムニハ該地ノ實情ニ據リ之カ實施機關ノ設置及多額ノ經費ヲ要スルハ勿論ナルモ官ニ於テ之等ノ施設方法ヲ講スルハ固ヨリ容易ナラス而シテ朝鮮水電株式會社ハ電氣事業ヲ存立目的トスルカ故ニ貯水池集水區域内ノ火田整理ノ成否ニ付テハ痛切ナル利害關係ヲ有スルヲ以テ寧ロ同社ヲシテ之カ十全ヲ企圖セ

シムルヲ得策トシ且資本金貳千萬元(在四千萬元)ヲ有シ基礎鞏固ニシテ常ニ官廳ノ監督ヲ受クルヲ以テ事業遂行ノ見込確實ト思惟シ監督上必要ナル條件ヲ附シ處分セルモノナリ

而シテ同地ニ於テ收容ヲ要スル火田民等ハ左記ノ如ク

區	別	戸	數
火田民	火田ノミヲ耕作スルモノ		一、四二八
	火田ト民地トヲ耕作スルモノ		一、〇八九
	計		二、五一七
貯水池	居住民		五六〇
合計			三、〇七七

ニシテ火田民ノ耕作面積八千六百七十餘町歩ノ内約七千餘町歩ノ火田ハ朝鮮水電株式會社ニ處分セル區域内ニ存スルヲ以テ決シテ此ノ關係ヲ度外視シ拂下面積ヲ計算シタルモノニ非ス又爾餘ノ千六百餘町歩ハ處分區域外ニ存在スト雖此等ノ地ノ開闢ハ之ヲ禁止シ開闢者ハ新ニ拂下區域内ニ收容スル要アルヲ以テ此ノ分ヲ考慮ニ入レ拂下面積ヲ決定シタルモノナリ而テ之カ代金ニ付テモ實況ニ應シ適當ノ査定ヲ爲シタルモノナリ又之カ收容實施ニ當リテハ家屋建築用材及燃料ヲ供與スルノ要アリ特ニ本地ノ如キ寒冷ナル高地帯ニ在リテハ其ノ然ルモノアルヲ以テ實査ノ結果建築用材一戸當六〇尺締燃料一戸當七〇尺締ハ差當リ必要ト認メタルモノニシテ漫然處分セルニ非サルハ勿論該立木ハ何レモ材質不良ニシテ從來之カ利用ニ付顧ミラレサリシモ最モ經濟的ニ利用スルモノトシテ査定セルモノニシテ不適ノ價格ニ非スト認ム以上ノ通ニシテ本件林野ノ處分ハ公益施設タル電氣事業ノ目的ヲ達セシムル上ニ於テ密接不離ノ關係ヲ有スルハ既ニ説明ヲ要セサルノミナラス火田ノ整理及之カ耕作者ニ對スル指導獎勵ノ如キ事業ハ夫レ自體既ニ公益事業ニ屬スルモノナルヲ以テ之ヲ隨意契約ニ依リ處分セルハ適正ナリト信ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

(參照) ○朝鮮國有森林未墾地及森林產物特別處分令(大正元年八月十五日)

第一條 朝鮮ニ於ケル國有森林ノ賣拂又ハ貸付ハ左ニ掲グル場合ニ限り隨意契約ニ依ルコトヲ得

一 公用又ハ公益事業ノ爲必要ナルトキ
第四條 (二二三頁參看)

歲出經常部

第十五款 專賣局 第二項 事業費

【報告】

(三八) 大邱專賣支局ノ支出ニ係ル

四二、〇八九六〇〇

ハ大倉商事株式會社外五名ヨリ購入シタル「ユーナイテツト」煙草裁刻機外七點ノ代價ナリ右ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ右物品ハ當初新營業費豫算要求ノ際當支局工場新築及設備豫算參拾四萬五千七百八拾圓中ニ積算シタルモノナルモ豫算ノ主目的タル工場新築其ノ他工場設備ノ主要部分ニ於テ豫算不足ト爲リタルヲ以テ此等須要ノ工事ヲ完成セシムル必要上實施ニ當リ本件物品購入費ハ新營業費ヨリ削除シ一面事業費豫算ハ事業用器具機械其ノ他工作物設備ヲ包含スルモノナルニ依リ本費ヲ以テ購入シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ此等物品ハ新築工場ノ設備ニ屬スルヲ以テ之カ購入費ハ臨時部新營業費豫算中ヨリ支辨スルヲ相當トシ答辯ニ謂フカ如ク實施ノ結果縱ヒ其ノ豫算不足ト爲リタリトスルモ本件ノ如ク經常部事業費豫算ノ負擔ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

大邱專賣支局ノ支出ニ係ル

四二、〇八九六〇〇

專賣局事業費豫算ハ事業用器具機械其他工作物ノ設備ヲ包含スルモノナルヲ以テ其ノ性質上必スシモ新規設備ヲ要スル器具機械等ノ費用ハ之ニ包含セサルモノトハ解スル能ハサルヲ以テ同費ヨリ裁斷機外七點ヲ購入設備セルモノナリ而シテ大邱專賣支局工場新築及設備豫算ハ本豫算ノ主ナル目的タル工場新築ニ於テ貳萬六千餘圓電燈及電力ノ設備並運搬裝置等生産能率ノ増進又ハ生産費ノ節約ヲ期スルニ多クノ關係アル主要設備ニ於テ五萬四千貳百餘圓ノ不足ヲ告ケタルヲ以テ已ムナク附隨ノ實施計畫中差シテ重要ナラサルモノハ之ヲ削除シ一面事業費豫算ヨリ支辨シ得ル事業用品ノ類ハ同費ヨリ支出シ豫算ノ不足ヲ補ヒ以テ工場ノ完成ヲ期シタルモノニ付其ノ豫算ノ性質上本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬スヘキモノニアラスト認ム

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 注意

(參照) ○會計法第十四條第二項(一九八頁參看)

歳出臨時部

第四款 補助費 第四項 土木費補助

【報告】 (三九) 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

二五二、〇〇〇円

ハ新義州府街整理及防水工事ニ要スル同府本年度豫算額四拾八萬參千六百六拾六圓餘ニ對シ交付シタル補助金ナリ抑本件
工事ハ大正十二年度ヨリ昭和三年度ニ互リ豫算總額百貳拾六萬參千圓之ニ對スル國庫補助總額七拾五萬千圓ヲ以テ施行ノ
計畫ニシテ前年度迄ノ豫算額七拾貳萬九千八百參拾參圓餘ニ對シ四拾四萬九千圓ヲ補助セルモ工事決算額ハ僅ニ參拾七萬
參千九拾六圓餘ニシテ參拾五萬六千七百參拾七圓餘ヲ翌年度ニ繰越セルノ狀況ナルニ本年度ニ於テ補助豫算全額ヲ支給セ
ルモノナルヲ以テ其ノ必要ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ年度内ニ豫定ノ通達行シ得
ル見込ヲ以テ豫算全額ヲ交付セシモ計畫變更ヲ行ヒタルト二年七、八、九月ニ互ル降雨ニ因リ時日ヲ費シ工事遅延セシモノ
ナルモ將來ハ其ノ取扱ヲ改善スル見込ナリト謂フニ在リ然レトモ前年度ヨリ多額ノ豫算ヲ繰越シタル實績ニ徴シ本年度ニ
於テ年割豫算額ノ如ク工事ノ進捗ヲ爲ス能ハサルハ補助指令ノ際之ヲ豫測シ得ヘキ所ナルニ拘ラス之ヲ考慮セス漫然豫算
全額ヲ交付セルハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス其ノ他釜山第二期水道擴張工事、馬山水道工事、鎮南浦市區改正並橋梁下水
修築工事及裡里下水工事ニ對スル補助金支給方亦同一狀態ニシテ其ノ決算額ハ殆ト補助額ニ止ルノ狀況ナリ要スルニ本件
ハ補助金ノ交付ニ關シ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

二五二、〇〇〇円

公共團體ノ繼續事業ニ對スル補助金ハ當然繼續年度内ニ工事ヲ完成セシムルヲ旨トシ工事竣功後ニ於テ決算額カ豫算額ヨリ減少シタル場
合ハ補助歩合ニ依リ殘金ノ返納ヲ命スル方針ヲ採レリ而シテ當該工事ハ其ノ年度内ノ豫定ノ通達行シ得ル見込ミヲ以テ年度初頭ニ於テ補

助年割額ヲ交付シ來レルモノニシテ當初ヨリ其ノ遂行ノ見込ナクシテ交付シタルモノニアラス然ルニ偶々本件ハ工事進行中ニ於テ天候ノ
爲豫定ノ進捗ヲ妨ケラレ遂ニ補助金繰越ノ止ムナキニ至リタルハ遺憾トスル所ナルモ昭和三年度ニ入りテハ極力之カ回復ニ努メタル結果
十一月末日ニ於テ全工事ニ對シ九歩五厘強ノ竣功歩合ヲ示シ豫定年度内ニ完成スル見込確定セルモノナリ其ノ他釜山第二期水道擴張工事
馬山水道工事鎮南浦市區改正並橋梁下水修築工事及裡里下水工事ニ對スル補助金ニ付テモ同一ノ方針ニ據リタルモノナルモ敍上實情ニ照
シ將來此種補助金ハ年度初頭ニ於テ半額工事完成ノ際又ハ工事進捗ノ狀況ニ鑑ミ其ノ殘額ヲ交付スルコトニ方針ヲ改メタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

第十二款 耕地改良及擴張費 第三項 助成費

【報告】 (四〇) 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

五八、一六〇〇円

ハ大正十二年及同十四年以降昭和二年ニ至ル間ノ水害ニ對スル土地改良工事水害復舊費補助トシテ博川外十二水利組合ニ
支給シタル金額ナリ右ハ 大正十五 昭和元 年度検査報告ニ詳悉セシ如ク一旦事業完成後ニ於ケル災害復舊工事補助ハ本費豫算ニ積
算ナキモノナルヲ以テ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス之ニ對シ當局者ハ本費ハ一定期間内ニ一定量ノ審ノ改良擴張ヲ遂
行セムカ爲ニ事業者ニ補助ヲ爲スコトヲ目的トスルモノナレハ該目的ノ達成ニ至ル迄ハ一旦補助ヲ受ケタル事業カ完成後
改良工事ヲ必要トシ又ハ災害ノ爲加工ヲ要スルニ至ルコトアル場合ニ於テモ苟モ本費ノ目的達成ニ必要ナル事業タル限り
ハ本費ノ支辨ヲ以テ補助金ノ支給ヲ爲シ得ルモノニ屬シ又從來補助金算出ノ基礎タル土地改良工事段當平均ノ算定ニ際シ
最初ノ工事費ノ外改良補強、復舊等ノ工事費ヲモ相當豫定シテ之ヲ加算シ居タリ隨テ本費定額ノ範圍内ニ於テ差繰支辨ス
ルハ本費ノ性質竝計算ノ内容ニ照シ當然ノコトナリト辯明セルモ本件組合中鶴東、松旨ノ兩組合以外ハ大正十四年以前ニ
其ノ事業竣功シ又博川、同仁、龜泰、鶴東、安鶴以外ノモノハ十二年、十四年又ハ十五年中災害ヲ被リタルモノニ係リ元來本
費豫算ハ朝鮮産米増殖計畫ニ基キ編成計上セラレタルモノニシテ一定町歩ノ新規土地改良ヲ目途トシタルモノナルヲ以テ
此等各組合ニ對スル災害復舊費補助ノ如キハ本費ニ包含セサルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ
會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【大正十五年(四六)六八頁參看】

昭和二年 朝鮮總督府 (四〇)

【説明】 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

元來本助成費ハ一定期間内ニ於テ一定量ノ奮ノ改良擴張ヲ遂行セムカ爲ニ事業者ニ補助ヲ爲スコトヲ目的トスルモノナレハ該目的ノ達成ニ至ル迄ハ新規ナル土地改良事業ハ勿論ソノ一旦補助ヲ受ケタル事業カ完成後改良工事ヲ必要トシ又ハ災害等ノ爲加工ヲ要スルニ至ルコトアル場合ニ於テモ苟モ本費ノ目的達成ニ必要ナル事業タル限りハ本費ノ支辨ヲ以テ之ニ補助金ノ支給ヲ爲シ得ルモノナラサルヘカラス次ニ本費豫算カ其計算上新規ナル土地改良事業以外ノ事業ニ對スル補助ヲモ豫定セルモノナリヤニ就テハ政府ハ從來補助金算出ノ基礎タル土地改良工事費反當平均ノ算定ニ際シテ最初ノ工事費ノ外改良、補強、復舊等ノ工事費ヲモ相當豫定シテ之ヲ加算シ居タリ從ツテ政府カ從來一旦竣工ヲ告ケタル改良土地ニ就テ其後改良補強ノ工事又ハ災害復舊ノ工事ヲ必要トスル場合ニ於テハ豫算上豫見セラレタルモノトシテ之ニ對スル補助金ヲ本費ヨリ支出シ唯一時ニ多數ノ改良土地カ災害ヲ蒙リ之カ復舊費ニ對シ多額ノ補助金ヲ要スルカ如キ場合ニ於テハ別ニ災害復舊工事費補助ノ豫算ヲ要求スルヲ例トシタルモノ之寧ロ非常ノ際ニ處スルノ措置ニシテ普通ノ場合ニ於テ本費定額ノ範圍内ニ於テ差繰ヲ爲シ得ル限り此種工事ニ對スル補助金ヲモ支辨スルハ本費ノ性質並計算ノ内容ニ照シ當然ノコトニ屬スルモ將來ニ於テハ豫算上前述ノ趣旨ヲ明カニスル所アルヘシ

二四〇

五八、一一六〇〇

次ニ本助成費豫算ハ朝鮮産米増殖計畫ニ基キ編成計上セラレタルモノニシテ一定町歩ノ新規土地改良ヲ目途トシタルモノニ付此等各組合ニ對スル補助ノ如キハ本費ニ包含セスト斷シアルモノ昭和二年度本費豫算定額五百拾六萬九千圓ハ産米計畫後新規事業ニ屬スル四百六拾八萬壹千圓ノ外ニ大正十四年度迄ノ土地改良事業ニ對スル分四拾八萬八千圓ヲ豫算ニ計上シタルモノニ付取テ豫算目的外ノ支出ト爲スコトヲ得サルモノトス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

(參照) ○會計法第十四條第二項(一九八頁參看)

朝鮮鐵道用品資金

歳出

物件ノ購入ニ當リ豫算超過ノ契約ヲ爲シタルモノ一件(四一)

一、六三五、八八〇^円四七〇

歳出

第一款 朝鮮鐵道用品費 第二項 用品及工作費

【報告】

(四一) 朝鮮總督府鐵道局ニ於テ本年度本項豫算額ニ超過シ契約ヲ爲シタルモノ

一、六三五、八八〇^円四七〇

アリ抑本特別會計ニ於ケル本年度用品購入契約ノ狀況ヲ見ルニ新規契約高ハ千五百九拾貳萬七千九拾參圓九拾錢ニシテ内四拾九萬參千參百貳拾五圓七拾八錢ハ豫算外國庫負擔ノ契約ヲ許サレタルモノナルヲ以テ之ヲ除キ別ニ前年度ニ於テ豫算外國庫負擔ノ契約ニ依リ本年度ノ負擔トセルモノ百四拾壹萬六千貳百六拾八圓四拾八錢ヲ加算スレハ差引本年度負擔ノ契約高ハ千六百八拾五萬參拾六圓六拾錢ト爲リ用品購入費豫算現額千五百貳拾壹萬四千五百拾六圓拾參錢ニ對シ百六拾參萬五千八百八拾圓四拾七錢ヲ超過スルノ計算ヲ示セリ之ヲ以テ當局者ハ年度末ニ至リ契約件數二十五口此ノ金額六拾六萬七千百壹圓貳拾參錢ヲ朝鮮總督府特別會計歲出臨時部第七款鐵道建設及改良費外二款ノ負擔契約ニ變更シ又契約件數二百十六口此ノ金額九拾九萬七千九拾貳圓八拾參錢ヲ本會計翌年度豫算外國庫負擔ノ契約ニ變更シ漸ク決算ヲ整理シタルモノナリ然ルニ前掲金額ニ相當スル物品ハ昭和二年六月乃至三年三月ヲ納期トシ總テ年度内現品ノ持込ヲ了セルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件ノ内鐵道建設及改良費ノ直決算ニ變更セル分ハ當初貯藏品トシテ購入スヘキ豫定ナリシモノ納入ニ當リ使用費途明確ト爲リタルヲ以テ相當科目ヘ決算スルヲ適切ト認メタルト又翌年度負擔ニ變更セル分ハ豫算差引ノ計數ニ異動ヲ生シタルモノヲ發見シタルヲ以テ供給者ノ同意ヲ得無條件ニテ翌年度契約ニ更訂シタリト謂フニ在リ然レトモ豫算外國庫負擔ノ契約ヲ爲スヘキ物品ハ購入ニ多クノ日子ヲ要シ又ハ前年度ニ於テ注文ヲ爲スニ非サレハ年度初頭ノ需要ニ支障ヲ生スヘキ場合ニ限ルヘキモノニシテ本件物品ノ如ク年度半以降現ニ持込ヲ了セル物品ニ對シ故ラ之カ經費ヲ翌年度ノ負擔ト爲スハ經費ノ年度區分ヲ紊ルモノニシテ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ヌ又貯藏品購入計畫ニ基キ本費支辨ノ契約ニ依リ之カ購入ヲ爲シ既ニ年度檢收セル物品ヲ年度末ニ至リ俄ニ直決算ニ變更スルカ如キハ本費ニ於ケル豫算超過ノ契約ヲ整理スル一手段ニ外ナラスシテ畢竟用品購入ニ際シ豫算ヲ無視シ漫然豫算超過ノ契約ヲ締結シタルニ因ルモノト認メサルヲ得ヌ依テ本件ハ不當ナリトス

昭和二年 臺灣總督府 (四二)

二四二

【報告】

朝鮮總督府鐵道局ニ於テ本年度本項豫算額ニ超過シ契約ヲ爲シタルモノ
本検査報告ニ依レハ昭和二年鐵道局ニ於ケル用品購入契約高ハ千六百八拾五萬參拾六圓餘ニシテ本項豫算額ヲ超過セリトアルモ用品及
工作費豫算額ハ千七百六拾五萬七千餘圓ナルヲ以テ會計検査院ノ批難ノ如ク本項豫算額ヲ超過シタルモノト謂フヲ得ス然レトモ經理上聊
カ注意ノ足ラサリシモノアリシニ依リ將來注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

臺灣總督府

歳入ニ於テ

租税ノ徵收不足ニ屬スルモノ一件(四二)

物件ノ拂下ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四三)

計二件

歳出ニ於テ

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四四)

歳入經常部

第一款 租 税 第七項 所得稅

八四、九五八〇一〇

三、九七九七五〇
八二六、二七三三六六
八三〇、二五三一六一

【報告】

(四二) 臺北州ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三、九七九七五〇

アリ右ハ合名會社義和商行 自大正十三年一月三事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ支拂利子ノ計算ヲ誤リ所得額合計五拾

參萬七千八百五圓ヲ四拾五萬八千貳百拾貳圓ト爲シタルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ昭和三年八月十七日追徵濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第二款 官業及官有財産收入 第四項 營林所收入

【報告】

(四三) 臺灣總督府營林所ノ徵收ニ係ル

八二六、二七三三六六

ハ昭和二年五月合資會社臺灣丸太共同購買所ニ對シ拂下契約シタル扁柏紅檜外五種丸太材其ノ他十二萬九千二百七十一石
餘價格百拾六萬貳千五百拾七圓餘ノ内ニシテ參拾參萬六千貳百四拾參圓八拾壹錢六厘ハ翌年度ニ屬スルモノナリ而シテ本
件拂下ニ於テハ會社ヲ指定商トシ目安價格ニ對スル一般木材商ノ最高割引歩合一割七分ニ比シ八分増ナル二割五分ノ割引
ヲ爲シタルモノナルモ現在ニ於ケル此ノ種丸太ノ需給狀況ニ鑑ミ一般木材商ニ對スル割引歩合ト別途ニ斯ル高率ノ割引ヲ
爲スハ妥當ナラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

數年來島外材ノ輸入ハ甚タ旺盛ニシテ當所材ノ販賣ニ付テハ最苦心ヲ要シ其ノ處分可能高ニ付テモ經濟界ノ變遷並競
争材トノ對抗上販賣政策其ノ當ヲ得サレハ却テ島外材ニ壓倒セラレ豫定ノ收入ヲ擧クル能ハサル虞アリ島内賣トシテ從
來製材品ノ販賣ニ付テハ主ニ臺灣木材共同販賣所ナル指定商ニ引受ケシメタル爲常ニ好結果ヲ收メ來リシモ丸太ニ在リ
テハ豫定數量ノ消化ニ腐心シ收入上往々不安ニ驅ラルルノ情勢ニ在リシモ 大正十五年 昭和元年
全島ニ互リ代表的木材商ヲ網羅シ臺灣丸太共同購買所ナル會社ヲ組織セシメ當所ノ丸太ノ大部分ヲ販賣セシメタルニ
相當ノ成績ヲ擧ケタルノミナラス當所收入ノ安定ヲ得ラルルト同時ニ獨リ我營林所材ハ材界不況ノ際ニ拘ラス漸次好轉
ノ傾向ヲ呈スルニ至レルハ此等指定商ノ活動ニ負フ所決シテ尠カラスト信ス故ニ指定商ノ制度ハ當所材ノ消化ヲ容易ナ
ラシムルニ必要ナル施設ニシテ契約上一定數量ヲ引受ケシムルノ義務ヲ負擔セシメサルモ事實上當所振當高ニ付テハ其
ノ賣行ノ如何ヲ問ハス全部引受ケシムルコトト爲シ居レリ又指定商ニ對シ年十三萬石金額百貳拾萬圓以上ノ契約ヲ爲
シツツアルヲ以テ割引率二割五分トスレハ大正十四年度ノ四萬石以上ノ契約ニ對シ二割ノ割引ヲ爲シタルモノニ比シ決
シテ不當ナラスト信ス

ト謂フニ在リ然レトモ製品ニ付テハ自ラ事情ヲ異ニシ從來其ノ價格ノ如キモ別途ニ之ヲ決定シ居ル所ナルヲ以テ暫ク之ヲ
昭和二年 臺灣總督府 (四三)

二四三

措キ島内賣丸太ニ就キ兩三年來ノ需給狀況ヲ觀ルニ往年トハ全ク事情ヲ一變シ逐年拂受希望者並其ノ數量增加シ現在當所材ヲ以テシテハ此等拂受申込數量ノ一部ヲ充當シ得ルニ過キス即チ昭和元年度ニ在リテハ買受申込數量二十萬餘石ニ對シ振當數量十六萬餘石ナリシモノ昭和二年度ニ於テハ買受申込數量三十萬餘石ニ對シ振當數量ハ依然十七萬餘石ヲ出テス而モ當所ノ出材ハ年年殆ト一定數量ニ限定セラレアルノ實狀ニ徴シ當局者カ指定商ノ制度ハ當所材ノ消化ヲ圖ル關係上已ムヲ得サルノ施設ナリト爲スハ之ヲ認ムルヲ得ヌ又會社ハ事實上十三萬石ノ契約ヲ爲セルモノナルヲ以テ其ノ割引率ヲ二割五分ト爲セルハ會社設立前大正十四年度ニ於テ指定商ノ責任數量四萬石以上ナルニ對シ二割ノ割引ヲ爲シタルニ比較シ不當ナラスト信スト辯明スルモ同年度ニ於テハ指定商數名ヲ置キ二割ノ割引ヲ爲シ十七萬餘石ヲ拂下ケ得タルモノナルノミナラス其ノ後逐年需要激増シ往年ノ如ク拂下材ノ處分困難ナルノ事情存セサルヲ以テ其ノ割引歩合ハ一般木材商ニ對スル所定ノモノニ依ルヲ以テ足り本件ノ如ク特ニ高率ノ割引歩合ヲ設ケ不利ノ賣拂ヲ爲スノ要アルモノト認ムルヲ得ス而シテ右會社ハ指定商和田某ノ拂下丸太代金ノ未收入額ニ比シ擔保時價不足ヲ示シ歲入上缺損ヲ生スルノ虞アリシトシ之カ救濟ノ爲十五年四月設立セシモノニ係リ其ノ創立目論見書ニ依レハ會社ハ右和田某ノ指定商タリシ緣故ヲ十四萬圓其ノ他ノ二名ノ分ヲ拾貳萬圓計貳拾六萬圓ヲ以テ買收シ同年度以降五箇年間年年十三萬石ノ拂下ヲ受ケ割引差益ヲ以テ緣故買收金ヲ償却スルノ計畫ナルニ徴スルモ本件割引歩合ハ拂下材消化ノ必要ニ出テタルモノト謂フヲ得ヌ今本年度ニ於ケル會社ノ收支計算ニ依リ其ノ利益歩合ヲ觀ルニ會社ハ單ニ營林所ト社員タル木材商トノ間ニ於テ其ノ仲介ヲ爲スニ止ルモノナルニ概シテ二割五分引ヲ以テ買受ケタル木材ヲ一割七分引ニテ社員ニ賣渡シ割引差益八分ニ上リ此ノ金額約拾貳萬參千餘圓ニ達スルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ木材ノ拂下上必要アリトシ過當ノ價格割引ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件丸太材拂下ニ關シ指定商ノ制度ヲ認メ價格ノ割引率ヲ引上ケタル所以ハ從來製材品ヲ臺灣木材共同販賣所ナル指定商ニ引受シメ好成績ヲ收メタルニ鑑ミタル爲ニシテ當所材ノ販賣政策上斯業ニ經驗ヲ有シ信用確實ナル永續的大量取引店ヲ得之ト取引ヲ繼續スルコトハ出材ノ消化ヲ圓滑ニシ當府歲入ヲ安定セシメ又煩雜ナル手數ヲ避ケルヲ得ルノミナラス當所材ノ眞價ヲ宣傳シ其ノ集約的利用ヲ促進シ以テ

用途ノ開拓、販路ノ擴張並競爭材トノ對抗上最モ效果アレバナリ

當時從前ノ指定商間ニ於テハ劇甚ナル競爭ヲ爲シ又ハ財界不況等ノ爲幾分ニテモ多クノ割引ヲ得ントシ實力以上ニ過大ノ拂受申込ヲ爲シ其ノ結果ハ金融逼迫ノ爲手持品ノ處分ヲ急キ投資的ニ所持品ヲ手放ス者等ヲ生シ十四年度末ニ至リテハ遂ニ指定商中二三名ノ困窮者ヲ出シ拂下代未納金ノ一部或ハ缺損トナルノ處ナシトセサル狀態ナリシヲ以テ當府ハ販賣制度ヲ改善シ之カ對策ヲ講スルノ必要ヲ認メ居タル際指定商亦大イニ自覺シ其ノ基礎ヲ鞏固ニシ無益ナル競爭ヲ避ケル爲全島ノ代表的木材商ヲ網羅シ丸太共同購買所ナル會社ヲ設立シ引續キ指定取引店トシテ販賣ニ從事シタキ旨申出アリタルヲ以テ當府ハ之ヲ認容シタルモノナリ而シテ前年度迄四萬石以上ニ割引ナリシヲ二割五分ニ引上ケタルハ當時木材ノ市況極メテ不振ノ狀態ニ在リ幾分目安價格引下ノ必要ヲ認メ居タル際ナリシヲ以テ十三萬石ノ大口取引申込ニ對シ果進割引率、市價及内地行材ノ割引三割一分トノ均衡等ヲ參酌シ大正十二年以前ニ於ケル割引率ト同様二割五分引ト爲シタルモノニシテ決シテ緣故買收金補填ノ目的ニ出テタルモノニ非ス

故ニ本件ハ不當ニ非スト信ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

歲出經常部

第十二款 交通部

第三項 通信事業費

【報告】

(四四) 本項ニ於テ臺灣總督府交通部通信部ノ支出ニ係ル

歲出臨時部第一款事業費第二十四項電信電話建設費ニ於テ同部ノ支出ニ係ル

第二十五項電信電話改良費ニ於テ同部ノ支出ニ係ル

計八萬四千九百五拾八圓壹錢ハ昭和二年一月及同年六、七兩月ノ間天龍木材株式會社臺北支店外一名ト購入契約ヲ爲シタル電柱素材内地杉四千二百三十七本此ノ價格參萬八千七百七拾七圓九拾八錢及之ニ對シ臺北市永瀾某ヲシテ同年三月及七月ノ二回ニ互リ基隆納トシテ四萬六千八百八拾圓參錢ヲ以テクレオソトヲ注入セシメタル代價ナリ右ハクレオソトノ注

入材ヲ内地ヨリ購入スルヲ有利ト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

大正十五年二月廣島通信局ニ就キ調査シタル價格ハ島内價格ニ比シ二十八尺以上ノモノハ格段ノ相違ヲ見ルモ最多ク

昭和二年度 臺灣總督府 (四四)

五八、二三一九四〇

一〇、三九〇二二〇

一六、三三五八五〇

二四五

ヲ使用スル二十六尺以下ノモノハ僅少ノ相違ニシテ其ノ種類ニ依リテハ却テ高價ノモノアリ若之ニ内地本島間ノ運賃ヲ加算スルトキハ格別ノ差ヲ認メサルニ至ルヘク内地ヨリ注入材ヲ購入スルコトノ必スシモ利益ニ非サルヲ思ハシメタルカ前年來海運界モ稍閑散ノ氣配見エ且九州ニ貝島商業株式會社廣島ニ東亞木材防腐株式會社ノ二注入工場ノ創設セラルルアリテ自然競争ヲ生シ價格自ラ低落スヘキヲ豫想シ昭和三年一月試ニ廣島逓信局ニ依託シテ少數ヲ購入シタルカ其ノ成績ハ意外ノ好結果ヲ現シタルモ僅ニ壹萬五千餘圓ノ豫定ニ對シ落札價格ハ五千圓以上ノ開アリ是劇烈ナル競争ノ行ハレタル證左ニシテ同年二月ニ至リ更ニ第二回ノ購買ヲ試ミタルニ頗ル順當ト思ハルル成績ヲ得今之ヲ標準トシ本件價格ヲ算出スルトキハ六萬千七百餘圓ト爲リ貳萬參千百餘圓ヲ利スルカ如ク見ユルモ二年東京物價指數一月百九十六、六月百九十三、七月百九十二ニ對シ三年三月ノ指數ハ百九十二ニ低落シ居リ且東亞木材防腐株式會社モ昨年六、七月頃迄ニハ未タ事業開始ノ運ニ至ラサリシ次第ニ付内地ニ於テ購入スルモ果シテ前記ノ如キ結果ヲ得ルヤ否疑問ニ屬ス

ト謂フニ在リ然レトモ廣島逓信局ニ委託シテ三年一月東洋木材防腐株式會社ヨリ購入シタル「クレオソート」注入材千六百六十本此ノ基隆納價格壹萬四百九拾圓五拾錢ニ比シ本件ハ七割四分餘ノ高價ニ當リ又同局ニ委託シ同年二月東亞木材防腐株式會社ヨリ購入シタル同種材千九百八十本基隆納價格貳萬八千貳百圓ニ比スルモ約四割ノ高價ニ當ルノ計算ニシテ縱ヒ其ノ間答辯ニ謂フカ如ク當時内地ニ於ケル競争劇烈ナルモノアリ又物價指數ニ於テモ其ノ間些少ノ低下アリタリトスルモ之カ爲此ノ如ク格段ノ差異ヲ生シタルモノト認メ難ク畢竟右ハ物件ノ購買ニ當リ注意ノ周到ヲ缺キタルカ爲高價ト爲レルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

- (一) 本件昭和三年一月及二月廣島逓信局ニ委託購入シタル電柱ノ價格カ昭和二年中、島内ニ於ケル購入價格ニ比シ著シク安價ナリシハ一木材ノ相場カ二年ヨリ三年ニ掛ケ下落ノ趨勢ニアリシコト
- (二) 前年來海運界漸次閑散ナリシコト
- (三) 一回ノ購入數量カ二年ヨリ三年ハ多大ナリシコト

(四) 三年ハ内地ニ於ケル當業者倍加シ其間劇甚ナル競争行ハレタルコト

等ニ基因スルモノニシテ之ヲ以テ直ニ昭和二年中島内購入電柱價格カ高價ナリト斷スルヲ得ス況ンヤ電柱ノ如キハ他ノ一般建築用材ト異リ當業者カ常在在庫品ヲ有スルモノニアラス從テ其ノ價格ノ如キモ相場一定セス又入札者カ商略ニ依リ損失ヲ度外視シテ競落シ爲ニ豫定價格ト落札價格トノ間ニ多大ノ値開キヲ生スルハ其ノ例決シテ乏シカラサルニ於テヤ現ニ内地ニ於テ購入シタル電柱ニ於テモ昭和三年一月末ト同年三月初ト其間僅ニ一箇月餘ニ過キサルニ後者ハ前者ニ比シ二割高トナル實例アルナリ以テ電柱ノ購入價格カ其ノ購入ノ時期、數量、納期及當業者ノ商略等ニ依リ如何ニ變動アルカヲ知ルニ足ルヘシ

【貴決】

將來ノ注意ヲ促ス(通傳事業費、電信電話改良費) 異議ナシ(電信電話改良費) 【衆決】 警告

關 東 廳

歳入

土地ノ賣拂價格低廉ニ失シタルモノ一件(四五)

三一、八七九 五六〇

歳入臨時部

第一款 官有物拂下代 第一項 官有物拂下代

【報告】

(四五) 大連民政署ノ徵收ニ係ル

三一、八七九 五六〇

ハ大正十三年七月滿蒙土地建物株式會社ニ對シ五箇年賦ヲ以テ賣拂ヒタル大連市葛蒲町二十番外十九筆宅地一萬五千四百十七坪七合一勺此ノ代金七萬五千六百拾貳圓六拾錢ノ内本年度分土地代金及利息ナリ右ハ成地見積價格ヨリ整地費見込額ヲ控除シ其ノ賣價ヲ決定シタルモノナリト雖 大正十五年 昭和元年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク整地費ノ見積高價ナリシ爲土地ノ賣拂價格低廉ニ失シ國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

(大正十五年(四八)七一頁參看)

【辨明】

大正十三年七月滿蒙土地建物株式會社ニ拂下タル大連市葛蒲町二十番地外十九筆ノ官有地一萬五千四百四十七坪七合一勺ニ對スル拂下價格ハ七萬五千六百拾貳圓六拾錢ニシテ本件拂下地ハ畑地ナルヲ以テ之ヲ宅地トシテ利用セムカ爲ニハ整地、排水、道路築造等ノ諸工事ヲ必要

昭和二年度 關東廳 (四五)

トス而シテ是等ノ工事ヲ完了シタル曉ニ於テ始メテ附近聖徳街ノ住宅地ニ匹敵シ坪當リ拾五圓乃至拾貳圓ノ價值ヲ生シ得ルモノニシテ前記諸工事ニハ一平面坪ニ付八圓五拾六錢ヲ要スルヲ以テ之ヲ前記金額ヨリ夫レ夫レ控除シテ坪當リ六圓五拾錢(七千三百八十一坪八六)及參圓五拾錢(七千七百六十五坪八六)ト決定シタルモノニシテ右工事見積額ヲ立坪ニ換算スルトキハ岩盤六圓土砂貳圓五拾錢ノ割合トナル而シテ之ヲ當廳土木課ニ於テ施行シタル拂下地附近ノ整地費一立坪ニ付岩盤參圓四拾錢土砂壹圓貳拾錢ニ對比シテ高價ニ失ストノ會計檢査院ノ見解ナルモ當廳ニ於テ施行シタル整地面積八十一萬五千九百九十九坪ニシテ地域廣大且ツ永續的ノ工事ナルニ本件ハ地域狹少且ツ一時的ノ工事ニシテ之カ爲ニハ人件費、器具、機械ノ購入等ニ於テ幾分割高トナルハ止ムヲ得サルトコロナリトス而モ本件拂下價格ハ土地ノ事情ニ精通セル地價調査委員會ニ諮問ノ上決定シタルモノナルヲ以テ不當ナル評價ナリト認ムルヲ得ス從テ本件土地ノ賣拂價格ハ相當ニシテ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニ非ス從テ不當ニ非スト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

樺 太 廳

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(四六)

工事ノ施行其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四七)

計二件

一、五〇〇、〇〇〇
 七一、八八八、四四〇
 八三、三八八、四四〇

歳出臨時部

第二款 官行斫伐費

第一項 官行斫伐費

一一、五〇〇、〇〇〇

【報告】(四六) 樺太廳ノ支出ニ係ル

ハ昭和二年十一月官行斫伐事業所監督用トシテ購入シタル米國製「ハツプモビル」八氣筒「セダン」型七人乗自動車及附屬品ノ代價ナリ右ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ官行斫伐事業所監督用務處辨上堅牢ナルモノヲ必要トシ此ノ種用品ヲ選定シタルモノニシテ直ニ本所ニ廻送スヘキ豫定ナリシ所本事業ニ關シ所長其ノ他職員ノ上京スルアリ尙東京出張所職員ニ於テモ之ニ關聯セル用務處辨上今暫ク東京ニ於テ使用スルノ

必要ヲ認メ一時本品ノ廻送ヲ見合セタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ官行斫伐事業所ハ概ネ自動車ノ運行困難ナル場所ニ在ルノミナラス購入後年餘ニ互ルモ專ラ樺太廳東京出張所ニ於テ使用シツツアルノ實況ニシテ官行斫伐事業所監督用務處辨上購入シタルモノトハ認メ難シ依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

本件ハ官行斫伐事業所監督用トシテ購入シタル自動車ヲ東京出張所ニ於テ使用シツツアルハ豫算ノ目的外ニ屬シ會計法ニ違背シタルモノナリト謂フニアルモ上京ノ森林作業所職員及東京出張所職員カ官行事業ニ關スル用務處辨ノ便宜上東京ニ於テ一時使用セシ止マリ結局ハ森林作業所へ廻送ノ上監督用務ニ使用スルモノナルニ依リ豫算目的外ノ支出ナリト云フヲ得サルモ尙之カ廻送遲延ニ付テハ將來注意ヲ加フヘシ又官行事業所ハ概ネ自動車運行可能ニシテ困難ナリトハ認メス

【貴決】 措置適當ヲ認ク

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(一九八頁參看)

第三款 特別事業費

第二項 鐵道建設費

七一、八八八、四四〇

【報告】(四七)

樺太廳鐵道事務所ノ支出ニ係ル

ハ豐真線豐原口第二工區中七哩二十一鎖ヨリ九哩二十二鎖ニ至ル間ノ線路變更ニ要シタル工事費七萬貳千四百八拾貳圓九錢ノ内ニシテ五百九拾參圓六拾五錢ハ昭和三年度ニ屬シ外ニ工事材料參萬四圓八拾五錢貳厘ヲ交付セリ抑本區間ハ大正十一年四月ヨリ十三年十一月ニ互リ工費貳拾五萬六千參百五拾參圓餘ヲ以テ建設シタルモノナルモ未タ營業開始ニ至ラサルニ之ヲ拋棄シテ新ニ本件工事ヲ施行スルニ至リタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ豐真線豐原口七哩二十一鎖ヨリ九哩二十二鎖ニ至ル間ニ在ル高陸橋ハ豐真線建設工事促進ノ爲急設シタルモノナルモ該地方ノ如キ山間ノ地ニ於テハ地形、氣象、風向等ヲ知ルヘキ何等ノ記錄ナク常ニ嚴密ナル調査ヲ爲シ居ルモ線路ノ選定ハ頗ル困難ノ事ニ屬シ而モ拓殖上鐵道ノ敷設延長ハ最急ヲ要スルモノナルヲ以テ右高陸橋ヲ急設シ以テ建設工事促進ヲ圖リタルモノナルモ工事ノ進捗ニ伴ヒ高陸橋附近ハ川ヨリ吹上タル強風ノ通路ニ當ルヲ發見シ往年鐵道省線ニ於テ其ノ例ヲ見タル如ク風壓ノ爲列車顛覆ノ事故ノ發生スルコトアルヘキヲ思ヒ線路ヲ變更シ且施工基面ヲ低下セハ其ノ被害ヲ免

ルルト共ニ經費ヲ輕減シ得ルカ故ニ變更ヲ爲シタルモノナリ
ト謂フニ在リ然レトモ縦ヒ拓殖上鐵道ノ敷設延長急ヲ要スルモノアリトスルモ之カ路線ノ選定ニ當リテハ比較線ヲ考査ス
ル等周到ナル調査ヲ爲スヘキハ言ヲ俟タサル所ニシテ若當初ヨリ本件工事ヲ施行シタリトセハ之カ工事費ハ築堤切取等舊
線工事ノ請負單價ニ依リ計算スルモ拾參萬餘圓ト爲リ著シク工費ヲ節減シ得タルニ拘ラス漫然舊線ニ依リ工事ヲ施行シタ
ルカ爲貳拾五萬餘圓ノ工費ヲ要シ而モ竣功後未タ營業開始ニ至ラサルニ基面ヲ低下シ線路ヲ變更シテ本件工事ヲ施行スル
ノ已ムナキニ至リタルカ如キハ當初ノ調査十分ナラサリシニ基因スルモノト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ路線ノ選定其
ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【備明】 豊眞線豊原口一部ノ線路變更ハ當初ノ調査充分ナラス路線ノ選定宜シキヲ得サリシ爲國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリト謂フ
ニ在ルモ變更ノ原因ハ該區間中ノ木造高陸橋ハ永年使用ニ堪ユルモノニアラス或ル時期ニ於テ鐵橋ニ變更スルノ要アリシハ架橋當時ヨリ
之ヲ認メタルモ本島開發上東西ヲ連絡スル豊眞線ノ建設ハ尤モ要急ナリシヲ以テ差當リ經費ノ關係等ニ依リ木橋ヲ架設促進ヲ圖リシモノ
ナリ然ルニ其ノ後工事ノ進捗ニ伴ヒ詳細ナル調査ヲ爲シタル結果高陸橋附近ハ川ヨリ吹上ケル強風ノ進路ニ當リ木橋ニテハ運轉上危險ノ
虞アリ鐵橋ニ變更スルカ若クハ線路ヲ變更シ施行基面ヲ低下セハ其ノ危險ヲ免カルコトヲ確メタルモ線路ヲ變更スルハ鐵橋ニ架換ヲ爲
スヨリ遙ニ經費ヲ輕減シ且ツ運轉上安全ナルモノト認メ變更シタルモノニシテ本件ハ當初ニ於テ豫測シ難キ事情ニ屬シ線路ノ選定ヲ誤リ
タルモノト斷定シ難キハ勿論變更ニ依リ寧ろ將來ノ經費ヲ輕減シタルノミナラス運轉上絕對安全ヲ保持セシ點ニ於テ一舉兩得ノ措置ト謂
ハサルヲ得ス依テ決シテ不當ニアラスト信ス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

陸軍省所管

陸軍造兵廠

歳入

物件ノ拂下ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四八)

一三三、六六三、五〇〇

歳出

不急ノ物件ヲ多量ニ購入シタルモノ一件(四九)

四五六、〇五三、四一〇

歳入

第一款 陸軍造兵廠作業收入 第二項 作業收入

【報告】

(四八) 陸軍造兵廠ノ徵收ニ係ル

一三三、六六三、五〇〇

ハ株式会社澁谷商店外十七人ニ賣却シタル各種「ダイナマイト」四千六百七十一箱ノ代金ナリ右ハ昭和二年九月引渡ニ係ル
本件數量ニ對シテハ各種「ダイナマイト」二箱ニ付當初ノ契約單價ヨリ參圓ヲ減額シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官
吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本年四月ニ於ケル財界未曾有ノ變動ニ伴ヒ爾來商工業ハ著シク不振ト爲リ之カ爲當廠製
爆藥ヲ取扱フ火藥業者ノ被レル打撃尠カラサルヲ以テ此ノ場合契約ノ履行ヲ強フルトキハ益損失ヲ増大シ官製爆藥ノ販路
ヲ阻害シ遂ニハ一部職工ヲ解僱セサルヘカラサルニ至リ勞働問題ニモ影響スル所大ナルノミナラス常備職工ノ員數減少シ
軍需工業動員ニモ關係尠シトセス既ニ下期ニハ價格ヲ相當低下スル意思ヲ有スル今日ナルヲ以テ寧ろ此ノ際契約ヲ改訂シ
相互ノ便ニ供スルヲ適當ト認メタルニ因ルト謂フニ在リ然レトモ本件ハ二年四月ヨリ同年九月ニ至ル間ニ引渡スヘキ品
種、數量及價格等ヲ決定シ拂下ノ契約ヲ爲シタルモノニ係リ當然契約價格ニ依リ引取ノ要求ヲ爲シ得ヘキモノナルニ拘ラ
ズニ部買受人等ノ請願ヲ容レ値引ヲ爲シタルカ如キハ妥當ノ措置ニ非ス尙本件數量ハ契約總量二萬八千二百三十箱中四千
六百七十一箱ニ過キササルヲ以テ縱ヒ契約單價ニ依リ之カ引取ヲ要求スルモ答辯ニ謂フカ如キ事態ヲ惹起スルモノト認ムル
ヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ拂下ニ當リ契約價格ノ値下ヲ爲シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【備明】

本件「ダイナマイト」ハ拂下契約締結後市井價格著ク下降シ且外國品及内地民間製品ノ販賣競争激甚ナリシヲ以テ契約價格ヲ以テ本品ノ引
取ヲ強要センカ買受人ノ蒙ル損害甚大ニシテ遂ニハ爾後ニ於ケル同廠製品ノ販路阻害ノ因ヲナシ延テ製造量ノ減少ヲ來シ同工場職員職工
ノ失業ヲ招來スルノ虞アリ加之「ダイナマイト」ノ製造作業ハ軍用火藥爆藥ノ製造ト密接ナル關係ヲ有シ平時甚幹職員職工ヲ存置シ以テ有

昭和二年度 陸軍造兵廠 (四八)

事ニ備フルヲ緊要トスルヲ以テ慎重調査研究ノ結果大局上買受人全員ニ對シ値引ヲ實施シタルモノニシテ同廠ノ措置當ヲ失スルモノト認
メス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【案決】 注意

歳出

第一款 陸軍造兵廠作業費 第三項 材料藥品費

【報告】 (四九) 陸軍造兵廠火工廠ノ支出ニ係ル

四五六、〇五三^四四一〇

ハ昭和二年六月指名競争ニ依リ三年二月ヲ納期ト爲シ千疋當單價千四百四拾九圓ニテ合同油脂グリセリン株式会社ヨリ購
入シタル「ダイナマイト」用精製「グリセリン」三十一萬四千七百四十四疋ノ代金ナリ右ニ關シ市價低落ノ趨勢アルノ時ニ於
テ一時ニ多量ノ購入ヲ必要トシタル事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

「グリセリン」ノ市價ハ例年四、五月頃底ヲ入レ漸次昂騰スルヲ常トセリ即チ二年ニ於テモ本件「グリセリン」購買當時タ
ル五月頃ハ適當八拾圓ノ低下ヲ見タルモ一面稍硬化ノ兆見エ且大正十五年下期ニ於ケルカ如キ暴騰買付難ヲ慮リ此ノ際
取纏メ購入スルヲ有利ナリト認メタルニ因ル又其ノ數量ハ昭和二年度各種「ダイナマイト」製造豫定七萬箱ニ要スル「グ
リセリン」所要量ヲ四十萬四千五百九十疋及豫備二十萬疋計六十萬四千五百九十疋トシ之ヨリ前年度繰越見込數量二十
二萬五千七百七疋ヲ差引キ購買數量ヲ三十五萬疋ト決定シ内三十萬疋ヲ本件合同油脂會社ヨリ購入シタルモノニシテ多
量ニ非ス

ト謂フニ在リ然レトモ前年度繰越高在庫二十二萬五千七百餘疋工場現在七萬二千六百餘疋計二十九萬八千三百餘疋ヲ有シ
之ニ二年五月三輪某ト購入契約ヲ爲セル五萬疋及粗製「グリセリン」約十九萬疋ヨリノ精製見込量十五萬疋ヲ合スルトキ
ハ四十九萬八千餘疋ト爲リ一箇年ノ「ダイナマイト」製造所要量四十萬四千餘疋ヲ充シ尙餘リアルノ狀況ニシテ「グリセリ
ン」ノ市價ハ前年度下半年ニ於ケル異常ナル暴騰ノ後ヲ承ケ本年度初頭ニ於テハ漸落ノ趨勢ニ在ルノミナラス最近外國品

ノ輸入相當増加セルト共ニ國內ニ於ケル生産能力亦増大セルヲ以テ之カ需給狀況ニ鑑ミ必要ニ應シ適當ニ分割購買ヲ爲シ
價格ノ變動ニ因ル損失ヲ可及的少カラシムルヲ相當トスルニ此等ノ事情ヲ顧慮セス一時ニ多量ノ購入ヲ爲スカ如キハ當ヲ
得タルモノト謂フヲ得ス而シテ爾後市價ハ漸次低落シ二年九月千四百貳拾圓同年十二月千參百四拾餘圓三年三月千九拾餘
圓ト爲リ尙引續キ低落セル狀況ナリ要スルニ本件ハ不急ノ物件ヲ多量ニ購入シ國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナ
リトス

【辨明】 陸軍造兵廠火工廠ニ於ケル昭和二年度繰所要量ハ豫備ヲ合シ六十萬疋ヲ必要トシ之ヨリ前年度繰越在庫數二十二萬五千七百餘疋ヲ差引キ
三十五萬疋ヲ同年度購買數量ト決定シ内三十萬疋ヲ合同油脂グリセリン株式会社ヨリ購入セルモノナリ

而シテ本件購買數量決定ニ當リ工場現在數七萬二千餘疋ハ連續作業ノ實施上常ニ一定量ヲ工場ニ存置スルヲ要シ又粗製「グリセリン」約十
九萬疋ハ多年ノ精製作業ヲ中止シアリシ爲精製ニ關シ尙試驗研究ヲ繼續スルノ要アリシヲ以テ作業實施ノ安全ヲ期スル爲メ是等兩者ヲ
當該年度ノ所要量ニ充當セザリシモノニシテ本件購買數量ハ取テ多量ニ過タルモノニアラス
又之ヲ年度初頭ニ一時ニ購買契約シタルハ既往ノ例ニ徴スルニ本品ノ價格ハ概ネ四五五月頃ヲ以テ最低トナスノミナラス一箇年度分ヲ契約
シ逐次納付セシムルトキハ供給者ニ操業調節ノ便宜ヲ與ヘ有利ナル調辨ヲナシ得ルモノト認メタルニ因ルモノニシテ其ノ措置不當ニ非
ス

【貴決】 措置適當ヲ認メ

【案決】 警告

文部省所管

帝國大學

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五〇)

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(五一)

計二件

二四一、四五五^四二九〇

一九六、一〇六^四八三〇

四三七、五六二^四一一〇

歳出臨時部

昭和二年度 陸軍造兵廠 (四九)

第一款 東京帝國大學 第二項 精神病室新費

【報告】 (五〇) 東京帝國大學ノ支出ニ係ル

二四一、四五五、二九〇

ハ本學醫學部附屬醫院精神病室新費ノ爲ニ要シタル工事費貳拾四萬貳千七百八拾八圓參拾九錢ノ内ニシテ千參百參拾參圓拾錢ハ昭和元年度ニ屬スルモノナリ抑本件工事ハ大正十年度ヨリ十三年度ニ至ル繼續費總額六拾萬圓ヲ以テ新ニ敷地ヲ購入シ本館、病室、看護婦寄宿舍及休養室等八百三十六坪餘ヲ新築シ且電燈、瓦斯、給水及排水等一切ノ附帶設備ヲ爲スヘキ豫定ナルニ之カ實施ノ蹟ヲ觀ルニ豫定ノ繼續期限ヲ伸長シ漸ク本年度ニ於テ本學構内ニ鐵骨鐵筋混凝土三階建延六百坪ヲ築造シタルニ止リ比較的輕症患者ヲ收容シ得ルニ過キサルノ狀況ナルヲ以テ之カ事山ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本來精神病室ハ授業研究治療ノ各點ヨリ觀テ當然本學構内ニ設ケラルヘキモノナリシモ豫算提出ノ當時ハ本學構内ニ各種建物充滿シ一部建物ヲ除去セサレハ全ク之ヲ容ルルノ餘地ナク依テ構外ニ之ヲ建築スルコトトセルモ大震災後ノ復舊計畫ニ於テ大學敷地ヲ大ニ擴張スルノ要アルヲ以テ此ノ際本學構内設備ノ一部ヲ曩ニ本病室敷地トシテ購入シタル土地ニ移替ヘ本病室ヲ附屬醫院ノ他病室ニ接近シ之ヲ新築シタルモノニシテ又其ノ實施建築面積ハ豫定坪數ニ比シ減少セシト雖本病室ヲ他ノ病室ニ接近シテ建築シタルニ因リ事務室、藥局、診察室、賄所等ノ附屬設備ニ屬スル面積ニ對シ相當ノ節約ヲ爲スコトヲ得テ面積ノ減少ニ因ル不便大ナラサルヲ以テ比較的輕症患者ヲ收容スル程度ニ於テ之ヲ忍フコトト爲シタリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件新費豫算額ハ四拾參萬貳千餘圓ヲ以テ總延坪八百三十餘坪ヲ建築スヘキモノナルニ拘ラス大正十五年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク敷地買收費ニ於テ不足ヲ生シ建築費ヨリ拾八萬九千餘圓ヲ流用シタルカ爲之カ殘額豫算貳拾四萬貳千餘圓ヲ以テ所定ノ建築ヲ爲スコト能ハサリシニ依リ豫定ノ本館、看護婦寄宿舍及休養室等ヲ廢シ別途一般會計震災復舊諸費ノ豫算ヲ以テ改築中ニ係ル醫學部附屬醫院ノ總合的改築建物ノ一部トシテ前掲ノ如キ輕症患者ノミヲ

收容シ得ルニ過キサルノ施設ヲ爲スノ已ムナキニ至ラシメタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ豫定ノ計畫ニ比シ著シク其ノ規模構築ヲ異ニセル建築ヲ爲シタルモノニ係リ豫算上所期ノ目的ヲ達セサルモノニシテ不當ナリトス (大正十五年度(五八)八四頁參看)

【辨明】 本項精神病室ノ敷地ハ授業並研究上本學ヨリ近距離ニシテ交通至便ナルヲ要シ此ノ要件ニ恰當ノ土地ヲ物色シタルニ當時西巢鴨町ニ於ケル現在ノ敷地以外ニ適當ナル土地存在セス然モ地價昂騰ノ際ニテ豫定ノ土地購入費ヲ以テハ不足ヲ告ケタルヲ以テ建築費ヨリ流用シ以テ之カ購入ヲ爲シタルモノナリ而シテ右病室建築ニ關シ計畫中偶々大震災ニ遭遇シタル爲本大學ノ復舊計畫ヲ樹ツルニ當リ建築物ハ總テ立體的ニ建設スルコトトナリタル結果大學敷地ニ餘裕ヲ生シタルヲ以テ同病室ハ之ヲ本構内ニ收ムルヲ最適當ト認メ中途目的地ヲ變更シ他ノ病室ニ接近シテ建築スルニ至リタルニ依リ之ヲ別個ニ建設スルニ比シ事務室其ノ他附屬ノ諸施設ニ要スル相當面積ヲ節約シ得ルヲ以テ本大學附屬醫院ノ復舊計畫ト相俟ツテ實施シタルモノニシテ精神病室トシテハ所期ノ目的ヲ達成シタルモノナリ故ニ會計檢査院ノ謂フカ如ク不當ノ建築ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 注意

第九項 醫院看護婦寄宿舍新費

【報告】 (五一) 東京帝國大學ノ支出ニ係ル

一九六、一〇六、八三〇

ハ醫院看護婦寄宿舍建築工事費貳拾七萬九千九百拾壹圓八拾錢ノ内ニシテ八萬參千八百四圓九拾七錢ハ大正十五年度ニ屬スルモノナリ右ハ前年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク其ノ構造、室割及周圍ノ狀況等ニ徴シ看護婦寄宿舍トシテ建築セシモノニ非スシテ醫院病室ノ擴張ヲ爲シタルモノト認メラル之ニ對シ當局者ハ看護婦寄宿舍ハ其ノ利用方法他ノ寄宿舍ト其ノ趣ヲ異ニシ特殊ノ設備ヲ要スルト共ニ病院ト一體ヲ爲セル關係上變時ニ際シ病室ニモ兼用シ得ル様施設シ置クヲ以テ極メテ適切ナル措置ナリトノ見地ヨリ多少病室ニ共通ナル施設ヲ加味シタルモ看護婦ノ收容ヲ目途トシ之ニ適合セル施設ヲ爲シタルモノナリト辯明スト雖之カ構造並附帶設備ノ狀況ハ本件建物ト一體ヲ爲セル物理療法病室及研究室ト之ヲ同ウシ看護婦寄宿舍トシテノ適切ナル施設ナキノ實況ニ照シ寧ロ完全ナル設備ヲ有スル病室ヲ建築シタルモノニ係リ當局ノ辯明スル

カ如ク單ニ變時ニ際シ病室ニ利用シ得ル程度ニ於テ寄宿舎ヲ建築シタルモノト認メ難シ依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス 〔大正十五年(五九)八五頁參看〕

看護婦寄宿舎ハ其ノ利用方法他ノ寄宿舎ト趣ヲ異ニスルヲ以テ特殊ノ設備ヲ要スルト共ニ病院ト一體ヲ爲セル關係上變時ニ際シ病室ニモ兼用シ得ラルル様施設シ置クコトハ現今ノ看護婦寄宿舎トシテ極メテ適切ナル措置ナリト思料ス即チ本件寄宿舎ハ上記ノ見地ヨリシテ多少病室ニ共通ナル施設ヲ加味シタリト雖看護婦ノ收容ヲ目途トシ之ニ適合スル様施設シタルコトハ前年度ニ於テ辯明セル通ニシテ現ニ看護婦及雜使婦ヲ併セ七百二十四人ヲ收容シ居レリ決シテ會計検査院ノ看ルカ如ク寄宿舎建設費ヲ以テ醫院病室ノ擴張ヲ爲シタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 注意

(參照) ○會計法第十四條第二項(一九八頁參看)

農林省所管

米穀需給調節

歳出

過度ノ工事ヲ施行シタルモノ一件(五二)

六八四、五八七〇〇〇

第一款 米穀需給調節費 第五項 警備費

【報告】 (五二) 農林省農務局ノ支出ニ係ル

六八四、五八七〇〇〇

ハ同局門司米穀事務所所屬第一號乃至第五號倉庫建築費總額八拾五萬五千八百參拾四圓ノ内ニシテ拾七萬千貳百四拾七圓ハ前年度ニ屬スルモノナリ右ハ 大正十五年(五九)八五頁參看 昭和元年度検査報告ニ詳悉セシ如ク東京其ノ他ニ於ケル所屬倉庫合計二十九棟ハ孰モ鐵筋混凝土造ト爲シ坪當工費參百五拾圓内外ナルニ獨リ本件倉庫ハ一室桁行十四間梁間十二間ヲ無柱ト爲シ強大ナル鐵骨ヲ使用シ坪當五百九圓餘ノ工費ヲ投シタルモノニシテ畢竟工事施行ニ當リ偶用地ノ寄附ヲ受ケタルモノアリシト附屬設備中施工ノ要ナキモノアリシ等ニ因リ豫算ニ剩餘ヲ生シタル爲之ヲ移用シ過度ノ設備ヲ爲スニ至レルモノト認メサルヲ得ス要スルニ

【報告】 本件ハ必要ノ程度ヲ超エタル工事ヲ施行シ豫算ノ使用共ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス 〔大正十五年(五九)八七頁參看〕

【貴決】 措置適當ヲ認ク

通信省所管

【衆決】 不當

簡易生命保険

歳出

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五三)

一〇、七八〇〇〇〇

第一款 簡易生命保険費 第二項 事業費

【報告】 (五三) 名古屋逓信局ノ支出ニ係ル

一〇、七八〇〇〇〇

ハ昭和三年一月及三月株式会社岡本自轉車自動車製作所ヨリ單價七拾圓ヲ以テ購入シタル自轉車「ノリツ」號三百五十四輛ノ内百五十四輛ノ代價ニシテ二百輛此ノ價格壹萬四千圓ハ一般會計ニ屬スルモノナリ右ハ一般會計逓信省所管歳出經常部第二款逓信費第二項逓信事業費ニ於テ詳悉セシ如ク物件ノ購買ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス高價ニ失シ國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス 〔二〇五頁(二〇)參看〕

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 注意

鐵道省所管

帝國鐵道

歳入

物件使用料ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六〇)

三三三、八九五八六〇

昭和二年度 簡易生命保険 (五三)

歳出

未竣功工事ニ對シ經費ノ全額ヲ支出シ且年度區分ヲ紊リタルモノ一件(五四)

六〇、三四八〇〇

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(五八)(五九)

七、七四四、一八三三〇五

其ノ他不當ナルモノ四件(五五)(五六)(五七)(六一)

六二、二〇一〇八九

計七件

七、八六六、七三三三九四

資本勘定

歳出

第一款 鐵道建設及改良費

第二項 改良費

(五四) 鐵道省ノ支出ニ係ル

六〇、三四八〇〇

ハ沼津機關庫給炭槽設備工事、大宮工場木材乾燥裝置設備工事及大崎驛砂利槽設備工事ニ要シタル費額ナリ右ハ孰モ年度内竣功セルモノトシテ證明シタルモノナルモ其ノ實昭和三年五月六日乃至十八日ノ間ニ竣功シタルモノナルニ竣功前請負代金ノ全額ヲ支拂ヒタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ本件各工事ニ於ケル三月三十日ノ狀態ハ機械並据附材料ノ全部ヲ現場ニ持込ミ且組立据附モ亦大部分進捗シ最早僅少部分ノ作業ヲ殘存スルノミニシテ之カ工事ノ竣功引渡ニ付テハ何等ノ支障ヲ來スノ虞ナキモノト認メ二年度ノ決算ト爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ縱ヒ答辯ニ謂フカ如キ事情アリトスルモ工事ノ竣功前請負代金ノ全額ヲ支拂フカ如キハ失當ノ措置タルノミナラス右工事ハ孰モ三年四月中ニ竣功スヘキ契約ニシテ年度内竣功ニ至ラザリシモノナルヲ以テ之カ經費ハ本年度ノ所屬ト爲スヘキモノニ非ス要スルニ本件ハ年度内竣功セサル工事ニ對シ竣功前之カ經費ノ全額ヲ支出シ且年度區分ヲ紊リタルモノニシテ不當ナリトス

【報告】

本件各工事ハ請負契約上昭和三年四月五日乃至同十五日ノ竣功期限ナリシニ三月三十日ノ出來高ハ孰モ九割四分ニ達シ極メテ僅少部分ヲ餘スニ過キザリシヲ以テ之カ竣功引渡ニ付テハ毫モ不安ノ虞ナキモノト認メ取扱者ニ於テ二年度所屬トシテ其ノ工事費全額ヲ支拂フ爲シ

タルモノナルモ右ハ甚タ遺憾ノ次第ニ付將來十分注意スヘシ

【貴決】 措置適當ヲ關ク

【衆決】 不當

【報告】

(五五) 鐵道省ノ支出ニ係ル

一三、四六〇、五五〇

ハ熱海驛職員集會所新設其ノ他請負工事費並設備費ニシテ外ニ豫算壹萬圓ヲ以テ温泉浴場ノ施設ヲ計畫シ之カ工事中ニ屬セリ右ハ職員事務處理上必要ノ施設ト認メラレサルノミナラス昭和三年七月會計實地検査ノ結果ニ依レハ其ノ内部ノ施設殆ト療養所ト同様ノモノアルヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ熱海集會所ハ東京鐵道局管内職員集會所用トシテ設置シタルモノニシテ之カ内容ハ一般集會所ト格別異ル所ナキモ唯地理的關係ヲ顧慮シ幾分宿泊ニ利用シ得ラルル様設備シタルニ止リ隨テ療養所ト同様ノ施設ヲ爲シタルモノニ非スト謂フニ在リ然レトモ東京鐵道局管内職員集會所トシテ既設ニ係ルモノ新橋、上野兩運輸事務所管内各五箇所宇都宮、千葉兩運輸事務所管内各三箇所水戸運輸事務所管内四箇所大井、大宮兩工場各一箇所合計二十二箇所ノ多キニ及ヘルヲ以テ更ニ集會所トシテ熱海町ニ之カ設備ヲ爲スノ要アルモノト認ムルヲ得ス加之本件施設ニ關シテハ其ノ工事中他局ニ於ケル療養所ニ準シ慰安患者ヲ收容シ現業員其ノ他一般職員ノ保健上ノ一施設トシテ利用スルコトニ決議シタルモノナルモ療養所ノ設置ニ關シテハ靜岡縣伊東町ニ新設ノ計畫ヲ立テ大正十年度ニ於テ貳拾萬六千貳百餘圓ヲ以テ用地五千二百八十餘坪ヲ買收シアルノ狀況ナルヲ以テ更ニ近接地タル熱海町ニ本件施設ヲ爲シタルハ措置其ノ宜シキヲ得タルモノト謂フヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本件職員集會所ハ熱海線開通ニ伴ヒ管内職員ノ會議及事務打合せ等ノ爲之ヲ設置シタルモノナルモ唯地理的關係ヲ顧慮シ便宜宿泊ニ利用シ得ラルル様設備シタルニ止マリ他ノ療養所ノ如ク診察手術及藥劑等ニ使用スル各室ヲ有セス從テ將來靜岡縣伊東町ニ新設スヘキ療養所トハ全然其ノ趣旨ヲ異ニシ現ニ昭和三年四月開所以來各月トモ二十數回ニ互リ諸種ノ會合ニ使用シ居レル事實ニ徴スルモ保健及慰安上ノ目的ニ供セサルコト明ナリ依テ本件ハ何等不當ノ施設ニ非ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

【報告】

(五六) 鐵道省ノ支出ニ係ル

七、八四五〇〇〇

ハ東京電燈株式會社ニ支拂ヒタル新小岩工場建設地ヲ横斷スル特別高壓線路ニ屬スル鐵塔五基分ノ敷地買収及其ノ地上物件移轉補償費壹萬五千圓ノ内工場建設地外ニ存スル鐵塔二基分ニ相當スル金額ナリ右ハ買収及補償ヲ爲スノ要ナキモノト認メ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

當初會社ニ對シ新小岩工場建設ノ爲支障ト爲ルヘキ敷地内横斷電線路ノ障除却方ヲ要求シタルニ會社ハ其ノ移轉工事實トシテ約七萬圓ノ補償金交付方ヲ申出テ當省ニ於テハ電氣事業法ヲ援用シテ再三其ノ移轉ヲ主張シタルモ會社ハ前記ノ如キ巨額ノ經費ヲ要シ之カ負擔ニ堪ヘサル趣ヲ以テ容易ニ承諾セス而モ當省工事ノ施行ハ最急ヲ要シ萬一不幸ニシテ協議不調ニ終ルトキハ土地收用法ヲ適用スルノ外ナク然ルニ會社ハ公益事業ヲ經營スルモノナルニ因リ之カ解決ニ就キテハ多大ノ日子ヲ要シ其ノ間當省工事ノ施行ヲ中止セサルヘカラサルニ至リ其ノ利益甚大ナルヲ以テ數次交渉ノ結果漸ク會社ハ自己ノ負擔ヲ以テ架空電線ノ移轉ヲ爲シ當省ハ用地内ノ三基分及新電線路建設ノ爲不用ト爲ルヘキ用地外ニ基分ノ鐵塔敷地ヲ買収シ併セテ之カ殘存地上物件ノ移轉補償ヲ爲スコトトセハ大體解決シ得ラルヘキ傾向ヲ呈シタリ依テ用地外ニ基分ノ不用地ハ將來賣拂フコトトシ以テ工事ノ進捗ニ支障ナカラシムルヲ最得策ト認メタルニ因ル

ト謂フニ在リ然レトモ本件支障電線路ハ電氣事業法ニ依リ當然事業者タル會社ヲシテ其ノ負擔ニ於テ移轉セシメ得ヘキモノナルヲ以テ省トシテハ單ニ工場建設地域内ノ會社所有ニ係ル移轉鐵塔ノ敷地ヲ買収シ併セテ其ノ地上物件ノ移轉補償ヲ爲スヲ以テ足ルモノナルニ會社ニ於テ右移轉所要經費比較的多額ナルヲ以テ容易ニ承諾セサルヲ事由トシ工場建設地域外ニ互リ全然不要ナル土地ヲ買収スルノミナラス其ノ地上物件ノ移轉補償ヲモ爲スカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス尙當局者ハ工事急施ノ關係上支障電線路ノ除却ハ最急ヲ要スト爲スモ省ニ於テ本件建設用地ノ買収ニ著手セシハ大正十四年三月ナルニ會社ニ對シ支障電線路ノ除却ヲ要求シタルハ漸ク同年七月ナルノミナラス其ノ後一年數箇月ヲ經過シ十五年十

一月移轉協議調ヒタリト雖之カ除却ノ期限ヲ限定セサリシ等ニ因リ昭和三年三月ニ至ル迄會社ハ支障鐵塔ノ撤去ヲ了セザリシ狀況ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

當省新小岩工場建設地域内ノ東京電燈株式會社特別高壓電線路ハ電氣事業法第十一條ニ依リ移轉セシメタル結果同地域外ニ存在シテ不用ニ歸スヘキ鐵塔二基分ノ敷地買収及其ノ地上物件ノ移轉補償ハ之ヲ爲スノ要ナカリシカ如キモ會社ハ該電線路移轉ニ關シ約七萬圓ノ巨費ヲ要スヘク且其ノ負擔方ハ同法第十五條及第十六條ニ基キ兩者間協議ニ依リ之カ解決ヲ爲スヘキ旨ヲ主張シテ讓ラサリシ爲若之ヲ拒否セムカ當省工事ノ施行上ニ多大ノ不利ヲ招來スルノミナラス其ノ不用ト爲レルハ他ノ地域内ノ三基分ト等シク當省施行ノ工事ニ基因スルモノナルニ依リ旁之ヲ買収及補償シテ其ノ工事ノ進捗ヲ圖ルノ得策ナルヲ認メタリ然ルニ之カ解決ニ方リテハ前記ノ如ク協議頗ル困難ナリシヲ以テ勝カラサル日數ヲ要シタルト會社ニ於テモ其ノ協議後新電線路ノ鐵塔敷地買収及工事施行期間ニ相當ノ時日ヲ要シ而モ工事完成後地元關係者ハ會社ニ對シ新電線路ノ線下補償ヲ要求シタルニ會社ハ之ニ應セザリシ爲其ノ線下ノ一部ニ家屋ヲ建設シ以テ切換送電ヲ全然不能ナラシメタル等ノ事實アリタル結果右地域内ニ於ケル支障鐵塔ノ除却方ニ關シテ屬當省ヨリ督促シタルモ遂ニ之カ撤去ニ遲延ヲ來シタル次第ニシテ右ハ會社對個人關係ナルニ依リ當省之ニ關與スルコト能ハサリシモノナリ要スルニ本件ハ工事施行上最善ノ措置ヲ採リタルモノニシテ何等不當ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

(參照) ○電氣事業法(明治四十四年三月三十日法律第五十五號)

第十一條 電線路ヲ施設シタル土地ノ近接地又ハ前條ニ依リ電線路ヲ施設シタル土地ノ所有者又ハ占有者ハ土地ノ使用方法ヲ變更スル爲必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ電氣事業者ニ對シ障害ノ豫防又ハ除却ニ必要ナル方法ヲ施スコトヲ請求スルコトヲ得

前項ノ工事ニ要スル費用ハ電氣事業者ノ負擔トス但シ其ノ工事ヲ爲シタル後正當ノ事由ナクシテ豫定ノ變更ヲ爲ササルトキハ請求者ノ負擔トス

第十五條 電氣工作物相互間及電氣工作物ト其ノ他ノ工作物トノ間ニ於ケル障害ヲ防止スル爲必要ナル施設ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 前三條ニ依ル工事ニ關スル費用ノ負擔其ノ他ノ條件ハ命令ヲ以テ定ムルモノノ外當事者間ノ協議ニ依リ協議調ハサ

ルトキハ主務大臣之ヲ裁定ス

○土地收用法(明治三十三年三月七日法律第二十九號)

第二十二條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲メ土地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スヘシ前項ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ起業者ハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

【報告】 (五七) 鐵道省ノ支出ニ係ル

四、一八五〇〇〇

ハ大正十五年七月函館市今井某ニ請負ハシメタル青森驛第二渡船場岸壁新設其ノ他工事費四拾四萬九千圓ニ對シ寒中混凝土作業ニ要スル防凍費トシテ増額ヲ爲シタル五千六百六拾八圓四拾七錢ノ内ニシテ九百八拾參圓四拾七錢ハ昭和三年度ニ屬スルモノナリ右ハ増額ノ理由ナキモノト認メ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

本工事計畫當時請負人ニ貸與スヘキ鐵矢板及杭打機等ハ内地ニ於テ相當使用セラレツツアリシヲ以テ市場ニ在庫品アルモノト豫想シ大正十五年八月上旬ヨリ工事ニ著手シ得ル見込ナリシニ購入實施ニ當リ在庫品ナク爲ニ外國註文ノ餘儀ナキニ至リタル結果其ノ貸與ハ工事著手後百餘日ノ遅延ヲ來シ此ノ儘竣功期日ヲ延伸セシムルニ於テハ省ノ不利尠カラサルヲ以テ已ムナク冬期間混凝土工ヲ施行セシムルコトトセリ而シテ酷寒地方ニ於ケル冬期間施工ノ混凝土工ハ甚ク不利得策ナルヲ以テ從來此ノ期間中ハ其ノ施行ヲ休止スルコトトシ見積豫算ニ之カ特別經費ヲ計算セサルヲ例トシ殊ニ本件工事ハ酷寒地ノ風浪激シキ海岸ニ於テ施行スルモノナルニ依リ混凝土工ハ冬期間施工セサル見込ヲ以テ豫算ヲ作成シタルモノニシテ隨テ防凍ニ關スル經費ハ當初ノ契約金額ニ全ク包含セサルモノナルニ付設計變更ニ因リ之ヲ増額支給シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件工事ニ對スル當初ノ工程表ヲ觀ルモ岸壁根掘及混凝土ハ著手後四百三十日間連續施行スルノ計畫ナルヲ以テ冬期間混凝土ノ施工ヲ中止スルノ豫定ナリシモノトハ認メ難ク隨テ之カ爲ニ要スル防凍費ハ當然請負金額ニ包含スルモノト謂ハサルヲ得ス而シテ貸與品ノ配給遅延等ノ爲當初十五年九月二十日著手昭和三年二月一日竣功ノ豫定ナ

リシ所同年八月中旬迄竣功遅延ヲ來シ二冬ヲ經過スルニ至リタリト雖實際混凝土工ヲ施行セシハ二年五月以降ニ屬シ當初契約ノ際豫期セシ以上ニ寒中混凝土作業期間ノ延伸ヲ來セシモノニ非ルヲ以テ防凍費増額ノ理由ナキニ拘ラス之カ値増ニ付當然請負人ニ於テ施工スヘキ材料上家ノ設備費、除雪費及電燈燃料等ニ對シ名ヲ設計變更ニ藉リ請負金額ノ増額ヲ爲シタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス尙當局者ハ竣功期日ヲ延伸スルハ省ノ不利尠カラサルヲ事由トシ本件防凍費ヲ支出シタリト謂フト雖事實ハ工事施行上連絡ヲ缺キタル等ノ爲屢期限ヲ延伸シ三年八月漸ク竣功シタルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ名ヲ設計變更ニ藉リ故ナク請負金額ノ増額ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件青森驛第二渡船場岸壁新設其他工事ニ對スル竣功期間ハ之ヲ五百日トシ其ノ工程表ニ於テ根掘及混凝土工ヲ著手後四百三十日ト見積リタルハ同工ニ對スル施行期間ヲ表示シタルモノニ過キサルヲ以テ必スシモ連續施行ヲ條件トシタルモノニ非ス之通常降雨雪其ノ他ニ依リ其ノ期間中實際施工スルコト能ハサル場合ノ日數ヲ包含スルト何等異ル所ナシ而シテ此ノ地方ニ於ケル混凝土工ハ從來ヨリ酷寒期ヲ避クルノ慣例アルハ毫モ疑ナク殊ニ本件工事ハ酷寒ニ際シ風浪激シキ海岸ノ水中ニ於テ施行スルモノナルヲ以テ一般ノ例ニ依リ豫算中防凍ニ關スル特別經費ヲ見積ラサリシノミナラス同地方ニ於ケル請負人モ亦此ノ慣例ノ存在ヲ熟知シテ契約シタルモノナルコトハ明ナル事實ナルニ依リ當省ノ都合上冬期間之等ノ工事ヲ續行セシムルニ於テハ相當ノ防凍費ヲ増額スルハ當然ニシテ何等失當ノ措置ト認メス尙竣功期限ノ延伸ハ本工事ニ對スル貸與品中ノ鐵矢板及杭打機カ偶内地市場ニ現存セス之ヲ外國ニ註文シタル爲其ノ間豫定ノ工程ヲ進捗スルコトヲ得サリシト且別途施行ニ係ル青森驛配線變更工事ノ線路撤去遅延ニ基因スルモノニシテ右ハ執モ當初ヨリ之ヲ豫想スルコト能ハサリシモノナリ依テ本件工事費ノ増額ハ毫モ不當ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

用品勘定

歳出

第一款 鐵道用品及工作費 第一項 用品及工作費

【報告】 (五八) 鐵道省ノ支出ニ係ル

七、三八〇、五三三、三〇五

ハ三井物産及三菱鐵業兩株式会社ヨリ購入シタル夕張、空知及美唄各炭合計四十五萬二千四百十九噸ノ代價ナリ右ハ鹽釜

昭和二年度 帝國鐵道 (五八)

外八箇所ヲ納地トスルモノニシテ其ノ單價ハ坑所渡單價ニ運賃諸掛ヲ通算シタル價格ニ比シ高價ニ當ルヲ以テ之カ事由ヲ當局者ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

場所納及坑所納ノ單價ノ差ハ大體運賃諸掛ト認ムルヲ得ルモ競争及納人ノ都合等ニ因リ例外ナキニ非ス而シテ之ヲ推定スルニ汽車賃、積込賃、本船賃、陸揚賃及歩減其ノ他ヲ併セ切込炭ニ在リテハ鹽釜納夕張七圓五拾五錢美唄七圓參拾貳錢五厘空知七圓七拾錢船川納夕張七圓貳拾五錢美唄七圓貳錢五厘空知七圓四拾錢酒田納夕張八圓五錢美唄七圓八拾貳錢五厘空知八圓貳拾錢新潟納夕張七圓參拾五錢美唄七圓拾貳錢五厘空知七圓五拾錢直江津納夕張七圓貳拾五錢美唄七圓貳錢五厘空知七圓四拾錢橫濱名古屋及中伏木納ハ孰モ夕張六圓九拾錢ヲ適當ト認メタリ

ト謂フニ在リ然レトモ場所納單價ト坑所納單價トノ差額ハ競争等ノ關係上時ニ運賃諸掛ト一致セサル場合アリトスルモノ本件ノ如ク年度初頭ニ於テ坑所納炭ト同時ニ契約スルモノニ在リテハ其ノ差額ハ多クモ運賃諸掛ヲ超ユヘキモノニ非ス而シテ答辯ニ示セル運賃諸掛推定ノ内譯ヲ見ルニ積取港ニ於ケル各炭積込料ヲ噸當八拾錢ト爲シ居ルモ鐵道省ノ調査資料ニ依レハ北海炭輸出港タル室蘭ニハ炭積橋アリテ其ノ積込費直通約貳拾九錢押出約七拾六錢ニ對シ兩者ノ取扱歩率直通六割二分押出三割八分ナルヲ以テ約四拾六錢ト爲リ省用炭ノ有賃輸送ニ對シテハ更ニ積橋料ノ半減ヲ爲シ居ルヲ以テ約參拾九錢ト爲ルニ過キス又小樽ニ於テモ其ノ狀況大差ナキヲ以テ兩者平均四拾貳、參錢ヲ出テサルモノナルニ之ヲ八拾錢ト爲シタルカ如キハ高キニ失シタルモノト謂ハサルヲ得ス又北海道内汽車運賃ヲ見ルニ美唄、空知兩炭ハ其ノ半額ツツ室蘭及小樽ヲ經由スルモノト爲シ兩港迄ノ運賃ヲ平均シテ噸當運賃ト計算シ居ルモ同炭田ハ其ノ位置室蘭ニ速ク小樽經由ノモノニ比シ噸當運賃ニ於テ七拾錢乃至八拾五錢ノ差アル外運輸ノ便宜上ヨリ觀ルモ半額ツツ兩港ヲ經由スルモノト爲スハ事實ニ副ハサルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ價格ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【備明】 石炭ノ購入ニ方リテハ前年度ノ單價ヲ基礎トシ之ニ當該年度ニ於ケル採炭費其ノ他ノ諸掛及一般經濟界ノ狀勢ヲ觀察シテ之カ契約ヲ締結ス

スルモノニシテ其ノ坑所納場所納トノ單價ノ差額ハ需給關係ニ依リ必スシモ運賃諸掛ト一致スヘキモノニ非サルモ大體之カ内譯中ノ炭積費用ヲ推算スレハ室蘭ニ在リテハ山元ヨリ棧橋ニ直通スルモノ貳拾九錢一旦貯炭場ニ取卸ノ上押上タルモノ六拾錢又貯炭場ヨリ野ニテ陸下ケノ上汽船積ノモノ九拾錢ナルヲ以テ之等ヲ各數量ノ割合ヲ以テ平均スレハ約五拾錢貳厘ト爲リ之ニ貯炭場ノ地代拾錢及店費拾五錢ヲ加算スルトキハ七拾五錢貳厘ト爲ルノ計算ナリ而シテ三井及三菱ノ兩會社ニ於テハ以上ノ費用ニ對シ七拾七錢乃至壹圓ヲ要ストノ申出テナルヲ以テ之等ヲ酌量ノ上八拾錢ト推定シタルモノナリ然ルニ會計検査院ハ省用炭ノ有賃輸送ニ對シテハ棧橋料ノ半減ヲ爲シ居レリト謂フニ在ルモノ本件ハ場所納ナルニ依リ未ダ省用炭ニ非スシテ他ノ營業炭ト何等異ル所ナキヲ以テ之カ貨率ハ半減シタルノ事實ナシ又美唄空知兩炭ニ對スル積出港迄ノ汽車賃算定ニ際シ室蘭小樽兩港ニ半數ツツ輸送セラルルモノトセルハ元來北海道炭ノ相場ハ積出港タル室蘭及小樽ノ船乘賃段ニテ決定スルモノニシテ右ハ汽車賃其ノ他ニ多少ノ差異アルニ拘ラス兩地ノ船乘價格ハ同一ナルヲ以テ之ヲ平分算出スルモ些シタル影響ナキモノト認メタル次第ナリ尙當省購入炭ト同種ニシテ其ノ納地モ隣接シ且各年相當多量ノ購入ヲ爲シツツアル民間ノ賣買價格ニ對比スルモノ亦之カ單價ノ高價ナラサルハ明ナル事實ナリ依テ本件購入價格ノ算定ハ何等不當ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

【報告】 (五九) 鐵道省ノ支出ニ係ル

三六三、六五〇〇〇

ハ昭和二年十二月三菱電機、富士電機兩株式會社ヨリ購入シタル外國製電氣機關車三輛ノ代價ナリ右ハ三年度増備ノモノヲ繰上ケ購入シタルノミナラス旅客専用ニ改造ヲ要スルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當局者ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件購入要求ハ三年度ノ増備計畫ナルモ電氣機關車ノ竣工ハ約一箇年ヲ要スルヲ普通トスルニ依リ購入要求ハ此等ヲ考慮シ納期ヲ三年四月以降四年三月末ト指定シタルモノナルモ當時富士電機株式會社ノ買上出願ニ基キ調査中ナリシヲ以テ其ノ車輛カ適當ナルニ於テハ最迅速ニ調達スルコトヲ得ヘキニ因リ本要求ノ仕様書ニ適合スルヤ否ニ付調査ヲ遂ケタルニ一部分ヲ改造スルニ於テハ使用上差支ナキコト判明シタルヲ以テ改造ヲ加ヘ速ニ使用シ得ルニ至ラシムルヲ得策ト認メタリト謂フニ在リ然レトモ本件ハ兩會社ノ請願ヲ容レ其ノ貯藏ニ係ルモノヲ購入シタルモノニシテ當時實際購入ヲ必要トシタルモノト認メ難ク三年九月之カ實地検査ノ際内一輛ハ大宮工場ニ二輛ハ品川機關庫田町分庫ニ保管シタル儘未タ改造ニ著

手セサルノ狀況ナルノミナラス本件購入品ハ六十噸級ニシテ近時製作スル百噸級ニ比シ所要電力ニ於テ損失ヲ免レサルモノナリ要スルニ本件ハ不急ノ物件ヲ購入シ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【備考】 本件電氣機關車三輛ハ昭和三年度ノ増備計畫ニ屬スルモ當時偶三菱電機及富士電機兩株式會社ニ於テ外國製電氣機關車ヲ保有シ富士電機株式會社ヨリ其ノ買上方ノ願出テアリタルヲ以テ慎重ナル調査ト嚴密ナル實地試運轉ヲ爲シタルニ當省所要ノ旅客用トシテハ其ノ一部ノ改造ニ依リ使用上何等支障ナキコトヲ確メタルヲ以テ會社ノ申出價格ニ對シ改造費見込額以上ノ多額ナル値引ヲ爲サシメタル上之カ購入ヲ爲シタルモノナリ而シテ其ノ改造ニ方リテハ圖面ノ作製及所要材料中特殊品ノ蒐集等ニ相當ノ時日ヲ要スルハ當然ナルモ目下孰レモ工事中ニシテ三年度内ニハ全部完成ノ見込ナルヲ以テ使用上別段遲延セシメタル事實ナク從テ特ニ不急ノ物件ヲ購入シタルモノト謂フゴトヲ得ス尙會計検査院ハ本件購入品ハ六十噸級ニシテ近時製作スル百噸級ニ比シ所要電力ニ於テ損失ヲ免レサルモノナリト謂フニ在ルモ省全般ニ互リ百噸級ヲ必要トスルモノニ非ス故ニ事實六十噸級ニテ支障ナキ列車ニ對シ百噸級ノ機關車ヲ運轉スルコトトセハ所要電力ノ消費量却テ尠カラサルノミナラス之カ車體ノ價格モ亦高價ナルヲ以テ經濟上不利益ナルヲ免レサルモノトス依テ本件ハ物品ノ購入上何等不當ノ支出ヲ爲シタルモノニ非ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

收益勘定

歳入

第一款 鐵道作業收入 第一項 運轉收入

【報告】 (六〇) 鐵道省ノ收入ニ係ル

三三、八九五、八六〇

ハ戸畑驛構内ニ設置セル炭積機三基ノ使用料金ナリ右ノ内二基ハ國有前ノ建設ニ係リ一基ハ明治四十五年若松築港株式會社ニ建設セシメ大正三年買収シタルモノニシテ原價合計五拾萬餘圓ニ上リ各機共積載機能一回十噸ナル爲十五噸積炭車ニ適應シタル機能ヲ發揮セシムル要アリトシ在來ノ蒸氣動力ヲ電力ニ改變スルト共二十噸「バケツト」ヲ十五噸ニ改造シ能力ノ増進ヲ圖リ九年度改變ニ著手シ 大正十五年年度竣功セシモノニシテ此ノ決算額四拾貳萬七千餘圓ニ上レリ而シテ之カ運轉

ニ要スル諸費ハ昭和二年度ニ於テ九萬七千七百貳拾壹圓餘ニ達シ取扱石炭一噸ニ付四錢四厘ニ當リ今回ノ電化工費ヲ除ク原價五拾萬餘圓ニ對スル償却金並利子ヲ加算スルトキハ一噸ニ付六錢壹厘餘ト爲ルノ計算ナルニ本件使用料金ハ僅僅貳錢ニシテ諸費ヲ償フニ足ラサルノミナラス和船ニ對シテハ總テ無料トシテ使用セシメアリ右ノ外若松驛ニ於ケル二基ハ國有前ノ設置ニ係リ原價拾六萬千餘圓ニシテ電化費五萬參千餘圓ヲ要シタルモノナルニ三井鑛山株式會社外二會社ニ専用セシメ居ルノミナラス是亦無料ト爲シアルヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

戸畑驛所在ノ炭積機三基ノ内二基ハ國有前ヨリ無料使用セシメ居リタルヲ以テ其ノ後ニ於テモ之ヲ踏襲セルモノニシテ他ノ一基ハ明治四十五年若松築港株式會社ニ建設セシメ將來當省ニ於テ買収スル迄會社ニ對シ建設費ノ年五分ノ利子ヲ支拂ヒ省ニ於テ管理スルノ契約ヲ締結シタルニ依リ右利子支拂ノ財源トシテ大正三年五月ヨリ三基共汽船積ノ場合ニ限リ料金ヲ徴收スルコトトセルモノニシテ電化其ノ他ノ改良工事施行ノ結果ハ積込繫船時間及貨車滯留時間ヲ短縮シ得タルヲ以テ荷主及當省共ニ利便ヲ受ケタルノミナラス電化ニ依ル運轉費用ハ一噸當約七厘ヲ輕減シタルト炭況ノ不振ハ逐年深刻ヲ加ヘ往々當業者間ニ運賃ノ低減ヲ要望喧傳セラルルノ實狀ニシテ產業ノ振興上ヨリ觀ルモ本件料金ノ値上ハ大ニ考慮ヲ要スヘキモノト思料セリ元來戸畑驛炭積機ハ汽船積ヲ目的トシテ設置シタルモノナルヲ以テ常ニ汽船荷役ニ優先使用セシメ居ルモノニシテ和船積ニ對シテ對岸若松側高架棧橋ヲ和船積ニ使用ノ場合無料トシタル關係及本機ヲ使用スルト高架棧橋ヲ使用スルトハ當省ニ於テ作業ノ均分上適宜之ヲ指定スルモノニ付無料ヲ相當ト思料セルモノナリ尙若松驛ニ於ケル二基ヲ無料ヲ以テ三井鑛山株式會社外二會社ニ使用セシメ居ルハ本機ノ後背ニ於ケル陸上設備ハ頗ル狹隘ナル爲多數ノ荷主ニ供用セシムルコトハ貨車入換作業上益複雜ト爲リ其ノ能率低下スルヲ以テ本機利用ニ最適當ナル取扱數量ヲ有スル可及的少數ノ荷主ニ利用セシムルヲ得策ト認メタルモノニシテ岸壁先水深ノ關係上汽船積ニハ困難ナル爲荷主トシテハ高架棧橋ヲ使用スルモ本機ニ依ルモ特ニ差異ナキヲ以テ無料ト爲シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件ハ多額ノ建設費ヲ以テ設置シタル特殊設備ニシテ年年多額ノ運轉費及保修費ヲ要スルノミナラ

ス使用者ハ之ニ依リ多大ノ利便ヲ受ケツツアルノ事實ニ鑑ミ當局者答辯ノ事情ハ相當之ヲ斟酌スルノ要アリトスルモ之カ建設費、運轉費、保修費等ノ經費ニ對比シ本件料金ハ低廉ニ失シ特ニ無料ヲ以テ使用セシムルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ特殊設備ノ使用ニ對シ料金ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【備考】戸畑驛ノ炭積機中ニ基ハ國有前ノ建設ニ係リ從來無料使用セシメ居タルヲ以テ之カ慣行ハ相當尊重スルノ要アルモノト認メ國有後引續キ之ヲ踏襲シ來リタルニ明治四十五年中若松築港株式會社ニ於テ建設セル一基ヲ建設費ノ年五分ノ利子ヲ支拂ヒ當省ニテ管理スルコトト爲シタル爲利子支拂ノ財源トシテ同年五月ヨリ三基共一噸ニ付金貳錢ノ料金ヲ徵收スルコトニ爲シタルモノナリ而シテ本機ハ孰モ汽船積ヲ目的トシ和船積ニ使用セシムルハ寧ろ當省ニ於ケル設備ノ關係上若松側ニ出發スヘキモノヲ特ニ當驛ニ發送セシメ而カモ汽船積ニ優先使用セシムルモノナルヲ以テ若松側高架棧橋又ハ炭積機ヲ和船積ニ無料使用セシメ居レル均衡上和船積ニ使用ノ場合ハ之ヲ無料ト爲シタル次第ナリ又若松側ニ於ケル高架棧橋及炭積機モ會社時代ヨリ無料使用セシメ居レルモノニシテ元來此ノ種ノ施設ハ一般貨物ノ積卸設備ノ一部ト同視シ得ヘキ性質ノモノナルノミナラス荷主ニ對シ高架棧橋又ハ炭積機ヲ使用セシムルト否トハ當省ニ於テ適宜排シ居リ從テ三井礦山外二會社ヲシテ炭積機ヲ使用セシムルコトト爲シタルハ該機背後ニ於ケル配線ノ利用上多數ノ荷主ニ供用セシムルコトハ不可能ナル爲該機使用ニ適當ノ取扱數量ヲ有スル各社ニ之ヲ割當テタルモノニシテ右ハ高架棧橋ヲ各荷主ノ取扱數量ニ依リ夫々區分専用セシメ居ルト毫モ異ル所ナク加之岸壁先水深ノ關係上炭積機ト雖汽船積ニ使用スルコト困難ナルニ依リ高架棧橋ノ使用ト其ノ作業及經費ノ點ヨリ觀ルモ敢テ差異ナキヲ以テ孰モ之ヲ無料ト爲セリ殊ニ炭況ノ不振ハ逐年深刻ヲ加ヘ爲ニ往々當業者間ニハ運賃諸機ノ低減ヲ要望喧傳セラシルノ實狀ニ在ルノミナラス炭價ノ高低ハ產業界ノ消長ニ甚大ナル影響ヲ有スルモノナルニ依リ之カ運賃其ノ他附帶料金ノ如キハ濫リニ變更スルヲ許ササルモノナリ要スルニ本件設備ハ大量貨物ノ荷捌上荷主及當省共ニ多大ノ利便ヲ受ケルモノニシテ何等失當ノ措置ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

議出

第一款 鐵道作業費 第一項 事業費

【報告】 (六一) 鐵道省ノ支出ニ係ル

一六、七一〇^円五三九

ハ昭和二年十月一日越後鐵道株式會社ヨリ買收引渡ヲ受ケタル越後鐵道ノ信濃川分水橋梁橋脚根固其ノ他工事費ナリ抑本

件工事ハ買收前即チ同年六月末ノ洪水ニ基因スル被害ノ復舊ナルヲ以テ會社ヲシテ施行セシムルヲ相當トシ若會社ニ於テ施行セサルトキハ地方鐵道法第三十三條ニ依リ之ヲ營業費ニ加算シ買收價格算定上斟酌スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

本件被害ハ二年六月末信濃川分水路自在堰倒壊シタルニ基因スルモノニシテ會社ハ七月中之カ復舊工事トシテ砂利入俵六千八百俵投入シタルニ九月下旬ニ至リ更ニ橋脚補強工事ノ申請書ヲ提出セルモ當省ニ於テハ右復舊工事施行後土砂堆積シ川床面モ相當昂上シタルニ依リ會社ヲシテ急遽之ヲ施行セシムルヨリハ寧ろ買收後當省ニ於テ其ノ必要ニ應シ適當ニ施行スルヲ得策ト認メタルノミナラス其ノ工事ヲ會社ヲシテ爲サシムル時ハ其ノ價格ハ會社ノ建設費ニ加算セララル爲買收價格算定上ニ於テモ亦不利ナルヘシ

ト謂フニ在リ然レトモ本件工事ハ洪水ニ因リ橋脚周圍ノ漸次洗掘セラレタルニ對シ之カ根固トシテ玉石入金網蛇籠工ヲ施行セシモノナルヲ以テ維持修理ニ屬シ縱ヒ會社ヲシテ施工セシムルモノトスルモ買收價格算定上建設費ニ加算スヘキモノト認メ難シ而シテ之ヲ省ニ於テ施行スルニ於テハ會社ノ營業費ニ加算シ買收價格算定上斟酌スヘキモノナルニ省負擔ト爲シタルハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【備考】本件越後鐵道ノ買收ハ昭和二年十月一日ニシテ同年六月末ニ於ケル信濃川分水橋梁第四號橋脚ノ被害ニ對シテハ當時會社ニ於テ相當ナル復舊工事ヲ施行シ列車運轉上毫モ支障ナキニ至ラシメタルモノナルニ尙會社ハ將來ヲ慮リ維持修理ヲ超越セル補強工事ヲ施行スヘタ當省ニ申請シ來リタルモ時既ニ其ノ買收期日ハ目前ニ迫リ之カ施行ハ全ク不可能ナリシノミナラス假リニ之ヲ施行スルコトヲ得ルモノトスルモ右ハ買收價格算定上建設費ニ加算セララルヘキ性質ノ工事費ナルヲ以テ却テ不得策ト認メ之ヲ却下セリ此ノ如ク買收當時ニ於ケル同橋脚ノ現狀ハ會社力盡ニ施行シタル復舊工事ニテ完全ナリシモ本件工事ハ買收後ノ増水其ノ他流速ノ變化ニ依リ同橋脚附近ヲ洗掘セララルニ至リ且翌年融雪期ノ出水ニ備フル爲勞當時ノ濁水期ヲ利用シテ之ニ適切ナル工事ヲ施行シタルモノナルヲ以テ其ノ以前ニ決定シタル買收價格算定ニ對シテハ營業費ニ加算シテ斟酌スルコト能ハサリシノミナラス之ヲ省費支辨ト爲スハ當然ニシテ何等不當ノ措置ヲ爲シタルモノニ非ス

昭和二年度 一般會計及特別會計歳出ニ共通スル事項

二七〇

【貴族】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆議】 不當

(參照) ○地方鐵道法(大正八年四月十日 法律第五十二號)

第三十三條 地方鐵道業者カ鐵道若ハ其ノ附屬物件ノ補修ヲ爲サス又ハ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ依リ改築若ハ改造ヲ爲スヘキ場合ニ於テ之ヲ爲ササルトキハ補修ニ要スル金額ハ之ヲ營業費ニ加算シ改築又ハ改造ニ要スル金額ハ之ヲ買收價額ヨリ控除ス

一般會計及特別會計歳出ニ共通スル事項

一般、特別兩會計ヲ通シ官吏ニ對シ賞與又ハ慰勞手當等トシテ給與シタルモノノ内豫算ノ使用其ノ當ヲ得スト認ムルモノノ數カラス即チ左ノ如シ

一般會計	四二、七五三
外務省所管一件(六二)	〇〇〇
內務省所管二件(六三)(六四)	九二三、〇五一
大藏省所管三件(六五)(六六)(六七)	二、三七九、九一三
農林省所管二件(六八)(六九)	七五一、七九二
商工省所管一件(七〇)	一一一、八二九
逓信省所管一件(七一)	一一四、五三〇
合計十件	四、四四三、八六八
特別會計	五七〇
大藏省所管	五七〇

造幣局一件(七二)	一二七、四八五
印刷局一件(七三)	四九四、二四四
專賣局一件(七四)	〇〇〇
大藏省預金部一件(七五)	一、六三三、〇二八
賠償金一件(七六)	二〇〇
朝鮮總督府一件(七七)	一八、七八九
樺太廳一件(七八)	八二、八三九
農林省所管	四八、四〇八
米穀需給調節一件(七九)	九九〇
商工省所管	一〇一、七七九
製鐵所一件(八〇)	〇〇〇
逓信省所管	二、七二七、四八〇
簡易生命保險一件(八一)	〇五〇
鐵道省所管	二四〇、八〇九
帝國鐵道一件(八二)	三三三〇
合計十一件	二七、一七八、六二〇
總計二十一件	四八〇
	三二、六五四、三四七
	四六〇
	三七、〇九八、二一六
	〇三〇

昭和二年度 一般會計及特別會計歳出ニ共通スル事項

二七一

一般會計

外務省所管

【報告】

(六二) 歳出經常部第二款在外公館第六項在外國居留民取締費ニ於テ外務省ノ支出ニ係ル

歳出臨時部第五款講和條約實施費第一項講和條約實施費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第六款移民保護獎勵費第一項移民保護獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第十一款國際會議諸費第四項國際無線電信會議參列費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第五項國際經濟會議參列費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

計四萬貳千七百五拾參圓ハ外務本省其ノ他勤務ノ官吏ニ對シ支給シタル慰勞金ナリ右ハ豫算上何等積算ナキモノナルニ偶
其ノ職責上當然關與スヘキ事務ニ執掌シタルヲ事由トシ之カ支出ヲ爲スカ如キハ豫算ノ目的ニ反シ失當ノ措置ト謂ハサル
ヲ得ス

【辨明】 本件ハ何レモ右各事務ニ關シ異常ノ勤務アリタル者ニ對シ各當該事務ニ關スル豫算中ヨリ慰勞金ヲ支給シタルモノニシテ豫算ノ目的ニ反
スルモノト認メ難シ

内務省所管

【報告】

(六三) 歳出經常部第三款内務本省第四項史蹟名勝天然紀念物調査及保存費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル

第四款社會局第二項事務費ニ於テ社會局外一箇所ノ支出ニ係ル

第三項健康保險審査會費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

一一、二六五〇〇〇

一、四二〇〇〇〇

一、五七〇〇〇〇

第八款職業紹介事務局第二項事務費ニ於テ中央職業紹介事務局ノ支出ニ係ル

第十三款國立癩療養所第二項事業費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル

歳出臨時部第十三款傳染病豫防費第一項傳染病豫防費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第十九款社會事業調査及獎勵諸費第一項社會事業調査及獎勵諸費ニ於テ社會局ノ支出ニ係ル

第二十二款工場災害豫防並工場及鑛業衛生調査獎勵費第一項工場災害豫防並工場及鑛業衛生調査獎勵費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第二十四款勤儉獎勵費第一項勤儉獎勵費ニ於テ同局外一箇所ノ支出ニ係ル

第二十六款議員總選舉諸費第三項衆議院議員總選舉諸費補足ニ於テ内務省外三箇所ノ支出ニ係ル

第二十八款帝都復興事業費第一項東京復興費ニ於テ復興局ノ支出ニ係ル

第二項横濱復興費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第四十二款災害費第十三項丹後地方震災事務處辦費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル

第四十五款臨時地方稅制調査費第一項臨時地方稅制調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

計四拾貳萬五千八百四拾八圓ハ内務省及復興局勤務其ノ他ノ官吏ニ對スル慰勞金等ニシテ現業事務ニ從事シ又ハ各種ノ調
査其ノ他ニ勤勞勲カラサルヲ事由トシテ支給セルモノナリト雖此等各種ノ事務ハ職責上當然ノ事務ナルノミナラス前掲各
項豫算中ニハ此ノ如キ給與ヲ包含セサルヲ以テ豫算ノ目的ニ反スルモノト謂ハサルヲ得ス政府ハ前掲豫算中帝都復興事業
費ニ付格別ノ勤勞ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ支給スルノ要アルト之カ相當額ヲ本項豫算ニ計上シアリト辯明スルモ該豫算ハ現
業手當及雇員以下ニ對スル慰勞金ヲ積算セルモノニシテ此等官吏ニ對スル慰勞金ヲ包含スルモノト認ムルヲ得ス

【辨明】

歳出經常部第四款社會局第三項健康保險審査會費第十三款國立癩療養所第二項事業費歳出臨時部第十三款傳染病豫防費第一項傳染病豫防
費第二十六款議員總選舉諸費第三項衆議院議員總選舉諸費補足第四十二款災害費第十三項丹後地方震災事務處辦費第四十五款臨時地方稅

九七〇〇〇〇

八〇〇〇〇〇

三、三七五〇〇〇

一、七四五〇〇〇

二、二七四〇〇〇

六、八四〇〇〇〇

一、八一八〇〇〇

三、一三、四四九〇〇〇

四、七、四七七〇〇〇

八、三六〇〇〇〇

五、四八五〇〇〇

制調査費第一項臨時地方税制調査費ヨリ支出セル慰勞金ハ是等ノ豫算ノ目的ヲ達成セシムル爲日夜兼斷ナル事務ニ從事シ多大ノ勤勞アリシ者ニ對シ支給シタルモノニシテ敢テ支障ナキモノト認ム

歳出經常部第三款内務本省第四項史蹟名勝天然紀念物調査及保存費外七項ニ對シテハ大正十四年度批難事項一般會計及特別會計ニ共通スル事項一般會計内務省所管歳出經常部第三款内務本省外八款(一)ニ於テ辨明セシ通〔大正十四年度(七九)及大正十五年(七五)一〇七頁參看〕

【報告】

(六四) 歳出臨時部第三款港灣改良費第一項關門海峽改良費ニ於テ内務省外關土木出張所ノ支出ニ係ル

- 第二項神戸港修築費ニ於テ内務省外一箇所ノ支出ニ係ル 四、九四〇〇〇
- 第六項横濱港修築費ニ於テ同省外一箇所ノ支出ニ係ル 一六、六三〇〇〇
- 第七項清水港修築費ニ於テ同省横濱土木出張所ノ支出ニ係ル 一一、一三五〇〇
- 第八項境港修築費ニ於テ同省大阪土木出張所ノ支出ニ係ル 七、一五〇〇〇
- 第十項鹽釜港修築費ニ於テ同省仙臺土木出張所ノ支出ニ係ル 一、九七五〇〇
- 第十五項長崎港修築費ニ於テ同省外關土木出張所ノ支出ニ係ル 二、六六〇〇〇
- 第四款道路改良費第一項道路改良及助成費ニ於テ同省外一箇所ノ支出ニ係ル 一、八一〇〇〇
- 第五款道路港灣調査費第一項道路港灣調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 七、八四五〇〇
- 第六款都市計畫調査費第一項都市計畫調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二、三一五〇〇
- 第七款北海道拓殖費第一項殖民費ニ於テ北海道廳外十四箇所ノ支出ニ係ル 五、〇〇五〇〇
- 第二項森林費ニ於テ同廳外十六箇所ノ支出ニ係ル 六〇、〇七五〇〇
- 第四項土地改良費ニ於テ同廳外十箇所ノ支出ニ係ル 八八、八三六〇〇
- 第五項道路橋梁費ニ於テ同廳外八箇所ノ支出ニ係ル 二〇、〇七一〇〇
- 第七四、八八六〇〇

- 第六項河川費ニ於テ同廳外八箇所ノ支出ニ係ル 一六、三三四〇〇
- 第七項治水費ニ於テ同廳外三箇所ノ支出ニ係ル 二〇、四二七〇〇
- 第八項港灣費ニ於テ同廳外十箇所ノ支出ニ係ル 二四、四八八〇〇
- 第十項鐵道及軌道助成費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 一、九一一〇〇
- 第十一項調査費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 一、八三〇〇〇
- 第十款臨時社費第三項吉野神宮修築並境内整理費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル 二、一五五〇〇
- 第四項長田神社社殿火災復舊費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二、三八五〇〇
- 第十二款神社制度調査費第一項神社制度調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、二三五〇〇
- 第十三款傳染病豫防費第一項傳染病豫防費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 九、一一二〇〇
- 第十四款衛生事業調査及獎勵諸費第一項醫藥品製造及藥用植物試驗費ニ於テ東京衛生試驗所ノ支出ニ係ル 五、二八五〇〇
- 第二項保健衛生調査及獎勵諸費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル 四、〇七七〇〇
- 第十七款開墾監督費第一項開墾監督費ニ於テ東京府外四十三箇所ノ支出ニ係ル 八、八〇一〇〇
- 第十八款地方制度及財政調査費第一項地方制度及財政調査費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル 五、三五〇〇〇
- 第二十五款警察特別施設費第一項警察特別施設費ニ於テ同省外二十七箇所ノ支出ニ係ル 三一、四四二〇〇
- 第三十四款震災復舊諸費第二項相模川外四箇川流域砂防費ニ於テ同省東京土木出張所ノ支出ニ係ル 六、六九〇〇〇
- 第三項官國幣社復舊費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、八二六〇〇
- 第三十八款臨時警察費第一項臨時警察費ニ於テ警視廳外三箇所ノ支出ニ係ル 二七、九九〇〇〇
- 第三十九款震災地住宅事務處辦費第一項震災地住宅事務處辦費ニ於テ社會局外一箇所ノ支出ニ係ル 一、八七〇〇〇

第四十款震災地市街地建築物法施行費第一項震災地市街地建築物法施行費ニ於テ警視廳外一箇所ノ支出ニ係ル

一五、六六二〇〇〇

計四拾九萬七千貳百參圓ハ前掲各廳所屬官吏ニ對シ賞與トシテ支給シタルモノナルモ右支出總額中俸給算ノ殘餘ヲ以テシタルモノ拾九萬貳千餘圓ニ止リ參拾萬四千餘圓ハ事業費、事務費等ヲ流用シタルモノニシテ偶其ノ豫算ノ同一項内ニ在ルヲ事由トシテ前掲多額ノ流用ヲ爲スカ如キハ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス

【辨明】

本件ハ大正十四年度批難事項一般會計及特別會計ニ共通スル事項一般會計内務省所管處出臨時部第二款治水事業費外二十款(ニ於テ辨明セシ通ニシテ本年度事務費等ヨリ賞與ニ充當シタル金參拾壹萬八千餘圓ハ賞與總額金百九拾壹萬壹千餘圓ノ一割六分七厘俸給總額千貳百拾四萬四千餘圓ニ對シテハ僅カ二分六厘ニ過キス [大正十四年度(八〇)參看])

大藏省所管

【報告】

(六五) 歳出經常部第一款大藏本省第二項事務費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

六八〇〇〇〇

第四項關稅調查委員會費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

一一、一六三〇〇〇

第二款内閣第二項事務費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル

一〇、二六五〇〇〇

第四項高等試驗費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

一八八〇〇〇

第五項文官懲戒費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

九一〇〇〇

歳出臨時部第一款營繕費第一項議院建築費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル

一〇、二九一〇〇〇

第三項神戸稅關陸上設備費ニ於テ同局神戸出張所ノ支出ニ係ル

五、四〇〇〇〇〇

第四項門司稅關陸上設備費ニ於テ同局門司出張所ノ支出ニ係ル

三、九八一〇〇〇

第五項長崎稅關廳舍其他新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

一、〇〇四〇〇〇

第十三項農事試驗場建物其他新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

三七二〇〇〇

第十五項新營費ニ於テ同局及同橫濱出張所ノ支出ニ係ル

一三、八七五〇〇〇

第十七項諸官衙假廳舍其他整理費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

一九、二三一〇〇〇

第二十一項專賣局工場其他新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

三、八九八〇〇〇

第二十二項商事調停事務取扱所新營費ニ於テ同局及同橫濱出張所ノ支出ニ係ル

二六九〇〇〇

第二款調查費第一項臨時秩祿處分調查費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

一五五〇〇〇

第二項國勢調查費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル

五〇〇〇〇〇

第三項臨時法制審議會諸費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

一〇九〇〇〇

第四項文政審議會諸費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

一、八二五〇〇〇

第六項寺院境内地讓與審査會諸費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル

九四一〇〇〇

第七項行政調查會諸費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル

三、六二〇〇〇〇

第八項中央諸官衙建築準備調查諸費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル

四、六八〇〇〇〇

第九項家計調查費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル

五、七四三〇〇〇

第十項金融制度調查會諸費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

一三、〇八七〇〇〇

第十三項人口食糧問題調查會諸費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル

四、七九五〇〇〇

第十四項臨時海外拂節約調查諸費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

二、三三三〇〇〇

第十六項臺灣銀行調查會諸費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

三〇〇〇〇〇

第十七項臨時稅制調查費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

九、二九四〇〇〇

第六款國有財産整理費第一項國有財産整理費ニ於テ營繕管財局及大阪稅務監督局ノ支出ニ係ル

一一、四一八〇〇〇

第九款震災復舊及新營費第一項事務費ニ於テ營繕管財局橫濱出張所ノ支出ニ係ル

三二、四七九〇〇〇

第十一款内閣敍動者名簿整理費第一項内閣敍動者名簿整理費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル
 四七〇〇〇〇
 第十二款災害費第九項震災地租稅調查處分費ニ於テ大阪稅務監督局ノ支出ニ係ル
 二、八二〇〇〇〇
 八八六〇〇〇
 第十五款明治大正財政史編纂諸費第一項明治大正財政史編纂諸費ニ於テ大蔵省ノ支出ニ係ル
 二、二四五〇〇〇
 計拾八萬參百九拾八圓八前掲各廳所屬官吏又ハ他廳ノ官吏ニ對シ慰勞金等トシテ給與シタル金額ノ内ニシテ内閣事務費高等試驗費文官懲戒費及寺院境内地讓與審查會諸費ニ在リテハ豫算上官吏ニ對スル慰勞金ノ積算ナキニ之ヲ支給シ其ノ他ノ經費ニ在リテハ孰モ豫算額以上ニ之ヲ支給セルモノニシテ之ニ雇員以下ニ給與セル慰勞金ヲ加算スルトキハ豫算額ニ比シ著シク多額ニ上レリ

【辨明】 豫算中慰勞金ノ積算ナキニ拘ラス之カ支出ヲナシタリトアルモノニ付キテハ慰勞金ハ之ヲ積算セスト雖委員囑託其他ノ手當ヲ積算シアリ事務委屬者ニ對シ手當ノ趣旨ニ於テ之カ支給ヲナシタルモノニシテ既ニ十數年來ノ慣行トセル所ニ係リ必ラスシモ不當ナリトナスヲ得ス而シテ慰勞金ノ支出額ハ其ノ豫算額ニ比シ超過ヲ示スト雖實際ノ經理ニ當リ支出額カ豫算額ニ對シ過不足ヲ生スルハ免ルルヲ得サル所ニシテ豫算上目以下ニ屬スルモノニ付其ノ過不足ヲ彼此流用處辨シ實際ノ所要ニ適合セシムルハ通例ノ事態ニ屬シ却テ豫算上經費ノ餘裕ヲ見積ルカ如キ弊ヲ防止スルトノ效アルモノトス依テ實際支出額カ豫算額ニ比シ増加スルコトアリト雖之ヲ以テ不當ナリトナスヲ得サルナリ尙其ノ慰勞金ノ支出ヲ必要トシタル事由ニ付テハ大蔵本省、内閣及管轄管財局等ニ於テ各其ノ複雜廣汎ナル事務ノ支障ナキ進捗ヲ圖ルニ付テハ當務者以外ノ職員ヲシテ其ノ事務ヲ補助セシメタルコト多ク其ノ勤勞多大ナルモノアリシヲ以テ之ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ給與スルハ當然ノ措置ナリト認メタルニ依ルモノナリ而シテ支出額カ比較的多額トナリシハ給與ヲ要スル人員ノ多カリシニ依ルモノニシテ給與ノ公平ヲ期スル上ニ於テ已ムヲ得サル事情アリシニ外ナラス要スルニ本件支出ハ豫算ノ目的ニ反セス且其ノ給與額ハ關與シタル事務ノ實情ニ精ヘ相當ト認ムル程度ニ止メ特ニ多額ヲ支給シタルモノニアラサルヲ以テ之ヲ不當ナリト言フヲ得ス

【報告】 (六六) 歳出經常部第二款内閣第四項高等試驗費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル
 三〇五〇〇〇
 第八款稅關第六項特派官吏費ニ於テ大蔵省及稅關ノ支出ニ係ル
 八〇、四七五 一一〇
 歳出臨時部第二款調查費第一項臨時秩祿處分調查費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル
 六二四〇〇〇

第十一项土地賃賃價格調查費ニ於テ同省及各稅務監督局ノ支出ニ係ル
 二六九、五八九〇〇〇
 第六款國有財産整理費第一項國有財産整理費ニ於テ同省及同局ノ支出ニ係ル
 三九、六六六〇〇〇
 第十一款内閣敍動者名簿整理費第一項内閣敍動者名簿整理費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル
 二一〇〇〇〇
 計參拾九萬八百六拾九圓拾貳錢ハ前掲各廳所屬官吏ニ對シ賞與トシテ支給シタルモノナルモ右支出總額中依給豫算ノ殘餘ヲ以テシタルモノ參拾壹萬千餘圓ニシテ七萬八千餘圓ハ廳費其ノ他ヨリ流用支出シタルモノニシテ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス

【辨明】 官吏ニ對スル賞與ハ俸給ノ殘額ヲ以テ支辨スルヲ原則トシ實行シツツアルモ定員充實ノ關係等ニ依リ俸給豫算ノ殘額僅少ナル場合ニ於テハ給與ノ均衡ヲ圖ルノ必要上已ムヲ得ス他ノ費目ニ於ケル剩餘額ヲ以テ流用支辨スルヲ例トセリ右ハ賞與ノ如ク當初ヨリ之ヲ豫算セス他ノ費目ニ剩餘ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ流用支辨スルノ慣行アルモノニ付テハ實際ノ經理上已ムヲ得サル措置ニ屬シ豫算ノ流用ヲ許サレタル範圍ニ於テ實行シタルモノナルヲ以テ之ヲ不當ナリト言フヲ得ス

【報告】 (六七) 歳出臨時部第二款調查費第十一项土地賃賃價格調查費ニ於テ大蔵省及東京外六稅務監督局ノ支出ニ係ル
 一、八〇八、六四五 九五〇

ハ大蔵本省、稅務監督局及稅務署勤務ノ官吏以下ニ對シ本費中雜給及雜費ヨリ支給シタル慰勞金等ニシテ該豫算額中慰勞金ノ積算額ハ拾六萬五千餘圓ニ過キササルニ官吏ニ對スル支給額ノミニテモ百五拾六萬五千餘圓ニ上リ豫算額ニ比シ約十倍ニ達シ本費豫算中第六目土地賃賃價格調查委員會費ニ不足アルノ故ヲ以テ追加豫算百參拾七萬八千餘圓ヲ要求セル狀況ニシテ縱ヒ土地賃賃價格調查事務ノ勤勞尠カラサルモノアリトスルモ本件多額ノ支出ヲ爲スカ如キハ豫算使用上失當ノ措置ト認メサルヲ得ス

【辨明】 慰勞金ノ支出額ハ其ノ豫算額ニ比シ超過ヲ示スト雖實際ノ經理ニ當リ支出額カ豫算額ニ比シ過不足ヲ生スルハ免ルルヲ得サル所ニシテ各費目間ノ過不足ヲ彼此流用支辨シ實際ノ所要ニ適合セシムルハ經理上當然ノ事態ニ屬シ之ヲ以テ不當ナリト言フヲ得ス而シテ慰勞金ノ支出ヲ必要トシタル事由ニ付テハ土地賃賃價格ノ調査ハ我國改組以來ノ大事業ニシテ頗ル困難ナルニ加ヘ調査ノ完了ニ一定ノ期限アリテ本
 昭和二年度 大蔵省 (六七)
 二七九

費所屬ノ職員ノミヲ以テシテハ到底之カ完成ヲ期シ難カリシヲ以テ本省關係部局、稅務監督局及稅務署職員ノ殆ト全員ヲ擧ケテ本件事務ニ關與補助セシメ其ノ勞苦多大ナルモノアルノミナラス本年度ハ本事業ノ最終年度ニ屬スルカ爲是等多大ノ勤勞ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ支給スルハ當然ノ措置ナリト認メタルニ依ルモノニシテ支給額ノ多額トナリシハ給與ノ均衡ヲ圖ルカ爲其ノ人員ノ多數ニ上ルノ已ムヲ得サルニ出テタルニ外ナラス尙追加豫算ヲ要求シタルハ土地貸賃價格調査委員會法ノ修正ニ伴ヒ著シク委員定數ヲ増加シタル爲ナリシモ經費使用上ニ付テハ特ニ留意シ就中委員用菓子椅子等ハ借入ノ方法ニ依リ處辨シタル等ノ結果經費ニ剩餘ヲ生シタルヲ以テ之ヲ流用シタルモノニシテ豫算ノ流用ヲ許サレタル範圍ニ於テ實行シタルモノナルヲ以テ之ヲ不當ナリトナスヲ得ス

農林省所管

【報告】

(六八) 歳出經常部第一款農林本省第二款事務費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル

第二款森林費第三項事業費ニ於テ同省及青森外五營林局ノ支出ニ係ル

二、五四〇〇〇
四四七、七三三〇〇〇

第三款試驗場及調査所費第二項事業費ニ於テ農事試驗場、蠶業試驗場、林業試驗場、畜産試驗場及獸疫調査所ノ支出ニ係ル

一、八〇〇〇〇〇

第五款種馬所及種馬牧場第二項事業費ニ於テ農林省及日高種馬牧場ノ支出ニ係ル

九五五〇〇〇

臨時部第一款産業獎勵費第一項農事改良獎勵費ニ於テ同省及農事試驗場ノ支出ニ係ル

九、二二〇〇〇〇

第二項開墾及土地改良費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

一七、七二〇〇〇〇

第三項蠶絲業改良獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

六、七四〇〇〇〇

第四項畜産増殖獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

六〇〇〇〇〇〇

第五項種羊飼育獎勵費ニ於テ同省及瀧川外一種羊場ノ支出ニ係ル

一一、八二八〇〇〇

第六項林業獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

二八一〇〇〇〇

第七項遠洋漁業獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

四、八二五〇〇〇

第八項漁港修築獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

二、七〇〇〇〇〇

第十項水産冷蔵獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

四、一七五〇〇〇

第十三項漁業用發動機檢査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

七七五〇〇〇

第十四項水産増殖獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

二、五五〇〇〇〇

第十五項鶏卵増殖獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

六、四四九〇〇〇

第二款農村振興費第二項事務費ニ於テ同省及農事試驗場ノ支出ニ係ル

三七、三六九〇〇〇

第三項獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

八九〇〇〇〇

第三款調査及研究費第二項事業費ニ於テ同省、林業試驗場、蠶業試驗場、生絲檢査所及沖繩縣八重山支廳ノ支出ニ係ル

二〇、二九〇〇〇〇

第四款營繕費第一項新營費ニ於テ水産講習所、種馬育成所及青森外一種馬所ノ支出ニ係ル

六九〇〇〇〇

第二項修繕費ニ於テ日高種馬牧場及十勝外五種馬所ノ支出ニ係ル

一、三六〇〇〇〇

第五款家畜傳染病及害蟲豫防費第二項害蟲費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル

二〇〇〇〇〇

第四項法定外家畜疾病豫防費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

四五一〇〇〇

第五項家畜衛生思想普及獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

一、一九六〇〇〇

第六款治水事業費第一項調査及監督費ニ於テ同省及長野縣ノ支出ニ係ル

七四八〇〇〇

第七款公有林野官行造林費第一項公有林野官行造林費ニ於テ同省及青森外五營林局ノ支出ニ係ル

九、四三七〇〇〇

第八款臘豚獸保護費第一項臘豚獸保護費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

三、五三五〇〇〇

第九款漁業免許處分費第一項漁業免許處分費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

五〇〇〇〇〇

第十款臨時漁業登錄事務費第一項臨時漁業登錄事務費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

二一〇〇〇〇

第十一款沿岸漁場整理費第一項沿岸漁場整理費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

三、八〇五〇〇〇

- 第十三款震災地産業其他復舊助成費第二項荒廢林地復舊助成費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二二一〇〇〇
- 第十四款青島牛及獸肉検査費第一項青島牛及獸肉検査費ニ於テ獸疫調査所ノ支出ニ係ル 七〇〇〇〇
- 第十五款海外漁業取締費第一項海外漁業取締費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル 二、六九二〇〇
- 第十七款獵區管理費第一項獵區管理費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 八四〇〇〇
- 第十八款水源涵養費第一項水源涵養費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 九四〇〇〇

計六拾萬七千九百六拾五圓ハ前掲各廳所屬等ノ官吏ニ對シ給與シタル手當ナルモ前掲諸經費中森林費及公有林野官行造林費ヲ除クノ外ハ官吏ニ對スル手當ノ積算ナキニ拘ラス各費目ヲ通シテ拾五萬七百餘圓ヲ支出シ又森林費及公有林野官行造林費ニ於テ直接施業ニ從事セサル農林本省ノ官吏ニ對シ參萬五千六百餘圓ヲ支給シタルカ如キハ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス政府ハ森林費及公有林野官行造林費ニ付此等官吏ノ努力ニ依リ施業ノ完成ヲ期スルモノニシテ直接施業ニ從事セサルモノニ支給シタルモノニ非スト辯明スルモ同費豫算ニハ此等本省職員ニ對スル給與ヲ包含スルモノト認ムルヲ得ス

【備考】

農林本省事務費、試験場及調査所費、事業費、種馬所及種馬牧場事業費ニ於テ支出シタル金額ハ他省ノ官吏ニ對シ當省所管事務ヲ囑託シアルカ故ニ年末手當ヲ支給シタルモノニシテ之等囑託手當ハ豫算ニ明記セラレ又農村振興費獎勵費ニ於テ支出シタル金額ハ人力規模比較審査ヲ行ヒ其ノ審査長審査員等ノ手當ニシテ之カ審査經費ハ之亦豫算ニ見積アリ其ノ他昭和十五年年度検査報告ニ對スル辯明書ニ詳悉セシ如ク妥當ノ措置ト認ム 〔大正十五年(八三)一一八頁參看〕

【報告】

- (六九) 歳出臨時部第一款産業獎勵費第二項開墾及土地改良費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル 四五、四五一〇〇
- 第四項畜産増殖獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 八五九〇〇
- 第五項綿羊飼育獎勵費ニ於テ同省及月寒外一種羊場ノ支出ニ係ル 一三、四三二〇〇
- 第七項遠洋漁業獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、二六五〇〇
- 第八項漁港修築獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、九七五〇〇

第九項漁業組合事業改良獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 四一五〇〇

第十項水産冷蔵獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、二五〇〇〇

第十三項漁業用發動機検査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、一一五〇〇

第六款治水事業費第一項調査及監督費ニ於テ同省、林業試験場及東京府外二府四十二縣ノ支出ニ係ル 二九、三〇四五〇

第七款公有林野官行造林費第一項公有林野官行造林費ニ於テ同省及青森外五營林局ノ支出ニ係ル 三一、二二九〇〇

第八款臘肉獸保護費第一項臘肉獸保護費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 四、四七五〇〇

第十款臨時漁業登錄事務費第一項臨時漁業登錄事務費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二、〇二〇〇〇

第十二款震災復舊及新營費第一項農林本省其他復舊費ニ於テ東京營林局ノ支出ニ係ル 九一五〇〇

第十三款震災地産業其他復舊助成費第二項荒廢林地復舊助成費ニ於テ農林省及東京府外四縣ノ支出ニ係ル 二、五三四〇〇

第十四款青島牛及獸肉検査費第一項青島牛及獸肉検査費ニ於テ獸疫調査所ノ支出ニ係ル 二、四二八〇〇

第十七款獵區管理費第一項獵區管理費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル 一、一六〇〇〇

計拾四萬參千八百貳拾七圓五拾錢ハ前掲各廳所屬官吏ニ對シ賞與トシテ支給シタルモノナルモ右支出總額中俸給豫算ノ殘餘ヲ以テシタルモノ五萬七千餘圓ニ止リ八萬六千餘圓ハ雜給及雜費、内國旅費、耕作費等ヲ流用シ支出シタルモノニシテ豫算使用上妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス

【備考】

本件ハ昭和十五年年度検査報告ニ對スル辯明書ニ詳悉セシ如ク豫算ノ運用上不妥當ノ措置ニアラスト認ム 〔大正十五年(八三)一一九頁參看〕

商工省所管

【報告】

- (七〇) 歳出經常部第一款商工本省第二項事務費ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル 二、一五〇〇〇
- 第五項度量衡費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 九、四三七〇〇